三菱電機スリムエアコン　2023年度版
別売部品マニュアル

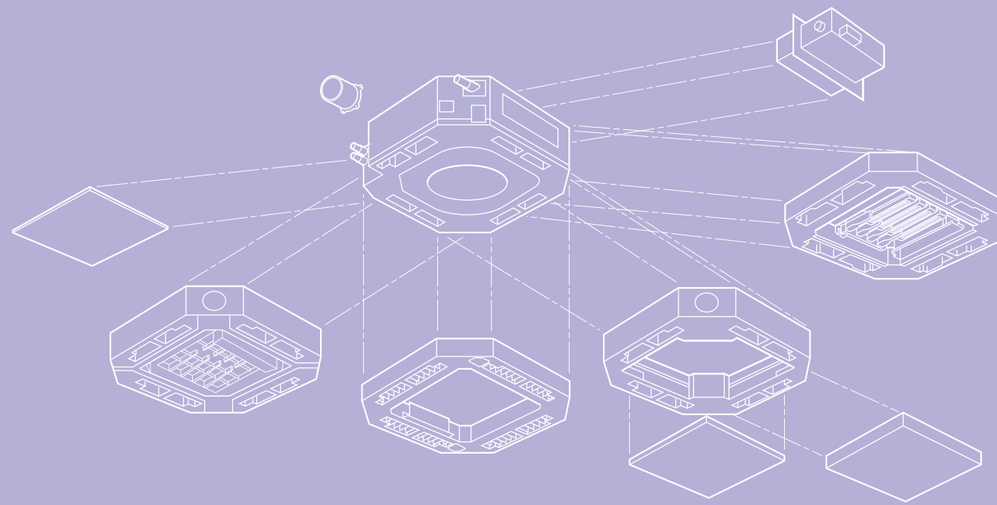
2023　三菱電機スリムエアコン　別売部品マニュアル

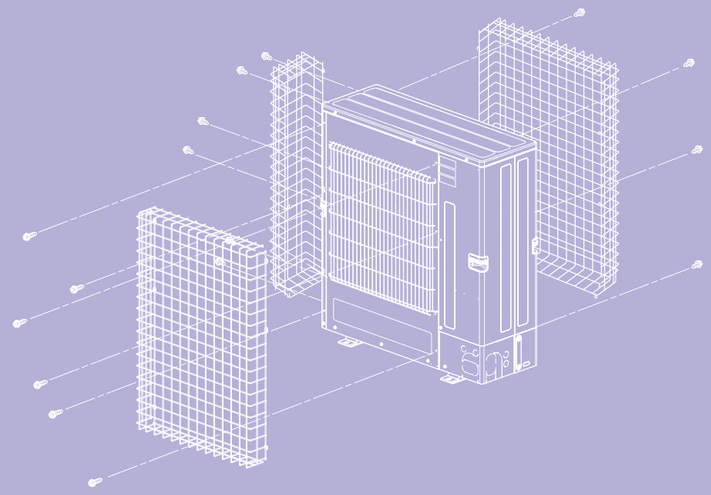
MITSUBISHI ELECTRIC

2023年度版
2024年1月改訂版

Mr.SLIM
三菱電機スリムエアコン

別売部品マニュアル





暮らしと設備の業務支援サイト　WIN²K

製品のカタログ・技術情報等はこちら
www.MitsubishiElectric.co.jp/wink
三菱電機WIN2K　検索

ケータイ・スマホから簡易点検内容が検索できます。
https://www.MitsubishiElectric.co.jp/ldg/wink/tc/tc_top.do
検索対象
スリムエアコン　ビル用マルチエアコン　冷凍機

三菱電機空調冷熱ワンコールシステム（365日・24時間受付）
0120-9-24365（無料）
（空調・24時間・365日）
問合せ先がご不明な際は、こちらにおかけください。
「修理のご依頼」「サービス部品のご相談」「技術相談」
（技術相談の対応時間は月～金曜 9:00~19:00、土曜・日曜・祝日 9:00~17:00）

店舗用・ビル用・設備用エアコン、チラー、冷凍機に関する技術相談専用
三菱電機冷熱相談センター
〈フリーボイス〉0037-80-2224 /〈携帯・IP電話対応〉073-427-2224
※対応時間はワンコールシステム「技術相談」と同様です

三菱電機株式会社　静岡製作所　〒422-8528　静岡市駿河区小鹿3-18-1

M-P0906 SIZ2306

この印刷物は、2023年6月の発行です。なお、お断りなしに仕様を変更・修正・訂正することがありますのでご了承ください。

2023年6月作成

三菱電機株式会社

【別売部品マニュアル　目次】

■安全のために必ず守ること ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

■別売部品一覧

● 機種別索引・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

● 機種一覧

・４方向天井カセット形〈i- スクエアタイプ〉・・・・・・・ 1-1
・４方向天井カセット形〈コンパクトタイプ〉・・・・・・・ 2-1
・２方向天井カセット形 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3-1
・１方向天井カセット形 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-1
・天井ビルトイン形 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5-1
・天井埋込形 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-1
・天吊形 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7-1
・壁掛形 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8-1
・床置形 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9-1
・厨房用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10-1
・室外ユニット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11-1
・共通部品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12-1

● 形名索引

取付説明書は、本マニュアル用に編集しています。

安全のために必ず守ること

●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷又は家屋・家財などの損害に結びつくもの。

⚠警告

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。

●接続や固定が不完全な場合や、途中接続の場合は、発熱・火災などの原因になります。

据付けや移設などの場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。

●空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。
●指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因になり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらすおそれがあります。

改造は、絶対にしない。

●修理は、お買上げの販売店にご相談ください。
改造したり修理に不備があると水漏れや感電・火災などの原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。

●電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災などの原因になります。

冷媒配管は、JIS H 3300「銅及び銅合金継目無管」のC1220のりん脱酸銅を、配管継手は、JIS B 8607に適合したものを使用し、配管接続を確実に行う。

●配管接続に不備があると、アース接続が不十分となり感電の原因になります。

据付けは、販売店又は専門業者に依頼する。

●お客様ご自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付工事は、冷媒 R32 用又は R410A 用に製造された専用のツール・配管部材を使用し、この据付工事説明書に従って確実に行う。

●使用している HFC 系 R32 冷媒又は R410A 冷媒は、従来の冷媒に比べ圧力が約 1.6 倍高くなります。専用の配管部材を使用しなかったり、据付けに不備があると破裂・けがの原因になり、また水漏れや感電・火災の原因になります。

台風などの強風・地震に備え、所定の据付工事を行う。

●据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。

据付けは、質量に十分に耐えるところに確実に行う。

●強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、事故の原因になります。

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しない。

●法令違反の可能性や、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災などの発生のおそれがあります。
●封入冷媒の種類は、室外ユニットの据付工事説明書、あるいは銘板に記載されています。
●それ以外の冷媒を封入した場合の故障・誤動作などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。

お客様ご自身で移動・再据付けはしない。

●据付けに不備があると水漏れや感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店又は専門業者にご依頼ください。

室内外接続用端子盤及び電源用端子盤に単線とより線を併用しない。また、異なったサイズの単線又はより線を併用しない。

●端子盤のねじ緩みや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になります。

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは据え付けない。

●万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

室内外ユニットの端子盤カバー(パネル)を確実に取り付ける。

●端子盤カバー(パネル)取付けに不備があると、水・ほこりなどにより、感電・火災などの原因になります。

別売部品やフィルターは、必ず当社指定の部品を使用する。

●取付けは専門の業者に依頼してください。お客様ご自身で取付けをされ、不備があると、感電・火災・故障・水漏れなどの原因になります。

ロウ付け作業時には、換気を適切に行う。

●密閉された部屋、あるいは小部屋などで作業する場合は、作業前に必ず冷媒漏えいが無いことを確認してください。万一冷媒が漏れて滞留すると着火又は有毒ガスが発生する原因になります。

密閉された部屋、あるいは小部屋などに据え付ける場合は、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行う。

●限界濃度を超えない対策については、販売店にご相談ください。
万一、冷媒が漏れて限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

作業中に冷媒が漏れた場合は、換気する。

●冷媒が火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

設置工事終了後、冷媒が漏れていないことを確認する。

●冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

据付けをする前に(環境)

⚠注意

精密機器・食品・動植物・美術品の保存など特殊用途には使用しない。

●保存物の品質低下などの原因になります。

次の場所への据付けは、避ける。
- ·可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- ·硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- ·機械油を使用するところ
- ·車両・船舶など移動するものへの設置
- ·高周波を発生する機械を使用するところ
- ·化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- ·海浜地区など塩分の多いところ
- ·積雪の多いところ

●性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする原因になります。

濡れて困るものの上にユニットを据え付けない。

●湿度が 80%を超える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合があります。また、暖房時には室外ユニットよりドレンがたれますので、必要に応じ室外ユニットの集中排水工事をしてください。

病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを十分に行う。

●インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になります。

据付(移設)工事をする前に

⚠注意

据付台などが傷んだ状態で放置しない。

●傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガなどの原因になります。

製品の運搬は、十分注意して行う。

●20kg以上の製品の運搬は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外を持って製品を動かさないでください。素手で部品端面やフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

梱包材の処理は、確実に行う。

●梱包材には「クギ」などの金属、あるいは木片などを使用していますので放置状態にしますとさし傷などのケガをするおそれがあります。

ユニットは必ず左右水平に据え付けること。

●据付けに不備があると露たれ、騒音の原因になります。

空調機の設置・修理などの作業を行う場所では、ガス燃焼機器・電気ヒーターなどの火元(着火源)となるものは、十分に遠ざける。

●冷媒が火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

エアコンを水洗いしない。

●感電・発火などの原因になります。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう断熱処理すること。

●配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床・その他家財などを濡らす原因になります。

冷媒配管の断熱は、結露しないように確実に行う。

●不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどが発生し、天井·床·その他大切なものを濡らす原因になります。
●接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

フレアナット飛びに注意する。(内部に圧力がかかっています)

●フレアナットは以下の手順ではずしてください。
1.「シュー」と音がするまでナットを緩める。
2.ガスが完全に抜けるまで(音がしなくなるまで)放置する。
3.ガスが完全に抜けたことを確認してナットをとりはずす。
※機種によっては圧力がかかっていない場合があります。

電気工事をする前に

⚠注意

電源には、必ず漏電遮断器を取り付ける。

●漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。

電気配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。

●漏電や発熱·火災などの原因になります。

電気配線は、張力が掛からないように配線工事をする。

●断線したり、発熱·火災などの原因になります。

アース工事を行う。

●アース線は、ガス管·水道管·避雷針·電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

正しい容量のブレーカー〈地絡·過負荷·短絡保護兼用の漏電遮断器〉を使用する。

●大きな容量のブレーカーを使用すると故障や火災などの原因になります。

元電源を切った後に電気工事をする。

●感電·故障や動作不良の原因になります。

試運転をする前に

⚠注意

パネルやガードをはずした状態で運転をしない。

●機器の回転物·高温部·高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

運転中の冷媒配管に素手で触れない。

●運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。

濡れた手でスイッチを操作しない。

●感電の原因になります。

運転停止後、すぐに電源を切らない。

●必ず5分以上待ってください。
水漏れや故障の原因になります。

冷媒R32/R410A使用機器使用上のお願い

当社指定以外の冷媒は使用しない。

●封入冷媒の種類は、室外ユニットに付属の据付工事説明書、あるいは銘板に記載されています。
●指定以外（R22など）の冷媒を使用すると、塩素により冷凍機油劣化などの原因になります。

冷媒配管は、JIS H 3300「銅及び銅合金継目無管」のC1220のりん脱酸銅・配管継手は、JIS B 8607に適合したものを使用する。
管及び継手の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄・酸化物・ゴミ・切粉など（コンタミネーション）の付着が無いことを確認する。
また配管の肉厚は所定のもの(8 ページ参照)を使用する。

●冷媒配管の内部にコンタミネーションの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。
●既設配管を使用する場合は下記点を注意してください。
・フレアナットは製品に付属されているもの（JIS第2種）に交換してください。また、フレア部は新たにフレア加工してください。
(8・9ページ参照)
・薄肉配管の使用は避けてください。(8・9ページ参照)
・再使用しようとしている配管本体に腐食・亀裂・傷・変形などがないことを点検してください。また、断熱材・支持部材などが著しく劣化していないか点検してください。劣化がある場合は補修又は交換してください。

据付けに使用する配管は、屋内に保管し、両端ともロウ付けする直前までシールしておく。(エルボなどの継手はビニール袋などに包んだ状態で保管)

●冷媒回路内にほこり・ゴミ・水分が混入しますと、油の劣化・圧縮機故障の原因になります。

フレア部に塗布する冷凍機油は、指定された冷凍機油を使用する。

●鉱油が多量に混入すると冷凍機油劣化などの原因になります。

チャージングシリンダーを使用しない。

●チャージングシリンダーを使用すると冷媒の組成が変化し、能力不足などの原因になります。

液冷媒にて封入してください。

●ガス冷媒で封入するとボンベ内冷媒の組織が変化し、能力不足などの原因になります。

逆流防止器付真空ポンプを使用する。

●冷媒回路内に真空ポンプ油が逆流し、機器の冷凍機油劣化などの原因になります。

下記の工具は冷媒R32用又はR410A用の専用ツールを使用する。

●冷媒R32用又はR410A用として下表の専用ツールが必要となります。
お問合わせは最寄りの「三菱電機システムサービス」へご連絡ください。

工具名（R32用又はR410A用）	
ゲージマニホールド	フレアツール
チャージホース	出し代調整用銅管ゲージ
ガス漏れ検知器	真空ポンプ用アダプター
トルクレンチ	冷媒充填用電子はかり
セーフティーチャージャー	真空計

工具類の管理に注意する。

●冷媒回路内にほこり・ゴミ・水分などが混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。

無酸化ロウ付けを行う。

●無酸化ロウ付けを行わないと、圧縮機の破損につながるおそれがあります。必ず窒素置換による無酸化ロウ付けをしてください。市販の酸化防止剤は配管腐食や冷媒機油の劣化の原因になることがあるので使用しないでください。詳細については、お問合わせください。

■別売部品一覧

●機種別索引

〈1〉4方向天井カセット形《i-スクエアタイプ》　PL-ZRP・HA2 ／ PL-ERP・HA2 ／ PL-HRP・HA2

部品名	形名	頁
■化粧パネル		
ムーブアイセンサーパネル	PLP-P160HWF	1-1
標準パネル（ピュアホワイト）	PLP-P160HWH	1-2
カラーインテリアパネル（ベージュ）	PLP-P160HC	1-2
カラーインテリアパネル（グレー）	PLP-P160HH	1-2
カラーインテリアパネル（ブラウン）	PLP-P160HT	1-2
カラーインテリアパネル（ブラック）	PLP-P160HB	1-2
ムーブアイセンサーパネルカンタン自動パネル（自動昇降）	PLP-P160HJWF	1-9
標準パネルカンタン自動パネル（自動昇降）	PLP-P160HJWH	1-10
フィルター自動清掃ユニット	PLP-U160CH	1-15
フィルター自動清掃ユニット用ムーブアイセンサーパネル	PLP-P160HWFC	1-17
フィルター自動清掃ユニット用標準パネル	PLP-P160HWC	1-18
「ヘルスエアー機能」搭載クリーンユニット	PAC-SK63HAU	1-27
左右ルーバーユニット	PLP-U160HLR	1-38
昇降パネルリモコン（※）	PAC-SJ49RC	12-87
スペースパネル	PAC-SK64AS	1-47
ワイドパネル	PAC-SK65WP	1-49
ワイドパネル	PAC-SK66WP	1-49
吹出口シャッタープレート	PAC-SK67SP	1-51
■リモコン		
MAスマートリモコン（※）	PAR-45MA	12-39
MAスムースリモコン（※）	PAR-26MA2	12-50
リモコンケーブル（※）	PAC-YT81HC	12-73
リモコンケーブル（※）	PAC-YT82HC	12-73
ワイヤレスリモコンキット（操作部＋受光部キット）	PAR-SK6TA	1-53
ワイヤレスリモコン（操作部）（※）	PAR-SC4UA	12-77
ワイヤレス受光部キット	PAR-SR5LA	1-57
無線通信キット	PAR-SB1LA	1-60
配線リプレースキット	PAC-SK68HR	1-63
直付方式加湿器	PAC-SK69HU	1-66
アレル除菌フィルター	PAC-SK70KF	1-72
多機能ケースメント	PAC-SK76TM	1-88
パワー脱臭フィルター（脱臭効率80%）	PAC-SH57CF	1-75
カンタン自動パネル（ムーブアイセンサー・標準）用高性能フィルターエレメント（捕集率65%）	PAC-SK73KF	1-78
カンタン自動パネル（ムーブアイセンサー・標準）用高性能フィルターエレメント（捕集率90%）	PAC-SK74KF	1-78
ムーブアイセンサー・標準パネル用高性能フィルターエレメント（捕集率65%）	PAC-SK71KF	1-77
ムーブアイセンサー・標準パネル用高性能フィルターエレメント（捕集率90%）	PAC-SK72KF	1-77
ハイメッシュフィルター	PAC-SK75KF	1-80
高湿度対応キット	PAC-SK78HK	1-82
クリーンフィルター（多機能ケースメント不要）	PAC-SK77KF	1-91
外気取入ダクトフランジ（※）	PAC-SH65OF	12-135
分ダクトフランジ	PAC-SH66BF	1-94
上吊り金具	PAC-SK95TK	1-96
上吊り金具	PAC-SK96TK	1-97
横吊り金具	PAC-SK79LK	1-99

※共通部品(P.12-1 ～)として掲載しています。

〈2〉4方向天井カセット形《コンパクトタイプ》　PL-RP・GA5

部品名	形名	頁
■化粧パネル		
ムーブアイセンサーパネル	PLP-P80GWF2	2-1
標準パネル（クリアホワイト）	PLP-P80GWH2	2-2
カラーインテリアパネル（ベージュ）	PLP-P80GC2	2-2
カラーインテリアパネル（グレー）	PLP-P80GH2	2-2
カラーインテリアパネル（ブラック）	PLP-P80GB2	2-2
カラーインテリアパネル（ブラウン）	PLP-P80GT2	2-2
スペースパネル	PAC-SK06AS	2-10
ワイドパネル	PAC-SK07WP	2-12
吹出口シャッタープレート	PAC-SK08SP	2-14
■リモコン		
MAスマートリモコン（※）	PAR-45MA	12-39
MAスムースリモコン（※）	PAR-26MA2	12-50
リモコンケーブル（※）	PAC-YT81HC	12-73

部品名	形名	頁
リモコンケーブル（※）	PAC-YT82HC	12-73
ワイヤレスリモコン（操作部）（※）	PAR-SC4UA	12-77
ワイヤレス受光部キット	PAR-SR4LA	2-7
配線リプレースキット	PAC-SK09HR	2-19
加湿器（別吊方式）（※）	PAC-SF10HU	12-130
アレル除菌フィルター	PAC-SK45KF	2-16
ハイメッシュフィルター	PAC-SK11KF	2-17
外気取入用ケースメント	PAC-SK12TM	2-22
上吊り金具	PAC-SK13TK	2-25

※共通部品(P.12-1 ～)として掲載しています。

〈3〉2 方向天井カセット形　PL-RP・LA19

■化粧パネル

塗装パネル	CMP-P45LWHG6	3-1
塗装パネル	CMP-P71LWHG6	3-1
塗装パネル	CMP-P140LWHG6	3-1
天井材組込用パネル	CMP-P45LXHG6	3-1
天井材組込用パネル	CMP-P71LXHG6	3-1
天井材組込用パネル	CMP-P140LXHG6	3-1
自動昇降用パネル	CMP-P45ALWHG6	3-8
自動昇降用パネル	CMP-P71ALWHG6	3-8
自動昇降用パネル	CMP-P140ALWHG6	3-8
ムーブアイセンサーパネル	CMP-P45LWEG6	3-1
ムーブアイセンサーパネル	CMP-P71LWEG6	3-1
ムーブアイセンサーパネル	CMP-P140LWEG6	3-1
自動昇降用ムーブアイセンサーパネル	CMP-P45ALWEG6	3-8
自動昇降用ムーブアイセンサーパネル	CMP-P71ALWEG6	3-8
自動昇降用ムーブアイセンサーパネル	CMP-P140ALWEG6	3-8
昇降パネルリモコン（※）	PAC-SJ49RC	12-87
リプレースパネル (標準タイプ)	PAC-KW45LWR	3-22
リプレースパネル (標準タイプ)	PAC-KW71LWR	3-22
リプレースパネル (標準タイプ)	PAC-KW140LWR	3-22
リプレースパネル (ロングタイプ)	PAC-KW45LWRL	3-22
リプレースパネル (ロングタイプ)	PAC-KW140LWRL	3-22
吹き分けプレート (7:3)	PAC-KW61SFP	3-27
吹き分けプレート (7:3)	PAC-KW63SFP	3-27
吹き分けプレート (7:3)	PAC-KW64SFP	3-27

■リモコン

MA スマートリモコン（※）	PAR-45MA	12-39
MA スムースリモコン（※）	PAR-26MA2	12-50
リモコンケーブル（※）	PAC-YT81HC	12-73
リモコンケーブル（※）	PAC-YT82HC	12-73
ワイヤレスリモコン（操作部）（※）	PAR-SC4UA	12-77
ワイヤレスリモコン（受光部）（A 制御用）（※）	PAR-SA9PA2	12-83
配線リプレースキット（※）	PAC-SG97HR	12-123
加湿器 (左勝手)	PAC-KW16HUL	3-32
加湿器 (左勝手)	PAC-KW18HUL	3-32
加湿器 (右勝手)	PAC-KW26HUR	3-33
加湿器 (右勝手)	PAC-KW28HUR	3-33
アレル除菌フィルター	PAC-KW60JAF	3-45
パワー脱臭フィルター	PAC-KW01PCF	3-60
パワー脱臭フィルター	PAC-KW03PCF	3-60
高性能フィルター (捕集率 65%)	PAC-KW31AF	3-55
高性能フィルター (捕集率 65%)	PAC-KW33AF	3-55
高性能フィルター (捕集率 90%)	PAC-KW41AF	3-55
高性能フィルター (捕集率 90%)	PAC-KW43AF	3-55
多機能ケースメント	PAC-KW77TB	3-65
多機能ケースメント	PAC-KW78TB	3-65
多機能ケースメント	PAC-KW79TB	3-65
スペーサー	PAC-KW85TB	3-71
スペーサー	PAC-KW86TB	3-71
スペーサー	PAC-KW87TB	3-71
高湿度対応キット	PAC-KG51HK	3-77
高湿度対応キット	PAC-KG52HK	3-77
高湿度対応キット	PAC-KG53HK	3-77
外気取入ダクトフランジ	PAC-KG110F	3-83

※共通部品(P.12-1 ～)として掲載しています。

〈4〉1 方向天井カセット形　PM-(H)RP・FA19

部品名	形名	頁
■化粧パネル		
ムーブアイセンサーパネル	PMP-P80FWF11	4-1
標準パネル	PMP-P80FWH11	4-2
前吹出しグリル	PAC-SJ13GS	4-6
ワイドパネル	PAC-SJ14WP	4-11
■リモコン		
MA スマートリモコン（※）	PAR-45MA	12-39
MA スムースリモコン（※）	PAR-26MA2	12-50
リモコンケーブル（※）	PAC-YT81HC	12-73
リモコンケーブル（※）	PAC-YT82HC	12-73
ワイヤレスリモコン（受光部）（ムーブアイセンサー付き）	PAR-SR1FA	4-13
ワイヤレスリモコン（受光部）（標準タイプ）	PAR-SR2MA	4-14
ワイヤレスリモコン（操作部）（※）	PAR-SC4UA	12-77
左右ベーン	PAC-SJ15LR	4-19
加湿器（別吊方式）（※）	PAC-SF10HU	12-130
アレル除菌フィルター	PAC-SK47KF	4-21
外気取入ダクトフランジ（※）	PAC-SH65OF	12-135
配線リプレースキット（※）	PAC-SJ58HR	12-119
上吊り金具	PAC-SJ59TK	4-22

※共通部品(P.12-1 ～)として掲載しています。

〈5〉天井ビルトイン形　PD-RP・GA19

部品名	形名	頁
■メンテナンスパネル		
吸込口付メンテナンスパネル（塗装）	CMP-P56DLWHG	5-1
吸込口付メンテナンスパネル（塗装）	CMP-P90DLWHG	5-1
吸込口付メンテナンスパネル（塗装）	CMP-P160DLWHG	5-1
吸込口付メンテナンスパネル（天井材組込用）	CMP-P56DLXHG	5-1
吸込口付メンテナンスパネル（天井材組込用）	CMP-P90DLXHG	5-1
吸込口付メンテナンスパネル（天井材組込用）	CMP-P160DLXHG	5-1
メンテナンスパネル（塗装、天井材組込用兼用）	CMP-P90DMWG1	5-7
メンテナンスパネル（塗装、天井材組込用兼用）	CMP-P160DMWG1	5-7
■リモコン		
MA スマートリモコン（※）	PAR-45MA	12-39
MA スムースリモコン（※）	PAR-26MA2	12-50
リモコンケーブル（※）	PAC-YT81HC	12-73
リモコンケーブル（※）	PAC-YT82HC	12-73
ワイヤレスリモコン（受光部）（A 制御用）（※）	PAR-SA9PA2	12-83
ワイヤレスリモコン（操作部）（※）	PAR-SC4UA	12-77
配線リプレースキット（※）	PAC-SG97HR	12-123
アレル除菌フィルター	PAC-KD60JAF	5-9
アレル除菌フィルター（高性能フィルター併用時）	PAC-KF70JAF	5-9
高性能フィルター（捕集率 65%）	PAC-KF11PAF	5-19
高性能フィルター（捕集率 65%）	PAC-KF12PAF	5-19
高性能フィルター（捕集率 65%）	PAC-KF13PAF	5-19
高性能フィルター（捕集率 90%）	PAC-KF21PAF	5-19
高性能フィルター（捕集率 90%）	PAC-KF22PAF	5-19
高性能フィルター（捕集率 90%）	PAC-KF23PAF	5-19
下吸込用高性能フィルターボックス	PAC-KD51STB	5-23
下吸込用高性能フィルターボックス	PAC-KD52STB	5-23
下吸込用高性能フィルターボックス	PAC-KD53STB	5-23
後吸込用フィルターボックス	PAC-KF51TB	5-26
後吸込用フィルターボックス	PAC-KF52TB	5-26
後吸込用フィルターボックス	PAC-KF53TB	5-26
加湿器	PAC-KD26CH	5-32
加湿器	PAC-KD28CH	5-32
加湿器	PAC-KD29CH	5-32

部品名	形名	頁
加湿器用角ダクトフランジ	PAC-KF56CHF	5-43
加湿器用角ダクトフランジ	PAC-KF58CHF	5-43
加湿器用角ダクトフランジ	PAC-KF59CHF	5-43
下吸込キャンバスダクト	PAC-KD46CDF	5-46
下吸込キャンバスダクト	PAC-KD47CDF	5-46
下吸込キャンバスダクト	PAC-KD48CDF	5-46
吹出口ユニット（オートベーン付）	PAC-KD09UN	5-50
吹出口ユニット（オートベーンなし）	PAC-SH19UN	5-58
円形ダクト	PAC-KD01FD	5-60
円形ダクト	PAC-KD02FD	5-60
分岐ダクト	PAC-KD03BJ	5-61

※共通部品(P.12-1 ～)として掲載しています。

〈6〉天井埋込形　PE-RP・DA19 ／ EA3

■リモコン

MA スマートリモコン（※）	PAR-45MA	12-39
MA スムースリモコン（※）	PAR-26MA2	12-50
リモコンケーブル（※）	PAC-YT81HC	12-73
リモコンケーブル（※）	PAC-YT82HC	12-73
ワイヤレスリモコン（受光部）（A 制御用）（※）	PAR-SA9PA2	12-83
ワイヤレスリモコン（操作部）（※）	PAR-SC4UA	12-77
配線リプレースキット（※）	PAC-SG97HR	12-123
清潔 V フィルター（ロングライフ仕様）	PAC-KF07LAF	6-1
清潔 V フィルター（ロングライフ仕様）	PAC-KF08LAF	6-1
清潔 V フィルター（ロングライフ仕様）	PAC-KF09LAF	6-1
アレル除菌フィルター	PAC-KD60JAF	5-9
アレル除菌フィルター（高性能フィルター併用時）	PAC-KF70JAF	5-9
アレル除菌フィルター	PAC-KE71JAF	6-2
高性能フィルター（捕集率 65%）	PAC-KF11PAF	5-19
高性能フィルター（捕集率 65%）	PAC-KF12PAF	5-19
高性能フィルター（捕集率 65%）	PAC-KF13PAF	5-19
高性能フィルター（捕集率 90%）	PAC-KF21PAF	5-19
高性能フィルター（捕集率 90%）	PAC-KF22PAF	5-19
高性能フィルター（捕集率 90%）	PAC-KF23PAF	5-19
高性能フィルター（捕集率 65%）	PAC-KE35PAF	6-3
高性能フィルター（捕集率 90%）	PAC-KE45PAF	6-3
ロングライフフィルター	PAC-KE85LAF	6-4
フィルターボックス	PAC-KF51TB	5-26
フィルターボックス	PAC-KF52TB	5-26
フィルターボックス	PAC-KF53TB	5-26
フィルターボックス	PAC-KE95TB	6-7
ダブルフィルターボックス	PAC-KE58WTB	6-10
ドレンアップメカ	PAC-KM38DM	6-14
加湿器	PAC-KD26CH	5-32
加湿器	PAC-KD28CH	5-32
加湿器	PAC-KD29CH	5-32
加湿器用ダクトフランジ	PAC-KF56CHF	5-43
加湿器用ダクトフランジ	PAC-KF58CHF	5-43
加湿器用ダクトフランジ	PAC-KF59CHF	5-43

※共通部品(P.12-1 ～)として掲載しています。

〈7〉 天吊形　PC-RP・KA(L)19 ／ BA19 ／ CA19

部品名	形名	頁
■リモコン		
MA スマートリモコン（※）	PAR-45MA	12-39
MA スムースリモコン（※）	PAR-26MA2	12-50
リモコンケーブル（※）	PAC-YT81HC	12-73
リモコンケーブル（※）	PAC-YT82HC	12-73
天吊形ワイヤレスリモコン受光部	PAR-SR2EA	7-1
ワイヤレスリモコン（受光部）（A 制御用）（※）	PAR-SA9PA2	12-83
ワイヤレスリモコン（操作部）（※）	PAR-SC4UA	12-77
自動昇降キット	PAC-SJ78JK	7-4
自動昇降キット	PAC-SJ79JK	7-4
自動昇降キット	PAC-SJ80JK	7-4
昇降パネルリモコン（※）	PAC-SJ49RC	12-87
配線リプレースキット（※）	PAC-SG96HR	12-122
アレル除菌フィルター	PAC-SK48KF	7-9
アレル除菌フィルター	PAC-SK49KF	7-9
アレル除菌フィルター	PAC-SK50KF	7-9
フィルターケースメント	PAC-SH77AF	7-10
フィルターケースメント	PAC-SH78AF	7-10
フィルターケースメント	PAC-SH79AF	7-10
高性能フィルターエレメント（捕集率 65%）	PAC-SL06KF	7-12
高性能フィルターエレメント（捕集率 65%）	PAC-SL07KF	7-12
高性能フィルターエレメント（捕集率 65%）	PAC-SL08KF	7-12
オイルガードフィルター	PAC-SH88KF	7-14
オイルガードフィルター	PAC-SH89KF	7-14
オイルガードフィルター	PAC-SH90KF	7-14
外気取入ダクトフランジ（※）	PAC-SH65OF	12-135
ドレンアップメカ	PAC-SH83DM	7-16
ドレンアップメカ	PAC-SH84DM	7-16
ドレンアップメカ	PAC-KM33DM	7-20
ロングライフフィルター	PAC-KB18LAF	7-23
ロングライフフィルター	PAC-KB19LAF	7-23
下吸込用ボックス	PAC-KB76TB	7-25
下吸込用ボックス	PAC-KB77TB	7-25

※共通部品(P.12-1 ～)として掲載しています。

〈8〉 壁掛形　PK-RP・LA3 ／ KA19

部品名	形名	頁
■リモコン		
MA スマートリモコン（※）	PAR-45MA	12-39
MA スムースリモコン（※）	PAR-26MA2	12-50
リモコンケーブル（※）	PAC-YT81HC	12-73
リモコンケーブル（※）	PAC-YT82HC	12-73
ワイヤレスリモコン（操作部）（※）	PAR-SC4UA	12-77
ドレンアップメカ	PAC-SK01DM	8-1
ドレンアップメカ	PAC-SK19DM	8-4

※共通部品(P.12-1 ～)として掲載しています。

〈9〉床置形　PS-RP・KA19 ／ PF-RP・EA3

■リモコン

MA スマートリモコン（※）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAR-45MA ・・・・・・・・・12-39
ワイヤレス受光部（A 制御用）（※）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAR-SA9PA2 ・・・・・・・・12-83
ワイヤレスリモコン（操作部）（※）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAR-SC4UA・・・・・・・・・12-77

配線リプレースキット（※）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SG96HR ・・・・・・・12-122
配線リプレースキット（※）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SJ20HR ・・・・・・・12-128
床置形用 A 制御運転表示キット（KA タイプ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SJ81RM ・・・・・・・・・ 9-1
リモコン端子盤キット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SH29TC ・・・・・・・・・ 9-4

※共通部品(P.12-1 ～)として掲載しています。

〈10〉厨房用　PC-RP・HA19

■リモコン

MA スマートリモコン（※）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAR-45MA ・・・・・・・・・ 12-39
MA スムースリモコン（※）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAR-26MA2・・・・・・・・・ 12-50
リモコンケーブル（※）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-YT81HC ・・・・・・・・ 12-73
リモコンケーブル（※）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-YT82HC ・・・・・・・・ 12-73

配線リプレースキット（※）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SG97HR ・・・・・・・12-123
厨房用フレッシュエアー用ダクトフランジ（φ 200）・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SF28OF ・・・・・・・・・ 10-1
交換用オイルミストフィルターエレメント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SG38KF ・・・・・・・・・ 10-3
化粧カバー（フロント＋吊金具カバー）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SF81KC ・・・・・・・・・ 10-5
化粧カバー（フロント＋吊金具カバー）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SF82KC ・・・・・・・・・ 10-5
フレキシブルダクト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SK28FD ・・・・・・・・・ 10-7
断熱フレキシブルダクト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SK29DD ・・・・・・・・・ 10-8
防露テープ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SK34BT ・・・・・・・・ 10-10

※共通部品(P.12-1 ～)として掲載しています。

〈11〉室外ユニット　PUZ-ZRMP・HA13 ／ KA13, PUZ-ZRMP・KA3, PUZ-ERMP・HA13 ／ KA13 ／ LA13 PUZ-ERMP・KA3, PUZ-HRMP・KA7, PUZ-DHRMP・KA2

エアガイド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SJ06AG ・・・・・・・・・ 11-1
エアガイド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SH95AG ・・・・・・・・・ 11-2
エアガイド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SJ03AG ・・・・・・・・・ 11-4
吹出ガイド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SJ07SG ・・・・・・・・・ 11-6
吹出ガイド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SJ04SG ・・・・・・・・・ 11-8
吹出ガイド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SH96SG ・・・・・・・・ 11-10
ドレンソケット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SJ08DS ・・・・・・・・ 11-12
ドレンソケット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SJ73DS ・・・・・・・・ 11-14
集中排水ドレンパン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SG63DP ・・・・・・・・ 11-16
集中排水ドレンパン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SG64DP ・・・・・・・・ 11-17
集中排水ドレンパン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SH97DP ・・・・・・・・ 11-19
安全ネット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SJ09AN ・・・・・・・・ 11-21
安全ネット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SG66AN ・・・・・・・・ 11-22
安全ネット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SH30AN ・・・・・・・・ 11-23
安全ネット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SH98AN ・・・・・・・・ 11-25
安全ネット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PAC-SJ74AN ・・・・・・・・ 11-27

部品名	形名	頁
背面用網	PAC-SJ51RG	11-29
背面用網	PAC-SJ32RG	11-31
背面用網	PAC-SJ33RG	11-32
背面用網	PAC-SJ90RG	11-34
背面用網	PAC-SJ76RG	11-36
M-NET 接続用アダプタ	PAC-SK15MA	11-38
M-NET 接続用アダプタ	PAC-SJ98MA	11-43
凍結防止ヒーター	PAC-SJ11BH	11-48
凍結防止ヒーター	PAC-SH35BH	11-52
凍結防止ヒーター	PAC-SK18BH	11-55
凍結防止ヒーター	PAC-SJ75BH	11-58
高調波対策用アクティブフィルター	PAC-KR51EAC	11-60
配管用ドライヤ（液管φ 6.35 用）	PAC-SG81DR	11-77
配管用ドライヤ（液管φ 9.52 用）	PAC-SG82DR	11-77
配管用ドライヤ（液管φ 12.7 用）	PAC-SG85DR	11-77
散水キット（エコアップシャワー）	PAC-SJ12ESS	11-79
散水キット（エコアップシャワー）	PAC-SH36ESS	11-84
散水キット（エコアップシャワー）	PAC-SJ02ESS	11-89
散水キット（エコアップシャワー）	PAC-SJ77ESS	11-94
低騒音化ボード	PAC-SK33TSB	11-99
低騒音化セット	PAC-SK30TS-ST	11-100

※共通部品(P.12-1 ～)として掲載しています。

〈12〉共通部品

部品名	形名	頁
分配管（同時ツイン用）	SDD-50SR8	12-1
分配管（同時ツイン用）	SDD-50WR8	12-2
分配管（同時トリプル用）	SDT-111R8	12-4
分配管（同時フォー用）	SDF-1111R8	12-6
異径ジョイント	PAC-SG72RJ	12-8
異径ジョイント	PAC-SG73RJ	12-8
異径ジョイント	PAC-SG74RJ	12-8
異径ジョイント	PAC-SG75RJ	12-8
A 制御遠方表示キット	PAC-SE56RM	12-10
A 制御運転表示キット	PAC-SF40RM	12-15
遠方操作リレーキット	PAC-SA86SK	12-18
外部入力アダプター	PAC-SC36NA	12-20
A 制御サービス点検キット	PAC-SG50ST	12-22
ロスナイ連動ケーブル	PAC-SB81VS	12-23
温度センサー	PAC-SE40TS-W	12-25
M-NET 接続用インターフェース	PAC-SL05MF	12-28
遠方表示用アダプタ	PAC-SA88HA	12-34
遠方発停用アダプタ	PAC-SE55RA	12-36
MA スマートリモコン（※）	PAR-45MA	12-39
MA スムースリモコン（※）	PAR-26MA2	12-50
MA コンパクトリモコン（※）	PAC-SF01CR	12-64
リモコンケーブル（※）	PAC-YT81HC	12-73
リモコンケーブル（※）	PAC-YT82HC	12-73
ワイヤレスリモコン（操作部）（※）	PAR-SC2SA	12-74
ワイヤレスリモコン（操作部）（※）	PAR-SC4UA	12-77
ワイヤレス受光部（A 制御用）（※）	PAR-SA9PA2	12-83
昇降パネルリモコン（※）	PAC-SJ49RC	12-87
別置ムーブアイコントロールユニット（※）	PAC-SK41BM	12-89
HA 端子接続用ケーブル（※）	PAC-SK31HN	12-114
無線 LAN アダプタ（受注対応品）（※）	PAC-SK43ML	12-116
配線リプレースキット（※）	PAC-SJ58HR	12-119
配線リプレースキット（※）	PAC-SG96HR	12-122
配線リプレースキット（※）	PAC-SG97HR	12-123
配線リプレースキット（※）	PAC-SJ20HR	12-128
加湿器（別吊方式）（※）	PAC-SF10HU	12-130
外気取入ダクトフランジ（※）	PAC-SH65OF	12-135

※室内ユニット用部品ですが、共通部品として掲載しています。

MEMO

●形名索引

形 名	頁	形 名	頁
CMP-P140ALWEG6	3-8	PAC-KG53HK	3-77
CMP-P140ALWHG6	3-8	PAC-KM33DM	7-20
CMP-P140LWEG6	3-1	PAC-KM38DM	6-14
CMP-P140LWHG6	3-1	PAC-KR51EAC	11-60
CMP-P140LXHG6	3-1	PAC-KW01PCF	3-60
CMP-P160DLWHG	5-1	PAC-KW03PCF	3-60
CMP-P160DLXHG	5-1	PAC-KW140LWR	3-22
CMP-P160DMWG1	5-7	PAC-KW140LWRL	3-22
CMP-P45ALWEG6	3-8	PAC-KW16HUL	3-32
CMP-P45ALWHG6	3-8	PAC-KW18HUL	3-32
CMP-P45LWEG6	3-1	PAC-KW26HUR	3-33
CMP-P45LWHG6	3-1	PAC-KW28HUR	3-33
CMP-P45LXHG6	3-1	PAC-KW31AF	3-55
CMP-P56DLWHG	5-1	PAC-KW33AF	3-55
CMP-P56DLXHG	5-1	PAC-KW41AF	3-55
CMP-P71ALWEG6	3-8	PAC-KW43AF	3-55
CMP-P71ALWHG6	3-8	PAC-KW45LWR	3-22
CMP-P71LWEG6	3-1	PAC-KW45LWRL	3-22
CMP-P71LWHG6	3-1	PAC-KW60JAF	3-45
CMP-P71LXHG6	3-1	PAC-KW61SFP	3-27
CMP-P90DLWHG	5-1	PAC-KW63SFP	3-27
CMP-P90DLXHG	5-1	PAC-KW64SFP	3-27
CMP-P90DMWG1	5-7	PAC-KW71LWR	3-22
PAC-KB18LAF	7-23	PAC-KW77TB	3-65
PAC-KB19LAF	7-23	PAC-KW78TB	3-65
PAC-KB76TB	7-25	PAC-KW79TB	3-65
PAC-KB77TB	7-25	PAC-KW85TB	3-71
PAC-KD01FD	5-60	PAC-KW86TB	3-71
PAC-KD02FD	5-60	PAC-KW87TB	3-71
PAC-KD03BJ	5-61	PAC-SA86SK	12-18
PAC-KD09UN	5-50	PAC-SA88HA	12-34
PAC-KD26CH	5-32	PAC-SB81VS	12-23
PAC-KD28CH	5-32	PAC-SC36NA	12-20
PAC-KD29CH	5-32	PAC-SE40TS-W	12-25
PAC-KD46CDF	5-46	PAC-SE55RA	12-36
PAC-KD47CDF	5-46	PAC-SE56RM	12-10
PAC-KD48CDF	5-46	PAC-SF01CR	12-64
PAC-KD51STB	5-23	PAC-SF10HU	12-130
PAC-KD52STB	5-23	PAC-SF280F	10-1
PAC-KD53STB	5-23	PAC-SF40RM	12-15
PAC-KD60JAF	5-9	PAC-SF81KC	10-5
PAC-KE35PAF	6-3	PAC-SF82KC	10-5
PAC-KE45PAF	6-3	PAC-SG38KF	10-3
PAC-KE58WTB	6-10	PAC-SG50ST	12-22
PAC-KE71JAF	6-2	PAC-SG63DP	11-16
PAC-KE85LAF	6-4	PAC-SG64DP	11-17
PAC-KE95TB	6-7	PAC-SG66AN	11-22
PAC-KF07LAF	6-1	PAC-SG72RJ	12-8
PAC-KF08LAF	6-1	PAC-SG73RJ	12-8
PAC-KF09LAF	6-1	PAC-SG74RJ	12-8
PAC-KF11PAF	5-19	PAC-SG75RJ	12-8
PAC-KF12PAF	5-19	PAC-SG81DR	11-77
PAC-KF13PAF	5-19	PAC-SG82DR	11-77
PAC-KF21PAF	5-19	PAC-SG85DR	11-77
PAC-KF22PAF	5-19	PAC-SG96HR	12-122
PAC-KF23PAF	5-19	PAC-SG97HR	12-123
PAC-KF51TB	5-26	PAC-SH19UN	5-58
PAC-KF52TB	5-26	PAC-SH29TC	9-4
PAC-KF53TB	5-26	PAC-SH30AN	11-23
PAC-KF56CHF	5-43	PAC-SH35BH	11-52
PAC-KF58CHF	5-43	PAC-SH36ESS	11-84
PAC-KF59CHF	5-43	PAC-SH57CF	1-75
PAC-KF70JAF	5-9	PAC-SH650F	12-135
PAC-KG110F	3-83	PAC-SH66BF	1-94
PAC-KG51HK	3-77	PAC-SH77AF	7-10
PAC-KG52HK	3-77	PAC-SH78AF	7-10

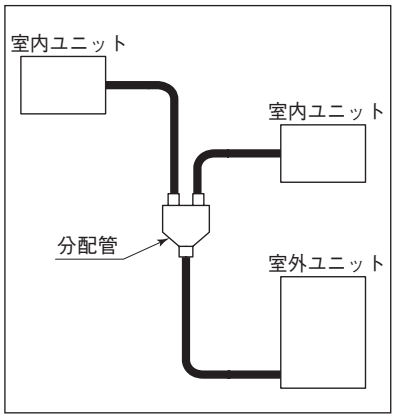
●形名索引

形 名	頁
PAC-SH79AF	7-10
PAC-SH83DM	7-16
PAC-SH84DM	7-16
PAC-SH88KF	7-14
PAC-SH89KF	7-14
PAC-SH90KF	7-14
PAC-SH95AG	11-2
PAC-SH96SG	11-10
PAC-SH97DP	11-19
PAC-SH98AN	11-25
PAC-SJ02ESS	11-89
PAC-SJ03AG	11-4
PAC-SJ04SG	11-8
PAC-SJ06AG	11-1
PAC-SJ07SG	11-6
PAC-SJ08DS	11-12
PAC-SJ09AN	11-21
PAC-SJ11BH	11-48
PAC-SJ12ESS	11-79
PAC-SJ13GS	4-6
PAC-SJ14WP	4-11
PAC-SJ15LR	4-19
PAC-SJ20HR	12-128
PAC-SJ32RG	11-31
PAC-SJ33RG	11-32
PAC-SJ49RC	12-87
PAC-SJ51RG	11-29
PAC-SJ58HR	12-119
PAC-SJ59TK	4-22
PAC-SJ73DS	11-14
PAC-SJ74AN	11-27
PAC-SJ75BH	11-58
PAC-SJ76RG	11-36
PAC-SJ77ESS	11-94
PAC-SJ78JK	7-4
PAC-SJ79JK	7-4
PAC-SJ80JK	7-4
PAC-SJ81RM	9-1
PAC-SJ90RG	11-34
PAC-SJ98MA	11-43
PAC-SK01DM	8-1
PAC-SK06AS	2-10
PAC-SK07WP	2-12
PAC-SK08SP	2-14
PAC-SK09HR	2-19
PAC-SK11KF	2-17
PAC-SK12TM	2-22
PAC-SK13TK	2-25
PAC-SK15MA	11-38
PAC-SK18BH	11-55
PAC-SK19DM	8-4
PAC-SK28FD	10-7
PAC-SK29DD	10-8
PAC-SK30TS-ST	11-100
PAC-SK31HN	12-114
PAC-SK33TSB	11-99
PAC-SK34BT	10-10
PAC-SK41BM	12-89
PAC-SK43ML	12-116
PAC-SK45KF	2-16
PAC-SK47KF	4-21
PAC-SK48KF	7-9
PAC-SK49KF	7-9
PAC-SK50KF	7-9
PAC-SK63HAU	1-27
PAC-SK64AS	1-47
PAC-SK65WP	1-49
PAC-SK66WP	1-49
PAC-SK67SP	1-51
PAC-SK68HR	1-63
PAC-SK69HU	1-66
PAC-SK70KF	1-72
PAC-SK71KF	1-77
PAC-SK72KF	1-77
PAC-SK73KF	1-78
PAC-SK74KF	1-78
PAC-SK75KF	1-80
PAC-SK76TM	1-88
PAC-SK77KF	1-91
PAC-SK78HK	1-82
PAC-SK79LK	1-99
PAC-SK95TK	1-96
PAC-SK96TK	1-97
PAC-SL05MF	12-28
PAC-SL06KF	7-12
PAC-SL07KF	7-12
PAC-SL08KF	7-12
PAC-YT81HC	12-73
PAC-YT82HC	12-73
PAR-26MA2	12-50
PAR-45MA	12-39
PAR-SA9PA2	12-83
PAR-SB1LA	1-60
PAR-SC2SA	12-74
PAR-SC4UA	12-77
PAR-SK6TA	1-53
PAR-SR1FA	4-13
PAR-SR2EA	7-1
PAR-SR2MA	4-14
PAR-SR4LA	2-7
PAR-SR5LA	1-57
PLP-P160HB	1-2
PLP-P160HC	1-2
PLP-P160HH	1-2
PLP-P160HJWF	1-9
PLP-P160HJWH	1-10
PLP-P160HT	1-2
PLP-P160HWC	1-18
PLP-P160HWF	1-1
PLP-P160HWFC	1-17
PLP-P160HWH	1-2
PLP-P80GB2	2-2
PLP-P80GC2	2-2
PLP-P80GH2	2-2
PLP-P80GT2	2-2
PLP-P80GWF2	2-1
PLP-P80GWH2	2-2
PLP-U160CH	1-15
PLP-U160HLR	1-38
PMP-P80FWF11	4-1
PMP-P80FWH11	4-2
SDD-50SR8	12-1
SDD-50WR8	12-2
SDF-1111R8	12-6
SDT-111R8	12-4

分配管（同時ツイン用）

● SDD-50SR8

使用目的 / 用途



●“分配管”は、室内ユニットを同時運転タイプ（ツイン：2 台）組み合わせ時に使用する分岐管です。

室外ユニット	室内ユニット能力（50：50）	室外ユニット	室内ユニット能力（50：50）
80 形	40 形 +40 形	140 形	71 形 +71 形
112 形	56 形 +56 形	160 形	80 形 +80 形

注　意

・冷媒配管（現地手配）とジョイントは分岐管（本品）の拡管部に止まるまで挿入し、無酸化ロウ付にて接続してください。
・配管接続作業の際、配管内部にゴミなどの異物が入らないように注意してください。

対象ユニット

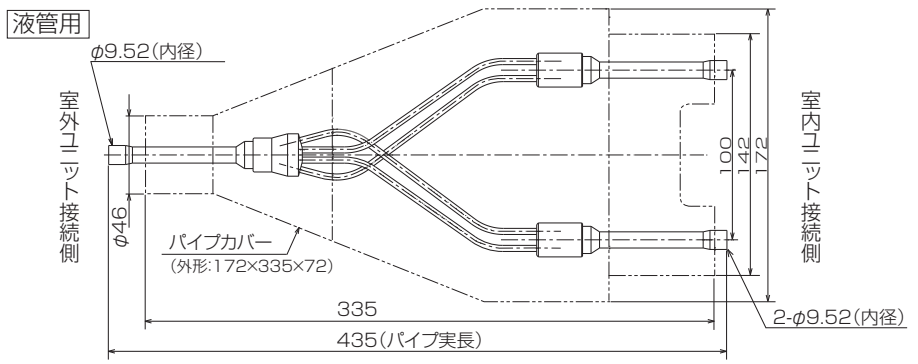
● P80 ～ P160 形
〈室内ユニット能力比 50：50〉

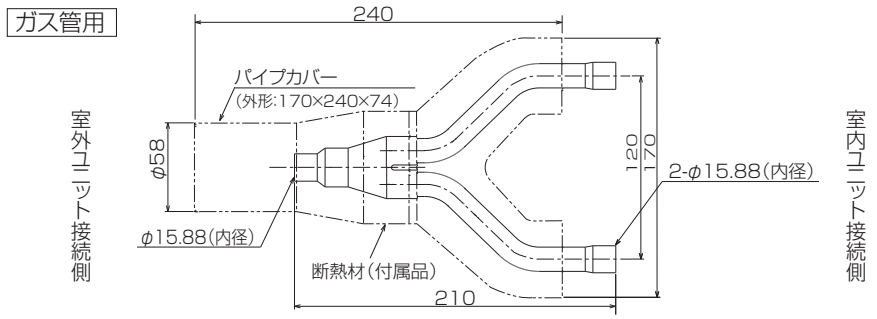
仕　様

形　　名		SDD-50SR8
本　体	分　配　比	室外ユニット容量を 50：50 に 2 分配
	分配管本数	液管用・ガス管用　各 1 本
	パイプ材質	リン脱酸銅　C1220T-0L（JIS H3300）
付属品	パイプカバー	発泡スチロール成型品（液管・ガス管用　各 1 個）
	異　径　管	3 種類　5 本

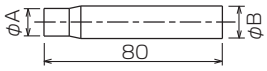
※ SDD-50SR5 の代替として使用できます。

外形図（単位：mm）

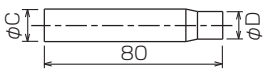




異径管(付属品)



φA(内径)	φB(外径)	本数
6.35	9.52	2
12.7	15.88	2

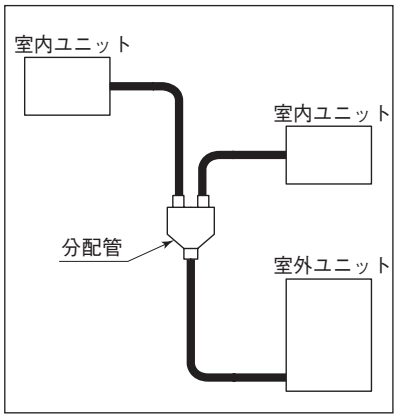


φC(内径)	φD(外径)	本数
19.05	15.88	1

分配管（同時ツイン用）

● SDD-50WR8

使用目的 / 用途



●“分配管”は、室内ユニットを同時運転タイプ（ツイン：2 台）組み合わせ時に使用する分岐管です。

室外ユニット	室内ユニット能力（50：50）
224 形	112 形 +112 形
280 形	140 形 +140 形

注　意

・冷媒配管（現地手配）とジョイントは分岐管（本品）の拡管部に止まるまで挿入し、無酸化ロウ付にて接続してください。
・配管接続作業の際、配管内部にゴミ等の異物が入らないように注意してください。

対象ユニット

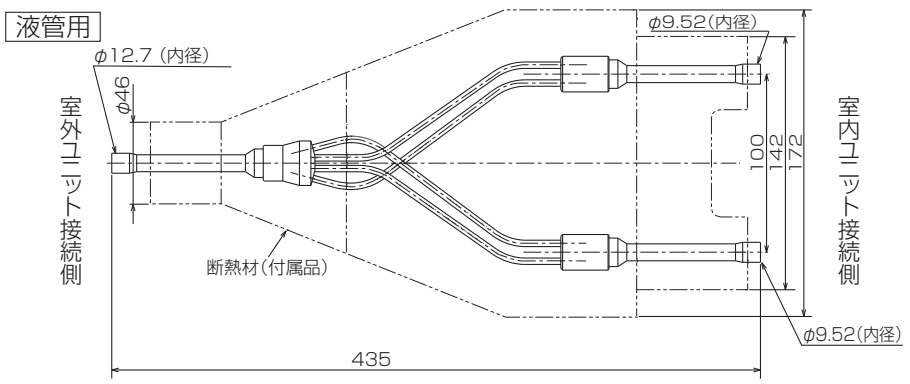
● P224・P280 形
〈室内ユニット能力比 50：50〉

仕　様

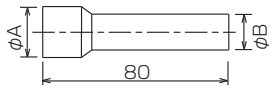
形　　名		SDD-50WR8
本　体	分　配　比	室外ユニット容量を 50：50 に 2 分配
	分配管本数	液管用・ガス管用　各 1 本
	パイプ材質	リン脱酸銅　C1220T-OL（JIS H3300）
付属品	パイプカバー	発泡スチロール成型品（液管・ガス管用　各 1 個）
	異　径　管	4 種類　5 本

※ SDD-50WR5 の代替として使用できます。

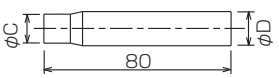
外形図（単位：mm）



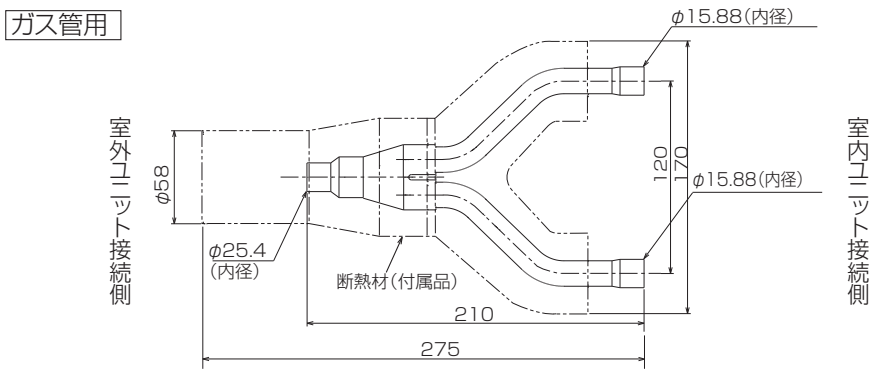
異径管（付属品）



φA（内径）	φB（外径）	本数
28.6	25.4	1
15.88	12.7	1
19.05	15.88	2



φC（内径）	φD（外径）	本数
9.52	12.7	1



RG79N495H07

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機パッケージエアコン別売部品
同時ツイン分配管据付工事説明書

SDD-50SR8形〔室内ユニット同容量ツイン 50:50〕…室外ユニット 80形～160形（R32・R410Aインバーター）
SDD-50WR8形〔室内ユニット同容量ツイン 50:50〕…室外ユニット 224形・280形（R410Aインバーター）

安全のために必ず守ること

※取付け前に本説明書と室内ユニット、室外ユニットの据付工事説明書をよくお読みください。
●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れの仕方等を説明してください。
また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされ不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
●据付工事に不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になります。

作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気する。
●冷媒ガスが火気に触れると、有害ガスが発生する原因になります。

据付工事は、冷媒R410AまたはR32用に製造された専用ツール・配管部材を使用し、この据付工事説明書に従って確実に行う。
●使用しているHFC系R410AまたはR32冷媒は、従来の冷媒に比べ圧力が約1.6倍高くなります。専用の配管部材を使用しなかったり、据付に不備があると破裂・けがの原因になり、また水漏れや感電・火災の原因になります。

設置工事終了後、冷媒が漏れていないことを確認する。
●冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

据付け（移設）・工事をする前に

⚠注意

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
●頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

冷媒配管は、JIS H 3300「銅および銅合金継目無管」のC1220のりん脱酸銅を、配管継手は、JIS B 8607に適合したものを使用し、配管接続を確実に行う。
●配管接続に不備があると、アース接続が不十分となり感電の原因になります。

冷媒配管の断熱は、結露しないように確実に行う。
●不完全な断熱工事を行うと配管等表面が結露して、露たれ等が発生し、天井・床・その他、大切なものを濡らす原因になります。接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

1 箱の中には次のものが入っています。作業を始める前にご確認ください。

①説明書	②ガス管	③液管	④パイプカバー	⑤パイプカバー
本紙 1枚	1ヶ	1ヶ	ガス管用 1ヶ	液管用 1ヶ

⑥ジョイント

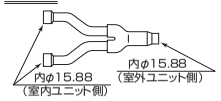
50SR8	50WR8
⑦外φ9.52→内φ6.35…2ヶ	①外φ12.7→内φ9.52…1ヶ
㋑外φ15.88→内φ12.7…2ヶ	㋒外φ12.7→内φ15.88…1ヶ
㋒外φ15.88→内φ19.05…1ヶ	㋐外φ15.88→内φ19.05…2ヶ
	㋓外φ25.4→内φ28.6…1ヶ

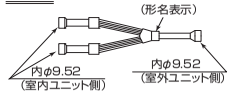
ジョイントは旧配管サイズにも対応できるように多くの種類を付属しています。

※本品以外に次のものを現地にて手配してください。
ⓐ 断熱材シール用テープ
ⓑ 冷媒配管用延長パイプ

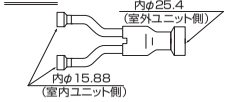
●ガス管②、液管③の仕様は下図のとおりです。

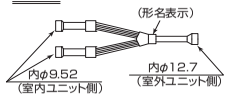
■ SDD-50SR8（室外ユニット80形～160形の場合）





■ SDD-50WR8（室外ユニット224形・280形の場合）





2 配管サイズ・冷媒配管の制限

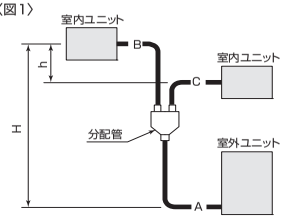
・室外ユニットにより冷媒配管長さ、室内ユニットの高低差の制限が異なりますので注意ください。
・室内外ユニットの高低差は、室内ユニットが室外ユニットに対し上でも下でも同じです。
・チャージレス配管長、冷媒追加チャージ量の詳細は本体製品付属の据付工事説明書に従ってください。
・英記号は〈図1〉と対応しています。

〈表1〉

室外ユニット能力	配管サイズ〈mm〉 ガス管側 室外ユニット側	ガス管側 室内ユニット側	液管側 室外ユニット側	液管側 室内ユニット側	配管実長〈m〉 室内～室外	A+B+C	室内～室内	分岐後実長〈m〉B, C	高低差〈m〉 室内～室外	高低差〈m〉 室外～室内	ベンド数
80形	φ15.88〈5/8〉	40～56形 φ12.7〈1/2〉	φ9.52〈3/8〉	40～56形 φ6.35〈1/4〉	——	50m以下	| B−C | = 8m以下	20m以下	H=30m以下	h=1m以下	15以内
112～160形						75m以下					
224形	φ25.4〈1〉	71～140形 φ15.88〈5/8〉	φ12.7〈1/2〉	71～140形 φ9.52〈3/8〉	A+B=A+C=100m以下	スリムZR 120m以下 スリムER 100m以下		30m以下			
280形											

注1. 冷媒配管ベンド数制限は、〈A+B〉〈A+C〉の範囲でそれぞれ8ヶ所以内、総数で15ヶ所以内としてください。

〈図1〉



●室外ユニット組合せパターンと使用ジョイント 〈表2〉

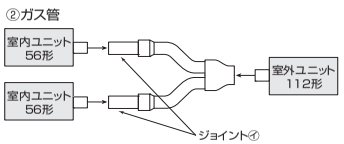
分配管形名	室外ユニット側	室内ユニット側	室内ユニット
SDD-50SR8	80形	40形×2	⑦ 外φ9.52→内φ6.35〔室内液管側〕× 2
	112形	56形×2	㋑ 外φ15.88→内φ12.7〔室内ガス管側〕× 2
	140形	71形×2	ジョイントは不要です。
	160形	80形×2	
SDD-50WR8	224形	112形×2	① 外φ12.7→内φ9.52〔室外液管側〕× 1
	280形	140形×2	ジョイントは不要です。

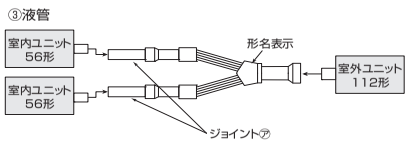
※〔 〕内は取付位置を示す

3 配管接続

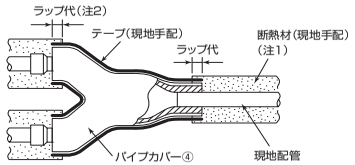
1. 下記のことに注意して作業を行ってください。
・室内外ユニット組合せパターンと使用ジョイント〈表2〉の確認を必ず行ってください。
・冷媒配管長制限とそのベンド数制限〈表1〉を必ず守ってください。
・冷媒配管〈現地手配〉とジョイント⑥は分配管〈本品〉の拡管部に止まるまで挿入し、無酸化ロウ付けにて接続してください。
・分配管〈本品〉の取付時における方向についての制約はありません。
・配管接続作業の際、配管内部にゴミ等の異物が入らないように注意してください。
2. 配管接続
・使用機種の能力によっては、付属のジョイント⑥が必要となりますので、〈表2〉を参照して選定し、冷媒配管を接続してください。
・分配管〈液管〉を曲げたり、広げたりしないでください。

〈接続例〉
112形





4 断熱工事



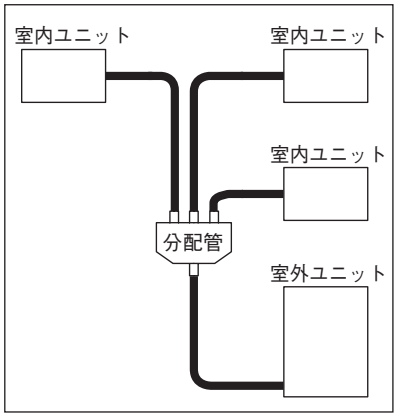
注1.冷媒配管(現地手配)には全て断熱材を施工してください。また市販の断熱材を使用する場合は、耐熱性断熱材(厚さ15mm以上)を使用してください。
注2.パイプカバー④、⑤は高温にて若干収縮しますので、断熱材はラップ代を設けて施工してください。

・ ガス管②にパイプカバー④を合わせるように取付けてください。パイプカバー④の合わせ部は断熱材シール用テープ(現地手配)にてシールしてください。
・ 液管③もパイプカバー⑤を使用し、同様に処理してください。

分配管（同時トリプル用）

● SDT-111R8

使用目的 / 用途



●“分配管”は、室内ユニットを同時運転タイプ（トリプル：3 台）組み合わせ時に使用する分岐管です。

室外ユニット	室内ユニット能力（33：33：33）
160 形	56 形 +56 形 +56 形
224 形	80 形 +80 形 +80 形

注　意

・冷媒配管（現地手配）とジョイントは分岐管（本品）の拡管部に止まるまで挿入し、無酸化ロウ付にて接続してください。
・配管接続作業の際、配管内部にゴミなどの異物が入らないように注意してください。

対象ユニット

● P160・P224 形
〈室内ユニット能力比 33：33：33〉

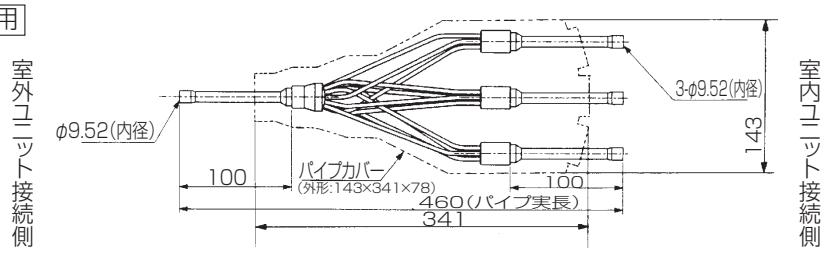
仕　様

形　　名		SDT-111R8
本　体	分　配　比	室外ユニット容量を 33：33：33 に 3 分配
	分配管本数	液管用・ガス管用　各 1 本
	パイプ材質	リン脱酸銅　C1220T-OL（JIS H3300）
付属品	パイプカバー	発泡ポリエチレン成型品（液管）・EPT スポンジゴムタイプ（ガス管用）
	異　径　管	5 種類　9 本

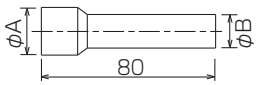
※ SDT-111R5 の代替として使用できます。

外形図 (単位：mm)

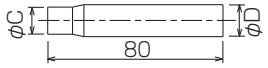
液管用



異径管(付属品)

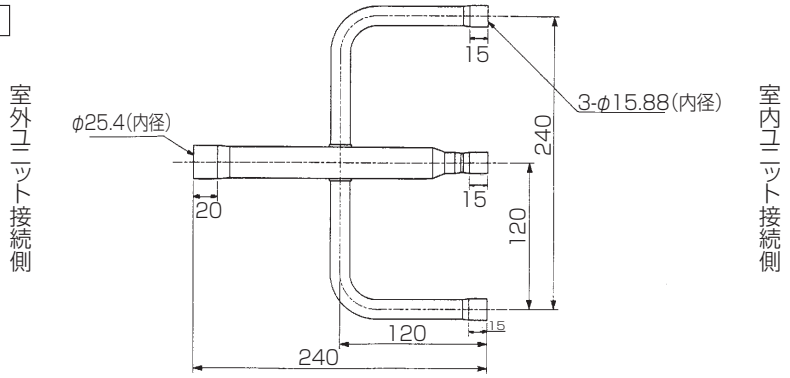


φA(内径)	φB(外径)	本数
12.7	9.52	1



φC(内径)	φD(外径)	本数
12.7	15.88	3
19.05	25.4	1
6.35	9.52	3
15.88	25.4	1

ガス管用



RG79N496H07

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機パッケージエアコン別売部品 同時トリプル分配管据付工事説明書

SDT-111R8形〔室内ユニット同容量トリプル 33:33:33〕…室外ユニット　160形 (R32・R410Aインバーター)
224形 (R410Aインバーター)

安全のために必ず守ること

※取付け前に本説明書と室内ユニット、室外ユニットの据付工事説明書をよくお読みください。
●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れの仕方等を説明してください。
また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
●据付けに不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。

冷媒配管は、JIS H 3300「銅および銅合金継目無管」のC1220のりん脱酸銅を、配管継手は、JIS B 8607に適合したものを使用し、配管接続を確実に行う。
●配管接続に不備があると、アース接続が不十分となり感電の原因になります。

据付工事は、冷媒R410AまたはR32用に製造された専用のツール・配管部材を使用し、この据付工事説明書に従って確実に行う。
●使用しているHFC系R410A冷媒またはR32冷媒は、従来の冷媒に比べ圧力が約1.6倍高くなります。専用の配管部材を使用しなかったり、据付けに不備があると破裂・けがの原因になり、また水漏れや感電・火災の原因になります。

設置工事終了後、冷媒が漏れていないことを確認する。
●冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気する。
●冷媒ガスが火気に触れると、有害ガスが発生する原因になります。

据付け（移設）・電気工事をする前に

⚠注意

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
●頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

冷媒配管の断熱は、結露しないように確実に行う。
●不完全な断熱工事を行うと配管等表面が結露して、露たれ等が発生し、天井・床・その他、大切なものを濡らす原因になります。
●接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

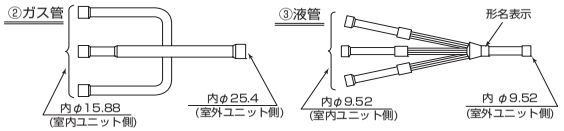
1 箱の中には下記のものが入っています。作業を始める前にご確認ください。

①説明書	②ガス管	③液管	④パイプカバー(ガス管)	⑤⑥パイプカバー(ガス管)	⑦パイプカバー(液管)
本紙1枚	1ヶ	1ヶ	Vカット付 1ヶ	⑤外φ50×250ℓ−1ヶ ⑥外φ43×350ℓ−2ヶ	2ヶ

⑧⑨パイプカバー	⑩バンド	⑪ジョイント
⑧外φ42×180ℓ−1ヶ ⑨外φ38×200ℓ−3ヶ	8ヶ	〈表1〉参照

※本品以外に次のものを現地にて手配してください。
ⓐ 断熱材シール用テープ
ⓑ 冷媒配管用延長パイプ

●ガス管②、液管③の仕様は下図のとおりです。



●ジョイント仕様と付属個数　〈表1〉

ジョイント管端サイズ(mm)	SDT-111R8
㋐ 外φ9.52→内φ6.35	3
㋑ 外φ15.88→内φ12.7	3
㋒ 外φ25.4→内φ15.88	1
㋓ 外φ25.4→内φ19.05	1
㋔ 外φ9.52→内φ12.7	1

〔ジョイントは旧配管サイズにも対応できるように多くの種類を付属しています〕

2 配管サイズ・冷媒配管の制限

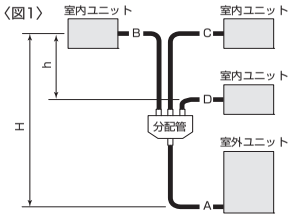
・室外ユニットにより冷媒配管長さ、室内ユニットの高低差の制限が異なりますので注意ください。
・室内外ユニットの高低差は、室内ユニットが室外ユニットに対し上でも下でも同じです。
・チャージレス配管長、冷媒追加チャージ量の詳細は本体製品付属の据付工事説明書に従ってください。
・英記号は〈図1〉と対応しています。

〈表2〉

室外ユニット能力	配管サイズ〈mm〉 ガス管側 室外ユニット側	ガス管側 室内ユニット側	液管側 室外ユニット側	液管側 室内ユニット側	配管実長〈m〉 室内～室外	A＋B＋C＋D	室内～室内	分岐後実長〈m〉B, C, D	高低差〈m〉 室内～室外	室内～室内	ベンド数
160形	φ15.88〈5/8〉	56形 φ12.7〈1/2〉	φ9.52〈3/8〉	56形 φ6.35〈1/4〉	——	75m以下	|B−C|＝|B−D|＝|C−D|＝8m以下	20m以下	H＝30m以下	h＝1m以下	15以内
224形	φ25.4〈1〉	80形 φ15.88〈5/8〉		80形 φ9.52〈3/8〉	A+B=A+C=A+D=100m以下	スリムZR 120m以下 スリムER 100m以下		30m以下			

注1.　冷媒配管ベンド数制限は、〈A＋B〉〈A＋C〉〈A＋D〉の範囲でそれぞれ8ヶ所以内、総数で15ヶ所以内としてください。

〈図1〉



■室外ユニット組合せパターンと使用ジョイント　〈表3〉

分配管形名	室外ユニット側	室内ユニット側	使用ジョイント
SDT-111R8	160形	56形×3	㋐ 外φ9.52→内φ6.35〔室内液管側〕× 3 ㋑ 外φ15.88→内φ12.7〔室内ガス管側〕× 3 ㋒ 外φ25.4→内φ15.88〔室外ガス管側〕× 1
	224形	80形×3	ジョイントは不要です。

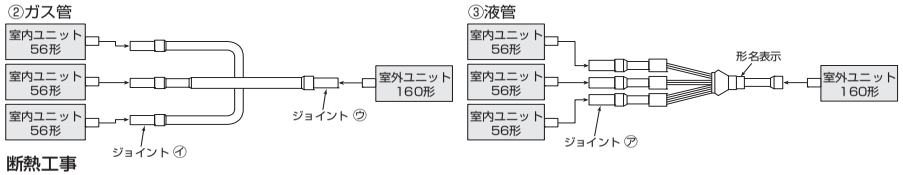
※〔　〕内は取付位置を示す。

3 配管接続

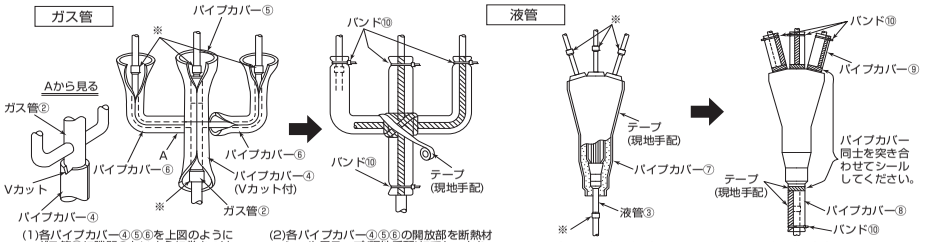
1.下記のことに注意して作業を行ってください。
・室内外ユニット組合せパターンと使用ジョイント〈表3〉、配管サイズ〈表2〉および使用するジョイント⑪の確認を必ず行ってください。
・冷媒配管長制限とそのベンド数制限〈表2〉を必ず守ってください。
・冷媒配管〈現地手配〉とジョイント⑪は分配管（本品）の拡管部に止まるまで挿入し、無酸化ロウ付けにて接続してください。
・分配管（本品）の取付時における方向についての制約はありません。
・配管接続作業の際、配管内部にゴミ等の異物が入らないように注意してください。

2.配管接続
・使用機種の能力によって、付属のジョイント⑪の使用数が異なりますので〈表3〉を参照して選定し、冷媒配管を接続してください。
・分配管（液管）を曲げたり、広げたりしないでください。

〈接続例〉160形



4 断熱工事



(1)各パイプカバー④⑤⑥を上図のようにガス管②に隙間のないように巻きつけてください。
また、パイプカバー④のVカット部は両サイドのパイプの根元へしっかり押しつけて取付けてください。

(2)各パイプカバー④⑤⑥の開放部を断熱材シール用テープ(現地手配)にてしっかりシールしてください。パイプの交差部は、たすき掛けにシール用テープを巻きつけて隙間のないようにしてください。
(3)バンド⑩で各パイプカバーの端部を締め付けてください。

(1)液管③にパイプカバー⑦(2ヶ)を合わせるように取付けてください。
パイプカバー⑦の合わせ部は断熱材シールテープ(現地手配)にてシールしてください。

(2)パイプカバー⑧⑨を上図のように液管③に取付けて、断熱材シール用テープ(現地手配)にてしっかりシールしてください。
(3)バンド⑩で各パイプカバーの端部を締め付けてください。

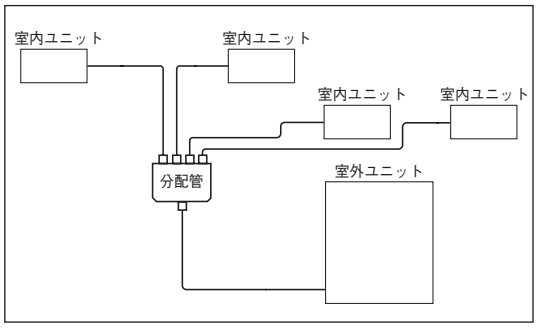
注 1.各パイプカバーの余分な長さは切断して使用してください。
注 2.冷媒配管〈現地手配〉とガス管②および液管③の接続部(※部)は各パイプカバーで確実に覆ってください。
注 3.冷媒配管(現地手配)には全て断熱材を施工してください。また市販の断熱材を使用する場合は、耐熱性断熱材(厚さ15mm以上)を使用してください。

技術資料

分配管（同時フォー用）

● SDF-1111R8

使用目的 / 用途



●“分配管”は、室内ユニットを同時運転タイプ（フォー：4台）組み合わせ時に使用する分岐管です。

室外ユニット	室内ユニット能力（25：25：25：25）
224形	56形+56形+56形+56形
280形	71形+71形+71形+71形

注　意

・冷媒配管（現地手配）とジョイントは分岐管（本品）の拡管部に止まるまで挿入し、無酸化ロウ付にて接続してください。
・配管接続作業の際、配管内部にゴミなどの異物が入らないように注意してください。

対象ユニット

● P224・P280形
〈室内ユニット能力比 25：25：25：25〉

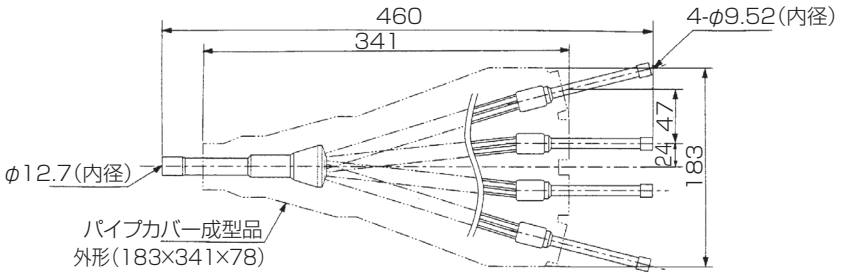
仕　様

形　　名		SDF-1111R8
本　体	分　配　比	室外ユニット容量を25：25：25：25に4分配
	分配管本数	液管用・ガス管用　各1本
	パイプ材質	リン脱酸銅　C1220T-OL（JIS H3300）
付属品	パイプカバー	発泡ポリエチレン成型品（液管・ガス管用　各1本）・EPTスポンジゴムタイプ（液管・ガス管用　各4本）
	異　径　管	5種類　11本
	バ　ン　ド	7本

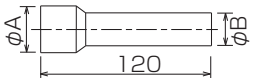
※ SDF-1111R5の代替として使用できます。

外形図（単位：mm）

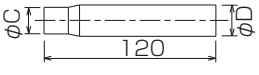
液管用



異径管(付属品)

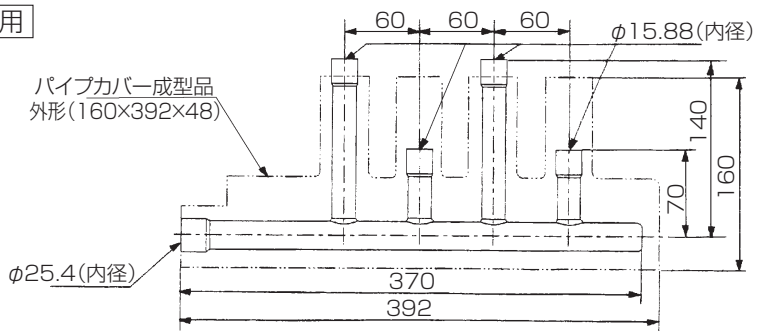


φA(内径)	φB(外径)	本数
28.6	25.4	1
15.88	12.7	1



φC(内径)	φD(外径)	本数
12.7	15.88	4
6.35	9.52	4
9.52	12.7	1

ガス管用



MITSUBISHI ELECTRIC

RG79N497H07

三菱電機パッケージエアコン別売部品　同時フォー分配管据付工事説明書

SDF-1111R8形［室内ユニット同容量フォー 25:25:25:25］…室外ユニット 224形・280形(R410Aインバーター)

安全のために必ず守ること

※据付け前に本説明書と室内ユニット、室外ユニットの据付工事説明書をよくお読みください。
●据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れの仕方等を説明してください。また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
●据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

作業中に冷媒が漏れた場合は、換気する。
●冷媒が火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

設置工事終了後、冷媒が漏れてないことを確認する。
●冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ・ストーブ・コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

据付工事は、冷媒R410A用またはR32用に製造された専用のツール・配管部材を使用し、この据付工事説明書に従って確実に行う。
●使用しているHFC系R410A冷媒またはR32冷媒は、従来の冷媒に比べ圧力が約1.6倍高くなります。専用の配管部材を使用しなかったり、据付けに不備があると破裂・けがの原因になり、また水漏れや感電・火災の原因になります。

冷媒配管は、JIS H 3300「銅および銅合金継目無管」のC1220のりん脱酸銅を、配管継手は、JIS B 8607に適合したものを使用し、配管接続を確実に行う。
●配管接続に不備があると、アース接続が不十分となり感電の原因になります。

据付け（移設）・電気工事をする前に

⚠注意

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
●頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
●不完全な断熱工事を行うと配管等表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
●接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

1 付属部品の確認

※下記部品が付属されておりますので、取付け前に確認してください。

① 説明書	② ガス管	③ 液　管	④パイプカバー(ガス管)	⑤パイプカバー(液管)	⑥⑦パイプカバー	⑧ バンド
本紙　1枚	1ヶ	1ヶ	1ヶ	2ヶ	⑥外φ42×180L 1ヶ ⑦外φ38×200L 4ヶ	7ヶ

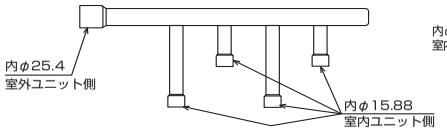
⑨ ジョイント

㋐外φ9.52→内φ6.35……4ヶ
㋑外φ15.88→内φ12.7……4ヶ
㋒外φ12.7→内φ9.52……1ヶ
㋓外φ12.7→内φ15.88……1ヶ
㋔外φ25.4→内φ28.6……1ヶ
（ジョイントは旧配管サイズにも対応できるように、多くの種類を付属しております）

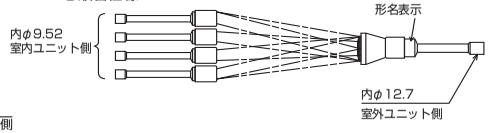
※本品以外に次のものを現地にて手配してください。
ⓐ 断熱材シール用テープ
ⓑ 冷媒配管用延長パイプ

●ガス管②、液管③の仕様は下図のとおりです。

②ガス管仕様



③液管仕様



2 配管サイズ・冷媒配管制限

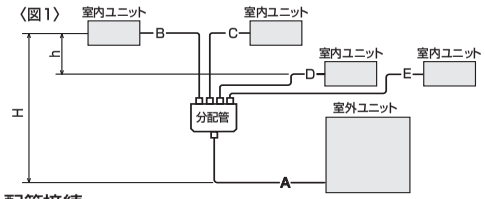
・室外ユニットにより冷媒配管長さ、室内ユニットの高低差の制限が異なりますので注意ください。
・室内外ユニットの高低差は、室内ユニットが室外ユニットに対し上でも下でも同じです。
・チャージレス配管長、冷媒追加チャージ量の詳細は本体製品付属の据付工事説明書に従ってください。
・英記号は〈図1〉と対応しています。

〈表1〉

室外ユニット能力	配管サイズ〈mm〉 ガス管側 室外ユニット側	ガス管側 室内ユニット側	液管側 室外ユニット側	液管側 室内ユニット側	配管実長〈m〉 室内～室外	A+B+C+D+E	室内～室内	分岐後実長〈m〉B,C,D,E	高低差〈m〉 室内～室外	室内～室内	ベンド数
224形	φ25.4 <1>	56形 φ12.7〈1/2〉	φ9.52 〈3/8〉	56形 φ6.35〈1/4〉	A+B= A+C= A+D= A+E= 100m以下	スリムZR 120m以下 スリムER 100m以下	|B−C|=8m以下 |B−D|=8m以下 |B−E|=8m以下 |C−D|=8m以下 |C−E|=8m以下 |E−D|=8m以下	30m以下	H=30m以下	h=1m以下	15以内
280形		71形 φ15.88〈5/8〉	φ12.7 〈1/2〉	71形 φ9.52〈3/8〉							

注1．冷媒配管ベンド数制限は〈A+B〉〈A+C〉〈A+D〉〈A+E〉の範囲でそれぞれ8ヶ所以内、総数で15ヶ所以内としてください。

〈図1〉



●室外ユニット組合せパターンと使用ジョイント　〈表2〉

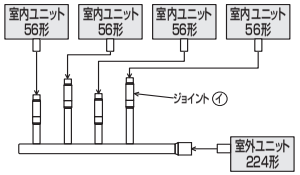
室外ユニット側	室内ユニット側	使用ジョイント
224形	56形×4	㋐外φ9.52→内φ6.35〔室内液管側〕×4 ㋑外φ15.88→内φ12.7〔室内ガス管側〕×4 ㋒外φ12.7→内φ9.52〔室外液管側〕×1
280形	71形×4	ジョイントは不要です

※〔　〕内は取付位置を示す

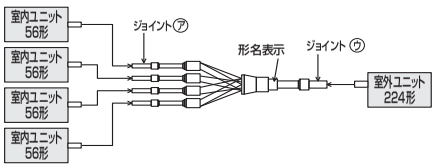
3 配管接続

1.下記のことに注意して作業を行ってください。
・室内外ユニット組合せパターンと使用ジョイント〈表2〉、配管サイズ〈表1〉および使用するジョイント⑨の確認を必ず行ってください。
・冷媒配管長制限とそのベンド数制限〈表1〉を必ず守ってください。
・冷媒配管(現地配管)とジョイント⑨は分配管(本品)の拡管部に止まるまで挿入し、無酸化ろう付けにて接続してください。
・分配管(本品)の取付時における方向についての制約はありません。
・配管接続作業の際、配管内部にゴミ等の異物が入らないように注意してください。
2. 配管接続
・使用機種の能力によって、付属のジョイント⑨の使用数が異なりますので、〈表2〉を参照して選定し冷媒配管を接続してください。
・分配管(液管)を曲げたり、広げたりしないでください。

〈接続例〉 ②ガス管
224形



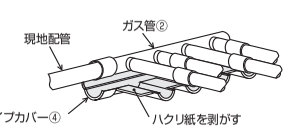
③液管



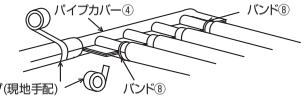
4 断熱工事

注1. 各パイプカバーの余分な長さは切断して使用してください。
2. 冷媒配管(現地手配)とガス管②および液管③の接続部(※部)は各パイプカバーで確実に覆ってください。
3. 冷媒配管(現地手配)にはすべて断熱材を施工してください。また市販の断熱材を使用する場合は、耐熱性断熱材(厚さ15㎜以上)を使用してください。

［ガス管］

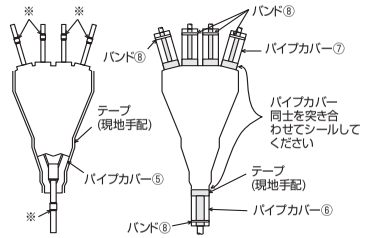


(1)ガス管②をパイプカバー④に収めた後、パイプカバー④の内面に張り付けてあるハクリ紙を剥がしガス管②をパイプカバー④ではさみ込むようにしてください。



(2)パイプカバー④の室内側分岐部の両端を上図に示すようにバンド⑧で締め付けてください。バンドの残分は切り取ってください。
(3)パイプカバー④の合わせ部分は断熱材シール用テープ(現地手配)にてしっかりシールしてください。(シールが不完全ですと露タレの原因になります)

［液管］

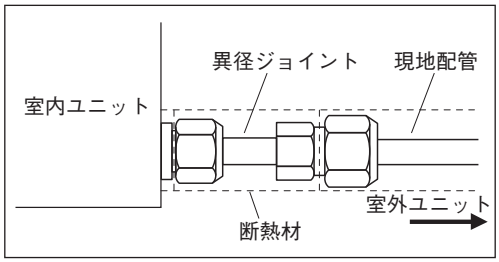


(1)液管③にパイプカバー⑤(2ヶ)を合わせるように取付けてください。パイプカバー⑤の合わせ部は断熱材シール用テープ(現地手配)にてシールしてください。
(2)パイプカバー⑥⑦を上図のように液管③に取付けて、断熱材シール用テープ(現地手配)にてしっかりシールしてください。
(3)バンド⑧で各パイプカバーの端部を締め付けてください。

リプレース異径ジョイント

● PAC-SG72RJ　● PAC-SG73RJ
● PAC-SG74RJ　● PAC-SG75RJ

使用目的 / 用途



●“リプレース異径ジョイント”は、異なるサイズの現地配管と室内外ユニットを接続するための部品です。

注　意
・本品は断熱が必要です。（露たれ防止） 現地配管と同様に断熱材（現地手配）を巻き付けてください。

対象ユニット

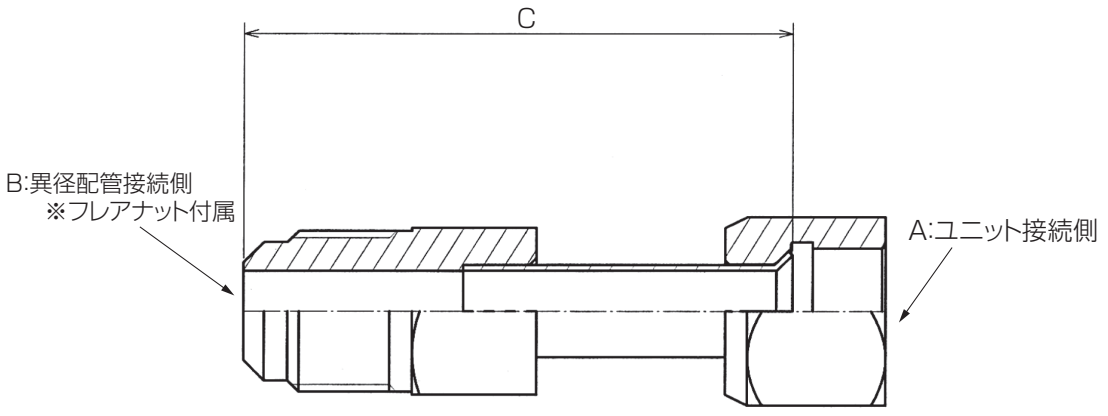
● PAC-SG72RJ → ユニット側：φ 6.35 − 現地配管側：φ 9.52
● PAC-SG73RJ → ユニット側：φ 9.52 − 現地配管側：φ 12.7
● PAC-SG74RJ → ユニット側：φ 12.7 − 現地配管側：φ 15.88
● PAC-SG75RJ → ユニット側：φ 15.88 − 現地配管側：φ 19.05

仕　様

形　　名	PAC-SG72RJ	PAC-SG73RJ	PAC-SG74RJ	PAC-SG75RJ
配　管　径	φ 6.35	φ 9.52	φ 12.7	φ 15.88
パイプ材質	リン脱酸銅　C1220T-OL			

外形図 (単位 : mm)

形　　名	A	B	C
PAC-SG72RJ	1/4" φ6.35	3/8" φ9.52	59.5
PAC-SG73RJ	3/8" φ9.52	1/2" φ12.7	66.5
PAC-SG74RJ	1/2" φ12.7	5/8" φ15.88	75
PAC-SG75RJ	5/8" φ15.88	3/4" φ19.05	78.5



RG79T516H03

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機パッケージエアコン別売部品
リプレース異径ジョイント据付工事説明書

PAC-SH40RJ
PAC-SG72・73・74・75RJ

安全のために必ず守ること

●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れの仕方等を説明してください。
また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付工事は、冷媒R410AまたはR32用に製造された専用のツール・配管部材を使用し、この据付工事説明書に従って確実に行う。
●使用しているHFC系R410A冷媒またはR32冷媒は、従来の冷媒に比べ圧力が約1.6倍高くなります。専用の配管部材を使用しなかったり、据付けに不備があると破裂・けがの原因になり、また水漏れや感電・火災の原因になります。

小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行う。
●限界濃度を超えない対策については、販売店にご相談ください。
万一、冷媒が漏れて限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気する。
●冷媒が火気に触れると、有害ガスが発生する原因になります。

冷媒配管は、JIS H 3300「銅および銅合金継目無管」のC1220のりん脱酸銅を、配管継手は、JIS B 8607に適合したものを使用し、配管接続を確実に行う。
●配管接続に不備があると、アース接続が不十分となり感電の原因になります。

据付けや移設などの場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。
●空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。
●指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因となり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらすおそれがあります。

改造は絶対にしない。
●修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。改造したり修理に不備があると水漏れや感電・火災等の原因になります。

お客様自身で移動・再据付けはしない。
●据付けに不備があると水漏れや感電・火災等の原因になります。お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

設置工事終了後、冷媒が漏れていないことを確認する。
●冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ・ストーブ・コンロなどの火気に触れると、有害ガスが発生する原因になります。

据付けをする前に

注意

特殊環境には使用しない。
●油(機械油を含む)、蒸気、硫化ガスなどの多い場所、海浜地区など塩分の多い場所、積雪により室外ユニットが塞がれるところに使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは据付けない。
●万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

据付け(移設)・工事をする前に

注意

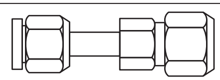
冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
●不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して、露たれ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
●接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締め付けること。
●フレアナットの締め付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。

この別売部品を取付ける前に、必ず室外ユニット付属の据付工事説明書 **安全のために必ず守ること** を確認し、その指示に従ってください。

この箱の中には、この説明書のほかに下記の部品が入っていますのでご確認ください。

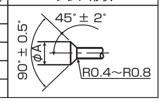
リプレース異径ジョイント
PAC-SG72RJ(ユニット側 ： φ 6.35 ― 現地配管側 ： φ 9.52)
PAC-SG73RJ(ユニット側 ： φ 9.52 ― 現地配管側 ： φ12.70)
PAC-SG74RJ(ユニット側 ： φ12.70 ― 現地配管側 ： φ15.88)
PAC-SG75RJ(ユニット側 ： φ15.88 ― 現地配管側 ： φ19.05)
PAC-SH40RJ(ユニット側 ： φ15.88 ― 現地配管側 ： φ12.70)

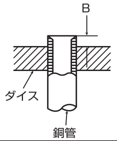
ユニット側  現地配管側

取付要領(下記の説明をよく読んで組み込んでください)

この別売部品は、異なるサイズの現地配管と、室内外ユニットを接続するための部品です。
※この別売部品を取付ける際には、必ず室外ユニット付属の据付工事説明書「・冷媒配管の接続」項に従ってください。

1)現地配管は、右記表に従いR410A・R32対応のフレア加工を新たに行ってください。
その際、フレアナットは本別売付属品を使用してください。
※現地(既設)配管の流用可否については、室外ユニット付属の据付工事説明書に従ってください。
※φ19.05配管を利用する場合には必ず室外ユニット制御基板上のSW8-1をONにしてください。

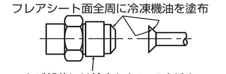
銅管外径(mm)	フレア部加工寸法φA(mm)	フレア形状
φ6.35	8.7~9.1	
φ9.52	12.8~13.2	
φ12.70	16.2~16.6	
φ15.88	19.3~19.7	
φ19.05	23.6~24.0	



パイプ径(mm)	B寸法(mm) R410A・R32フレアツール クラッチ式	B寸法(mm) R22・R407Cフレアツール クラッチ式
φ 6.35(1/4")	0~0.5	1.0~1.5
φ 9.52(3/8")	0~0.5	1.0~1.5
φ12.70(1/2")	0~0.5	1.0~1.5
φ15.88(5/8")	0~0.5	1.0~1.5
φ19.05(3/4")	0~0.5	1.0~1.5

※従来のツールを使って冷媒R410A用またはR32用のフレア加工をする場合は、上表を参考に加工してください。
出し代調整用の銅管ゲージを使用すれば、B寸法が確保できます。

2)別売部品から異物混入防止キャップ(両端)を取外し、
フレアシート面に冷凍機油(現地手配)を薄く塗布してください。

冷凍機油　塗布位置


※ネジ部分には塗布しないでください。(フレアナットがゆるみ易くなります。)

3)フレアナットの締付は、右記表に従いトルクレンチにて確実に行ってください。

〈トルクレンチによる適正な締付トルク〉

銅管外径(mm)	締付トルクN・m(kgf・cm)
φ6.35	14~18(140~180)
φ9.52	34~42(340~420)
φ12.70	49~61(490~610)
φ15.88	68~82(680~820)
φ19.05	100~120(1000~1200)

4)冷媒配管接続後に、必ず現地接続配管(本別売部品含む)と室内・室外ユニットのガス漏れ検査を行ってください。

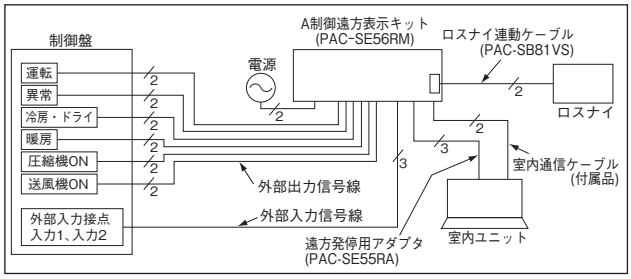
5)本別売部品は断熱が必要です。(露たれ防止)現地配管と同様に断熱材(現地手配)を巻き付けてください。

6)ユニットの据付工事説明書に従って試運転を行い、運転チェックを必ず実施してください。

A 制御遠方表示キット

● PAC-SE56RM

使用目的 / 用途



- “A 制御遠方表示キット” を使用して、離れた場所で運転・異常信号の取出しと外部信号による空調機の運転／停止が可能です。
- 離れた場所で運転・異常・冷房・暖房・ドライ・送風機 ON・圧縮機 ON の信号取出しができます。
- 外部入力機能を使用する場合、別売遠方発停用アダプタ（PAC-SE55RA) が必要です。

注　意

・ロスナイと連動する場合、ロスナイ連動ケーブル（PAC-SB81VS）が必要です。

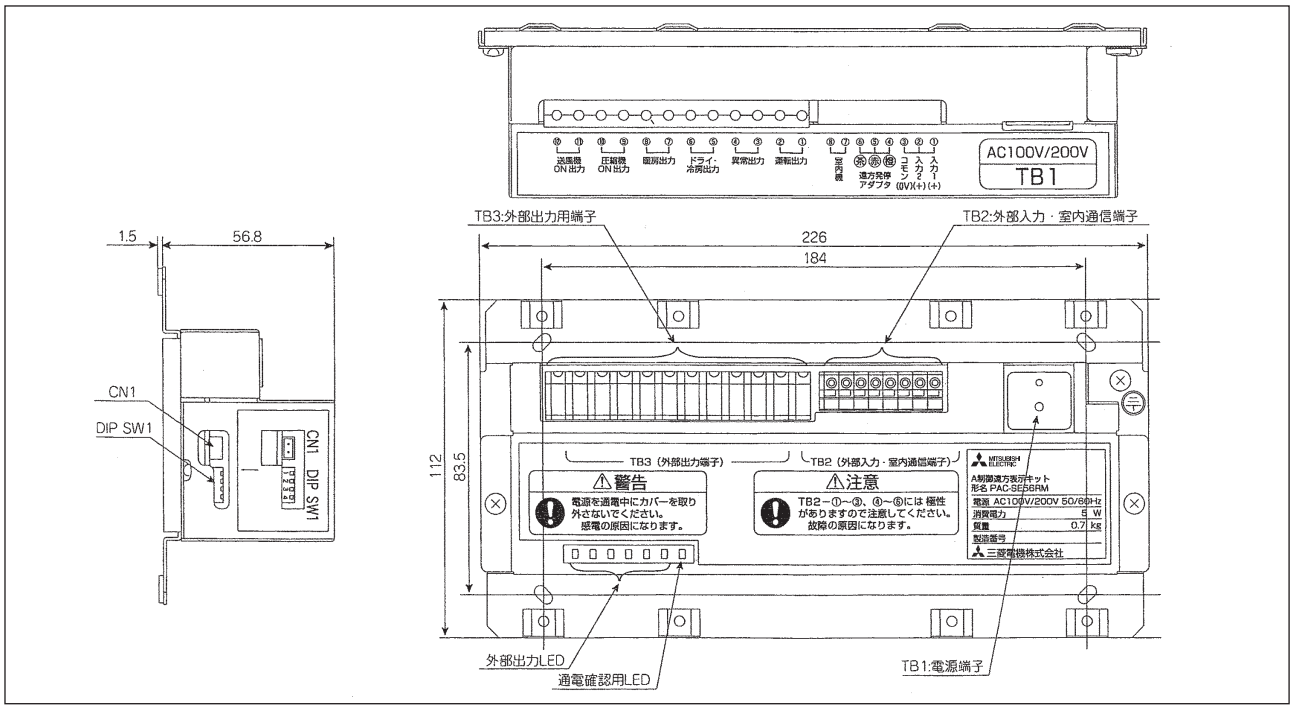
対象ユニット

● A 制御機種

仕　様

形　　名	PAC-SE56RM	入力点数	2 点
寸　　法	112(H) × 226(W) × 58.3(D)mm	入力信号	レベル / パルス（無電圧接点）
質　　量	0.7kg	パルス規格	
電　　源	AC100V 又は AC200V（50/60Hz）		
使用環境	温度：0 ～ 40℃、湿度：30 ～ 90% RH（結露なきこと）		
消費電力	5W		
適合入出力	CV,CVS,CPEV	出力点数	6 点 （運転 / 異常 / 冷房（ドライ）/ 暖房 / 圧縮機 ON/ 送風機 ON）
伝送線サイズ	φ 0.4 ～ 1.2mm（単線）		
室内ユニット接続伝送線	ロスナイ連動ケーブル（PAC-SB81VS） 遠方発停アダプタ（PAC-SE55RA） 延長する場合は CVV、CVS、CPEV の 0.5 ～ 1.25㎟	出力方式	リレー接点方式
		出力接点定格電流	1A
		出力接点定格電圧	DC30V、AC240V
据付方法	JISC8340 の 5 個用のスイッチボックスカバー付（現地手配）へ取付	出力接点最小適用負荷	10mA
		入力モード	ディップスイッチ設定により 5 パターンの入力モード設定可能
接続形態	1 冷媒系統に 1 台対応		

外形図 (単位 : mm)



共通部品

WT02690X03

三菱電機 ビル 空調管理システム

A制御遠方表示キット PAC-SE56RM 据付説明書

1 安全のために必ず守ること

- 据付の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付くもの。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
移設・修理の時は工事される方に、またお使いになる方が代わる場合には、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
お客様自身で据付工事をされ不備があると、故障や感電、火災等の原因になります。

据付けは、重量に充分に耐える所に確実に行なう。
強度が不足している場合は、本機の落下により、けがの原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する。
接続や固定が不完全の場合は、発熱、火災等の原因になります。

改造、修理は絶対にしない。
修理に不備があると感電、火災等の原因になります。また、修理は、お買上げの販売店にご相談ください。

据付工事は、この据付説明書に従い確実に行なう。
据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従い施工する。
電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。

お客様自身で移設はしない。
据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。
お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

⚠注意

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火の原因になることがあります。

特殊環境には、使用しない。
油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりすることがあります。

電源線はむき線部分が外に出ないように確実に差し込んでください。また差し込んだ後には線を軽く引っ張り充分に差し込まれていることを確認してください。
差し込み不十分は、むき線部分が板金と接触し、感電、火災の原因になることがあります。

配線は、電流容量に合った規格品の配線にて工事を行なう。
漏電や発熱・火災の原因になることがあります。

本機を据付ける付近の温度が40℃を越える場所、0℃未満の場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。
変形、故障の原因になることがあります。

浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには据付けない。
壁が結露するような場所は避けてください。故障の原因になることがあります。

基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。
故障の原因になることがあります。

正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
大きな容量のヒューズや針金、銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

病院、通信事務所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なって施工する。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器などの影響による本機の誤動作や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因となることがあります。

1

2 部品確認

●箱の中には、この説明書の他に部品が入っていますのでご確認ください。

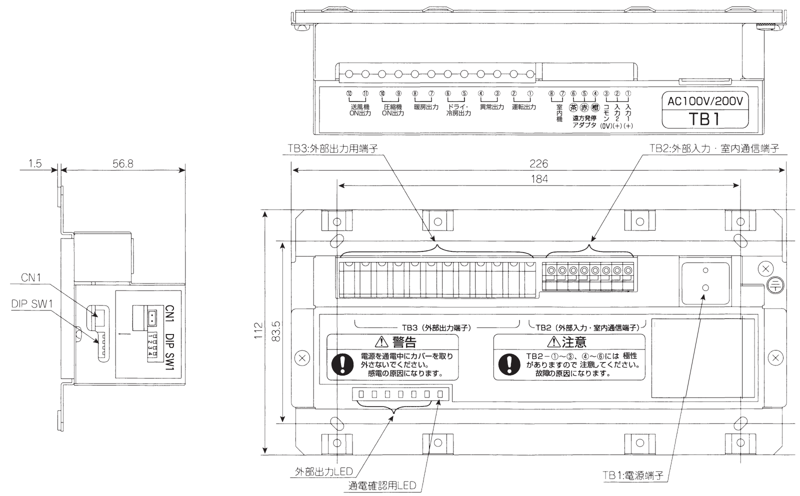
品名	個数
A制御遠方表示キット本体	1
M4トラスネジ（M4×20）本体固定用	4
室内通信ケーブル（10m）	1

※上記部品以外に、使用する機能ごとで必要となる部品は現地手配となります。

項目	手配していただく部品名	形名
据付け	5個用スイッチボックス（カバー付き）	JIS−C8336
	カバープレート	松下電工㈱WN7595、WN6595またはこれらに相当するもの。
	電源線	シース付きビニルコードまたはケーブルをご使用ください。 電線サイズ・・・単線：ϕ1.6mm〜ϕ2.0mm 撚線を使用の場合はJST製特殊形裸圧着端子TUB−1.25, TUB−2またはこれらに相当するもので加工し接続してください。
外部出力機能	外部出力信号線	シース付きビニルコードまたはケーブルをご使用ください。 電線の種類・・・CV,CVS,CPEVまたはこれらに相当するもの。 電線サイズ・・・単線：ϕ0.65mm, ϕ0.9mm, ϕ1.2mm　撚線：0.5mm²〜1.25mm²
	リレー	外部出力端子の接点は以下の容量ですので、接点定格にあった負荷ならびに電源を用意してください。 AC200V（DC30V）／1A　無電圧a接点
外部入力機能	遠方発停用アダプタ	PAC−SE55RA
	電線	外部入力機能を使用する場合または配線を延長する場合には、シース付きビニルコードまたはケーブルをご使用ください。 電線の種類・・・CV,CVS,CPEVまたはこれらに相当するもの。 電線サイズ・・・単線：ϕ0.65mm, ϕ0.9mm, ϕ1.2mm　撚線：0.3mm²〜1.25mm²
	中継用リレー ※	外部入力を50m以上の延長時に使用します。（例）LY−1F（オムロン）
	スイッチ ※	単極単投スイッチ
	外部タイマー ※	無電圧接点出力タイマー（電源回路とスイッチ回路が別のもの） （例）TSQ−1DKP（三菱）、H2Eオールディタイマー（オムロン）

※ • これらの部分はA制御遠方表示キット本体に組込めませんので、別置きになります。
• 外部入力信号にパルスを使用する場合は、パルス幅が200ms以上になるように現地設計してください。

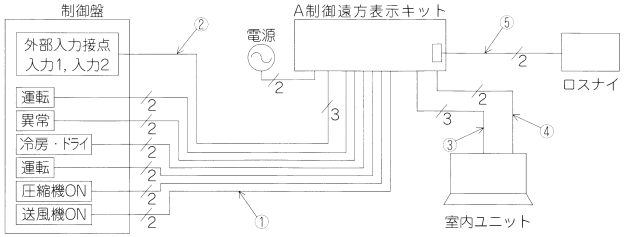
3 外形寸法



2

4 システム構成・配線図

1.システム構成

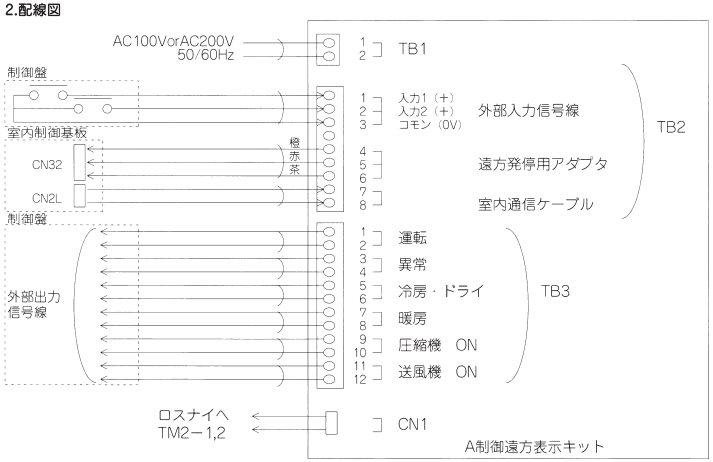


各信号線の配線長

番号	信号線	配線長
①	外部出力信号線	――――
②	外部入力信号線	50m以内（最大配線長）
③	遠方発停用アダプタ（PAC−SE55RA）	10m以内（最大配線長）
④	室内通信ケーブル（付属品）	10m以内（最大配線長）
④＋⑤	ロスナイ連動ケーブル（PAC−SB81VS）	50m以内（総配線長）

※　外部入力信号線を延長する場合には、中継用リレーをご使用ください。

2.配線図



3.室内ユニット側の接続

1.外部出力機能を使用する場合

①室内制御基板上のCN2Lに付属の室内通信ケーブルのコネクタ側を差し込みます。

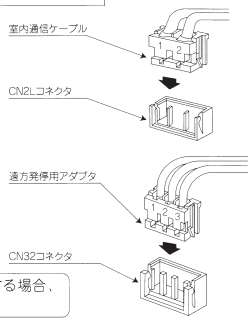
②コネクタには方向性があり、逆差込はできませんのでご注意ください。

2.外部入力機能を使用する場合

①室内制御基板上のCN32に遠方発停用アダプタを差し込みます。
（遠方発停用アダプタは現地手配品です。）

②コネクタには方向性があり、逆差込はできませんのでご注意ください。

※詳細は室内ユニットの据付説明書をご覧ください。



お願い　空調機が複数台グルーピングされているシステムで本機の外部入力機能を使用する場合、必ず親機の室内制御基板に接続してください。

〈作業ポイント〉

①電気配線後に、絶縁抵抗試験をされる場合は本機の電源端子台で、電源線を外して電源線とアース間で行ってください。電気サージなどの保護装置の作動により正しく計測できません。

②外部出力機能を使用しない場合は、室内通信ケーブルを接続しないようにしてください。試運転の為だけに接続した場合は、一度本機の電源を落として室内通信ケーブルを外してから、本機の電源を再投入してください。

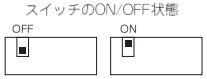
5 初期設定方法

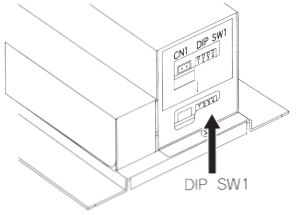
以下の手順に従って初期設定を行ってください。

1.外部入力機能設定

- 外部入力機能設定は、本体に電源が投入されていない状態で行なってください。
- 本機の左側にあるDIP SW1（4極）で、外部入力の機能設定を行ないます。
- DIP SW1の4番は外部入力の接点レベル切換用です。

スイッチのON/OFF状態





出荷時は全てOFF状態（モード0）に設定しています。

モード	DIP SW1の状態	信号状態（SW1の4番がOFF時:a接点） 入力1（TB2−1）	入力2（TB2−2）	動作内容
0	ON OFF 1 2 3 4	運転パルス 閉 開	停止パルス 閉 開	●常時、入力1、入力2のパルス信号で空調機の発停操作が行なえます。 ●また常に手元リモコンからの操作も有効です。
1	ON OFF 1 2 3 4	運転／停止 レベル 閉：運転 開：停止	遠方／手元 レベル 閉：遠方操作 開：手元操作	●入力2の状態が遠方操作時のみ入力1の信号で発停操作が行なえます。この時手元リモコンからの操作は行なえません。 ●入力2の状態が手元操作時は、入力1の信号での発停操作はできません。手元リモコンからのみ操作が行なえます。
2	ON OFF 1 2 3 4	運転／停止 レベル 閉：運転 開：停止	手元禁止／許可 レベル 閉：手元禁止 開：手元許可	●常時、入力1のレベル信号で空調機の発停操作が行なえます。 ●入力2のレベル信号で手元リモコンからの操作を禁止／許可できます。
3	ON OFF 1 2 3 4	レベル 閉：手元許可 開：停止･手元禁止	−	●入力1の信号ONで手元操作許可となり、手元リモコンからの操作ができます。入力1の信号OFFで空調機停止、遠方状態になり、手元リモコンからの操作はできません。 ●カードリーダー等と連動するときに便利です。
4	ON OFF 1 2 3 4	レベル 閉：運転･手元許可 開：停止･手元禁止	−	●入力1の信号ONで空調機運転、手元操作許可となり、手元リモコンからの操作ができます。入力1の信号OFFで空調機停止、遠方状態になり、手元リモコンからの操作はできません。 ●コインタイマー等と連動するときに便利です。

※　b接点使用により開閉の意味付けを逆にするには、DIP SW1の4番をONにしてください。

お願い　①モード2において空調機の運転状態と外部入力からの操作状態が異なることがあります。そのような場合は、一度空調機の運転状態に操作状態を合わせてから操作してください。

②モード0,2において外部から操作を行なったとき、手元リモコンの液晶上に「集中管理中」の文字が一瞬表示されることがあります。これは本機が一時的に行なっている現象で、手元リモコンの故障ではありません。

6 据 付 方 法

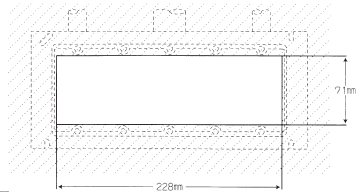
●本機の据付は5個用スイッチボックスを使用してください。
●スイッチボックス側でD種接地工事を行なってください。
●天井裏などに設置する場合、必ず本機を固定してください。固定時の取付ピッチは 3 外形寸法 を参考に行なってください。

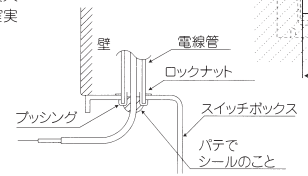
1.現地手配部品

① 5個用スイッチボックス（カバー付）（JIS−C8340）をご用意ください。
② 5個用カバープレートをご用意ください。
③ 電線管に合うロックナット、ブッシングをご用意ください。

2.スイッチボックスの設置

① 壁に71㎜×228㎜の穴を開け、5個用スイッチボックスを設置します。
② 露、水滴、ゴキブリ、虫などの侵入防止のため配線引込口をパテで確実にシールしてください。



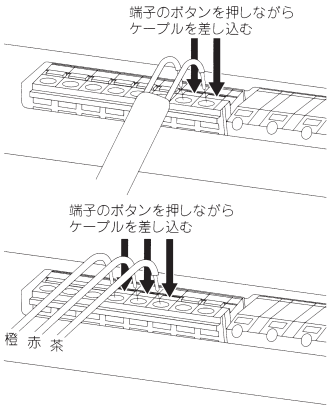


3.取付方法

① 外部出力機能を使用する場合、本機の室内通信端子（TB2−7,8）に室内通信ケーブルを接続します。このとき室内通信ケーブルの被覆を剥いて、端子のボタンを押しながら差し込んでください。
電線サイズ：φ0.65㎜〜φ1.2㎜（単線）　0.5㎟〜1.25㎟（撚線）
標準むき線長さ：11㎜

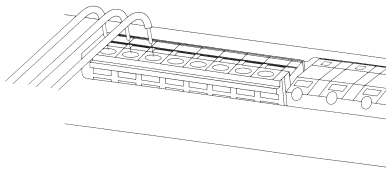
② ロスナイを連動するときは、本機のCN1にロスナイ連動ケーブルのコネクタ側を接続します。なお、このときロスナイ連動ケーブルは別途手配してください。
ロスナイ連動ケーブル：PAC−SB81VS

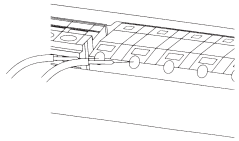
③ 外部入力機能を使用する場合は、本機の遠方発停用アダプタ端子（TB2−4〜6）に遠方発停用アダプタを接続します。このとき遠方発停用アダプタの被覆を剥いて、端子のボタンを押しながら差し込んでください。
なお、遠方発停用アダプタは別途手配してください。
遠方発停用アダプタ：PAC−SE55RA
標準むき線長さ：11㎜
遠方発停用アダプタを延長するときは、シース付ビニルコードまたはケーブルをご使用ください。
電線サイズ：φ0.65㎜〜φ1.2㎜（単線）　0.3㎟〜1.25㎟（撚線）
標準むき線長さ：11㎜



お願い 配線の延長は10m以内としてください。

④ 本機の外部入力端子（TB2−1〜3）または外部出力端子（TB3）に、使用用途に合わせてそれぞれの信号線を接続します。このとき各信号線の被覆を剥いて端子に差し込んでください。
電線サイズ：TB2−1〜3　φ0.65㎜〜φ1.2㎜（単線）　0.3㎟〜1.25㎟（撚線）
標準むき線長さ：11㎜
TB3−1〜12　φ0.65㎜〜φ1.2㎜（単線）　0.5㎟〜1.25㎟（撚線）
標準むき線長さ：10㎜

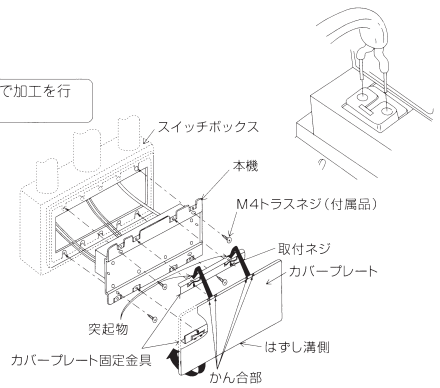




⑤ 本機の電源端子（TB1）に電源線を接続します。
電線サイズ：φ1.6㎜〜φ2.0㎜（単線）
標準むき線長さ：12㎜

お願い 撚線を使用する場合には、特殊形裸圧着端子で加工を行なってから使用してください。

⑥ 本機を5個用スイッチボックスへ取付ける。
⑦ カバープレート固定金具を本機に取付ける。
⑧ カバープレート固定金具上部の突起部にカバープレートのかん合部を合わせて引っ掛ける。
⑨ カバープレート下部のはずし溝とツメ部を合わせてカバープレートを押し込む。



7 試 運 転

● 本機、ならびに空調機の電源を投入し、下記の試運転を行なってください。
● 外部出力機能のみを使用する場合は手順1、2、3を、外部入力機能のみを使用する場合は手順1、4の確認を行なってください。

手順	項　目	作業内容	確認内容	処理内容（確認内容のようにならない場合）
1	通電チェック	本機ならびに空調機の電源を投入する。	①本機の通電確認用LEDが点灯する。 ②空調機が運転、もしくは停止する。	→電源線にAC100Vもしくは200Vが通電されているか確認。 →室外機ならびに室内機の電源電圧の確認。
2	外部出力機能チェック	リモコンから空調機を運転させる。	運転出力端子に接続した機器が反応する。	→室内通信ケーブルの接続状況、または運転出力端子の接続を確認。
3	外部出力機能チェック	リモコンから空調機の運転状態を変える。	各出力端子に接続した機器が反応する。	→手順2が正常に動作し手順3が正常でない場合、各外部出力端子の接続の確認。
4	外部入力機能チェック	外部入力から操作する。	手元リモコンの表示が変化する。	→遠方発停用アダプタの接続状況、また外部入力線の接続状況の確認。

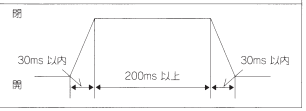
〈作業ポイント〉
①電気配線後に、絶縁抵抗試験をされる場合は本機の電源端子台で、電源線を外して電源線とアース間で行ってください。電気サージなどの保護装置の作動により正しく計測できません。
②外部出力機能を使用しない場合は、室内通信ケーブルを接続しないようにしてください。試運転の為だけに接続した場合は、一度本機の電源を落として室内通信ケーブルを外してから、本機の電源を再投入してください。

8 製 品 仕 様

●仕様表

項　目	内　容
寸　法	112（H）×226（W）×58.3（D）㎜
質　量	0.7kg
電　源	AC100VまたはAC200V（50/60Hz）
使用環境	湿度　0〜40℃ 湿度　85%RH以下
消費電力	5W
適合入出力伝送線サイズ	CV,CVS,CPEVまたは、これらに相当するもの 単線：φ0.65㎜, φ0.9㎜, φ1.2㎜ 撚線：0.3㎟〜1.25㎟
室内ユニット	室内通信ケーブル（付属品）
接続伝送線	遠方発停用アダプタ（現地手配部品） PAC−SE55RA
据付方法	JISC8336の5個用スイッチボックス カバー付き（現地手配品）へ取付け
接続形態	1冷媒系統に1台対応

●入力仕様

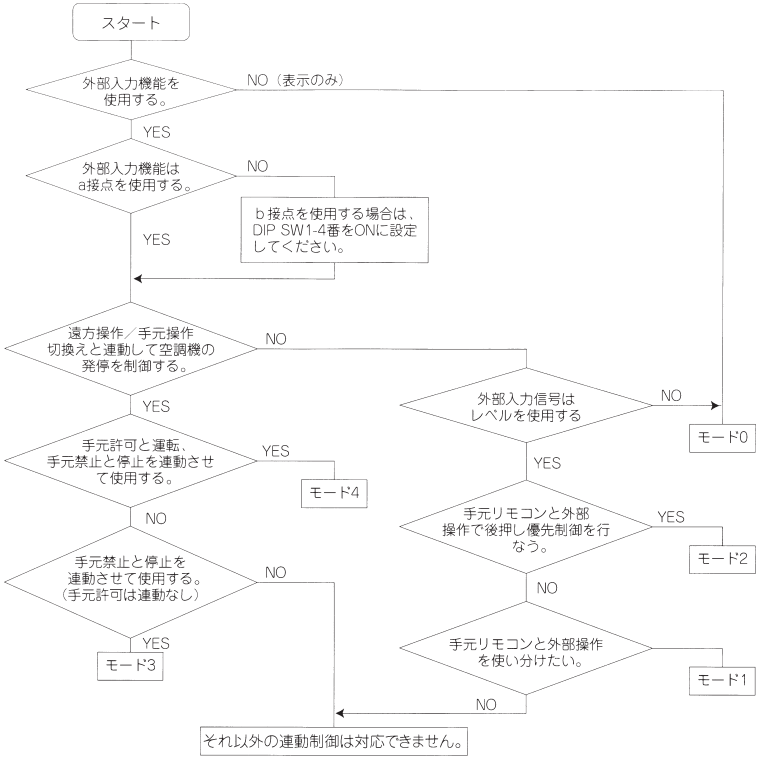
項　目	内　容
入力点数	2点
入力信号	パルス／レベル（無電圧接点）
パルス規格 接点／信号	

●出力仕様

項　目	内　容
出力点数	6点（運転/異常/冷房(ドライ)/暖房/圧縮機 ON/送風機 ON）
出力方式	リレー接点方式
出力接点定格電流	1A
出力接点定格電圧	DC 30V, AC200V
出力接点最小適用負荷	10mA

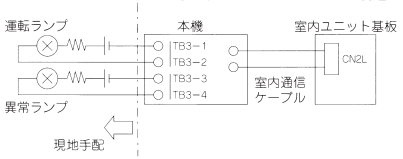
9 システム使用例

1.モード設定フローチャート



2.外部出力機能

- 本機の外部出力端子（TB3）から、空調機状態の接点信号が出力されます。使用用途に応じて対応の接点に負荷を接続します。
  ※外部出力機能のみの使用の場合はDIP SW1による設定の必要はありません。（工場出荷時はDIP SW1はすべてOFF）

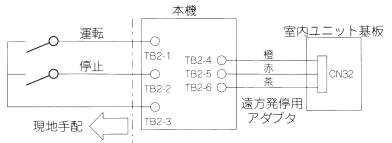


お願い TB3の接点定格は以下の通りですので、定格にあった電源と抵抗を現地に手配してください。
接点定格電圧：AC200V（DC30V）／1A

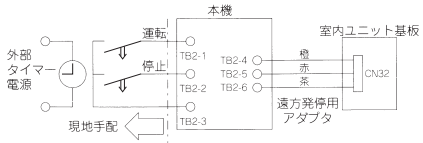
3.外部入力機能

- 本機の外部入力端子（TB2−1〜3）から空調機の運転／停止や遠方操作／手元操作の切換え制御などが行なえます。
- 行ないたい制御内容によって、DIP SW1の設定が必要となりますので、5 初期設定方法 の項を参照に設定してください。
- 各モードにおいて、外部入力指令が出力されてから室内ユニットの状態が変化し、本機の接点信号が出力されるまでに2〜3秒の時間の遅れがあります。

① 常時、遠方操作または外部タイマーからの運転／停止を行ないたい場合。DIP SW1はモード0に設定します。
（5 初期設定方法 参照）

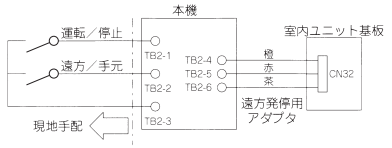


遠方操作の場合

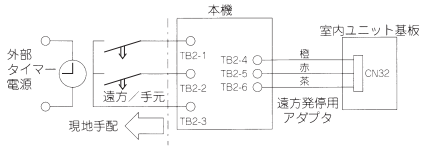


外部タイマー運転の場合

② 遠方操作または外部タイマーからの運転／停止と、手元リモコンからの運転／停止を使い分ける場合。
DIP SW1はモード1に設定します。（5 初期設定方法 参照）

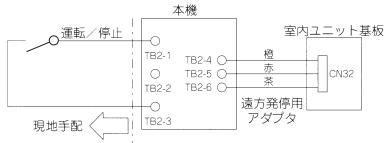


遠方操作の場合

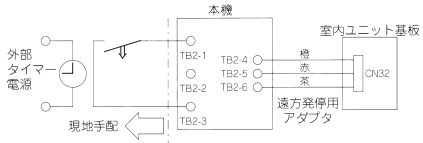


外部タイマー運転の場合

③ 遠方操作または外部タイマーと手元リモコンを併用して、発停操作を後押優先で行ないたい場合。
DIP SW1はモード2に設定します。（5 初期設定方法 参照）

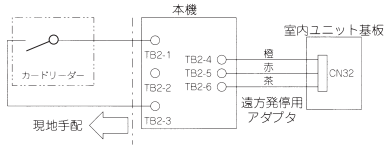


遠方操作の場合



外部タイマー運転の場合

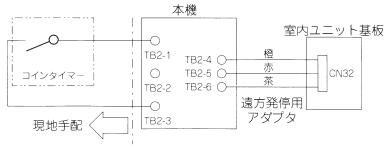
④ カードリーダーと連動させたい場合。DIP SW1はモード3に設定します。（5 初期設定方法 参照）



カードリーダーがONすると、空調機の手元リモコン操作許可状態になり、OFFすると空調機停止で、手元リモコン操作禁止状態になります。

お願い カードリーダーの接点は無電圧a接点を使用してください。また、カードリーダー用の電源は別途設けてください。

⑤ コインタイマーと連動させたい場合。DIP SW1はモード4に設定します。（5 初期設定方法 参照）



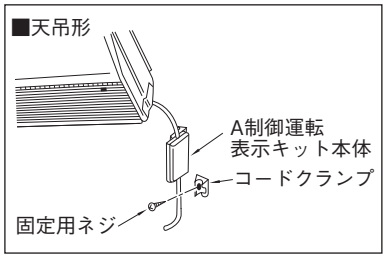
コインタイマーがONすると、空調機運転で手元リモコン操作許可状態になり、OFFすると空調機停止で、手元リモコン操作禁止状態になります。

お願い コインタイマーの接点は無電圧a接点を使用してください。また、コインタイマー用の電源は別途設けてください。

A 制御運転表示キット

● PAC-SF40RM

使用目的 / 用途



- “A 制御運転表示キット” を使用して、離れた場所で運転・異常信号の取り出しと外部信号による運転／停止が可能です。
- 本表示キットはワイヤレスリモコンとの併用はできません。

注　意

・A制御運転キット内の接点入力専用端子には、電圧は投入しないでください。
・次の機種以降は、CN41 コネクターが実装されておりません。
（4方向 PL-ZRP/ERP/HRP･EA9/HA、コンパクトカセットPL-RP･GA3、
1方向 PM-RP･FA17、天吊 PC-RP･KA(L)19/BA19/CA19、
厨房天吊 PC-RP･HA19、壁 PK-RP･LA19、PK-RP･KA19、床置 PS-RP･KA19）
別売部品A制御運転表示セット「PAC-SK52RM-ST」を使用し、CN51 端子に接続してください。
詳細は、別売部品の据付工事説明書をご確認ください。

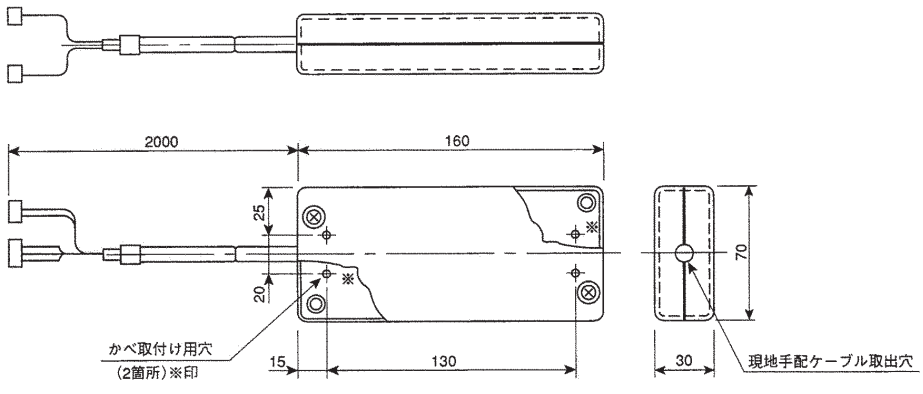
対象ユニット

● A 制御機種

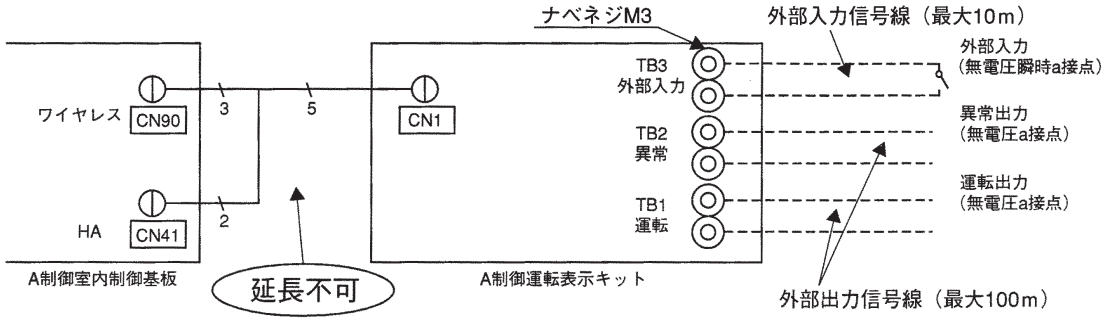
仕　様

形　名		PAC-SF40RM	出力信号		無電圧 a 接点（リレー接点方式）
電　源		室内ユニットから受電		接点点数	2 点（運転・異常）
外形寸法		160 × 70 × 30mm		接点容量	AC200V（DC30V）・1A 以下
外装	材　質	ABS 樹脂		接点最小負荷	10mA
	色	グレー	入力信号		パルス（無電圧瞬時 a 接点）信号、パルス幅：200ms 以上
	マンセルNo	3.07Y6.16/0.33		接点点数	1 点（発停）
質　量		200g	入出力信号線（現地手配）	線 種	CV、CVS またはこれら相当のシース付ビニルコード・ケーブル
使用環境条件	温 度	屋内専用：0 ～ 40℃		線 径	撚線：0.5 ～ 1.25mm^2、単線：φ0.65 ～ 1.2mm
	湿 度	屋内専用：35 ～ 85% RH（結露なきこと）		配線距離	出力信号線：最大 100 m 入力信号線：最大 10 m（10 mを超える場合は中継用リレーを使用してください）
室内ユニット接続線		コネクタ付（9 極･4 極）の 5 芯（3 芯 +2 芯ケーブル）			

外形図 (単位：mm)



電気配線図



WT02691X03

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機パッケージエアコン
A 制御運転表示キット
PAC-SF40RM
据付説明書

適用

・本表示キットはパッケージエアコンA制御機種用です。

・本表示キットはワイヤレスリモコンとの併用はできません。

・本表示キットはPDH機種等での漏水異常は表示できません。

1. 安全のために必ず守ること

・据付の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みください。
・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付くもの。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
移設・修理の時は工事される方に、またお使いになる方が代わる場合には、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
お客様自身で据付工事をされ不備があると、故障や感電、火災等の原因になります。

据付けは、重量に充分に耐える所に確実に行なう。
強度が不足している場合は、本機の落下により、けがの原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

改造、修理は絶対にしない。
修理に不備があると、感電、火災等の原因になります。また、修理は、お買上げの販売店にご相談ください。

据付工事は、この据付説明書に従い確実に行なう。
据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従い施工する。
電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。

お客様自身で移設はしない。
据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。
お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

⚠注意

可熱性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火の原因になることがあります。

特殊環境には、使用しない。
油(機械油を含む)、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりすることがあります。

配線はむき線部分が端子盤の外に出ないように確実に接続する。
むき線が端子盤の外に出ていると、むき線部分どうしが接触し、感電、火災の原因になることがあります。

配線は、電流容量に合った、規格品の配線にて工事を行なう。
漏電や発熱、火災の原因になることがあります。

本機を据付ける付近の温度が40℃を越える場所、0℃未満の場所、または直射日光の当たる場所には据付けない。
変形、故障の原因になることがあります。

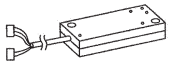
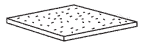
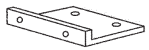
浴室など大量の湯気が発生するところには据付けない。
水のかかる場所、結露する場所には据付けないでください。
感電、故障の原因になることがあります。

基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。
故障の原因になることがあります。

病院、通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なって施工する。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器などの影響による本機の誤動作や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります。

2. 部品の確認

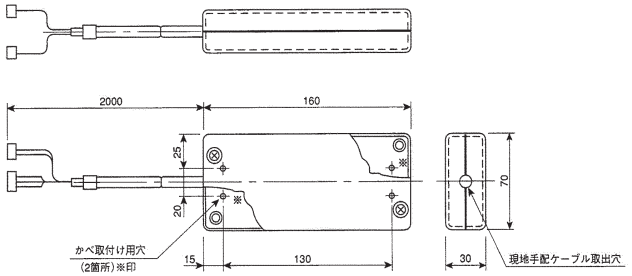
(1) 付属部品

構成部品	数量	構成部品	数量	構成部品	数量
①運転表示キット本体（室内ユニット接続線2m付き） 	1	④③の固定用ネジ 3.5×12（黒）	4	⑦コードクランプ	5
②コードクランプ（現地手配ケーブルが太く、本体内のクランプが小さい場合、ご使用ください。）	1	⑤クッション材（両面粘着剤付き） 	1	⑧⑦の固定用ネジ 3.5×12（黒）	5
③壁面固定用金具 	1	⑥ファスナー（リード線まとめ用）	5	⑨本体固定用ネジ 3.5×12（黒）	2

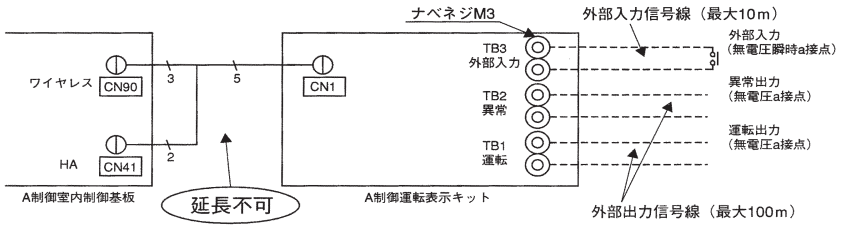
(2) 現地手配部品

項　目	品　名	形　名　・　仕　様
外部出力機能	外部出力信号線	シース付きビニルコードまたはケーブルをご使用ください。 電線の種類　CV,CVSまたはこれらに相当するもの 電線サイズ　撚線0.5mm^2～1.25mm^2 単線φ0.65mm～φ1.2mm
	表示ランプ等	無電圧a接点AC200V(DC30V),1A以下
外部入力機能	外部入力信号線	シース付きビニルコードまたはケーブルをご使用ください。 電線の種類　CV,CVSまたはこれらに相当するもの 電線サイズ　撚線0.5mm^2～1.25mm^2 単線φ0.65mm～φ1.2mm
	スイッチ	無電圧瞬時a接点 （200ms以上のパルスを入力することにより、運転⇆停止が切り替わります。）

3. 外形寸法図



4. 配線方法



<TB3への入力>
TB3にて、チャタリング（約２秒以内のON/OFFの繰り返し）が発生すると、TB2へ瞬時出力（約２秒間）されることがあります。
また同様に、A制御室内制御基板のCN32（外部入力）にてチャタリングが発生するとTB2へ瞬時出力されることがあります。

⚠注意

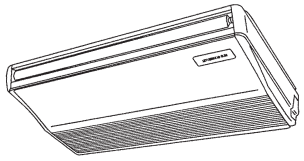
1）TB3は接点入力専用端子です。電圧は投入しないでください。室内制御基板の故障の原因となります。
2）室内機との接続ケーブルは必ず付属の接続ケーブルを用い、延長などの改造は絶対に行わないようにしてください。外来ノイズ等の影響を受けやすく、誤動作する可能性があります。
延長が必要な場合は、6. 製品の仕様 に記載の仕様表に従って外部信号線を延長してください。

《室内ユニット側の接続》
①外部出力機能を使用する場合・・・室内制御基板上のCN90に、付属のケーブルの9極コネクタ（3芯）側を差し込みます。
②外部入力機能を使用する場合・・・室内制御基板上のCN41に、付属のケーブルの4極コネクタ（2芯）側を差し込みます。
※コネクタには方向性があります。ご確認の上間違いのないよう正しく差し込んでください。
決して無理に押し込まないでください。破損等の原因となります。

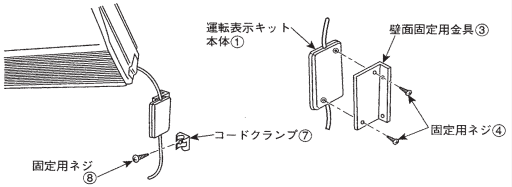
5. 据付方法

運転表示キット本体の取付けはⒶ固定用金具を用いる、Ⓑ直接取付ける、Ⓒクッション材を用いる、の3通りがあります。

（1）据付け例1〔天吊り型〕



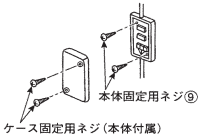
Ⓐ壁面固定用金具にて取付ける場合

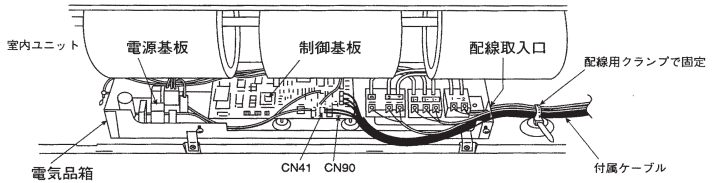


⚠注意

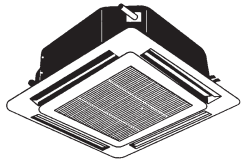
1）運転表示キット本体を取付ける場合には、サービスできるように点検口を設けて柱・壁等に固定金具を使って固定してください。
2）取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー⑥によりとりまとめてください。

Ⓑ壁面に直接取付ける場合

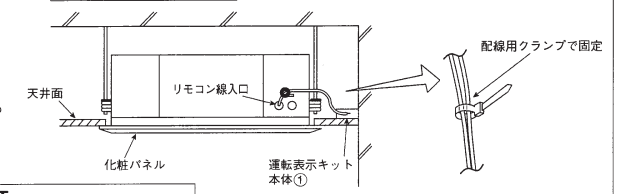




（2）据付け例2〔カセット型〕



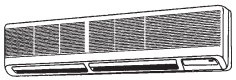
Ⓐ天井面内に取付ける場合



⚠注意

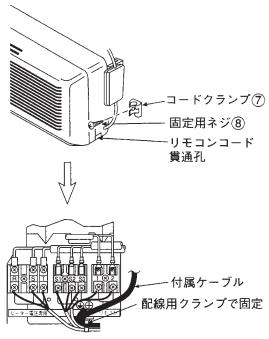
1）運転表示キット本体を取付ける場合には、サービスできるように点検口を設けて天井面内に固定してください。
2）取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー⑥によりとりまとめてください。

（3）据付け例3〔壁掛け型〕



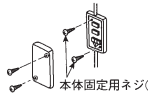
⚠注意

1）運転表示キット本体を取付ける場合には、サービスできるように点検口を設けて柱・壁等に固定してください。
2）取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー⑥によりとりまとめてください。



Ⓐ壁面固定用金具にて取付ける場合

Ⓑ壁面に直接取付ける場合



Ⓒクッション材にて取付ける場合

6. 製品の仕様

・仕様表

項　目	仕　様
電源	パッケージエアコン室内機から受電
外形寸法〔長さ×奥行き×高さ〕	160×70×30（mm）
使用環境条件	0～40℃ 35～85%RH（保存は30～90%RH） 屋内専用
信号線	撚線0.5mm²～1.25mm² 単線φ0.65mm～φ1.2mm
信号線配線距離	外部出力：max100m 外部入力：max10m（10mを越える場合は、中継用リレーを使用してください。）
室内ユニット接続線	5芯（3芯+2芯）
製品質量	200 g

・入力仕様

項　目	内　容
入力点数	1点
入力信号	パルス（無電圧接点）
パルス規格	閉 開 200ms以上

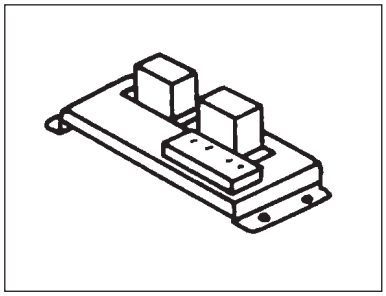
・出力仕様

項　目	内　容
出力点数	2点
出力方式	リレー接点方式
出力接点 定格	電圧　DC30V, AC200V 電流　1A
出力接点 最小負荷	10mA

遠方操作リレーキット

● PAC-SA86SK

使用目的 / 用途



●“遠方操作リレーキット”は、遠方より各空調機の一括運転・停止操作及び各空調機のリモコン操作への切り換えなどをする為の部品です。

● 本部品は遠方表示リレーキット（PAC-SA85HK）の機能増設部品です。
遠方表示リレーキット（PAC-SA85HK）と併用となります。

注　意
・遠方表示用アダプタは室内制御基板より最長 2m です。

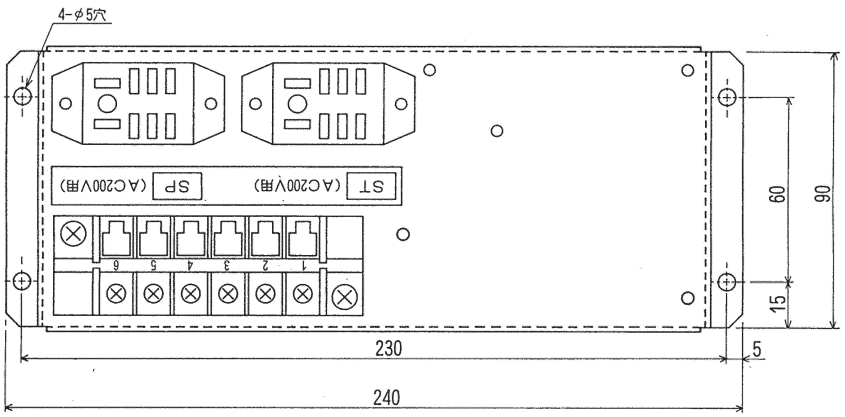
対象ユニット

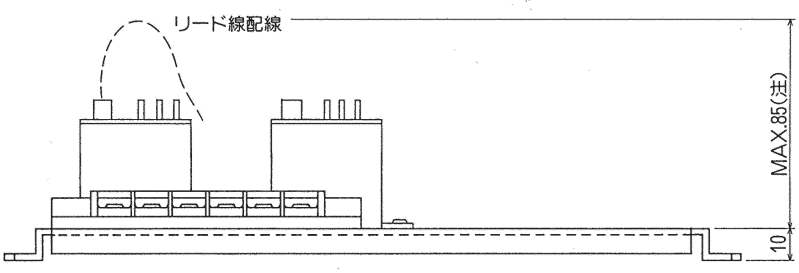
● A/K 制御機種

仕　様

形　名	PAC-SA86SK
機　能	遠方より各ユニットの一括 ON/OFF 操作および、各ユニットのリモコン操作への切り替え機能を持ちます。

外形図（単位：mm）





（注） リード線の配線のため、最大85㎜の高さが必要になります。
リード線は端子台に配線済です。

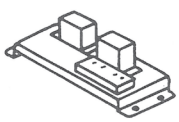
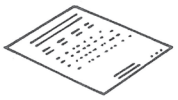
（本マニュアル用に変更・修正しています）

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱空調管理システム　別売部品
取 付 説 明 書

形名　PAC-SA86SK ：遠方操作リレーキット
PAC-SA87DK ：デマンド制御リレーキット

1 この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

① 基　板	② タッピンネジ	③ 配線図(ラベル)	④ 取扱説明書
			〔参考用〕 
1セット	(4×12) 4本	1枚	(A2版) 1枚

2 この部品は、機能増設用部品です。
遠方表示リレーキット(PAC-SA85HK)に増設し、ご使用ください。
なお、取付要領等は、付属の取扱説明書④をご参照ください。

3 機能説明
(1) PAC-SA86SK……遠方より各ユニットの一括ON・OFF操作及び、各ユニットのリモコン操作への切替え機能を持ちます。
(2) PAC-SA87DK……全ユニットを強制停止させ、解除後は各ユニット共、強制停止前の状態にそれぞれ復元させる機能を持ちます。

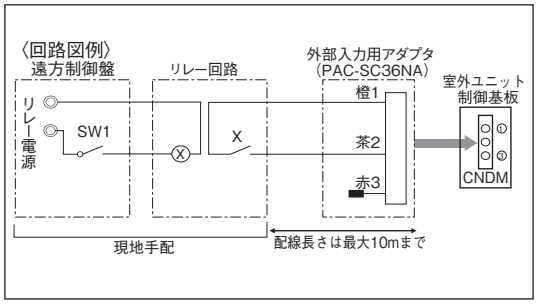
4 ・「PAC-SA85HK」に上記機能を組合せて、さらに多機能な制御システムとして、ご使用ください。
・組合わせ配線図及びシステム例は、付属の取扱説明書④に記載してありますので、そちらをご参照ください。
※取付け完了後、配線ラベル③をPAC-SA85HKのカバー(板金)の裏面に貼付けてください。

KA79C029H01

外部入力用アダプタ

● PAC-SC36NA

使用目的 / 用途



- 本品は外部入力により低騒音優先モード・デマンド制御を行う場合にリレー回路と室外ユニット制御基板を接続するためのアダプタです。
- 接続用電線以外の部品（タイマー、スイッチ、リレーなど）はすべて現地手配となります。

注　意

・室外ユニット制御基板からの配線の長さは 10m 以内としてください。

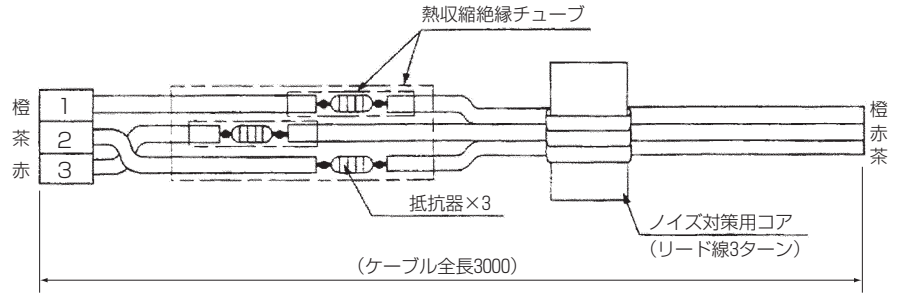
対象ユニット

- PUZ-ZRMP28 ～ 63(S)KA13
- PUZ-ZRMP80(S)HA13,ZRMP112 ～ 160KA13
- PUZ-ZRMP224·280KA3
- PUZ-ERMP40 ～ 63(S)KA13
- PUZ-ERMP80(S)HA13
- PUZ-ERMP112 ～ 160LA13
- PUZ-ERMP224·280KA3
- PUZ-HRMP80 ～ 160KA7
- PUZ-DHRMP80 ～ 140KA2

仕　様

品　名	PAC-SC36NA
機　能	デマンド制御、低騒音優先の信号を室外ユニット制御基板へ入力
入力信号	無電圧接点（ON/OFF レベル信号）
コネクタ	3P（室外ユニット制御基板　CNDM、CN3D、CN3S コネクタへ接続）
線　種	3 芯ケーブル（配線を延長する場合： シース付ビニルコードまたはケーブル 0.5 ～ 1.25㎟）
線　長	3 m（現地配線延長により最長 10 m）

外形図（単位：mm）



電気配線図

低騒音優先モード･デマンド機能（現地工事）

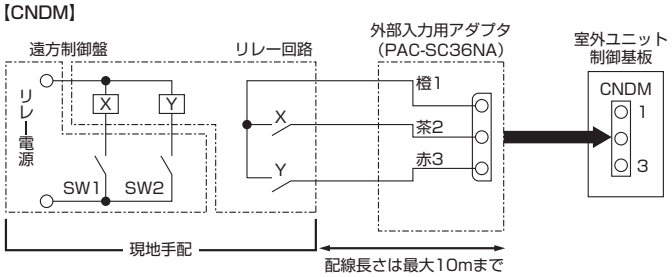
市販のタイマー、またはON-OFF 切替スイッチの接点入力を室外制御基板上のCNDM コネクタ（別売接点デマンド入力）に追加することにより、低騒音優先モードおよびデマンド機能を設定できます。

･低騒音優先モードに設定することで、室外ユニットの運転音が通常時より約3～4dB低減します。
　※外気温度条件等によっては能力が不足することがあります。

･デマンド機能を設定することで、最大消費電力を0 ～ 100% の範囲で抑制します。

〈回路図例〉

【CNDM】



SW1：下表による
SW2：下表による
X, Y ：リレー（接点定格　DC15V　100mA以上 / 最小適用負荷　DC5V 1mA以下）

①別売「外部入力用アダプタ（PAC-SC36NA）」を使用し、上図のような回路を組みます。
②室外制御基板SW7-1の切替により、低騒音優先モードとデマンドを選択します。
③デマンド機能は下表の組合せで最大消費電力を抑制することができます。

	室外制御基板SW7-1	SW1	SW2	機能
低騒音優先モード	OFF	ON	—	低騒音優先モード作動
デマンド	ON	OFF	OFF	100%（通常）
		ON	OFF	75%
		ON	ON	50%
		OFF	ON	0%（停止）※1

※1: 室内機は送風状態

（本マニュアル用に変更・修正しています）

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機ビル空調管理システム　別売部品　形名 PAC-SC36NA
外部入力用アダプター説明書

1．概　要

この部品はエアコンをデマンド運転、サイレントモード・ナイトモード運転、スノーセンサ等に取付けるタイマー回路またはスイッチ回路と室外マルチボードとを接続するためのアダプターです。外部回路(現地配線)の接続方法によりいろいろな運転形式がとれます。〔アダプターの線長は3ｍです。〕

2．現地手配部品

接続用電線以外の部品(タイマー、スイッチ、リレー等)はすべて現地手配となります。

部品仕様　(1)タイマー……無電圧接点出力タイマー(電源回路とスイッチ回路が別回路のもの)
(例)TSQ-1DKP(三菱)、H2Eデイリータイマー(オムロン)

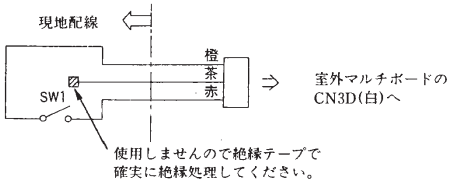
(2)スイッチ……単極単投スイッチ　(注)タイマー及びスイッチの接点にはDC5V　1mA程度の負荷しかかかりません。できる限り微少電流用接点のものを選定してください。

(3)中継用リレー…(例)MY-2Z(オムロン)　(注)4項「配線上の注意」による配線工事のとき使用します。

3．現地配線方法

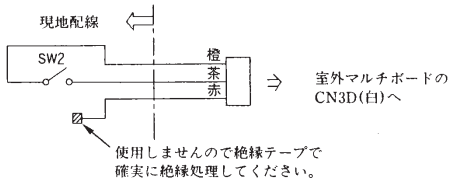
基本的な接続方法と動作
この外部入力用アダプターは現地配線側の接続回路方法によりデマンド運転、サイレントモード・ナイトモード運転、スノーセンサ等の運転操作ができます。

(1)デマンド運転をする場合



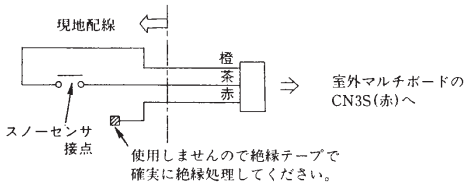
SW1…ON：デマンド運転
OFF：通常運転

(2)サイレントモード・ナイトモード運転をする場合

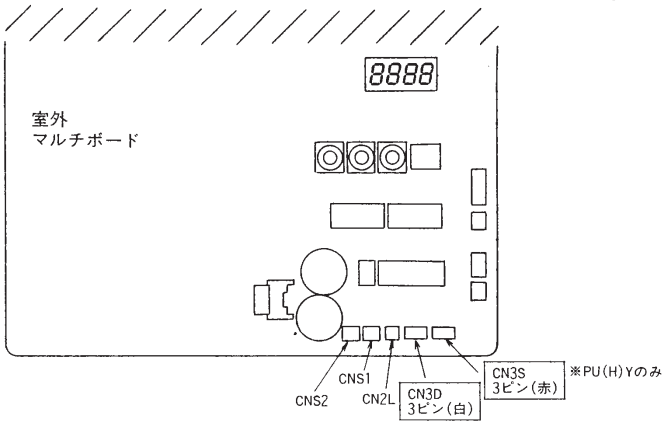


SW2…ON：サイレントモード・ナイトモード運転
OFF：通常運転

(3)スノーセンサを取り込む場合 (PU(H)Yのみ)



スノーセンサ接点…ON：スノーセンサ取り込み
OFF：通常運転
※微少電流対応の接点をもつスノーセンサを推奨します。



4．配線上の注意

室外マルチボードからの配線の長さは10m以内としてください。特に遠方操作等で配線を延長する場合は中継用リレーを使用してください。(図4-1)
なお、中継用リレーの代わりに、遠方表示リレーキット(PAC-SA85HK)及び遠方操作リレーキット(PAC-SA86SK)の使用が可能です。(図4-2)

図4-1

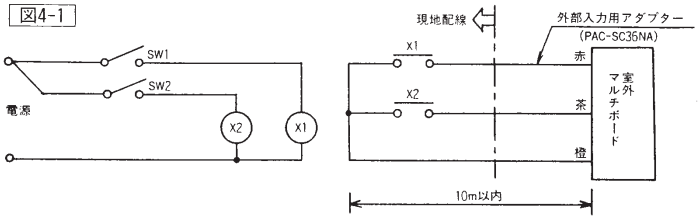
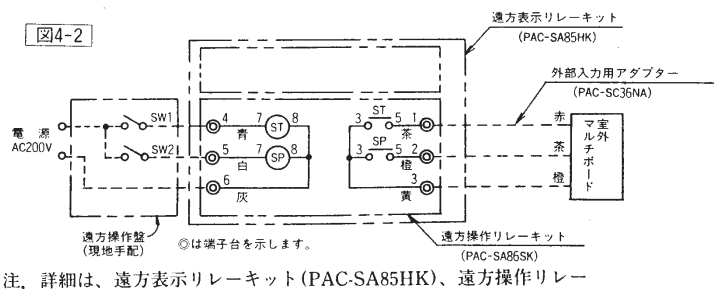


図4-2



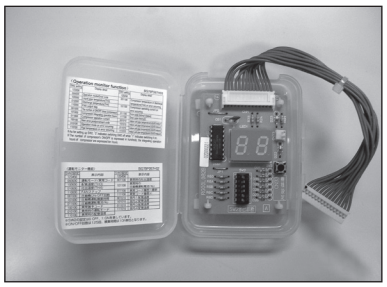
注．詳細は、遠方表示リレーキット(PAC-SA85HK)、遠方操作リレーキット(PAC-SA86SK)の取扱説明書を御覧下さい。

WT02681X02

A 制御サービス点検キット

● PAC-SG50ST

使用目的 / 用途



●“A 制御サービス点検キット”は、デジタル表示 LED に 2 桁の数値および記号で、運転状態および点検コードの内容を確認することができる部品です。
● 室外制御基板上のコネクタ CNM に本品を接続します。
● 本品内のディップスイッチ SW2 を操作し、表示内容を切り替えます。

注　意
・通信異常が発生している場合には、ワイヤーリモコンと本品の表示が一致しない（またはリモコン表示しない）場合があります。

対象ユニット

● PUZ-ZRMP28 ～ 63(S)KA13
● PUZ-ZRMP80(S)HA13,ZRMP112 ～ 160KA13
● PUZ-ZRMP224･280KA3
● PUZ-ERMP40 ～ 63(S)KA13
● PUZ-ERMP80(S)HA13,ERMP112 ～ 160LA13
● PUZ-ERMP224･280KA3
● PUZ-HRMP80 ～ 160KA7
● PUZ-DHRMP80 ～ 140KA2

仕　様

品　　名	PAC-SG50ST
電　　源	DC5V（室外制御基板より供給）
使用環境条件	温度− 20 ～ 60℃、湿度 90% RH 以下（結露なきこと）
外形寸法	69(W) × 91(H) × 27(D)mm　※リード線は除く
質　　量	0.05kg

取扱説明

＜表示ツール取付説明＞　　BG79P264H02

※表示ツールの脱着は、必ず電源を切って行なってください。
①.本表示ツールのコネクタを室外制御基板上のコネクタ「CNM」に接続します。

②.表示ツール上のディップスイッチSW2を操作することにより、デジタル表示発光ダイオードLED1に 2 桁の数値及び記号で 運転状態及び点検コードの内容を知ることができます。

③.ご使用の後は、忘れずに表示ツールを室外制御基板から取り外してください。

※表示ツールのコネクタはロック機構付となっております。
コネクタの脱着時には、コネクタのロッキングレバーを指で押した状態で行なってください。

SW2 設定	表示内容	SW2 設定	表示内容
123456		123456	
000000	運転モード / 異常コード	001100	異常時の吐出温度
100000	配管温度（TH3）	101100	異常時の圧縮機運転電流
010000	吐出温度（TH4）		
110000	FAN ステップ	011100	異常コード履歴（1）最新
001000	圧縮機 ON/OFF 回数	111100	異常コード履歴（2）
101000	圧縮機運転積算時間	001010	室内 1 配管温度
011000	圧縮機運転電流	101010	室内 2 配管温度
100100	異常猶予コード	011010	室内 3 配管温度
010100	異常時の運転モード	111010	室内 4 配管温度
110100	異常時の配管温度		

※ SW2 の設定は 0：OFF、1：ON を表しています。
※ ON/OFF 回数は 125 回、積算時間は 10h 単位となります。

＜PUZ-GA 運転モニター機能＞　　BG79S616H01

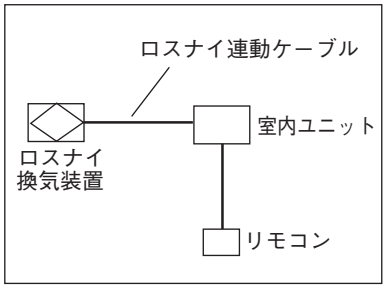
SW2 設定	表示内容	SW2 設定	表示内容
123456		123456	
000000	運転モード / 異常コード	011100	異常コード履歴（1）最新
100000	室外液管温度（TH3）	111100	異常コード履歴（2）
010000	吐出温度（TH4）	001010	室内 1 液管温度
110000	FAN ステップ	101010	室内 1 二相管温度
001000	圧縮機 ON/OFF 回数	011010	室内 2 液管温度
101000	圧縮機運転積算時間	111010	室内 2 二相管温度
011000	圧縮機運転電流 (A)	011011	室内 3 液管温度
111000	圧縮機運転周波数	111011	室内 3 二相管温度
100100	異常猶予コード	000100	LEV 開度
010100	異常時の運転モード	001110	室外二相管温度
110100	異常時の液管温度	011110	室外放熱板温度
001100	異常時の吐出温度	010101	異常時の運転周波数
101100	異常時の圧縮機電流	000011	異常時の二相管温度

※ SW2 の設定は 0：OFF、1：ON を表しています。
※ ON/OFF 回数は 125 回、積算時間は 10h 単位となります。

ロスナイ連動ケーブル

● PAC-SB81VS

使用目的 / 用途



●“ロスナイ連動ケーブル”は、室内ユニットとロスナイを連動する際に使用する部品です。
● ロスナイ換気装置の連動・単独運転・風量切換ができます。
※接続可能なロスナイは、マイコンタイプに限ります。

注　意

・ロスナイと連動する場合、リモコンから機能選択が必要です。
・スリム機種とロスナイ連動ケーブルの接続では最大 50m まで延長可能です。

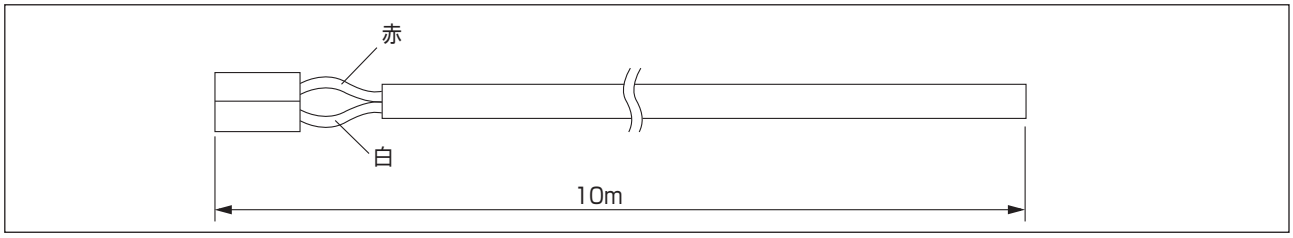
対象ユニット

● A/K 制御機種

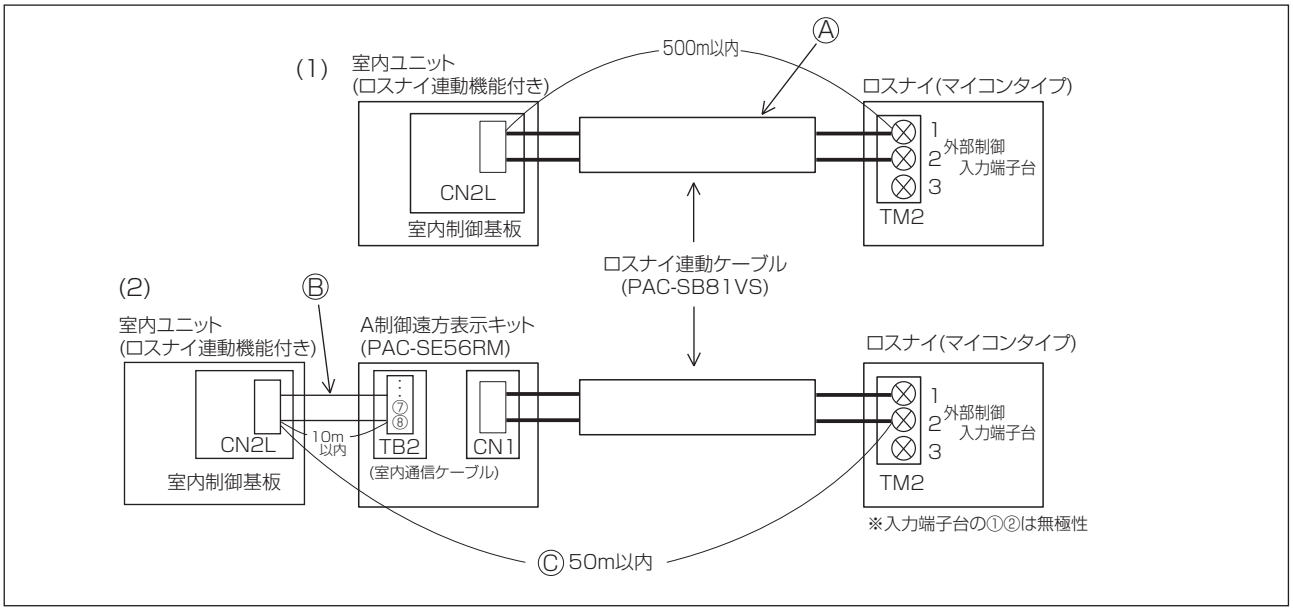
仕　様

品　名		PAC-SB81VS
線　種		2 芯シース付ビニールケーブル　2P コネクタ付
線　長		10 m
最大延長	Ⓐ	500 m以内（延長ケーブル仕様：シース付ビニルコード、またはケーブル 0.5 ～ 0.75㎟）
	Ⓑ	10 m以内（室内通信ケーブル　PAC-SE56RM 付属品）
	Ⓒ	50 m以内（延長ケーブル仕様 : シース付ビニルコード、またはケーブル 0.5 ～ 0.75㎟）

外形図



電気配線図



（本マニュアル用に変更・修正してあります）

ロスナイ連動ケーブル用配線要領書

1.配線要領

(1)室内ユニット（または遠方表示キット）との接続

・ロスナイ連動ケーブルのコネクタ側をスリムK制御室内基板（ロスナイ連動機能付き）、またはスリムA制御室内制御基板のCN2Lに接続します。

・A制御遠方表示キット(PAC-SE56RM)と接続する場合は、A制御遠方表示キットのCN1にコネクタ側を接続します。

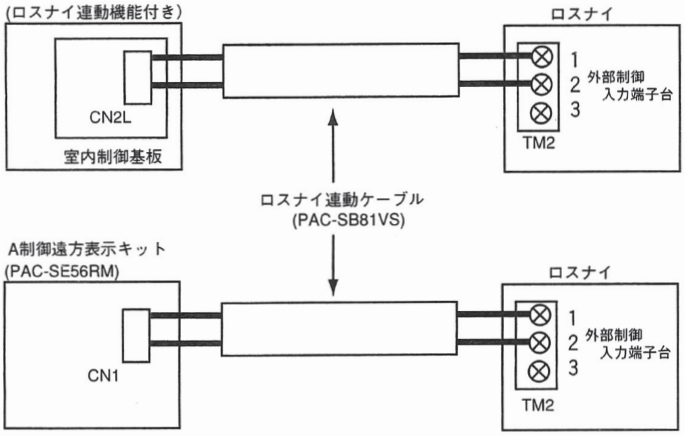
お知らせ	同時ツイン・トリプルの場合は必ず主機（1号機）と接続してください。 また、新ワイドリモコンが必要となります。

(2)ロスナイ（マイコンPタイプ）との接続

・ロスナイ連動ケーブルのリード線側をロスナイ外部制御入力端子台１・２に接続します。
（このとき、入力端子台の１・２は無極性）

お知らせ	マイコンPタイプ以外のロスナイとは接続できません。

室内ユニット（スリムK制御、スリムA制御)



2.配線上の注意

・本品は10mです。

・ロスナイ連動ケーブルの延長
ロスナイ連動ケーブルを延長する場合は、確実に接続し接続部の絶縁処理をおこなってください。
（延長ケーブルの仕様：シース付ビニールコード、またはケーブル0.5～0.75mm²）

・ロスナイ連動ケーブルの延長制限
スリムK制御の場合：５００m
スリムA制御の場合：　５０m

・A制御遠方表示キットを接続する時の、ケーブルの総延長制限
室内ユニット① A制御遠方表示キット②ロスナイ：①＋② ≦50m

・ロスナイ連動ケーブルと電源線（100V,200V系）は、誤動作防止のため接触させないよう配線してください。（５cm以上離して配線します。）

＊配線は、「電気設備技術基準」・「内線規程」などに基づき法令の規程に合った正しい工事をすること。

3.ディップスイッチ、機能選択の設定

・A制御機種の場合
リモコン(PAR-S25A)にて機種設定が必要です。内容はリモコンの据付工事説明書をご参照ください。

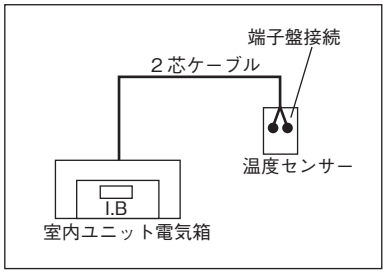
・K制御機種の場合
室内ユニットとダクト接続する場合は、室内ユニット制御基板上のディップスイッチSW5の4番をONとしてください。

WT02676X02

温度センサー

● PAC-SE40TS-W

使用目的 / 用途



- “温度センサー” を室内ユニットの吸込口センサーと差し替えて外付けとし、室温検知位置を変更することができます。
- 室内ユニット基板上のコネクタ（CN20）と接続します。

注　意
・本品を設置した場合、リモコンの機能選択で暖房時設定温度 4deg アップ設定を解除してください。

対象ユニット

- A/K/ M -NET 制御機種

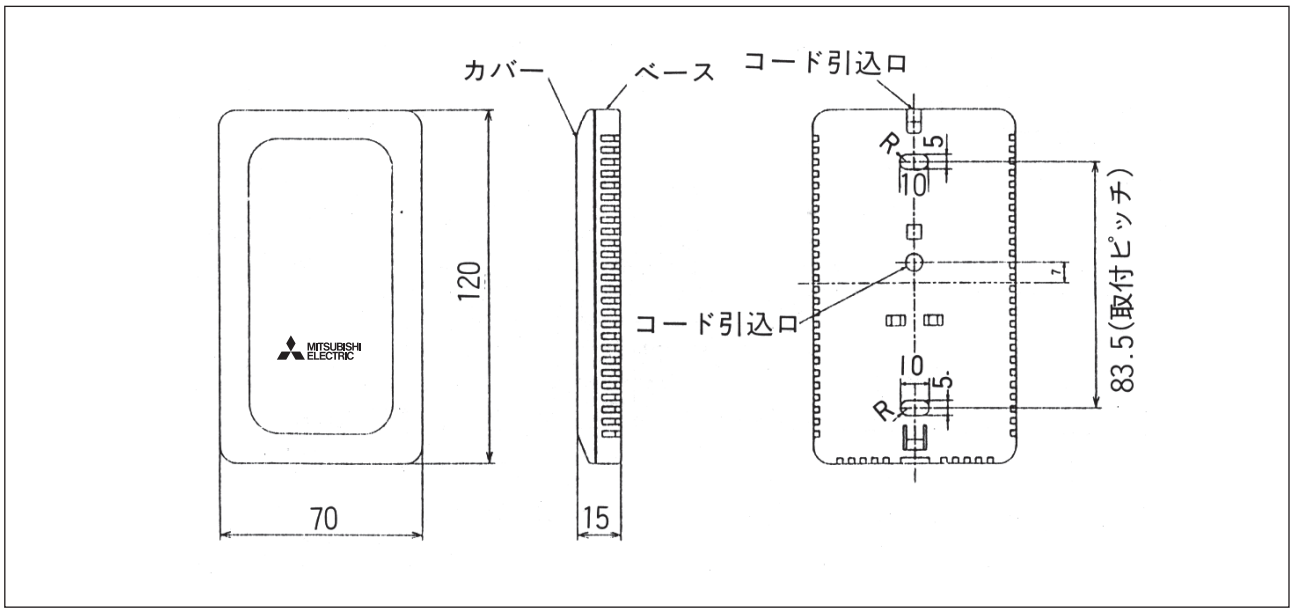
仕　様

品　名		PAC-SE40TS-W	外形寸法	120(H) × 70(W) × 15(D)mm
外装	色	クリアホワイト	環境使用条件	温度− 20 ～ 65℃、湿度 30 ～ 90% RH（結露なきこと）
	マンセル№	1.0 Y 9.2/0.2	据付方法	1 個用スイッチボックス（JISC8336）に取付、または壁に直付
	材　質	ABS 樹脂	付 属 品	2 芯ケーブル 12 m・接続用ポスト付コネクタ・取付ネジ 2 本

環境用計測コントローラーとの組み合わせの場合

温度計測範囲	− 20 ～ 65℃
計測分解能	10 ～ 35℃　0.1℃単位　　左記以外　0.5℃単位

外形図 (単位：mm)



WT02683X06　（本マニュアル用に変更・修正しています）

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機 ビル 空調管理システム

温度センサ

PAC-SE40TS
PAC-SE40TS-W
PAC-SE40TS-W2

据付説明書

1 安全のために必ず守ること

●据付の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結び付く可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付くもの。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
移設・修理の時は工事される方に、又お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
お客様自身で据付工事をされ不備があると、故障や感電、火災等の原因になります。

据付けは、重量に充分に耐える所に確実に行なう。
強度が不足している場合は、本機の落下により、けがの原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する。
接続や固定が不完全の場合は、発熱、火災等の原因になります。

改造、修理は絶対にしない。
改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。
修理はお買上げの販売店にご相談ください。

据付工事は、この据付説明書に従い確実に行なう。
据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従い施工する。
電源回路回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

お客様自身で移設はしない。
据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。
お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

⚠注意

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。

特殊環境には、使用しない。
油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりすることがあります。

病院、通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤動作や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因となることがあります。

配線は、張力がかからないように配線工事を行なう。
断線したり、発熱、火災の原因になることがあります。

配線引込口をパテで確実にシールする。
露、水、ゴキブリ、虫等の侵入のため、感電、故障の原因となることがあります。

本機を水洗いしない。
感電、故障の原因になることがあります。

本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。
変形、故障の原因になることがあります。

浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには据付けない。
壁が結露するような場所は避けてください。感電、故障の原因になることがあります。

酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用するところへ据付けない。
感電、故障の原因になることがあります。

配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。
漏電や発熱、火災の原因になることがあります。

基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。
火災、故障の原因になることがあります。

2 部品確認

箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

(1)温度センサ本体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・1
(2)2心ケーブル（10m）・・・・・・・・・・・・・・・1
(3)木ネジ 4.1×16 ・・・・・・・・・・・・・・・・2
(4)接続用ポスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・1
(5)変換ケーブル ・・・・・・・・・・・・・・・・・2

3 据付方法

(1)温度センサ（スイッチボックス）の据付位置を決めてください。
但し、下記の事項を必ず守ってください。
①温度センサは、部屋の平均的な温度を検知できる場所で直射日光や熱源、エアコンの吹出空気が直接当たらない所をお選びください。
天井面には据付けないでください。
②付属ケーブル（10m）以内で設置してください。（延長はできません。ノイズによる誤動作の原因になります。）
③下記の部品は、現地にて調達してください。
●十字穴付ナベネジ M4……2本
●1個用スイッチボックス（JIS C8336）
●薄鋼電線管（JIS C8305）
●ロックナット・ブッシング（JIS C8330）

(2)ケーブルを接続します。
●2心ケーブルを下ケースの端子台に接続します。
2心ケーブルは図1のように被覆をはがし、図2を参照して正しく配線してください。

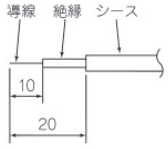


図1

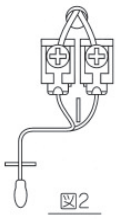


図2

●室内ユニットの電気品箱と温度センサとの配線は、図3の様になります。2心ケーブルの電気品箱への接続には、3種類あります。
①2心ケーブルの端についているコネクタをそのまま使用する場合
②2心ケーブルの端についているコネクタを切断して、I.B（インドアボード）内の端子台に接続する場合
③付属の接続用ポストと変換ケーブルを使用する場合
上記3種類を使用する室内ユニットに応じて使い分けて使用してください。また、2心ケーブルを壁埋込にする場合は図4の様になります。

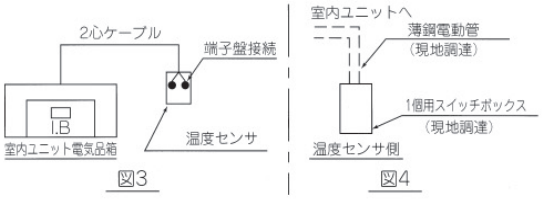


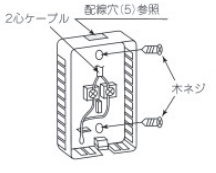
図3

図4

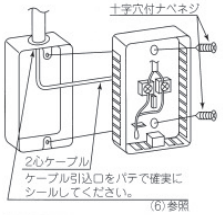
(3)下ケースを壁またはスイッチボックスの取付けます。

⚠注意　●ネジを締めすぎますと、ケースの割れ・変形の原因になります。

お知らせ　●2心ケーブルを端子台に付ける時の推奨締付トルクは1.2N・mです。



壁に取付ける場合



スイッチボックスにに取付ける場合

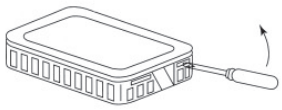
⚠注意　平らな壁に据付けてください。凹凸のある壁に取付けますと、ケース割れや故障の原因になります。

(4)上ケースにはめ込みます。

上部爪（2ヶ所）を先に掛けて、左図に様にはめ込みます。

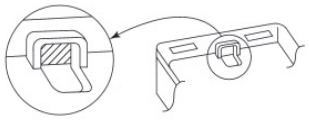
⚠注意　〝パチッ〟と音がするまで確実にはめ込んでください。確実にはめ込んでいない場合、落下の恐れがあります。

ケースを外したい場合、下図の様にマイナスドライバーを爪部分にはめ込み、矢印で示す方向に動かしてください。

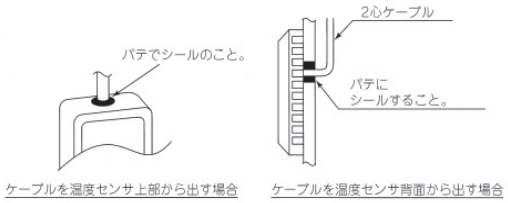


⚠注意
ドライバーを爪にはめ込んだ状態で回転させないでください。
爪がこわれてしまうことがあります。

(5)壁などに直接据付ける場合の配線穴
下ケースの薄肉部（斜線部）をナイフ・ニッパーなどで切取ってください。端子台に接続した2心ケーブルをここから出します。

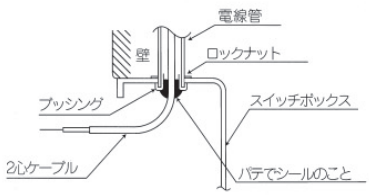


(6)露、水滴、ゴキブリ、虫等の侵入防止のためケーブル引込口をパテで確実にシールしてください。
●壁に直接取付けた場合は下ケースの切取った部分をパテでシールします。
また、壁に穴をあけケーブルを通す場合（ケーブルを温度センサ背面から出す場合）その穴も同様にシールしてください。
●スイッチボックスに取付けた場合はスイッチボックスと電線管の結合部をパテでシールします。



ケーブルを温度センサ上部から出す場合　ケーブルを温度センサ背面から出す場合

壁に直接取付ける場合



スイッチボックスを使用する場合

4 室内ユニット設定

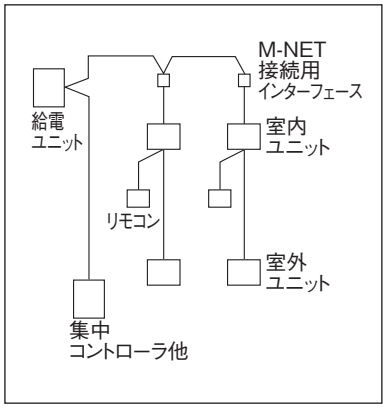
室内ユニットに温度センサを接続し、室温検知位置を変更した場合、下記のように室内ユニットの暖房時設定温度4degアップ設定を解除してください。

①K制御機種　：室内ユニット制御基板内のディップスイッチSW1-6番　ON
②M-NET制御機種：室内ユニット制御基板内のディップスイッチSW3-8番　ON
③A制御機種　：本体IMのリモコンの機種選択で設定してください。

M-NET 接続用インターフェース

● PAC-SL05MF

使用目的 / 用途



●“M-NET 接続用インターフェース”は、ビル内に分散した空調関連機器をネットワークし、より効率的にきめ細かく監視・制御する「MELANS（M-NET）」とスリムエアコン室内機（A 制御）を接続する際に使用します。

注　意
・M-NET 伝送線のシールド線は、接続する機器のいずれか 1箇所に限りアースを接続してください。

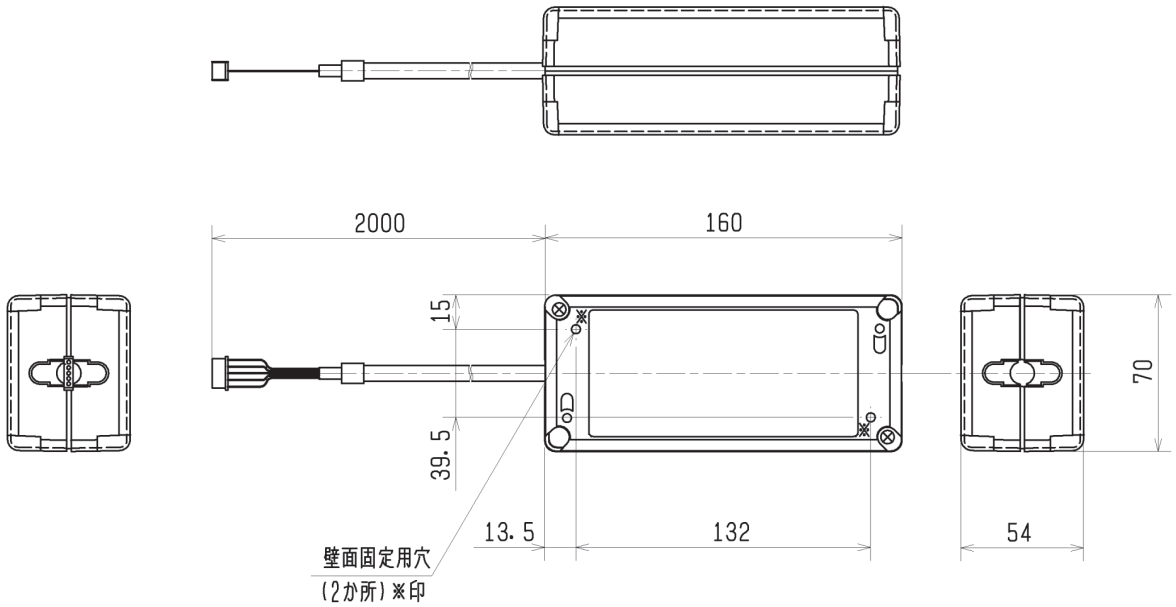
対象ユニット

● PL-ZRP40 ～ 160HA2, PL-ERP40 ～ 160HA2, PL-HRP80HA2
● PL-RP28 ～ 80GA5
● PK-RP28 ～ 56LA3
● P□ -(H)RP・□A19

仕　様

形　　名	PAC-SL05MF
電　　源	DC12V（室内ユニットからの供給）
室内ユニット接続線	5 芯専用ケーブル
使 用 環 境 条 件	屋内専用（周囲温度 0 ～ 40℃ < 結露なきこと >）
主 要 構 成 部 品	インターフェース本体 [接続ケーブル（5 線）付き] × 1, クッション材（粘着材付）× 1, リード線（3 線）× 1
製　品　質　量	0.36kg（室内ユニット接続線を含む）

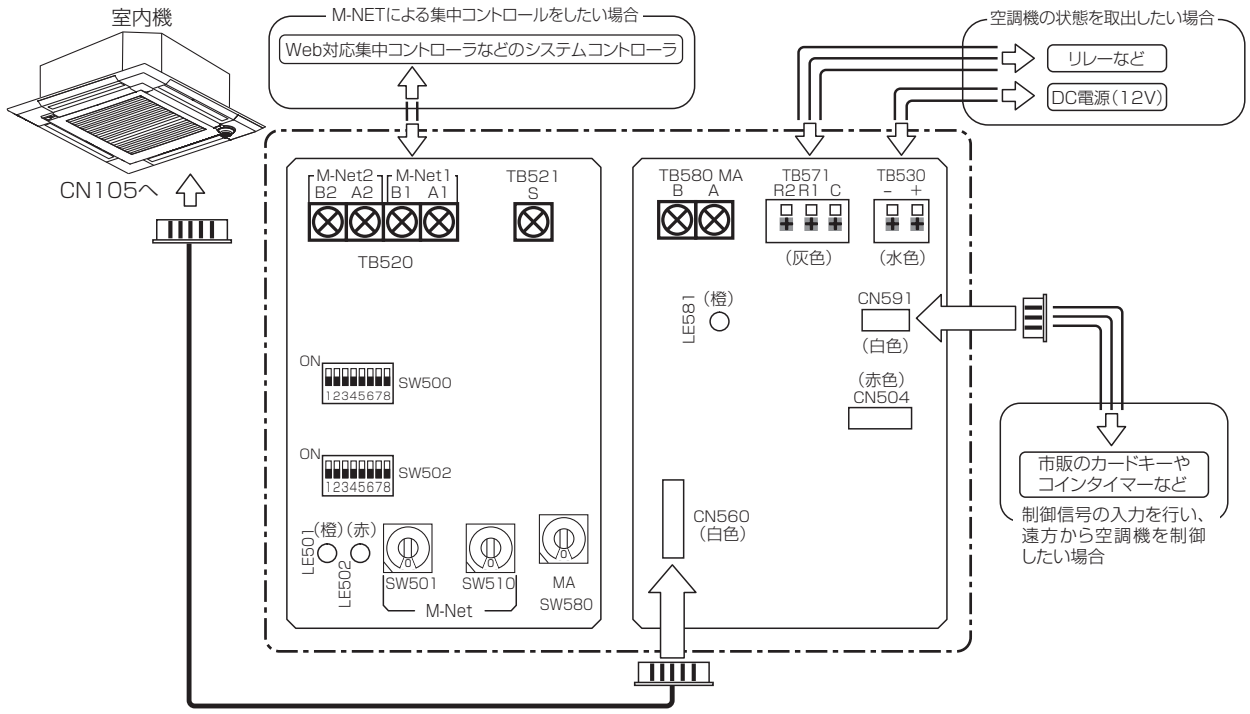
外形図 (単位 : mm)



M-NET 接続用インターフェース

● PAC-SL05MF

電気配線図



機能一覧

運転／停止
運転モード切換
室温設定
室温表示
風速設定
風向設定
エネルギー管理
手元操作への禁止／許可
ロスナイの操作(連動)
ロスナイの操作(単独)
外部入出力
能力セーブ制御　※1
課金支援機能
スケジュール設定
異常履歴
設定温度制限
自動冷暖切換
消し忘れ防止機能

＊接続するコントローラによっては使用できない機能もございます。
システムコントローラの機能有無をご確認のうえ、お買い求めください。

※1：システムコントローラの機種やバージョンによって対応有無は異なります。
詳細はお問い合わせください。

BH79A756H01

M-NET接続用インターフェース据付工事説明書

PAC-SL05MF

安全のために必ず守ること

●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方などを説明してください。
また、この据付工事説明書は、お客様で保管していただくように依頼してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

改造は絶対にしない。
●修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
改造したり修理に不備があると感電・火災などの原因になります。

インターフェース本体にはAC100V・AC200Vは接続しない。
●インターフェース本体に規定以上の電圧が接続された場合、感電・火災・故障の原因になります。

接続ケーブルは指定の位置に確実に固定する。
●固定に不備があると、感電・火災・故障の原因になります。

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様ご自身で据付工事をされ不備があると、感電・火災・インターフェース本体の落下によるケガの原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
●据付けに不備があると、感電・火災・インターフェース本体の落下によるケガの原因になります。

据付工事部品は必ず、当社付属部品および指定の部品を使用する。
●当社指定部品を使用しないと、感電・火災・インターフェース本体の落下によるケガの原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
また、途中接続は絶対に行わない。
●接続や固定が不完全な場合や、途中接続の場合は、発熱・火災などの原因になります。

お客様ご自身で移動・再据付けはしない。
●据付けに不備があると感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

据付けは、質量に十分耐えるところに確実に行う。
●強度の不十分なところに据え付けると、インターフェース本体が落下し、ケガなどの原因になります。

電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付工事説明書に従って施工してください。
●電気回路容量不足や施工不備があると感電・火災の原因になります。

インターフェース本体のカバーを確実に取り付ける。
●インターフェース本体のカバーの取付けに不備があると、水・ほこりなどにより、感電・火災などの原因になります。

電気工事をする前に

⚠注意

浴室など大量の湯気が発生する所には据え付けない。
●水のかかる場所、壁が結露するような場所は避けてください。
感電・故障の原因になります。

据付工事・配線工事をする場合、接続機器の電源を切ってから行う。
●接続機器の電源を切らなかった場合、インターフェース本体・接続機器の誤動作・故障の原因になります。

試運転をする前に

⚠注意

パネルやガードをはずした状態で運転をしない。
●機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

運転停止後、すぐに電源を切らない。
●必ず5分以上待ってください。水濡れや故障の原因になります。

濡れた手でスイッチを操作しない。
●感電の原因になります。

運転中の冷媒配管に素手で触れない。
●運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。
素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。

ご使用上の留意事項

1）静電気による破壊を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
人体などからの静電気は、インターフェース本体①を破壊させるおそれがあります。
2）直射日光のあたる場所、または周囲温度が40℃以上・0℃以下になる場所にインターフェース本体①を据付けないでください。
直射日光や高温・低温環境はインターフェース本体①の変形・故障の原因になります。
3）特殊環境には使用しないでください。
油（機械油を含む）・蒸気・硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

以下の制約内容については実際にご使用になる方に十分なご説明のうえお渡しください。（据付後はご使用される方に本紙をお渡しください）
4）遠方コントロールを行う場合は、室内機の遠方コントロール機能を使用せずインターフェースの遠方コントロール機能を使用してください。
5）インターフェース本体にはMAリモコンを接続できません。
MAリモコンを使用する場合は、室内機に接続してください。

1.使用部品

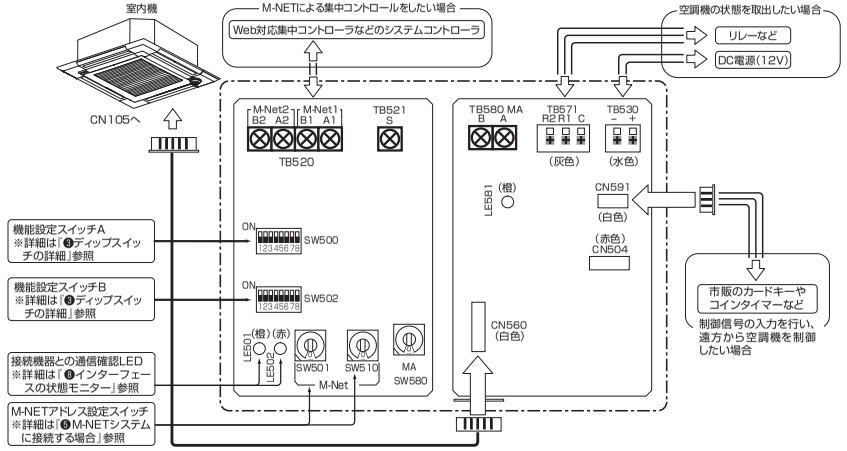
同梱品

①	インターフェース本体［接続ケーブル（5線）付き］		1	⑤	固定用コードクランプ（中）		4	⑨	ファスナー（リード線まとめ用）		5
②	壁面固定用ネジ 3.5×12		2	⑥	固定用コードクランプ（大）		3	⑩	リード線（3線）		1
③	クッション材（粘着材付）		1	⑦	④⑤⑥の固定用ネジ 3.5×12（インターフェース本体に固定する場合に使用）		4	⑪	⑮の固定用ネジ 4×10（室内機の近傍に固定する場合に使用）		1
④	固定用コードクランプ（小）		2	⑧	結束バンド		8	⑫	⑮の固定用ネジ 4×16（室内機の近傍に固定する場合に使用）		1

現地で準備していただく部品（別売部品および一般市販部品）

Ⓐ	M-NET通信ケーブル	2芯シールド線（CVVS,CPEVS,MVVS） 線径1.25mm²以上 ※同一端子台で渡り配線する場合は1.25mm²を使用してください。
Ⓑ	MEリモコンケーブル	・インターフェース本体①からの距離が 10m 以内：2芯シールド線（CVVS,CPEVS,MVVS） 線径 0.3mm² 以上 ・インターフェース本体①からの距離が 10m 以上：2芯シールド線（CVVS,CPEVS,MVVS） 線径 1.25mm² 以上
Ⓒ	接続信号ケーブル	シース線 線径 0.3mm²以上（接続する機器に適応した線径にしてください） ・遠方コントロール時：リード線（3線）⑩の延長ケーブル ・状態信号出力時：リレー接続用のケーブル、DC電源用のケーブル
Ⓓ	関連部品	システムにより、必要な部品をご用意ください。

2.インターフェース各部の機能と電気配線



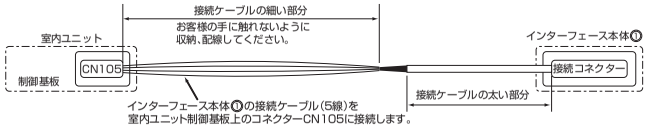
3.ディップスイッチの詳細

機能	SW 番号	内容	OFF（工場出荷状態）	ON	参照項
機能設定スイッチA	SW500-1	未使用	−（必ず OFF に設定してください）	−	−
	SW500-2	未使用	−（必ず OFF に設定してください）	−	−
	SW500-3	未使用	−（必ず OFF に設定してください）	−	−
	SW500-4	未使用	−（必ず OFF に設定してください）	−	−
	SW500-5	未使用	−（必ず OFF に設定してください）	−	−
	SW500-6	未使用	−（必ず OFF に設定してください）	−	−
	SW500-7	インターフェース状態表示切替	LE501：空調機との通信確認 LE502：M-NET システムとの通信確認 （必ず OFF に設定してください）	−	−
	SW500-8	未使用	−（必ず OFF に設定してください）	−	−
機能設定スイッチB	SW502-1	出力切替	運転または異常時に DC12V 出力	停止または正常時に DC12V 出力	7
	SW502-2	入力方式	常時接点	瞬時接点	6
	SW502-3	接点による操作禁止範囲設定	M-NET システムコントローラー運転／停止操作許可	M-NET システムコントローラー運転／停止操作禁止	6
	SW502-4	入力切替（入力方式 常時接点のとき）	短絡することにより運転または操作禁止	開放することにより運転または操作禁止	6
		入力切替（入力方式 瞬時接点のとき）	瞬時短絡により運転／停止を反転	何度瞬時短絡しても運転または停止	
	SW502-5	接点による操作禁止の動作設定	操作禁止前の状態	停止	6
	SW502-6	接点による操作禁止解除時の動作設定	操作禁止解除前の状態	運転	6
	SW502-7	未使用	−（必ず OFF に設定してください）	−	−
	SW502-8	未使用	−（必ず OFF に設定してください）	−	−

4.据付方法

(1)室内ユニット制御基板との接続

●室内ユニット制御基板の CN105 にインターフェース本体 ①の接続ケーブル（5 線）を接続します。



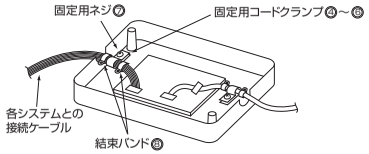
お願い

●インターフェース本体①の接続ケーブル（5線）は延長または切断しますと、動作不良になります。また接続ケーブル（5線）を電源線やアース線とまとめたりしないで、できるだけ離してください。
●静電気による基板破損防止のため、必ず静電気除去を行って作業してください。

※ツイン、トリプル、フォーの空調機システムに接続の場合は、いずれかの一台にインターフェース本体 ① を接続してください。MAリモコンが取り付けられている室内ユニットがある場合は、その室内ユニットにインターフェース本体 ① を接続してください。
※ツイン・トリプル・フォーの構成で、インターフェース本体 ① が接続される室内ユニットとは別の室内ユニットにMAリモコンまたはワイヤレス受光部キットを取り付けて操作を行った場合、M-NETシステムコントローラーからの操作禁止設定が正しく反映されない場合があります。

(2)配線の固定

●各システムとの接続ケーブルは太さに合わせ、固定用コードクランプ ④～⑥ を取り付け下図のように結束バンド ⑧ で確実に固定してください。



●室内ユニットに接続した接続ケーブル（5 線）は、室内ユニットの近傍に固定してください。

●接続ケーブルは確実に固定しないと、コネクターが抜けたり、破損し、正常な動作をしません。
●インターフェース本体①のディップスイッチ（SW500、SW502）、ロータリースイッチ（SW501、SW510）は、正しく設定されないと正常な動作をしません。
●インターフェース本体①のディップスイッチ（SW500、SW502）、ロータリースイッチ（SW501、SW510）の設定は、電源を入れる前に行ってください。

4.据付方法（つづき）

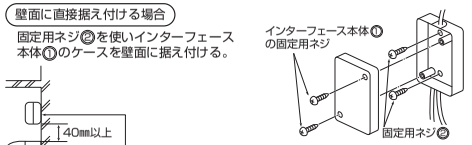
(3)インターフェース本体の据付

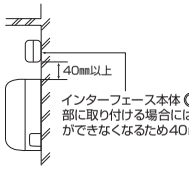
お願い

• インターフェース本体①の設置場所は、インターフェース本体 ①の接続ケーブル（5線）が、室内ユニットへ届く範囲としてください。
• 接続ケーブル（5線）の現地での延長は、正常に動作しなくなりますので、絶対に行わないでください。
• インターフェース本体①の取付けは、柱・壁などに2本の固定用ネジ ②を使って確実に固定してください。

壁面に直接据え付ける場合

固定用ネジ②を使いインターフェース本体①のケースを壁面に据え付ける。

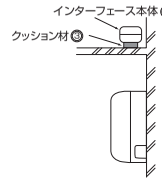




インターフェース本体 ①を壁掛形室内ユニット上部に取り付ける場合には、天面グリルのとりはずしができなくなるため40mm以上離してください。

天井内へ据え付ける場合

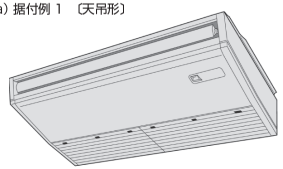
インターフェース本体①を天井内・壁内へ据え付ける場合には、サービスできるように点検口を設けてください。



※クッション材⑬を使ってインターフェース本体①を取り付ける場合は、落下しない場所に固定してください。

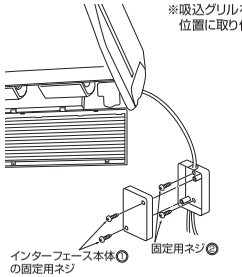
(4)据付例

(a) 据付例 1 〔天吊形〕



壁面に直接据え付ける場合

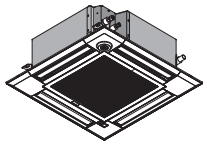
※吸込グリルを開いた時に干渉しない位置に取り付けてください。



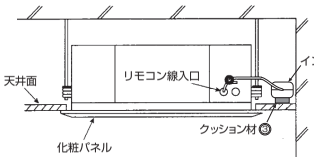
お願い

1) インターフェース本体①を取り付ける場合には、サービスできるように点検口を設けて柱・壁などに固定金具を使って固定してください。
2) 取り回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー⑨によりとりまとめてください。

(b) 据付例 2 〔カセット形〕



天井内へ据え付ける場合



※クッション材⑬を使ってインターフェース本体①を取り付ける場合は、落下しない場所に固定してください。

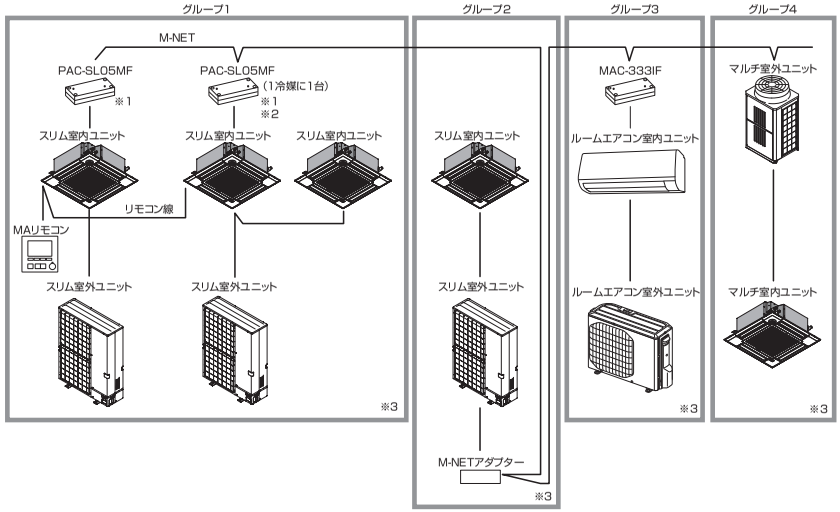
お願い

1) インターフェース本体①を取り付ける場合には、サービスできるように点検口を設けて柱・壁などに固定金具を使って固定してください。
2) 取り回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー⑨によりとりまとめてください。

5.M-NETシステムに接続する場合

インターフェースとM-NET伝送線の接続

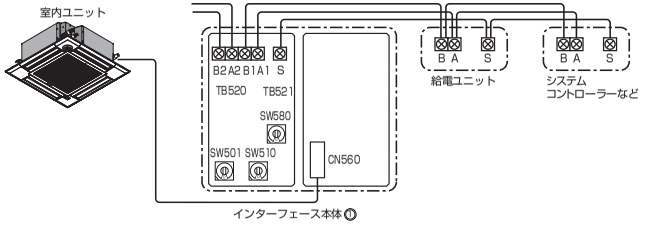
M-NET 通信制御を用いたシステムコントローラーにより、空調機の集中、個別管理ができます。



お願い

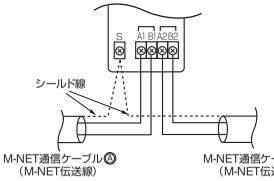
※1　PAC-SL05MF は各冷媒系統に1台接続してください。
※2　ツイン・トリプル・フォーの場合は、MAリモコンが接続された室内ユニットにPAC-SL05MFを接続してください。
※3　システムコントローラー上でグルーピング設定を行う際 PAC-SL05MF（スリム）は、M-NET アダプター（スリム）や MAC-333IF（ルームエアコン）、マルチとは別グループに設定してください。
※4　M-NET 接続用インターフェース、M-NET アダプター、MAC-333IF は室内外伝送線には接続できません。
集中管理用伝送線に接続してください。

5.M-NETシステムに接続する場合（つづき）

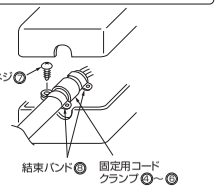


●M-NET通信ケーブルⒶの渡り配線を行う場合のみ、各M-NET通信ケーブルⒶのシールド部を、S端子を使用して渡らせてください。
●配線終了後、各電線を固定用コードクランプ㋔～㋖のいずれかでしっかりと固定し、図のように結束バンド㋗で固定してください。
●M-NET通信ケーブルⒶの配線長は技術・工事マニュアルを参照してください。

M-NET通信ケーブルⒶを渡り配線とする場合

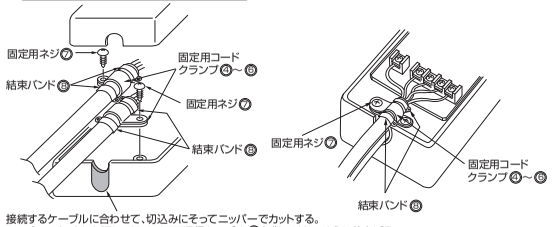


M-NET通信ケーブルⒶを渡り配線としない場合



お願い
同一端子台で渡り配線する場合は1.25mm²の接続ケーブルを使用してください。

M-NET通信ケーブルⒶを渡り配線とする場合



接続するケーブルに合わせて、切込みにそってニッパーでカットする。
ニッパーでカットした切り口は、M-NET通信ケーブルⒶを傷つけないように仕上げる。
※露、虫などの進入防止のため、ケーブルなどの引込口をパテ（現地手配）で確実にシールしてください。

お願い
●M-NET通信ケーブルⒶは、他の電源用電線からできるだけ離して配線してください。接近していると誤動作の原因になります。

※工事などによりM-NETシステムの伝送線用給電ユニットの元電源が遮断された場合、インターフェースに接続されている空調機は異常停止せず、運転状態を継続します。

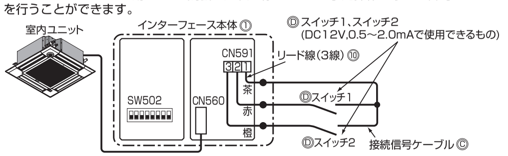
M-NET接続時の設定

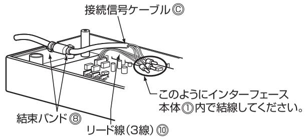
SW 番号	アドレス		備考
SW510 SW501	M-NET アドレス		集中管理用のアドレス設定を行います（アドレス設定可能範囲：01～50）。SW510が10の位のアドレス、SW501が1の位のアドレスとなります。例えばアドレスを「25」に設定する場合は、SW510を「2」、SW501を「5」に設定します。　※左記の図はアドレス 1 の場合
SW580	冷媒 アドレス		「0」（工場出荷状態）に固定してください。

6.遠方コントロールを行う場合

インターフェースとの接続

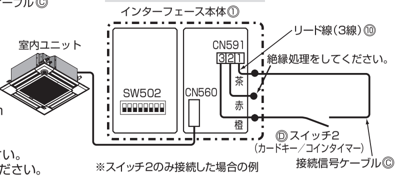
ON ／ OFF スイッチを用いて、空調機の運転／停止、および手元操作の禁止／許可を行うことができます。





●CN591 とスイッチ 1、スイッチ 2 の接続は上図のように行ってください。
●付属のリード線（3 線）⑩ をコネクター CN591 に接続してください。
●付属のリード線（3 線）⑩ は上図、右側のように接続信号ケーブル Ⓒ と インターフェース本体 ① 内で接続してください。
●インターフェース本体 ① からスイッチ 1、スイッチ 2 までの配線長は 50m 以内にしてください。
●スイッチを含めた遠隔操作部は現地にて調達・配線してください。
●各接続パターンについては"遠方コントロール使用時の設定"を参照ください。
※カードキー／コインタイマーを使用したいときは、右図のように接続してください。

カードキー／コインタイマー接続



※スイッチ2のみ接続した場合の例

遠方コントロール使用時の設定（No.1～4のどれかを設定してください）
●カードキー／コインタイマーを使用する場合は、No.1とNo.5,6を設定してください。
●室内ユニットのCN32に遠方発停用アダプタを接続する場合と同じ動作としたいときはNo.3を設定してください。

No.	機能	SW 番号	使い方	動作の詳細
1	運転／停止、手元操作禁止／許可（常時接点）	SW502-2～4	CN591 1 茶 2 赤 3 橙 スイッチ 1：運転／停止 スイッチ 2：手元操作禁止／許可	・スイッチ 1 を短絡すると運転、開放すると停止となります。（スイッチ 1 の操作状態によらず、後操作が優先されます）・スイッチ 2 を短絡すると手元操作禁止*開放すると手元操作許可となります。・SW502-4 を ON にするとスイッチ 1 とスイッチ 2 の開放と短絡が逆の動作となります。※手元操作禁止の場合、ワイヤレスリモコンおよび MA リモコン、ME リモコンの運転／停止操作を禁止します。(スイッチ 1、M-NET システムコントローラーからの操作は可能です)
2	運転／停止、手元操作禁止／許可（瞬時接点）	SW502-2～4	CN591 1 茶 2 赤 3 橙 スイッチ 1：運転／停止 スイッチ 2：手元操作禁止／許可	・スイッチ 1 を押す度に運転／停止を切り替えます。（スイッチ 1 の操作状態によらず、後操作が優先されます）・スイッチ 2 を押す度に手元操作禁止*／手元操作許可を切り替えます。※手元操作禁止の場合、ワイヤレスリモコンおよび MA リモコン、ME リモコンの運転／停止操作を禁止します。(スイッチ 1、M-NET システムコントローラーからの操作は可能です)
3	運転／停止、遠方操作／手元操作（常時接点）	SW502-2～4	CN591 1 茶 2 赤 3 橙 スイッチ 1：運転／停止 スイッチ 2：遠方操作／手元操作	・スイッチ 1を短絡すると運転、開放すると停止となります。・スイッチ2を短絡するとスイッチ1のみ有効（遠方操作）*、開放するとスイッチ1のみ無効（手元操作）となります。・SW502-4をONにするとスイッチ1とスイッチ2の開放と短絡が逆の動作となります。※遠方操作の場合、ワイヤレスリモコン、MAリモコン、MEリモコンおよびM-NETシステムコントローラーからの運転／停止操作ができなくなります。
4	運転、停止（瞬時接点）	SW502-2～4	CN591 1 茶 2 赤 3 橙 スイッチ 1：運転 スイッチ 2：停止	・スイッチ 1を何度押しても運転となります。・スイッチ2を何度押しても停止となります。（スイッチ 1,2 の操作によらず、後操作が優先されます）・ワイヤレスリモコン、MEリモコン、MAリモコンおよびM-NETシステムコントローラーからの運転／停止操作は有効となります。

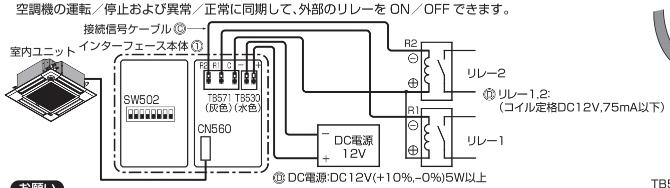
動作内容の設定 （No.1,No.2のときのみ有効です）（下記2つの機能は併用して使用することができます）

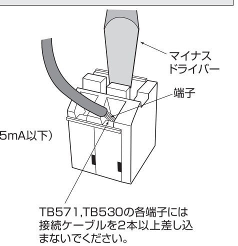
No.	機能	SW 番号	使い方	動作の詳細
5	操作禁止時の動作設定	SW502-5 ON OFF	手元操作を禁止した場合の空調機の運転状態を設定できます。	OFFのとき ・スイッチ2で手元操作禁止とした場合、手元操作禁止とする前の運転状態を維持します。ONのとき ・スイッチ 2で手元操作禁止とした場合、空調機を停止します。
6	操作禁止解除時の動作設定	SW502-6 ON OFF	手元操作禁止を解除した場合の空調機の運転状態を設定できます。	OFFのとき ・スイッチ2で手元操作禁止を解除した場合、解除する前の運転状態を維持します。ONのとき ・スイッチ2で手元操作禁止を解除した場合、空調機を運転します。

7.状態信号出力を行う場合

インターフェースとの接続

空調機の運転／停止および異常／正常に同期して、外部のリレーを ON ／ OFF できます。





TB571,TB530の各端子には接続ケーブルを2本以上差し込まないでください。

お願い
・電源用接続端子TB530には極性がありますので、確認のうえ接続してください。
・TB571にDC電源を接続しないでください。
・ダイオード内蔵型のリレーを使用する場合は極性に注意してください。TB571のCは⊕電位、R1およびR2は⊖電位です。

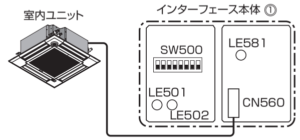
●TB571とTB530は右図のように、マイナスドライバーで押し込んでから配線を差し込んでください。
●TB571とTB530の適合電線は、より線:0.3mm²～1.25mm²、または単線:φ0.4mm～φ1.2mmです。
●TB571とTB530の電線皮むき寸法は7mm～10mmです。
●インターフェースからリレー1,リレー2までの配線長は50m以内にしてください。

状態信号出力使用時の設定

機能	SW 番号	動作の詳細
状態信号出力	SW502-1 ON OFF	OFF のとき ・空調機が運転時にリレー1が ON、空調機が停止時にリレー1が OFF します。・空調機が異常時にリレー2が ON、空調機が通常時にリレー2が OFF します。ON のとき ・リレー 1,2 の ON ／ OFF の動作が上記とは逆になります。

8.インターフェースの状態モニター

インターフェース本体①の基板上にある LED ランプにより、インターフェースの状態を確認することができます。



●下記を参考に通信チェックを行ってください。
通信が正常に行えない場合、対象の通信線がコネクターや端子台からはずれていないか確認してください。

機能	SW 番号	動作の詳細
インターフェースの状態モニター	SW500-7 OFF	·LE501(橙):約1秒間隔で点滅のとき、空調機との通信が正常です。消灯しているとき、空調機との通信が正常に行えていません。·LE502(赤):約1分以内での点滅のとき、M-NETコントローラーとの通信が正常です。消灯しているとき、M-NETコントローラーとの通信が正常に行えていません。

9.機能一覧

運転／停止	○	
運転モード切換	○	
室温設定	○	
室温表示	○	
風速設定	○	
風向設定	○	
エネルギー管理	○	
手元操作への禁止／許可	○	
ロスナイの操作(連動)	○	
ロスナイの操作(単独)	○	
外部入出力	○	
能力セーブ制御	○	※1
課金支援機能	○	
スケジュール設定	○	
異常履歴	○	
設定温度制限	○	
自動冷暖切換	○	
消し忘れ防止機能	○	

●PAC-SJ89MF/PAC-SK16MFの代替として使用する場合、機能はPAC-SJ89MF/PAC-SK16MFと同等に制限されます。
●PAC-SJ89MF/PAC-SK16MFの機能については弊社のwebサイトより納入仕様書をご覧ください。
WIN²K（https://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/wink）

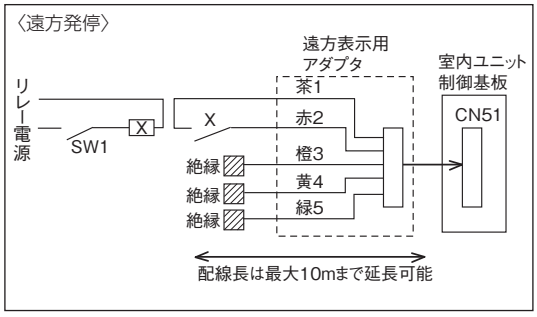
○：機能あり。(接続するコントローラーによっては使用できない機能もございます)
（システムコントローラーの機能有無をご確認のうえ、お買い求めください）
×：機能なし。

※1　システムコントローラーの機種やバージョンによって対応有無は異なります。
詳細はお問い合わせください。

遠方表示用アダプタ

● PAC-SA88HA

使用目的 / 用途



- “遠方表示用アダプタ” を利用してエアコンの運転・異常信号（DC12V 有電圧接点信号）の取り出しと、外部信号による空調機の運転 / 停止ができます。
- リレー、表示ランプ等は現地手配となります。

注　意

・コネクタには極性があり、逆取り付けはできませんので、注意してください。
・室内制御基板からの配線の長さは 10m 以内にしてください。

対象ユニット

- K/M-NET 制御機種
- A 制御 CT シリーズ

仕　様

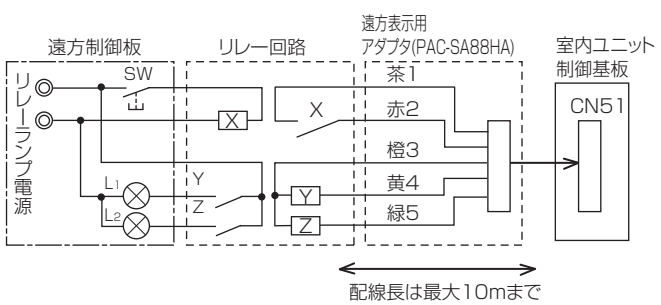
形　　名	PAC-SA88HA
機　　能	エアコンの状態信号の出力・外部信号（パルス信号）による発停を行うための接続ケーブル
入力信号	パルス（無電圧瞬時 a 接点）信号　　パルス幅 200m/s 以上
コネクタ	5P（室内ユニットの CN51 または CN52 に接続）
線　　種	5 芯ビニルケーブル　　配線を延長する場合：シース付ビニルコードまたはケーブル 0.5 ～ 1.25㎟
線　　長	2 m（現地配線延長により最長 10 m）
出力容量	DC12V　75mA（0.9W 以下）

外形図 (単位：mm)

電気配線図

・室内ユニット制御基板CN51に接続する場合

CN51 発停(パルス)入力コネクタ・運転状態・異常出力



SW：遠方発停スイッチ(モーメンタリースイッチ)
L1：状態表示ランプ
L2：異常表示ランプ
X：リレー(接点定格DC1mA)
Y,Z：リレー(DC12V用コイル定格0.9W以下)

信号		電位	被覆色
入力	発停	⊕	茶
		⊖	赤
出力	COM	⊕	橙
	運転	⊖	黄
	異常	⊖	緑

（本マニュアル用に変更・修正しています）

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱空調管理システム　別売部品　形名 PAC-SA88HA

遠方表示用アダプター説明書

1．概　要

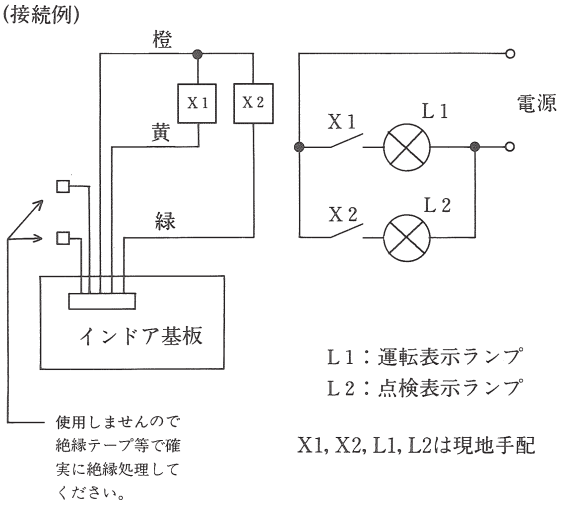
この部品は、エアコンの運転、点検のモニターを遠方にて行うための表示出力をエアコン本体より取出すための中継アダプターとなります。また、別売部品のモニターキット（形名：PAC-SA73MK）から操作盤にエアコンの運転、点検のモニターまたはエアコンへのON／OFF指令入力の接点を取出すための中継アダプターとなります。

2．使用方法

a）遠方表示用アダプターとして使用する場合

エアコンの室内制御基板（インドアボード）上のコネクタ（CN51）に出力される信号を受けて、リレーを駆動させるための中継アダプターとなります。

(接続例)



L1：運転表示ランプ
L2：点検表示ランプ

X1, X2, L1, L2は現地手配

注1）X1、X2のコイル側はDC12Vのものを手配してください。
注2）電源はAC200V以下でDC電源でもかまいません。

● PAC-SA88HAの接続線の色

信　号	電 位	被 覆 色	線　径
制御信号	⊕	茶	0.4㎜以上
	⊖	赤	
運転モニター信号	⊕	橙	
	⊖	黄	
点検モニター信号	⊖	緑	

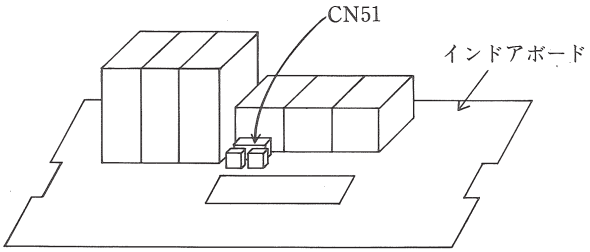
b）モニターキット用アダプターとして使用する場合

モニターキットの制御用基板上のコネクタポストからエアコンの運転・点検のモニター出力およびエアコンへのON／OFF指令入力の接点を操作盤上の表示器または操作スイッチに取出すための中継アダプターにもなります。

注）接続はモニターキット取付・取扱説明書にしたがって配線してください。

3．取付方法

PAC-SA88HAのコネクタ（メス）を室内制御基板（インドアボード）上のコネクタ（オス、CN51）に接続します。**コネクタには極性があり、逆取付けはできませんので、ご注意してください。**
また、モニターキット用アダプターとして使用する場合はモニターキット取付・取扱説明書にしたがって取付けてください。

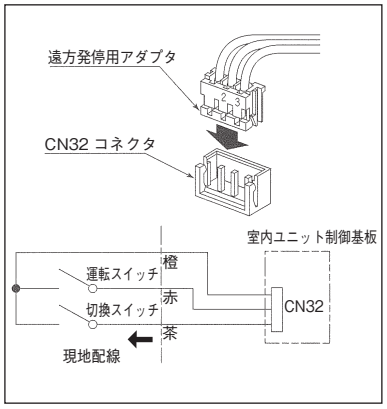


WT02673X02

遠方発停用アダプタ

● PAC-SE55RA

使用目的 / 用途



- “遠方発停用アダプタ”は、外部回路（現地手配）によりエアコンを運転させる場合、外部回路と室内ユニット制御基板とを接続する為の配線部品です。
- 遠方からエアコンの運転 / 停止及びリモコンによる運転 / 停止操作の禁止・許可、市販タイマーとの発停をする場合にご使用ください。

注　意
・室内ユニット制御基板からの配線の長さは 10m 以内にしてください。

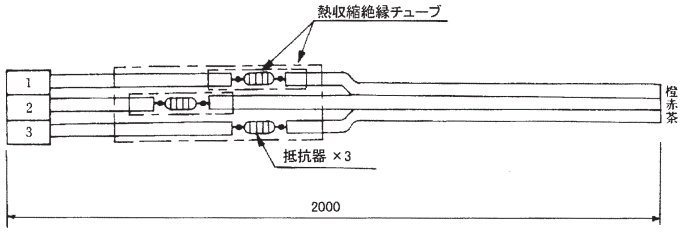
対象ユニット

● A 制御 /M-NET 制御機種

仕　様

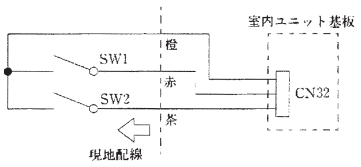
形　　名	PAC-SE55RA
機　　能	外部信号による ON/OFF 外部信号有効（リモコン運転禁止）/ 外部信号無効（リモコン運転許可）の切換
入力信号	無電圧接点（ON/OFF レベル信号）
コネクタ	3P（室内ユニット制御基板 CN32 へ接続）
線　　種	3 芯ケーブル　配線を延長する場合：シース付ビニルコードまたはケーブル 0.5 ～ 1.25㎟
線　　長	2 m（現地配線延長により最長 10 m）

外形図 (単位 : mm) / 電気配線図



		茶ー橙 間　外部信号有効(リモコン禁止)/外部信号無効(リモコン許可) 切換	
		ON(外部信号有効)	OFF(外部信号無効)
赤ー橙 間 外部信号による運転/停止	ON	ユニット運転 リモコンでの運転/停止操作のみ禁止	リモコンの操作で運転/停止
	OFF	ユニット停止 リモコンでの運転/停止操作禁止	

基本的な接続方法
SW1……運転スイッチ
　室内ユニットの運転/停止を行ないます
SW2……切換スイッチ
　運転/停止を外部回路で行なうかリモコン(※)で行なうか切換します。
　(※)システムコントローラ(集中コントローラ)も含みます。



スイッチの内容
SW2：ONの場合
- リモコンから運転/停止はできません。他の操作(温度設定、風速切換等)はできます。
- SW1で運転/停止ができます。

SW2：OFFの場合
- リモコンから運転操作ができます。
- SW1で運転/停止はできません。

WT02689X02　（本マニュアル用に変更・修正しています）

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機 ビル空調 フリープランシステム
遠方発停用アダプター
PAC-SE55RA
取扱説明書

この部品は、外部回路（現地手配）によりエアコンを運転させる場合、外部回路と室内ユニット基板とを接続する為の配線部品です。
外部回路との接続方法によりいろいろな運転形式がとれます。
例）タイマー運転、遠方操作運転等
また、安全のため、下記（1 安全のために必ず守ること）をよくお読みのうえ、作業を行なってください。

1 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付くもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財等の損害に結び付くもの。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。
移設・修理の時は工事される方にお渡しください。

⚠警告

据付け、配線は販売店または専門業者に依頼する。
配線に不備があると、感電、火災等の原因となります。

据付、配線工事は取扱説明書に従い行なう。
据付け、配線に不備があると、感電、火災等の原因となります。

配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因となります。

改造、修理は絶対しない。
修理に不備があると、感電、火災等の原因となります。また、修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及び取扱説明書に従い施工する。
電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因となります。

お客様自身で移設しない。
据付け、配線に不備があると、感電、火災等の原因になります。
お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

異常時は運転を停止する。
異常のまま運転を続けると故障や感電・火災等の原因となります。
異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご相談ください。

⚠注意

病院、通信事業者などで使用する場合は、ノイズに対する備えを充分に行なってから施工する。
外部回路からのノイズにより医療機器あるいは通信機機へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの原因となることがあります。

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への据付け、配線は行なわない。
ガスが漏れて本機の周囲に溜り発火の原因となることがあります。

特殊環境には使用しない。
油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能が著しく低下したり、部品が破損したりすることがあります。

配線は、電流容量、規格品の配線にて工事を行なう。
漏電や発熱、火災の原因となることがあります。

付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光の当たる場所に据付け、配線は行なわない。
変形、故障の原因となることがあります。

浴室、厨房などの大量の湯気が発生する所に据付け、配線は行なわない。
壁が結露するような場所は避けてください。故障の原因となることがあります。

酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用するところへ据付け、配線は行なわない。
変形、故障の原因となることがあります。

特殊用途に使用しない。
この製品は、三菱電機ビル空調フリープランシステム用です。
他の空調管理あるいは別の用途には使用しないでください。
誤動作の原因となることがあります。

2 部品確認

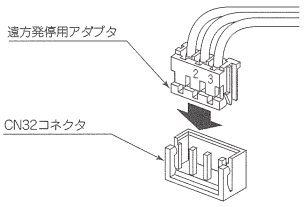
1．箱の中には、この説明書のほかに遠方発停用アダプタ1本（2m）が入っていますのでご確認ください。
2．遠方発停用アダプター（PAC-SE55RA）以外の部品はすべて現地手配となります。
①外部タイマー・・・無電圧接点出力タイマー（電源回路とスイッチ回路が別のもの）
（例）TSQ-1DKP（三菱）
H2Eオールディタイマー（オムロン）
②スイッチ・・・・・単極単投スイッチ

⚠注意	微小電流用接点の部品を選定すること。 タイマーおよびスイッチの接点にはDC5Vまたは12V，1mA程度の負荷しかかかりませんので、動作しなくなることがあります。

③中継用リレー・・・・・・（例）LY-1F（オムロン）
（6 配線上の制限）による配線工事の時使用します。
④電線・・・・・遠方発停用アダプターの電線の長さは2mです。
配線を延長する場合、シース付ビニルコードまたはケーブルをご使用ください。
電線の種類・・・CVV,CVS,CPEV,またこれらに相当するもの
電線サイズ・・・0.5㎟～1.25㎟
お願い：配線の延長は10m以内としてください。

3 室内ユニット側の接続

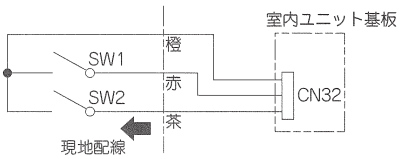
1．室内ユニット基板上のコネクタCN32に接続します。
2．遠方発停用アダプタのコネクタ側を差し込みます。
　コネクタには方向性があり逆差し込みはできませんので注意してください。



4 現地配線方法

この遠方発停用アダプタは現地側の回路によりいろいろな運転操作ができます。
（例）外部タイマー運転
　　遠方操作運転

1．基本的な接続方法
　SW1・・・・運転スイッチ
　　室内ユニットの運転／停止を行ないます。
　SW2・・・・切換スイッチ
　　運転／停止を外部回路で行なうかリモコン（＊）
　　で行なうか選択します。
　（＊）システムコントローラ（集中コントローラ）も含みます。



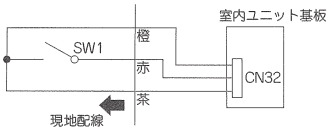
2．各スイッチ内容（詳細は右表を参照ください）
SW2：ONの場合
●リモコンから運転／停止はできません。
　他の操作（温度設定，風速切換等）はできます。
●SW1で運転／停止ができます。

SW2：OFFの場合
●リモコンから運転操作ができます。
●SW1で運転／停止はできません。

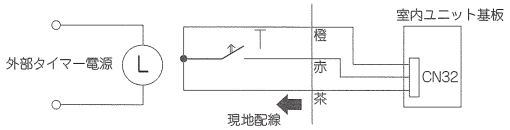
		SW2	
		ON	OFF
リモコン		運転／停止はできません	運転操作ができます
SW1	ON	運転	運転／停止はできません
	OFF	停止	

5 使用例

いずれの場合も運転指令が出てからユニットが運転するまで、5～6秒の時間の遅れがあります。
1．遠方操作または外部タイマーのみで運転／停止を行ない、リモコンからの運転／停止を禁止したい場合。

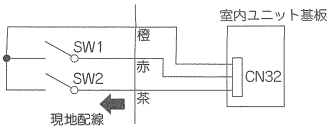


遠方操作の場合

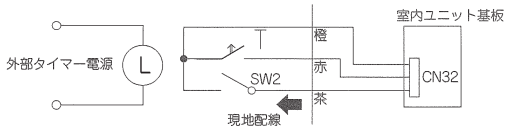


外部タイマー運転の場合

2．遠方操作または外部タイマーによる運転／停止と、リモコンからの運転／停止を使い分ける場合。

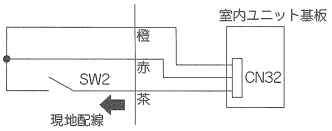


遠方操作の場合



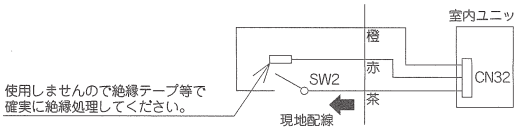
外部タイマー運転の場合

3．遠方操作により運転を開始させ、以後はリモコンでの操作を自由に行ないたい場合。



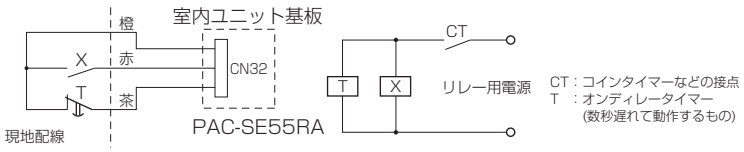
SW2はモーメンタリースイッチ（手動操作自動復帰スイッチ）をご使用ください。
SW2を押すと（1秒以上）運転を開始します。その後はリモコンによる操作が行なえます。

4．リモコンでの運転の許可／禁止を外部回路で行なう場合。



SW2がONであればリモコンでの運転はできません。
SW2がOFFであれば許可となります。

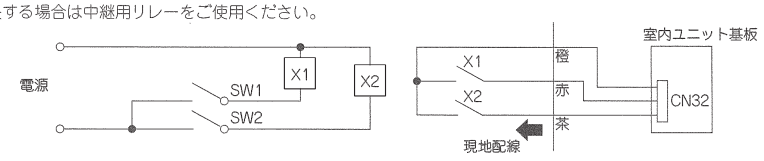
5. コインを入れるとエアコンは運転、タイマーONの間のみリモコン操作を可能とする場合



6 配線上の制限

室内ユニット基板からの配線の長さは10m以内にしてください。
正常に動作しなくなることがあります。

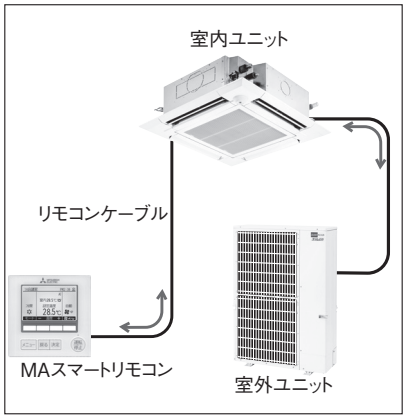
遠方配線等で配線を延長する場合は中継用リレーをご使用ください。



MA スマートリモコン

● PAR-45MA

使用目的 / 用途



● 本品はスリムエアコン A 制御機種共通のワイヤードリモコンです。

対象ユニット

● A 制御機種

仕　様

形　　名	PAR-45MA
外形寸法	H120 × W120 × D14.5mm（突起部除く）
質　　量	0.25kg以下
電　　源	DC12V　室内ユニットより伝送線を介して受電
使用環境条件	温度：0 ～ 40℃、湿度 20 ～ 95% RH（結露なきこと）
材　　質	ABS（意匠面は PMMA）
外 観 色	クリアホワイト（マンセル№ 1.0Y9.2/0.2）
据付方法	JIS C 8340 の 1 個用または 2 個用スイッチボックス（現地手配）へ取付け、または、壁に直付け。 MA リモコン線は、無極性 2 線。MA リモコン専用端子に 0.3mm² 2 芯ケーブルで接続。 別売品リモコンケーブル：PAC-YT81HC（10m）、PAC-YT82HC（20m）

機能表

〈操作 / 表示〉　　○：グループ別操作　×：対応不可　－：設定できません

項　　目	設定	表示	内　容
運転 / 停止	○	○	運転 / 停止の切換えができます。
運転モード切換	○	○	冷房 / ドライ / 送風 / 自動（デュアルオートモード含む）/ 暖房の切換えができます。 ※室内ユニットにより選択可能な運転モードは異なります。
室温設定	○	○	室温設定ができます。 ※室内ユニットの機種により温度範囲が異なります。なお、機能設定による制限や設定範囲制限機能等の設定値により温度設定範囲が制限される場合があります。（下記は標準機種の場合です） 冷房・ドライ：19 ～ 30℃ / 暖房：17 ～ 28℃ / 自動：19 ～ 28℃ ※室内ユニット機種により 0.5℃単位で設定できます。
風速設定	○	○	風速の切換えができます。　※ユニットにより選択可能な風速は異なります。
風向設定	○	○	風向の切換えができます。　※ユニットにより選択可能な風向は異なります。
ルーバー設定	○	○	ルーバーの運転 / 停止切換えができます。
換気機器操作	○	○	マルチエアコン接続時 マルチエアコン用ロスナイの連動設定及び連動運転設定ができます。 換気連動機器の停止 / 弱 / 強 / 連動の切換え可能 スリムエアコン接続時（A 制御） マイコンタイプロスナイの連動運転操作ができます。換気連動機器の弱 / 強 / 連動の切換え可能 「連動」選択時 環境センサから取得した CO_2 濃度に応じて接続された換気連動機器の換気風量を切り換えます。
ハイパワー運転 ※ 1	○	○	最大 30 分間、能力を上げて冷房または暖房運転します。
自動昇降パネル設定 / 操作 ※ 1	○	○	自動昇降パネルの上昇／下降操作ができます。また、下降距離設定ができます。
自動清掃 設定 / 操作 ※ 1	○	○	自動清掃を行う時間帯を設定できます。また、手動による自動清掃が行えます。
バックライト	○	○	バックライトの点灯時間を設定できます。（点灯時間は画面により異なります）
リモコン名称	○	○	メイン画面にリモコン名称を表示できます。
メイン画面切換え機能	○	○	メイン画面表示を「詳細画面」、「簡易画面」、「日英併記」から選択できます。
時刻設定	○	○	年月日、時間、分を設定できます。設定した時刻はメイン画面に表示されます（曜日も表示されます）。メイン画面に時刻を表示しない設定も可能です。
時計表示形式切換え機能	○	○	時計表示を 12 時間表示（時刻の前に AM/PM 表示、時刻の後に AM/PM 表示）、24 時間表示から選択できます。

MA スマートリモコン

● PAR-45MA

機能表（つづき）

項　目	設定	表示	内　容
室温表示	−	○	運転時、温度を表示します。（詳細画面のみ）環境センサ接続時、環境センサから取得した現在の温度を表示します。※室内ユニット機種により 0.5℃単位で表示します。
CO_2 濃度表示	○	○	環境センサから取得した現在の CO_2 濃度を表示します。
異常表示	−	○	現在発生している異常内容を、アドレス、発生日時とともに表示します。携帯電話点検コード検索サービスサイトの二次元コードも表示します。また異常発生時に、空調ユニットの形名や製造番号、連絡先の電話番号を表示させることが可能です（事前入力が必要）。 ※異常内容によりアドレスが表示されない場合もあります。
フィルター情報	−	○	フィルターの清掃またはダストボックスのごみ捨て時期になるとフィルターサインを表示します。（詳細画面のみ）
急速表示 ※ 1	×	○	急速運転している場合、急速を表示します。
Bluetooth 接続情報 , Bluetooth 設定 ※ 2	○	○	本機を Bluetooth® にて操作するための情報を確認・変更することが可能です。 Bluetooth® 有効時は、専用アプリをインストールしたスマートフォン・タブレットにて各種操作・設定が可能です。

〈スケジュール・タイマー〉

項　目	設定	表示	内　容
タイマー運転	○	○	オン / オフタイマー：オン / オフをそれぞれ 1 回 / 日 行うタイマー ・5 分単位で時刻を設定 ・オン時刻、またはオフ時刻のみの設定も可能 消忘れタイマー：運転後に一定時間経過すると停止するタイマー ・運転時間を 30 分～ 240 分 /10 分単位で設定可能
週間スケジュール	○	○	曜日ごとに ON/OFF、温度設定を行うタイマー ・曜日ごとに 5 分単位で 8 回まで設定可能（2 パターン設定可能） ※オン / オフタイマーが有効中は動作しません。
室外サイレントモード ※ 1	○	○	静音性を優先して運転する時間帯を曜日ごと設定できます。 ・5 分単位で開始時刻と終了時刻 ・静音レベルを標準、中、静、または中、静、静粛から設定します。
省エネ運転スケジュール ※ 1	○	○	曜日ごとに省エネ運転開始時刻と停止時刻、及び能力セーブ値を設定できます（90 ～ 50%、0%/10%単位）。（5 分単位で時刻を設定。1 日 4 パターンまで設定可能。）

〈制限設定〉

項　目	設定	表示	内　容
手元操作への禁止 / 許可	×	○	システムコントローラの設定により、運転 / 停止、運転モード、設定温度、風速、風向、タイマー、フィルターサインリセットの操作が禁止されます。※禁止中は対応するアイコンが点灯します。（詳細画面のみ）
操作ロック	○	○	運転 / 停止、運転モード、設定温度、風向切換操作、風速切換操作、ルーバー切換操作、メニュー操作をそれぞれ操作禁止することができます。
設定温度範囲 制限機能	○	○	運転モードごとに室温設定の温度範囲を制限することができます。※システムコントローラから操作された場合は、本機の設定温度範囲制限にかかわらず、システムコントローラからの操作が有効となります。
設定温度 自動復帰	○	×	設定時間後に、設定した温度に戻ります。（10 分単位で 30 ～ 120 分まで設定可能です。） ※設定温度範囲制限中は動作しません。
パスワード	○	×	管理用パスワード（スケジュール等の設定に必要）、サービス用パスワード（試運転、機能選択等の操作に必要）が設定できます。

〈その他〉

項　目	設定	表示	内　容
エネルギー管理表示 ※ 3	○	○	停止操作時に当日の累積及び前日のエネルギー使用量を表示します。専用メニューにて当月含め 14 カ月分、当日含め 31 日分のエネルギー使用量を確認できます。
コントラスト調整	○	○	液晶のコントラスト（濃淡）・輝度を調整できます。
風向固定設定 ※ 1	○	×	上下風向：ベーンごとに上下風向の固定操作をします。 *1 箇所だけドラフトセーブモードの設定ができます。 左右風向：ベーンごとに左右風向の固定操作をします。
冷風防止ベーン 設定 ※ 1	○	×	標準吹きよりも吹出口の角度を上向きに調節できます。
サービス機能 ※ 1	○	○	試運転、機能選択、スマートメンテナンス、要求コード送信、異常履歴などに対応。
リモコン設定初期化	○	×	リモコンを工場出荷状態に戻すことができます。
人感ムーブアイ設定	○	○	ムーブアイ設定ができます。
パワーシェア運転設定 ※ 1	○	○	パワーシェア運転設定ができます。
風速自動静音設定 ※ 1	○	×	風速自動選択時、室内機に対し従来通りの風速制御を行うか、“ 強風 ”（最大風量）を使用しない風速制御を行うかの設定ができます。
白黒反転表示	○	○	リモコン背景色を白黒反転します。
Wi-Fi アダプタ設定	○	×	別売の Wi-Fi アダプタを接続する場合のみ設定できます。
無線センサ設定 ※ 4	○	○	環境センサを接続する場合のみ設定できます。

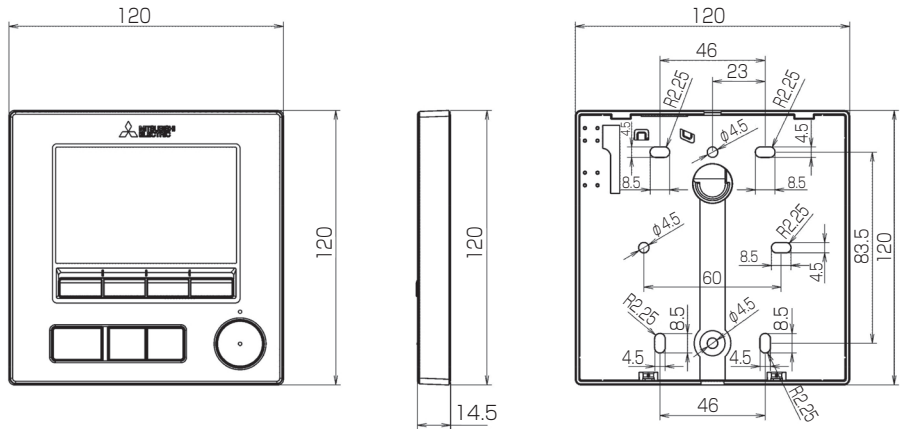
MA スマートリモコン

● PAR-45MA

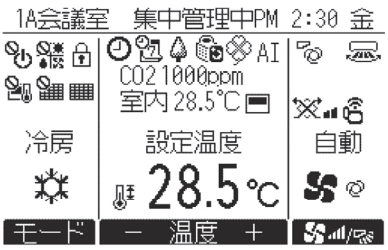
機能表（つづき）

※１　機能に対応しているユニットに対してのみ可能です。
※２　Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Inc. が所有する登録商標であり、三菱電機株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。
※３　エネルギー管理表示機能使用時は下記に注意してください。
・本機能はスリム機種のユニットにのみ対応しています。
スリム機種で本機能に対応していないユニットの場合は、CO_2 排出量を表示ます。
・リモコンに表示されるエネルギー使用量は、運転状態から推定される消費電力から算出した目安であり、実際の消費電力とは異なる場合があります。
・法律に基づく温室効果ガス排出量の算出、空調料金計算、デマンド管理などには使用できません。
・室外ユニットより電力が供給される別売部品を除き、電気集じん器などの別売部品のエネルギー使用量は含まれていません。
※４　ラトックシステム株式会社製の環境センサ (RS-BTEVS1-M) と接続時のみ可能です。
環境センサと別売部品のロスナイ用 CO_2 センサ (PGL-100TGS(C)) の併用はできません。

外形図（単位：mm）

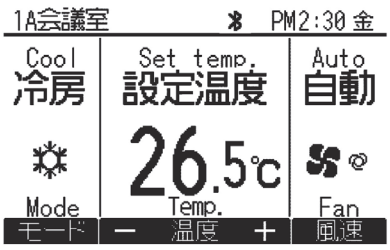


メイン画面(詳細)



メイン画面(簡易)

メイン画面(日英併記)



MITSUBISHI ELECTRIC

WT10476X01
871B313A10

三菱電機ビル空調管理システム
三菱電機スリムエアコン
[共通]
MA スマートリモコン
形名
PAR-45MA
PAR-45MA-P

据付工事説明書（据付編）
（販売店・工事店様用）

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。
- 「据付工事説明書」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

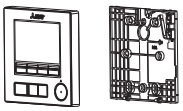
1. 使用部品

1-1. 同梱部品

箱の中には下記の部品が入っています。作業前に確認してください。

No.	品名	個数（個）	外観
D-1	リモコン（上ケース）	1	右図※1
D-2	リモコン（下ケース）	1	右図※2
D-3	十字穴付きナベねじ M4 × 30	2	
D-4	木ねじ 4.1 × 16（壁に直接取り付けるときに使用）	2	
D-5	据付工事説明書（据付編）（本書）	1	
D-6	据付工事説明書（設定編）	1	
D-7	取扱説明書	1	
D-8	取扱説明書（Bluetooth®設定編）	1	

上ケース※1　下ケース※2



・リモコンケーブルは同梱していません。

1-2. 別売部品

以下の部品は、三菱電機指定の純正部品を使用してください。
形名は変更する場合があります。最新形名は総合カタログを参照してください。

No.	品名	形名	所要量	備考
P-1	リモコンケーブル	PAC-YT81HC	必要量※4	0.3mm² 2芯シース付ケーブル（10 m）
P-2		PAC-YT82HC※3	必要量※4	0.3mm² 2芯シース付ケーブル（20 m）

※3　Fitマルチ（PUSY-FP80、112形）機種と接続する場合は使用できません。
※4　リモコンを1台接続時の総延長は最大200m、2台接続時の総延長は最大100mとなります。

1-3. 一般市販部品

下記の部品は現地で手配してください。

No.	品名	所要量	備考
S-1	スイッチボックス：2個用（JIS C 8340）	1	壁面に直接据え付ける場合は不要です。
S-2	薄鋼電線管（JIS C 8305）	必要量	
S-3	ロックナット、ブッシング（JIS C 8330）	必要量	
S-4	モール（JIS C 8425）	必要量	リモコンケーブルを壁面にはわす場合に必要です。
S-5	パテ	適量	低分子シロキサン低減タイプの防水パテを使用してください。
S-6	モリーアンカー	必要量	
S-7	リモコンケーブル（0.3mm² 2芯シース付ケーブル）	必要量	Fitマルチ（PUSY-FP80、112形）と接続し、リモコン配線の総延長（※1）が10m以上で使用する場合はシールド線（MVVS：0.3mm² 2芯ケーブル）を使用してください。（※2）

※1　室内ユニットのMAリモコン用端子台（TB15）間の渡り配線も含みます。
※2　シールド線のアースは室内ユニットのMAリモコン用S端子に接続してください。

1-4. 製品の運搬と開梱

1-4-1. 製品の運搬

できるだけ水平に保ち静かに運搬してください。

1-4-2. 製品の開梱

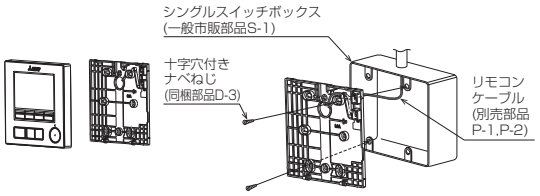
⚠警告

袋状の梱包材は破棄する。
・窒息事故の原因になります。

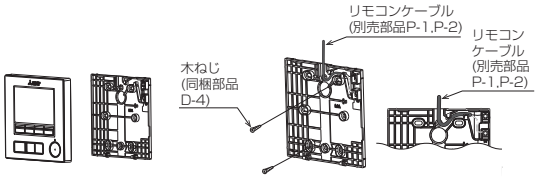
指示を実行

2. 使用箇所（据付工事の概要）

[1] スイッチボックスを使用する場合



[2] 壁面に直接据え付ける場合



3. 据付場所の選定

⚠ 警告

以下の場所にコントローラを設置しない。
- **可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所**
- 可燃性ガスがコントローラの周囲にたまると、火災・爆発の原因になります。

禁止

コントローラは水のかかるところや高湿度で結露するところには据え付けない。
- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。

水ぬれ禁止

病院など医療機関に据え付ける場合はノイズ対策を行う。
- ノイズが医療機器に悪影響を与え、医療行為を妨げる原因になります。

指示を実行

コントローラの質量に耐えられるところに据え付ける。
- 強度不足や、据え付けに不備があると、コントローラが落下し、けがの原因になります。

指示を実行

お願い

- **コントローラを導電性があるところ（塗装をしていない金属面など）に据え付けないでください。**
  故障・誤動作の原因になります。
- **直射日光のあたる場所、または周囲温度が40℃以上・0℃以下になる場所にコントローラを据え付けないでください。**
  変形・故障の原因になります。
- **コントローラ設置壁面の表面付近の温度と実際の室温との差が大きい場所に据え付けないでください。**
  検知した室温と実際の室温を誤検知する原因になります。
- **コントローラを通信・放送設備がある所に据え付ける場合は、ノイズ対策をしてください。**
  ノイズにより映像放送の乱れ・雑音が生じる原因になります。
  インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響によるコントローラの故障・誤動作の原因になります。

3-1. 法規制・条例の遵守事項

法規制、地方条例などを遵守することを配慮して据付場所を選定してください。
- 各自治体で定められている騒音・振動等の設置環境に関する条例

3-2. 公害・環境汚染への配慮事項

公害や環境に対し配慮して据付場所を選定してください。

3-3. 製品の機能性能を発揮するための事項

本リモコンは壁面に据え付ける仕様となっています。「スイッチボックスを使用する」または「壁面に直接据え付ける」が選択できます。「壁面に直接据え付ける」場合、配線取出し方法を「背面取出し」または「上部取出し」から選択できます。
リモコン（スイッチボックス）を、次の条件を満たす場所に据え付けてください。

(1) リモコンが正確な室内温度を検知できる所

室内温度を検知する温度センサはリモコンと室内ユニットの両方に付いています。リモコンの温度センサを使用して室内温度を検知する場合は、下記事項を守ってください。
- リモコンは、熱源の影響を受けない場所に据え付けてください。
  （直射日光や室内ユニットの吹き出し空気が直接あたる場合、リモコンが正確な室温を検知できません。）
- リモコンは、部屋の平均的な温度を検知できる場所に据え付けてください。
- リモコンの温度センサ付近に他の配線が無い場所に据え付けてください。
  （配線がある場合、リモコンが正確な室温を検知できません。）

お願い

- **室温と壁温の差が大きい場合、リモコン設置壁面の表面付近の温度を検知するため室温と差が出る原因になります。**
  以下のような設置条件の場合、室内ユニットの温度センサ使用を推奨します。
  - 室内の気流分布が悪く、リモコン設置壁面に吹出し空気が到達しにくい場合
  - 設置壁面の温度と室温の差が大きい場合
  - 設置壁面の背面が外気に接している場合

お知らせ

- 急激な温度変化がある場合、温度検知の追従性が悪くなります。
- リモコンまたは室内機の温度センサでの正確な室温検知が難しい場合、無線センサ（当社指定・別途購入）の接続をご検討ください。無線センサ設定については据付工事説明書（設定編）を参照してください。

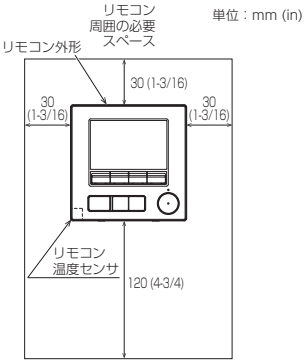
(2) 据付面が平らな所

(3) 室内ユニットが確認できる所

フィルタの自動昇降機能付室内ユニットと接続される場合、操作する室内ユニットの昇降動作がリモコンを操作しながら確認できる所（自動昇降の操作方法については室内ユニットの取扱説明書を参照してください。）

[1] 据付スペース

リモコンをスイッチボックス・壁面のどちらに据え付ける場合でも右図に示すスペースを確保してください。スペースが不足すると、リモコンの取り外しが困難になります。
また、リモコン正面側には操作ができるスペースを確保してください。



3-4. 保守・点検に関する事項

工事をされた方は、顧客と保守契約を結び、本製品を含む空調システムが安全にかつ良好な状態で運転していることを定期的に確認してください。

4. 据付工事・電気工事

4-1. 建物工事の進行と施工内容

据付場所に据え付けられる状態になりましたら、据付工事を行ってください。

[1] スイッチボックスを使用する場合

壁面仕上げ材を取り付ける前にスイッチボックス (S-1) を取り付け、薄鋼電線管 (S-2) と接合しておき、事前にケーブルを通しておいてください。
その後壁面仕上げ材を取り付けておいてください。

[2] 壁面に直接据え付ける場合

壁面仕上げ材を取り付ける前にリモコンを取り付ける予定のところにケーブルを配設しておいてください。
その後壁面仕上げ材を取り付けておいてください。

4-2. 諸官庁および関連部門への届出・報告事項

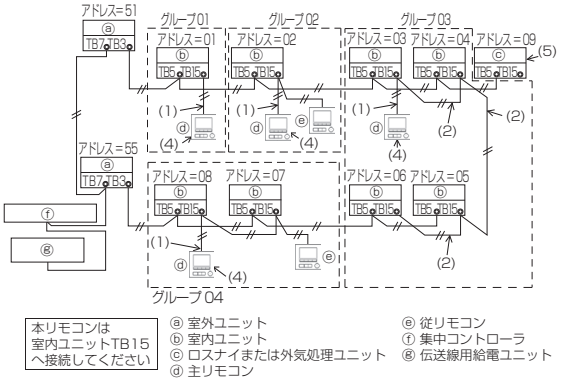
特にありません。

4-3. 従来工事方法との相違

リモコンの配線は、マルチエアコンに接続する場合とスリムエアコンに接続する場合では異なります。
さらにシステム構成によっても異なりますので、確認してください。
空調機本体への配線および空調機本体の据付工事に関しては空調機本体の据付工事説明書を参照してください。

[1] マルチエアコンシステムとの接続

図中の (1) ～ (5) は、以下の説明文 (1) ～ (5) と対応していますので確認してください。



本リモコンは室内ユニットTB15へ接続してください

ⓐ 室外ユニット
ⓑ 室内ユニット
ⓒ ロスナイまたは外気処理ユニット
ⓓ 主リモコン
ⓔ 従リモコン
ⓕ 集中コントローラ
ⓖ 伝送線用給電ユニット

(1) リモコン-室内ユニットの配線

- 室内ユニットのMA リモコン用端子台 (TB15) へ接続してください。
- 端子台に極性はありません。リモコン下ケースにある端子台に接続してください。

(2) グループ運転する場合 (グループ03 および04)

- グループ運転する室内ユニットのMA リモコン用端子台 (TB15) 同士を渡り配線し、いずれかのMA リモコン用端子台 (TB15) にMA リモコンを接続してください。
- 上図のようにシステムコントローラと併用する場合、システムコントローラ (上図では集中コントローラ) 側でグループ設定が必要です。

(3) 接続可能なリモコン台数

- 1グループあたり接続可能なリモコンの台数は最大で2台です。
- 1グループにリモコンを2台接続した場合、主リモコンと従リモコンの設定をしてください。

(4) リモコンケーブルの総延長

接続される室内ユニットにより異なります。室内ユニットの据付工事説明書、カタログ、システム・設計工事マニュアルなどで確認してください。
なお、リモコン1台接続時の総延長は最大で200mです。リモコンを2台接続した場合の総延長は最大で100mとなります。使用するリモコンケーブルについては指定のページを参照してください。「別売部品 (11ページ)」「一般市販部品 (12ページ)」

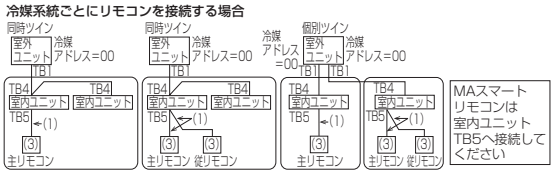
(5) ロスナイを連動させる場合

据付工事説明書 (設定編) を参照し、リモコンで設定してください。

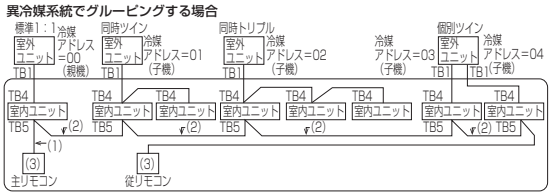
[2] スリムエアコンと接続する場合

リモコンの配線はシステム構成によって異なりますので、以下の例に従って接続してください。
図中の (1) ～ (4) は以下の説明文 (1) ～ (4) と対応しています。

冷媒系統ごとにリモコンを接続する場合



異冷媒系統でグルーピングする場合



お知らせ

- 冷媒アドレスの設定は室外ユニットのディップスイッチで行ないます。(詳細は室外ユニットの据付工事説明書を参照してください。)
- ▭で囲まれた全室内ユニットを1グループとして制御します。

(1) リモコン-室内ユニットの配線

- 室内ユニットのリモコン用端子台 (TB5) へ接続してください。(極性はありません。)
- 同時マルチタイプにおいて、異なる機種の室内ユニットが混在する場合、機能 (風速、ベーン、ルーバなど) の多い室内ユニットにリモコンを接続してください。

(2) 異冷媒系統でグルーピングする場合の配線

- リモコンケーブルによりグルーピングを行ないます。グルーピングする各冷媒系統の室内ユニット代表1台のリモコン用端子台 (TB5) 間を渡り配線してください。
- 同一グループ内に異なる機種の室内ユニットが混在する場合、機能 (風速、ベーン、ルーバなど) の多い室内ユニットが接続されている室外ユニットを親機 (冷媒アドレス= 00) としてください。また親機が同時マルチタイプとなった場合には上記(1)の条件を満たしてください。
- MAスマートリモコンでは最大16冷媒系統を1グループとして制御可能です。

(3) 接続可能なリモコン台数

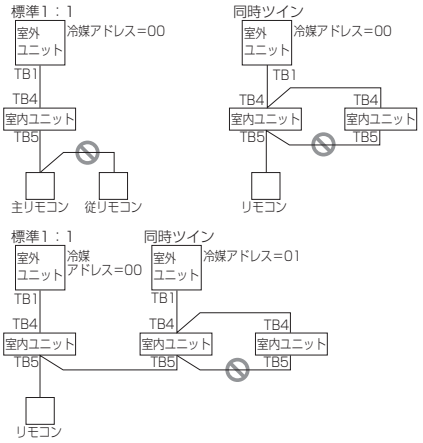
- 1グループあたり接続可能なリモコンの台数は最大で2台です。
- 1グループにリモコンを2台接続した場合、主リモコンと従リモコンの設定をしてください。

(4) リモコンケーブルの総延長

接続される室内ユニットにより異なります。室内ユニットの据付工事説明書、技術マニュアルなどで確認してください。
なお、リモコン1台接続時の総延長は最大で500mです。リモコンを2台接続した場合の総延長は最大で200mとなります。使用するリモコンケーブルについては指定のページを参照してください。「別売部品 (11ページ)」「一般市販部品 (12ページ)」

お願い

- **同一冷媒系統の室内ユニットのリモコン用端子台（TB5）間の渡り配線はしないでください。**
  渡り配線した場合、システムが正常に作動しない原因になります。
- **室内ユニットのリモコン用端子台（TB5）へ接続する場合、1つの端子台に同じサイズの配線を2本までとしてください。**
  不備がある場合、接触不良や配線外れの原因になります。
- **リモコン同士の渡り配線はしないでください。**
  リモコンの端子台には、配線は1本しか接続できません。



4-4. 据付と電気工事をする

⚠警告

配線引込口をパテでシールする。
- 露・水・小動物が浸入すると、感電・故障・火災の原因になります。

指示を実行

⚠注意

コントローラの意匠カバー・上ケースは“パチッ”と音がするまではめ込む。
- 不備があると、製品が落下し、けが・損傷・故障の原因になります。

指示を実行

端子台に配線の切くずが入らないようにする。
- 切りくずが入ると、ショート・感電・故障の原因になります。

指示を実行

4-4-1. 必要工具

- マイナスドライバー（刃幅3～5mm）
- ニッパー
- その他一般工具

4-4-2. 据付工事

[1] リモコンの据付け方

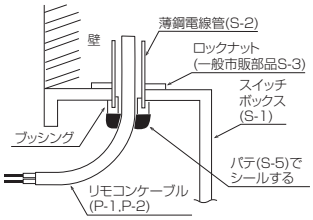
据付工事には「スイッチボックスを使用する場合」と「壁面に直接据え付ける場合」があります。据付け方法に応じて工事をしてください。

(1) 壁面に据付用の穴を開ける

スイッチボックスを使用する場合

手順

1. 壁面に穴を開け、スイッチボックス（一般市販部品S-1）を据え付ける。
2. スイッチボックス（S-1）と薄鋼電線管（一般市販部品S-2）を接合する。



お願い

- 壁面に穴を開ける際、下ケースと壁の接地面積を確保してください。
  壁面の穴が大きすぎる場合、リモコンにがたつきが発生する場合があります。

壁面に直接据え付ける場合

手順

1. 壁に穴を開ける。
2. リモコンケーブル（別売部品P-1、P-2）を通す。

(2) リモコンケーブル引込口をシールする

スイッチボックスを使用する場合

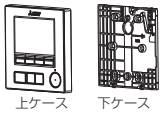
手順

1. スイッチボックス（S-1）と薄鋼電線管（S-2）の結合部のリモコンケーブル引込口をパテ（一般市販部品S-5）でシールする。

(3) リモコンを準備する

手順

1. リモコン本体の下ケースを取り出す。



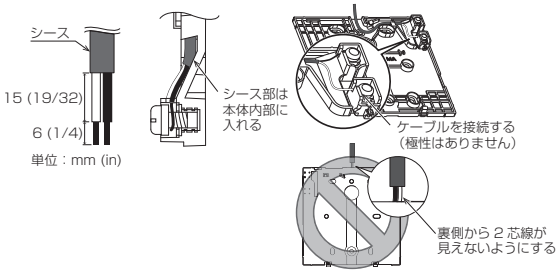
(4) リモコンケーブルを下ケースの端子台に接続する

⚠注意

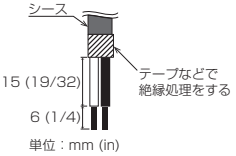
シールド線を使用する場合、シールド部の絶縁処理を行う。
- ショート・感電・故障の原因になります。

指示を実行

リモコンケーブルを下図のように加工し、端子台に適切に接続してください。リモコンケーブルのシースをむきとった部分がケース内に納まるよう、リモコンケーブルを固定してください。



※ シールド線（MVVS）を使用する場合、シールド部が製品内でショートしないようテープなどで絶縁処理を行ってください。



壁面に直接据え付ける場合

⚠注意

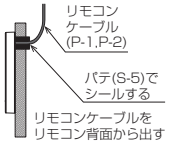
端子台に配線の切くずが入らないようにする。

- 切りくずが入ると、ショート・感電・故障の原因になります。

指示を実行

手順

1. リモコンケーブル（別売部品 P-1、P-2）を通した穴をパテ（一般市販部品 S-5）でシールする。



お願い

- **配線を端子台に接続する際に圧着端子を使用しないでください。**
  - 上ケースと接触し、上ケースが損傷する原因になります。

(5) 下ケースを据え付ける

スイッチボックスを使用する場合

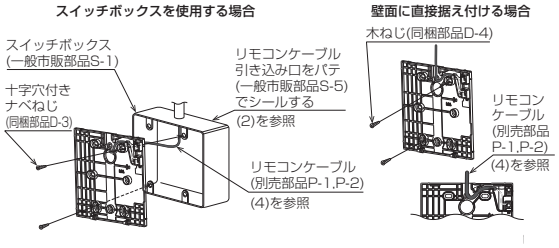
手順

1. 下ケースは2か所以上固定する。

壁面に直接据え付ける場合

手順

1. ケーブルを溝に通す。
2. 下ケースは2か所固定する。
3. リモコン正面から見て右上と左下の2か所以上を固定する。
   モリーアンカーなどを使用して固定してください。
   配線により壁面からリモコンが浮くことを防止できます。



お願い

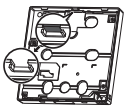
- **ねじを締めすぎないでください（推奨トルク：0.2～0.3N・m）。**
  損傷する原因になります。
- **コントローラのケースに追加穴を開けないでください。**
  損傷する原因になります。

(6) 配線穴を加工する

壁面に直接据え付ける場合（リモコンケーブルを壁面にはわす場合）

手順

1. 上ケースの内側薄肉部（右図の塗潰し部）をニッパなどで切り取る。
   （端子台に接続したリモコンケーブルをこの部分から取り出します。）



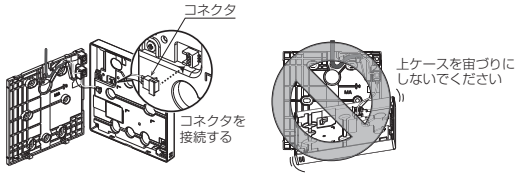
お願い

- **上ケースを下ケースから取り外して加工してください。**
  取り外さないで加工した場合、基板が破損する原因になります。

(7) 上ケースに配線する

手順

1. 上ケースのソケットに、下ケースのコネクタを接続する。



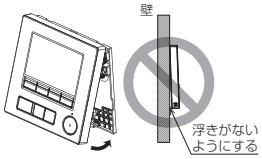
お願い

- **リモコンの上ケースから基板保護カバー・基板は取り外さないでください。**
  故障の原因になります。
- **リモコンのコネクタ接続後、ケースをぶら下げないでください。**
  断線し、動作に支障をきたす原因になります。

(8) 上ケースをはめ込む

手順

1. 上ケースのツメ（上部2か所）を下ケースに引っ掛けて、“パチッ”と音がするまではめ込む。
2. ケースに浮きがないことを確認する。



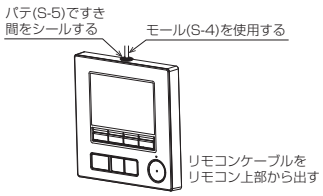
お願い

- **上ケース上部のツメを下ケースに引っ掛けていない状態で、上ケースを下ケースにはめ込まないでください。**
  破損する原因になります。

壁面に直接据え付ける場合（リモコンケーブルを壁面にはわす場合）

手順

1. リモコンケーブルをリモコンの上部から出す。
2. 上ケースの切り取った部分をパテ（一般市販部品S-5）でシールする。
3. モール（一般市販部品S-4：配線カバー）を使用する。

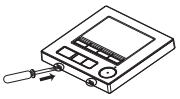


以上で据付工事は完了ですが、再度取り外す場合は以下の方法で取り外してください。

[2] リモコン上ケースの外し方

(1) 上ケースのツメを外す

刃幅が3～5mmのマイナスドライバを、リモコン下部のツメ部分に差し込み、マイナスドライバでツメを押すようにして、引っかかっているツメを外します。



お願い

- **マイナスドライバをコントローラのツメに強く差し込まないでください。**
  基板が損傷する原因になります。
- **マイナスドライバをコントローラのツメにはめ込んだ状態で強く回転させないでください。**
  ケースが損傷する原因になります。

(2) 上ケースを取り外す

手順

1. 上ケースを手前上に引いて取り外す。

お願い

- **コネクタを取り外す前に上ケースを強く引かないでください。**
  コネクタの配線が切れる原因になります。

4-5. サービス

再度取り外す場合は指定のページを参照してください。「リモコン上ケースの外し方（30ページ）」

リモコン交換する場合は上ケースだけでなく、下ケースも併せて交換してください。

5. 据付工事後の確認

据付工事が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。）

5-1. 据付工事のチェックリスト

確認項目		確認結果
設置環境	設置周りは必要な空間が守られていますか	
リモコン	リモコンケーブルの切くずなどが端子台に入っていませんか	
	端子台のねじに緩みはありませんか	
	コネクタは正しく接続されていますか	
	リモコンケーブル引き込み口はパテ（S-5）などでシールしましたか	
	上ケースと下ケースに浮きがなくはめ込んでいますか	

5-2. リモコンの設定

リモコンの設定は、「リモコンの据付工事説明書（設定編）」を参照してください。

5-3. 温度センサの設定

温度センサの設定は、マルチエアコンシステムでは「室内ユニットの据付工事説明書」を、スリムエアコンでは「リモコンの据付工事説明書（設定編）機能選択の項」を参照してください。

5-4. 保護シートの取外し

工場出荷時、上ケースの操作面に保護シートを貼っています。
ご使用の前に、保護シートをはがしてください。

6. 試運転

6-1. 試運転の方法

- お客様立ち会いで、同梱の「据付工事説明書（設定編）」に従って、試運転を行ってください。
- 試運転の詳細は、室内ユニットの「据付工事説明書」を参照してください。

6-2. 試運転中の確認事項

- リモコンに接続している室内ユニットが運転することを確認してください。
- グループ運転する場合は、リモコンと同じグループに属する機器が運転することを確認してください。

7. お客様への説明

- 別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- お使いになる方が不在の場合は、オーナー様・ゼネコン関係者様や建物の管理人様にご説明ください。
- この据付工事説明書は、据付け後お客様にお渡しください。なお同梱の取扱説明書・据付工事説明書（設定編）も必ずお客様にお渡しください。
- お使いになる方が代わる場合、この据付工事説明書と取扱説明書・取扱説明書（Bluetooth® 設定編）・据付工事説明書（設定編）を新しくお使いになる方にお渡しください。

8. 安全に長くお使いいただくために

標準的な使用環境と異なる環境で使用された場合や、経年劣化を進める事情が存在する場合には、設計使用期間よりも早期に安全上支障をきたす原因になります。

8-1. 日常の保守

8-1-1. 上ケースの清掃

- ベンジンやシンナー、化学雑巾などをコントローラに触れさせないでください。変色の原因になります。
- 汚れを落とす場合、水でうすめた中性洗剤を布につけ、よく絞った状態でふき取り、乾いた布でふきあげてください。
  ※ 中性洗剤は、原液のままで使用しないでください。使用量の目安までうすめて使用してください。

8-2. 点検時の交換部品と保有期間

取扱説明書の該当ページを参照してください。

8-3. 商標について

- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、三菱電機株式会社は、これら登録商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

Bluetooth®

MITSUBISHI ELECTRIC

WT10478X01
871D663A10

三菱電機ビル空調管理システム
三菱電機スリムエアコン
[共通]
MA スマートリモコン

形名
PAR-45MA
PAR-45MA-P

取扱説明書
（Bluetooth® 設定編）

Bluetooth®

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みになり正しく安全にお使いください。
- この説明書は大切に保管してください。
- お使いになる方が代わる場合には、本書と「取扱説明書」「据付工事説明書（据付編）」「据付工事説明書（設定編）」をお渡しください。
- お客様ご自身では、据付けしないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

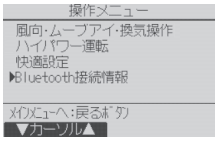
1. ご使用の前に

- 室内ユニットの見えない位置から操作するときは、室内ユニットやその周辺、室内にいる人の状態などを事前に確認してから操作してください。
- 子ども、高齢者、病気の方、身体の不自由な方が室内にいる場合は、室内にいる方を保護できる人がいる状態で使用してください。
- 室内ユニットのある室内に人がいることがわかっている場合は、室内ユニットの見えない位置から操作することを事前に知らせておいてください。
- 小さな子どもが誤って操作しないように、保護者の管理のもとで使用してください。
- 本製品は2.4GHz帯の無線を使用しており、障害物や電子レンジ、Wi-Fiなどの電波干渉により、通信状態が悪い場合は操作内容が反映されないことがあります。操作内容が反映されたことを確認してください。
- 電波の届く距離は見通し約10mです。障害物で電波がさえぎられた場合は電波の届く距離が短くなりますので、障害物を取り除くかスマートフォン／無線センサをリモコンに近づけて使用してください。
- スマートフォンによる誤操作防止のため、操作ロック機能の使用を推奨します。
- Bluetooth 機器がリモコンやスマートフォン／無線センサの周辺に複数ある場合、スマートフォン／無線センサとリモコンとの通信が正しくできないことがあります。

2. 使用方法

2-1. Bluetooth 接続情報

スマートフォンとリモコンをBluetooth接続するための情報を確認することができます。メインメニューで「操作」を選択し、「Bluetooth接続情報」を選択します。接続用PINコードおよびリモコンのIDを確認することができます。

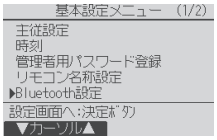


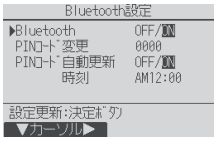
お知らせ

- 管理者によりBluetooth機能が無効に設定されている場合、接続情報を確認することはできません。

2-2. Bluetooth設定

リモコンのBluetooth機能および接続用PINコードを設定することができます。メインメニューで「初期設定」を選択し「基本設定」-「Bluetooth設定」を選択します。





お知らせ

- 管理者用パスワードが必要です。管理者用パスワードについては据付工事説明書（設定編）を参照してください。
- Bluetooth　ON/OFF：
  Bluetooth機能のON/OFFの切替ができます。工場出荷時はOFFです。Bluetooth機能をONにするとメイン画面の時刻左箇所にBluetoothのマーク［ ］が表示されます。停止中に**[F1]** **[F2]**ボタンを同時に押すとPINコードが2回点滅表示されます。
- PINコード変更：
  スマートフォンとの接続用PINコードを手動で変更することができます。
- PINコード自動更新：
  PINコードを任意の時間で自動更新する機能のON/OFF切替ができます。自動更新をONに設定した場合には時刻に任意の時間を設定してください。工場出荷時はOFFです。また、PINコードはランダムに生成されます。

お知らせ

- Bluetooth機能がONに設定されたとき、メイン画面にBluetoothアイコンが点灯します。
- 同じ部屋や隣の部屋にリモコンを複数台設置した場合、操作対象でないリモコンに接続してしまうことがあります。これを防止するためにはリモコンのPINコードを異なる値にしてください。
- 従リモコンは、Bluetooth機能使用不可となります。

2-3. スマートフォン

- 対応OS　iOS 11.0以上
  Android OS 7.0 以上
  ※ すべての端末について動作保証するものではありません。
  事前に動作確認のうえ、利用することを推奨します。
  動作確認機種の最新情報はダウンロードサイトで確認してください。

スマートフォンアプリケーションは、以下の配信サービスから検索してダウンロードできます。
アプリケーション名あるいは、検索キーワードを入力してください。
- iOS：App Store
- Android：Google Play
- アプリケーション名：MELRemo

お知らせ

- アプリケーションは無料ですが、ダウンロード時には通信料が発生します。
- iPadをお使いの方で、アプリケーションが検索できない場合は、検索結果の画面で「iPadのみ」となっている項目をタップして「iPhoneのみ」を選択し、再検索してください。
- 最新のアップデートはダウンロードサイトで確認してください。
  ※ MELRemoのマニュアル（PDFファイル）は、アプリケーションのヘルプからダウンロードできます。

3. 法令関連の表示

3-1. 工事設計認証について

本製品は、電気通信事業法および電波法に基づく設計認証を取得しています。

3-2. 商標について

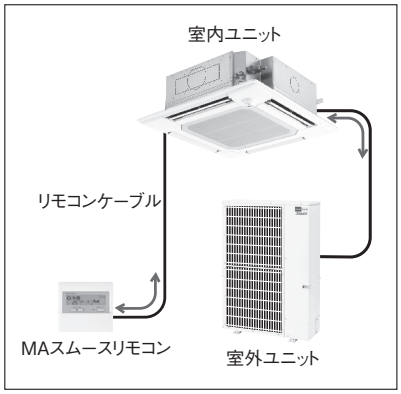
- iPhone, iPad, iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- iOSの商標はCisco Systems Inc.の米国およびその他の国々のライセンスに基づき使用されています。
- App StoreはApple Inc.が運営するiPhone, iPad, iPod touch向けアプリケーションソフトウェアのダウンロードサービスを行えるサービスの名称です。
- Android、Google Playは、Google LLCの商標です。
- Galaxyは、Samsung Electronics Co.,Ltd.の商標または登録商標です。
- Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、三菱電機株式会社は、これら登録商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

Bluetooth®

MA スムースリモコン

● PAR-26MA2

使用目的 / 用途



- 本品はスリムエアコン A 制御機種共通のワイヤードリモコンです。
- スリムエアコン A 制御〈CT シリーズ〉の場合、スムースメンテナンス機能でメンテナンス情報を表示することができます。

注　意

・MA スムースリモコンはスケジュールタイマー機能は搭載していません。
・室内制御基板のスイッチ SW5-8 を OFF にしてご使用ください。
　スイッチ SW5 が無い機種はジャンパー線 J58 を切断してください。

対象ユニット

● PAR-26MA2：A 制御機種

仕　様

形　　名	PAR-26MA2
外形寸法	H120 × W130 × D19mm
質　　量	0.2kg
電　　源	DC12V　室内ユニットより伝送線を介して受電
使用環境条件	温度：0 ～ 40℃、湿度 30 ～ 90% RH（結露なきこと）
材　　質	PS
外 観 色	ピュアホワイト（マンセル№ 6.4Y8.9/0.4）
据付方法	JISC8340 の 2 個用のスイッチボックス（現地手配）へ取付け、または壁に直付け。 MA リモコン線は、無極性 2 線で MA リモコン専用端子に接続。 別売品　リモコンケーブル：PAC-YT81HC/10m ：PAC-YT82HC/20m

機能表

○：グループ別操作　×：対応不可

項　　目	設定	表示	内　容
運転 / 停止	○	○	運転 / 停止の切換が可能
運転モード切換	○	○	冷房 / ドライ / 自動 / 送風 / 暖房の切換が可能
室温設定	○	○	下記の範囲で室温設定ができます。 （空調機により温度範囲が異なります。下記は標準機種の場合です） 冷房・ドライ：19 ～ 30℃ / 暖房：17 ～ 28℃ / 自動：19 ～ 28℃
風速設定 ※	○	○	風速の切換ができます。　※ユニットにより選択可能な風量は異なります。
風向設定 ※	○	○	風向の切換ができます。　※ユニットにより選択可能な風向は異なります。
ルーバー設定 ※	○	○	ルーバーの運転 / 停止切換が可能　※機能に対応しているユニットのみ可能です。
手元操作への禁止 / 許可	×	○	上位コントローラの設定により、運転 / 停止、運転モード、設定温度、フィルターサインリセット操作が禁止されます。　※禁止中は [集中管理中] が点灯します。
運転モードの切換制限	×	○	上位コントローラからの設定により、下記モードへの操作が禁止されます。 冷房禁止時：冷房・ドライ・自動 / 暖房禁止時：暖房・自動 冷暖禁止時：冷房・ドライ・暖房・自動
室温表示	−	○	空調機の運転時のみ、室内ユニットの吸込み温度を表示します。
異常表示	−	○	現在発生している異常内容を、アドレスとともに表示します。また、異常発生時に連絡先の電話番号を表示させることも可能です。※異常内容によりアドレス表示しない場合もあります。
タイマー運転	○	○	簡易タイマー / 消し忘れタイマーの何れかを使用可能です。 ・簡易タイマー：ON/OFF を 1 回行うタイマー （1 時間単位で 72 時間まで、ON または OFF のみの設定も可能） ・消し忘れタイマー：運転後に一定時間経過すると休止するタイマー （運転時間を 30 分単位で 24 時間まで設定可能）

MA スムースリモコン

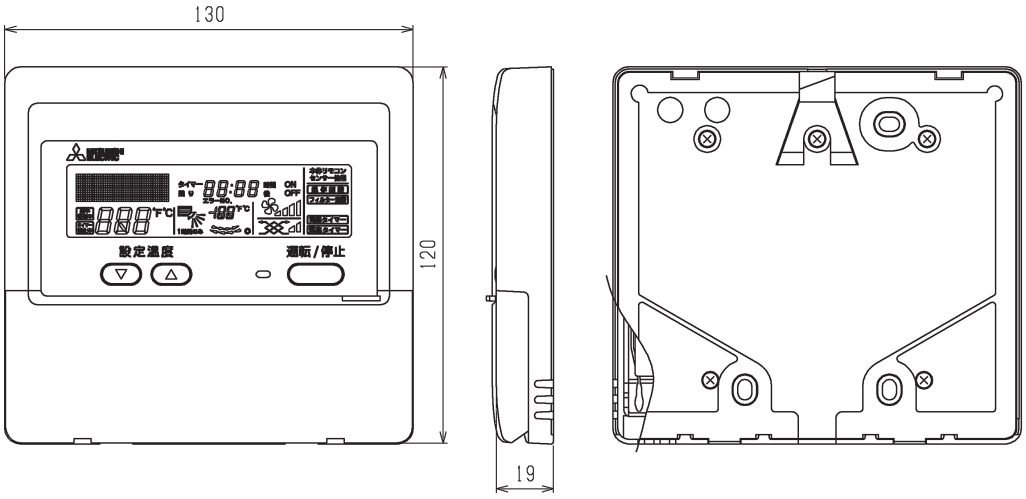
● PAR-26MA2

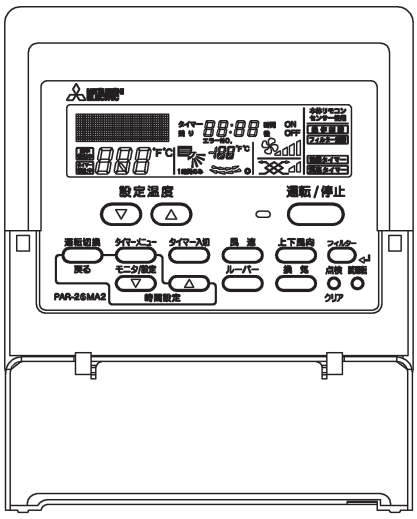
機能表

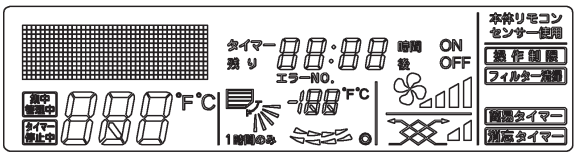
項　目	設定	表示	内　容
換気機器操作	○	○	フリープランユニット管理時 ・フリープラン用ロスナイの連動設定及び連動運転設定が可能　・換気連動機器の停止 / 弱 / 強の切換可能 ミスタースリムユニット管理時（A 制御） ・マイコンタイプロスナイの連動運転設定が可能　　・換気連動機器の弱 / 強の切換可能
言語切換機能	○	○	表示する言語（ドット表示部）を切換えることができます。
スムースメンテナンス機能	○	○	メンテナンス安定運転への切換ができます。 メンテナンス情報を表示することができます。※メンテナンス機能対応のユニットのみ可能です。
異常時の連絡先表示機能	○	○	異常発生時に連絡する電話番号を登録し、表示することができます。 ※異常発生時には登録されている電話番号を表示します。
温度設定範囲制限機能	○	○	初期設定により、室温設定の温度範囲を制限することができます。
操作制限機能	○	○	リモコンスイッチの操作ロックの設定 / 解除ができます。 ・全スイッチロック　　・運転 / 停止スイッチ以外スイッチロック
外部入力	×	×	外部入力はできません。
外部出力	×	×	外部出力はできません。
自動昇降パネル操作	○	○	自動昇降パネルの上昇 / 下降の操作ができます。※自動昇降対応ユニットのみ可能です。
ベーン角度設定	○	○	吹き出し口の角度の固定操作ができます。※ベーン角度固定対応ユニットのみ可能です。

外形図（単位：mm）

PAR-26MA2







MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機 ビル 空調管理システム
三菱電機スリムエアコン用

共通

MA スムースリモコン

形名
PAR-26MA2

据付工事説明書

販売店・工事店様用

このたびは三菱電機製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。

- ご使用の前に、この据付工事説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。この据付工事説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要なときお読みください。
- 「据付工事説明書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では、据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

WT07615X03

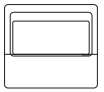
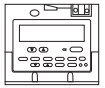
1. 各部のなまえ

接続して使用する取扱説明書を参照してください。

2. 使用部品

2-1. 同梱部品

箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認下さい。

No.	品名	個数（個）	外観	備考
1	リモコン	1		カバー
				本体
2	十字穴付きナベネジ　M4 × 30	2	—	
3	木ネジ　M4.1 × 16	2	—	壁に直接据付ける場合

2-2. 別売部品

以下の部品は、三菱電機指定の純正部品をお使いください。

No.	品名	形名	個数（個）	備考
1	リモコンケーブル	PAC-YT81HC	どちらか1	10 m
		PAC-YT82HC(※ 1)		20 m
2	リモコン用スペーサ	PAC-YT83RS	1	設置壁面の影響を受けやすい場所に、かつリモコンの温度センサを使用する場合

（※1） シティマルチ S（PUSY-P80, 112 形）、スリム K（PUZ-KP140, 160 形）および通信基地局冷却システム（PKZ/PEZ/PFZ）の機種と接続する場合は使用できません。

2-3. 一般市販部品

下記の部品は現地にて調達してください。

品名	仕様	所要量	備考
スイッチボックス	2 個用（JIS C8340）	1	壁面に直接据付ける場合は不要です。
薄鋼電線管	(JIS C8305)	必要量	
ロックナット、ブッシング	(JIS C8330)	必要量	
モール	(JIS C8425)	必要量	リモコンケーブルを壁面に這わす場合に必要です。
パテ		適量	
モリーアンカー		必要量	

品名	仕様		所要量	備考
リモコンケーブル	種類	CVV,CVS,VVR,VVF,VCT	必要量	シティマルチ S（PUSY-P80, 112 形）、スリム K（PUZ-KP140, 160 形）および通信基地局冷却システム（PKZ/PEZ/PFZ）と接続し、リモコン配線の総延長（※ 3）が 10m 以上で使用する場合はシールド線（MVVS:0.3mm² 2 心ケーブル）を使用してください。（※ 4）
	線数	2 心ケーブル		
	線径	0.3 ～ 1.25mm²（※ 2）		

（※2） 作業上、0.75mm² までの線径を推奨します。
（※3） 室内ユニットの MA リモコン用端子台（TB15）間の渡り配線も含みます。
（※4） シールド線のアースは室内ユニットの MA リモコン用 S 端子に接続してください。

2-4. 製品の運搬と開梱

2-4-1. 製品の運搬

できるだけ水平に保ち静かに運搬してください。

2-4-2. 製品の開梱

⚠警告

梱包材は破棄すること。

- 窒息事故のおそれあり。

指示を実行

3. 使用箇所（据付工事の概要）

3-1. 使用部品の取付位置

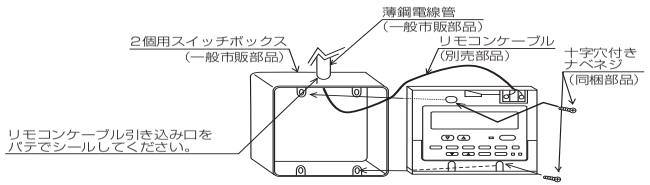
使用部品の取付位置の詳細は、「3-3. 一般市販部品の仕様」を参照してください。

3-2. 従来工事方法との相違

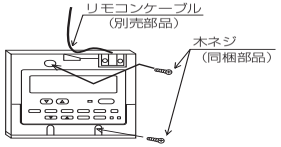
特にありません。

3-3. 一般市販部品の仕様

[1] スイッチボックスを使用する場合



[2] 壁面に直接据付ける場合



4. 据付場所の選定

⚠警告

油・蒸気・有機溶剤・腐食ガスの多いところ、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーを頻繁に使用するところにコントローラを据え付けないこと。

- 電気部品腐食による感電・性能低下・故障・発煙・火災のおそれあり。

使用禁止

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏えいのおそれがあるところにコントローラを設置しないこと。

- 可燃性ガスがコントローラの周囲にたまると、火災・爆発のおそれあり。

据付禁止

コントローラの質量に耐えられるところに据え付けること。

- コントローラの落下によるけがのおそれあり。

指示を実行

⚠注意

コントローラは水のかかるところや高湿度で結露するところには据え付けないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ注意

4-1. 法規制・条例の遵守事項

法規制、地方条例などを遵守することを配慮して据付場所を選定してください。

4-2. 公害・環境への配慮事項

公害や環境に対し配慮して据付場所を選定してください。

4-3. 製品の機能性能を発揮するための事項

本リモコンは壁面に据付ける仕様となっています。「スイッチボックスを使用する」または「壁面に直接据付ける」が選択できます。「壁面に直接据付ける」場合、配線取り出し方法を「背面取り出し」または「上部取り出し」から選択できます。
リモコン（スイッチボックス）を、次の条件を満たす場所に据付けてください。

(1) リモコンが正確な室内温度を検知できる所

室内温度を検知する温度センサはリモコンと室内ユニットの両方に付いています。リモコンの温度センサを使用して室内温度を検知する場合は、主リモコンに設定したリモコンが室温を検知します。この場合、下記事項を守ってください。

- リモコンは、熱源の影響を受けない場所に据付けてください。
  （直射日光やエアコンの吹き出し空気が直接あたる場合、リモコンが正確な室温を検知できません。）
- リモコンは、部屋の平均的な温度を検知できる場所に据付けてください。
- リモコンの温度センサ付近に他の配線が無い場所に据付けてください。
  （配線がある場合、リモコンが正確な室温を検知できません。）

お願い

室温と壁温の差が大きい場合、リモコン設置壁面の表面付近の温度を検知するため室温と差が出るおそれがあります。
以下のような設置条件の場合、室内ユニットの温度センサ使用を推奨します。

- 室内の気流分布が悪く、リモコン設置壁面に吹き出し空気が到達しにくい場合
- 設置壁面の温度と室温の差が大きい場合
- 設置壁面の背面が外気に接している場合

お知らせ

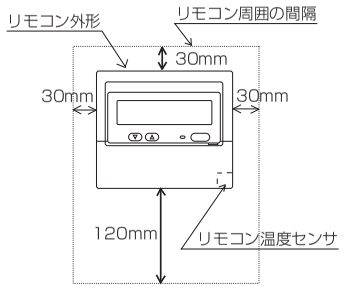
- 急激な温度変化がある場合、温度検知の追従性が悪くなります。
- 設置壁面の影響を受けやすい場所に、かつリモコンの温度センサを使用する場合、別売のリモコン用スペーサ（形名：PAC － YT83RS）を使用ください。

(2) 据付面が平らな所

- リモコンは、凹凸のない平らな場所に据付けてください。

[1] 据付スペース

リモコンをスイッチボックス・壁面のどちらに据付ける場合でも右図に示すスペースを確保してください。スペースが不足すると、リモコンを外しにくくなります。
また、リモコン正面側には操作ができるスペースを確保してください。



4-4. 保守・点検に関する事項

保守・点検に関する事項を配慮して据付場所を選定してください。
工事をされた方は、顧客と保守契約を結び、本製品を含む空調システムが安全に、かつ良好な状態で運転していることを定期的に確認してください。

5. 据付工事・電気工事

⚠警告

改造はしないこと。
- けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。
- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

ぬれ手禁止

電源配線は信号端子台に接続しないこと。
- 機器損傷・故障・発煙・火災のおそれあり。

接続禁止

配線に外力や張力が伝わらないようにすること。
- 伝わった場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。

発火注意

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。
- 発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。

発火注意

コントローラのカバーを取り付けること。
- ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

電気工事は第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。
- 電源回路容量不足や施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

電源配線には、電流容量などに適合した規格品の配線を使用すること。
- 漏電・発熱・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

9

⚠注意

コントローラの据付けは、販売店または専門業者が据付工事説明書に従って行うこと。
- 感電・火災のおそれあり。

指示を実行

5-1. 建物の工事進行度と施工内容

据付場所に据付けられる状態になりましたら、据付工事を行ってください。

[1] スイッチボックスを使用する場合

壁面仕上げ材を取り付ける前にスイッチボックスを取り付け、電線管と接合しておき、事前にケーブルを通してください。
その後壁面仕上げ材を取り付けてください。

[2] 壁面に直接据付ける場合

壁面仕上げ材を取り付ける前にリモコンを取り付ける予定のところにケーブルを配線してください。
その後壁面仕上げ材を取り付けてください。

5-2. 届出・報告事項

特にありません。

10

5-3. 据付と電気工事をする

5-3-1. 必要工具

- マイナスドライバー（刃幅４～７mm）
- ナイフ
- ニッパー
- その他一般工具

5-3-2. 据付準備

据付工事には「スイッチボックスを使用する場合」と「壁面に直接据付ける場合」があります。据付け方法に応じて工事を行ってください。

[1] スイッチボックスを使用する場合

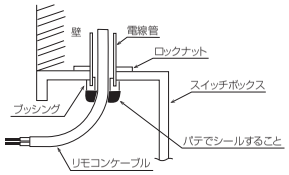
⚠注意

配線引込口をパテでシールすること。
- 露・水・虫が浸入すると、感電・故障・火災のおそれあり。

指示を実行

手順

1. スイッチボックスに合わせて壁面に穴をあける。
2. リモコンケーブル引込口をシールする。
   スイッチボックスと電線管の結合部のリモコンケーブル引込口をパテでシールしてください。



11

[2] 壁面に直接据付ける場合

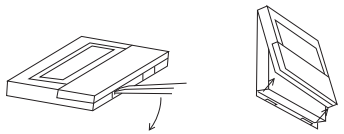
手順

1. リモコン取り付け予定位置の壁面に穴をあける。
   ＜壁に穴を開けリモコンケーブルを通す場合（リモコンケーブルをリモコン背面から出す場合）のみ＞

5-3-3. リモコンの準備

手順

1. リモコンカバーを外す。
   刃幅４～ 7mm のマイナスドライバーをリモコン下部２箇所のツメ部分のいずれかに差し込み、矢印で示す方向に動かします。
   引っかかっているツメが外れますのでカバーを手前上に引いて取り外してください。



お願い

マイナスドライバーをコントローラのツメにはめ込んだ状態で強く回転させないでください。
• ケースが損傷するおそれあり。

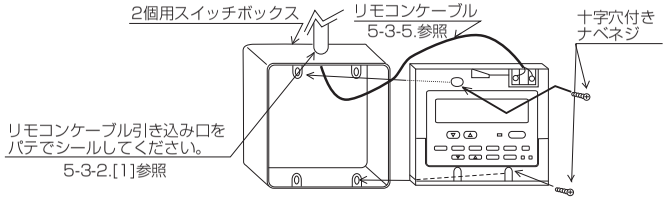
12

5-3-4. リモコン本体の据付け

[1] スイッチボックスを使用する場合

手順

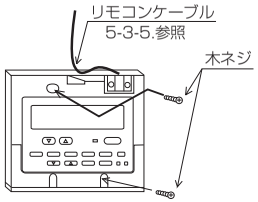
1. リモコン本体をスイッチボックスに取り付ける。
   2 か所以上固定してください。
   据付け面は平らな所をお選びください。



[2] 壁面に直接据付ける場合

手順

1. リモコン本体を壁面に取り付ける。
   2 か所以上固定してください。
   壁面からリモコンが浮くことを防止するため、リモコン正面から見て左上と右下の 2 カ所固定してください。モリーアンカーなどを使用し固定してください。
   据付け面は平らな所をお選びください。



お願い

- ネジを使用してリモコン本体を固定する場合は、0.8N·m 以上のトルクで締めないでください。下ケースの変形、割れのおそれがあります。

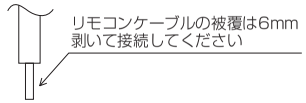
5-3-5. リモコンケーブルの接続

⚠注意

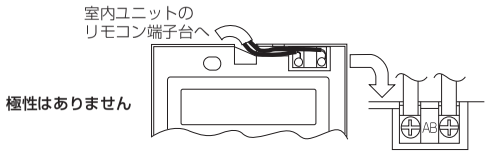
コントローラの内部に配線の切くずが入らないようにすること。	シールド線を使用する場合、シールド部の絶縁処理を行うこと。
・ショート・感電・故障のおそれあり。	・ショート・感電・故障のおそれあり。
感電注意	指示を実行

手順

1. リモコンケーブルを加工する。
   ※ シールド線 MVVS を使用する場合、
   シールド部が製品内でショートしないよう
   テープなどで絶縁処理を行ってください。



2. リモコンケーブルを端子台に接続する。



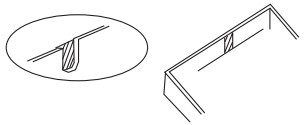
お願い

コントローラの配線を端子台に接続する際に、圧着端子を使用しないでください。
・基板と接触し故障のおそれあり。 ・カバーと接触しカバー損傷のおそれあり。

5-3-6. リモコンカバーの加工

<壁面に直接据付ける場合で、かつ壁面にリモコンケーブルを這わす場合のみ>

カバーの内側薄肉部（右図の斜線部）をナイフ・ニッパーなどで切り取ってください。
端子台に接続したリモコンケーブルをこの部分から取り出します。



5-3-7. リモコンカバーの取り付け

⚠注意

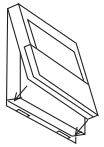
"パチッ"と音がするまではめ込むこと。

- はまっていない場合、製品が落下し、けが・損傷・故障のおそれあり。

指示を実行

手順

1. 本体にカバーを取り付ける。
   上部爪（2ヵ所）を先に掛けて、右図のように本体にはめ込みます。



5-3-8. リモコンケーブルの取り出し

⚠注意

配線引込口をパテでシールすること。

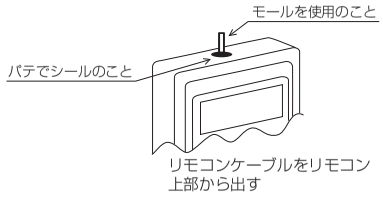
- 露・水・虫が浸入すると、感電・故障・火災のおそれあり。

指示を実行

[1] 壁面にリモコンケーブルを這わす場合

手順

1. カバーの切り取った部分よりリモコンケーブルを取り出す。
2. カバーの切り取った部分をパテでシールする。
3. リモコンケーブルを壁面で引回す場合はモール（配線カバー）を使用する。



[2] 壁に穴を開けリモコンケーブルを通す場合

手順

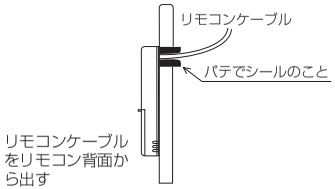
1. リモコンケーブルをリモコン背面から取り出す。
2. リモコンケーブルを通した穴をパテでシールする。

⚠注意

配線引込口をパテでシールすること。

- 露・水・虫が浸入すると、感電・故障・火災のおそれあり。

指示を実行



5-4. サービス

再度取り外す場合は取り付け手順を参考にして行ってください。

6. 据付工事後の確認

据付工事が完了しましたら、次項の「据付工事のチェックリスト」に従ってもう一度点検してください。
不具合がありましたら必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません）

6-1. 据付工事のチェックリスト

確認項目		確認結果
設置環境	設置周りは必要な空間が守られていますか。	
リモコン	リモコンケーブルの切屑などが端子台に入っていませんか。	
	リモコンケーブル引き込み口はパテ等でシールしましたか。	
	意匠カバーと上ケースに浮きがなくはめ込んでいますか。	
	正確な温度を検知していますか。	

6-2. リモコンの設定

リモコンの主／従設定は、「7-1. リモコン機能選択 [3] – (1)」を参照してください。

6-3. 温度センサの設定

温度センサの設定は、「マルチエアコンシステム室内ユニットの据付工事説明書」、「スリムエアコンでは 7-2. ユニット機能選択」の項を参照してください。

6-4. 保護シートの取り外し

工場出荷時、カバーの操作面に保護シートを貼っています。
ご使用の前に、保護シートをはがしてください。

7. 初期設定

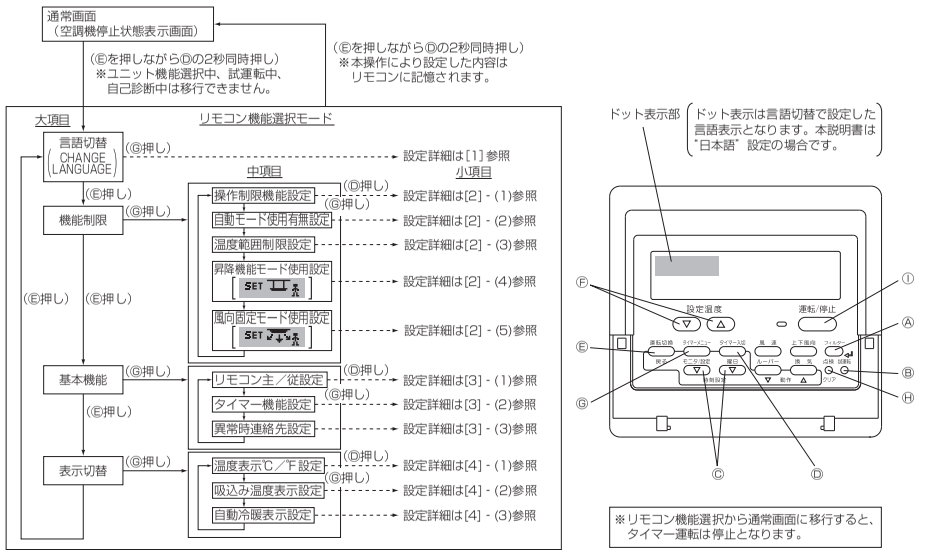
7-1. リモコン機能選択

リモコン機能選択モードでは下記のリモコンの機能を設定変更できます。必要に応じ、設定変更をしてください。

大項目	中項目	小項目（設定内容）
[1] 言語切替（CHANGE LANGUAGE）	表示する言語の設定を行います。	• 多言語表示ができます。
[2] 機能制限	(1) 操作制限機能設定（操作ロック）	• 操作制限（操作ロック）の範囲を設定します。
	(2) 自動モード使用設定	• 運転モードの「自動」使用有無を設定します。
	(3) 温度範囲制限設定	• 温度調節範囲（上限・下限値）を設定します。
	(4) 昇降機能モード使用設定	• 昇降機能モードの使用有無を設定します。
	(5) 風向固定モード使用設定	• 風向固定モードの使用有無を設定します。
[3] 基本機能	(1) リモコン主／従設定	• 主リモコン、従リモコンを切替えます。 ※ 1 グループ 2 台接続時どちらか一方を『従』設定にします。
	(2) タイマー機能設定	• 使用するタイマーの種類を設定します。
	(3) 異常時の連絡先設定	• 異常発生時に連絡先の電話番号を表示させることができます。 • 電話番号の設定をします。
[4] 表示切替	(1) 温度表示℃／℉設定	• 表示する温度単位（℃／℉）を設定します。
	(2) 吸込み温度表示設定	• 室内（吸込み）温度表示の有無を設定にします。
	(3) 自動冷暖表示設定	• 自動モード運転時の「冷房」「暖房」表示有無を設定します。

[機能選択の流れ]
1）空調機を停止状態にして、リモコン機能選択モードに移行する→2）大項目を選択する→3）中項目を選択する→4）小項目（内容を設定する）→5）設定完了→6）通常画面に移行する（終了）

お知らせ
リモコン機能選択から通常画面に移行すると、タイマー運転は停止となります。



21

(3) 温度範囲制限設定

設定内容変更後は、変更した範囲内で温度変更が可能となります。

- タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
  - ①冷房モード　：冷房・ドライモードでの設定温度範囲を変更できます。
  - ②暖房モード　：暖房モードでの設定温度範囲を変更できます。
  - ③自動モード　：自動モードでの設定温度範囲を変更できます。
  - ④ OFF（初期設定値）：温度範囲制限は実行されません。

※ OFF 以外が設定された場合、冷房、暖房、自動モードの温度制限設定が同時に実行されます。ただし、設定温度範囲が変更されていなければ制限は実行されません。

- 設定温度△ボタン、または設定温度▽ボタンを押す毎に設定値がアップ、ダウンします。
- 風速ボタンを押して上限値設定、下限値設定を選択を切替えます。
  選択された設定内容は点滅表示しており、この温度値を設定します。
- 設定範囲

冷房・ドライモード	：下限値：19℃～ 30℃	上限値：30℃～ 19℃
暖房モード	：下限値：17℃～ 28℃	上限値：28℃～ 17℃
自動モード	：下限値：19℃～ 28℃	上限値：28℃～ 19℃

※ 設定範囲は接続されるユニット（スリム機種、マルチエアコン機種、中温機種等）により異なります。

23

[設定詳細]

[1] 言語切替設定

本設定により、ドット表示部に表示する言語を設定します。

- タイマーメニューボタンを押して下記内容を切替えます。
  ①日本語（JP）、②英語（GB）、③ドイツ語（D）、④スペイン語（E）、
  ⑤ロシア語（RU）、⑥イタリア語（I）、⑦中国語（CH）、⑧フランス語（F）

[2] 機能制限設定

(1) 操作制限機能設定（操作ロック）

- タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
  - ① no1　：運転／停止ボタン以外操作ロック設定となります。
  - ② no2　：全ボタン操作ロック設定となります。
  - ③ OFF（初期設定値）：操作ロック設定なしとなります。

※ 通常画面にて操作ロックを実行するには、上記設定後に通常画面にて実行操作（フィルターボタンと運転／停止ボタン同時 2 秒押し）が必要です。

(2) 自動モード使用設定

運転モード自動有りユニットに接続されている場合、下記内容の設定を行うことができます。

- タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
  - ① ON（初期設定値）：運転モード選択操作時に自動モードを表示します。
  - ② OFF　：運転モード選択操作時に自動モードを表示しません。

22

(4) 昇降機能モード使用設定

- タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
  - ① ON　：昇降機能モードへの移行操作が有効となります。
  - ② OFF ：昇降機能モードへの移行操作が常時無効となります。

※ 移行操作：停止表示中にフィルターボタンと換気ボタンを同時に約 2 秒押してください。

- **昇降機能モードでの設定詳細については、ユニットの説明書を参照してください。**
  昇降機能モードでは室内ユニットグリル（パネル）の昇降を行うことができます。

(5) 風向固定モード使用設定

- タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
  - ① ON　：風向固定モードへの移行操作が有効となります。
  - ② OFF ：風向固定モードへの移行操作が常時無効となります。

※ 移行操作：停止表示中にフィルターボタンを風速ボタンの同時に約 2 秒押してください。

- **風向固定モードでの設定詳細については、ユニットの説明書を参照してください。**
  風向固定モードでは吹出口毎にベーンの位置を固定することができます。

24

[3] 基本機能設定

(1) リモコン主／従設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

①主 ：主設定となります。

②従 ：従設定になります。

(2) タイマー機能設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます（いずれか一つを選択）

①タイマーケシワスレ　ボウシ　：消し忘れタイマー使用可能となります。

②タイマーカンイ（初期設定値）：簡易タイマー使用可能となります。

③タイマー無効　：タイマー未使用設定となります。

(3) 異常時連絡先設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

① CALL・OFF　：異常中に設定した電話番号は表示されません。

② CALL・0120 ＊＊＊ ＊＊＊＊：異常中に設定した電話番号を表示します。

CALL・＿　：左記表示時、電話番号を設定します。

・電話番号設定方法

①設定時に下記設定操作により電話番号を設定します。

点滅しているカーソル（＿）を移動して、数字を設定します。

設定温度△（▽）ボタンを押してカーソルを右（左）に移動させます。

時刻設定△ボタンまたは時刻設定▽ボタンを押して、電話番号を設定します。

[4] 表示切替設定

(1) 温度表示℃／℉設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

①℃　：温度表示単位を℃表示にします。

②℉　：温度表示単位を℉表示にします。

(2) 吸込み温度表示設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

① ON　：吸込温度を表示します。

② OFF ：吸込温度は表示されません。

(3) 自動冷暖表示設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

① ON　：自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」表示のどちらかが表示されます。

② OFF ：自動モード運転時、「自動」のみが表示されます。

7-2. ユニット機能選択

スリムエアコンで変更が必要な場合のみ設定してください。（マルチエアコンでは、設定できません。）
リモコンより必要に応じて各ユニットの機能を設定します。各ユニットの機能選択はリモコンからのみ設定可能です。
「表　機能選択内容」より機能選択が必要な項目を選択してください。

お願い

・スリムエアコンで変更が必要な場合のみ設定してください。

・**「表 . 機能選択内容」は代表的なモード番号の内容です。室内ユニットの出荷設定内容・モード番号・設定番号についての詳細は室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。**

・工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、全設定内容を別紙に記録するなど、設定状態を管理してください。

表 . 機能選択内容

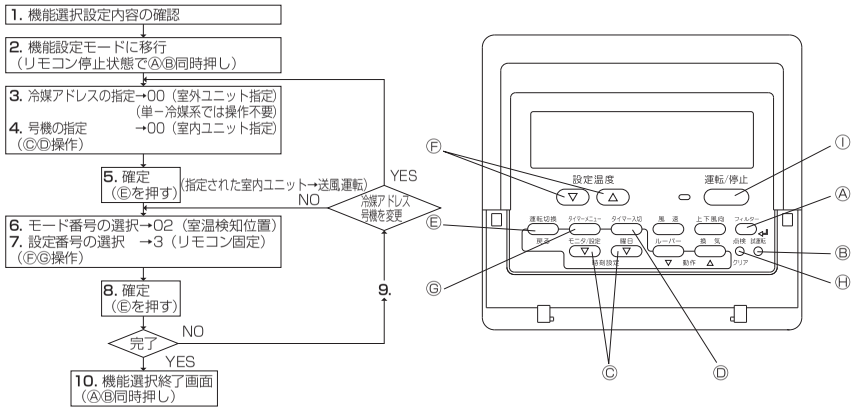
モード No.	モード	設定内容	設定番号	対象号機
01	停電自動復帰	無し	1	号機「共通」1 を選択します。 全室内ユニットに対して設定を行う項目です。
		有り （電源回復後、約 4 分間の待機が必要です）	2	
02	室温検知位置	同時運転室内ユニット平均	1	
		リモコン接続室内ユニット固定	2	
		リモコン内蔵センサー	3	
03	ロスナイ接続	接続無し	1	
		接続有り（室内ユニット外気取入れ無し）	2	
		接続有り（室内ユニット外気取入れ有り）	3	
16	加湿器制御切換	定時	1	
		常時	2	
17	霜取制御切換	標準	1	
		北陸仕様	2	

表 . 機能選択内容

モード No.	モード	設定内容	設定番号	対象号機
07	フィルターサイン	100 時間	1	号機「1 ～ 4、全て」を選択して設定します。 各室内ユニットに対して設定を行う項目です。 ・「1 ～ 4」号機を選択した場合は、同時ツイン・同時トリプル・同時フォーの各室内ユニットごとに設定します。 ・「全て」を選択した場合は、同時ツイン・同時トリプル・同時フォーの各室内ユニット全て同一に設定します。
		2500 時間	2	
		表示無し	3	
08	風量	静音（または標準）	1	
		標準（または 高天井①）	2	
		高天井（または 高天井②）	3	
09	吹出し口	4 方向	1	
		3 方向	2	
		2 方向	3	
10	オプション組込（高性能フィルター）	無し	1	
		有り	2	

[1] 機能選択の流れ

ここでは「表　機能選択内容」の“室温検知位置”の設定を例に説明します。
（実際の操作については手順 1. ～ 10. を参照してください）



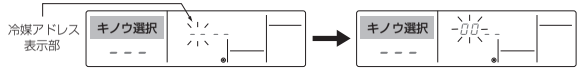
変更が必要な場合のみ設定してください。

手順

1. 機能選択の各モードの設定内容を確認する。
機能選択にて各モードの設定内容を変更した場合、そのモードの機能が変わります。
2. ～ 7. に従い現在の全設定内容を確認し、「表　機能選択内容」のチェック欄に記入の上、設定を変更してください。
なお、工場出荷時の設定については室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

2. リモコンを停止にする。
Ⓐ [フィルター] とⒷ [試運転] ボタンを同時に 2 秒以上押します。
「キノウ選択」が点滅し、しばらくするとリモコンの表示が下図の表示になります。

3. 室外ユニットの冷媒アドレス No. を合わせる。
Ⓒ [▽] [△]（時刻設定または時間設定）ボタンを押すと冷媒アドレス No. が 00 ～ 15 の間で前後するので機能選択したい冷媒アドレスに合わせます。（単一冷媒系では操作不要です。）

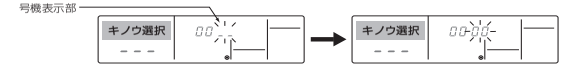


※ [機能選択] および室温表示部に「88」を 2 秒間点滅後、停止状態となる場合は、通信異常が考えられます。伝送路の近くにノイズ源がないか確認してください。

お願い

途中で操作を間違えた場合は、一度 10. にて機能選択を終了し、再度 2. より操作を行なってください。

4. 室内ユニットの号機を合わせる。
Ⓓ [タイマー入切] ボタンを押し、号機表示部「－－」を点滅させます。
Ⓒ [▽] [△]（時刻設定または時間設定）ボタンを押すと号機が 00 → 01 → 02 → 03 → 04 → AL と変化するので機能選択したい室内ユニットの号機に合わせます。



※ モード 1 ～ 3 を設定する場合は、「00」に合わせてください。
※ モード 7 ～ 11 を設定する場合は、
・ 各室内ユニットごとに行なう場合は、「01 ～ 04」に合わせてください。
・ 全室内ユニット一括に行なう場合は、「AL」に合わせてください。

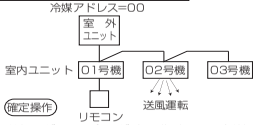
5. 冷媒アドレス、号機を確定する。
Ⓔ [運転切換] ボタンを押し、冷媒アドレス、号機を確定します。
しばらくするとモード番号表示部「－－」が点滅します。

※ 室温表示部に「88」が点滅表示する場合、選択した冷媒アドレスがシステム内にありません。
また、号機表示部が「F」となり、冷媒アドレス表示部とともに点滅表示となる場合は、選択した号機が存在しません。3.、4. にて冷媒アドレス、号機を正しく設定してください。

お知らせ

Ⓔ [運転切換] ボタンにて確定操作をすることにより、確定された室内ユニットが送風運転を開始します。機能選択する号機の室内ユニットがどこにあるのか知りたい場合はこれにより確認してください。なお、号機が 00、AL の場合は選択した冷媒アドレスの全室内ユニットが送風運転します。

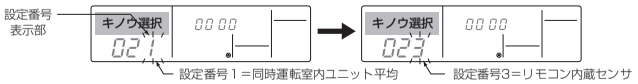
例）冷媒アドレス00、号機＝02確定時の場合



※ 異冷媒系統でグルーピング時、指定した冷媒アドレス以外の室内ユニットが送風運転する場合、ここで設定した冷媒アドレスの重複が考えられます。
再度、室外ユニットのディップスイッチにて冷媒アドレスの確認をしてください。

6. モード番号を選択する。
Ⓕ [▽] [△]（設定温度）ボタンにより設定したいモード番号を設定します。（設定可能なモード番号のみ選択できます。）

7. 選択したモードの設定内容を選択する。
Ⓖ [タイマーメニュー] ボタンを押すと、現在設定されている設定番号が点滅します。これにより現在の設定内容を確認してください。
Ⓕ [▽] [△]（設定温度）により設定番号を選択します。



8. 3. ～ 7. の設定内容を確定させる。
Ⓔ [運転切換] ボタンを押すと、モード番号と設定番号が点滅し登録を開始します。モード番号、設定番号の点滅が点灯に変り、設定が完了します。

※ モード番号および設定番号が「－－－」となり室温表示部に「88」が点滅表示となる場合は、通信異常が考えられます。
伝送路の近くにノイズ源がないか確認してください。

9. 更に、他の機能選択を行う場合は、3. ～ 8. の作業を繰り返し行なう。

10. 機能選択を終了する。
Ⓐ [フィルター] とⒷ [試運転] ボタンを同時に 2 秒以上押します。
しばらくすると機能選択画面が解除され、空調機停止画面へ復帰します。

※ 機能選択終了後、30 秒間はリモコンより操作しないでください。

お願い
工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、全設定内容を「表　機能選択内容」のチェック欄に○印などで記入して確認ください。

7-3. 換気設定

[1] ロスナイ設定（マルチエアコンのみ）

マルチエアコン機種でロスナイとの連動運転を行う設定が必要な場合のみ設定してください。
（スリムエアコンでは、設定できません。）
※ 上位コントローラが接続される場合は、上位コントローラより設定してください。

お願い
ロスナイと連動設定させる場合、グループ内全ての室内ユニットアドレスとロスナイのアドレスを連動設定してください。

リモコンが接続されている室内ユニットのロスナイ登録、登録した内容の検索、登録抹消設定を行う場合この操作を行います。
ここでは、室内ユニットアドレス 05、ロスナイアドレス 30 の場合を例に説明します。

手順

1. リモコンの [運転／停止] ボタンで空調機を停止の状態にする。
このとき、以下の停止表示でなければ、2. の操作ができません。

2. [フィルター] と [ルーバー] ボタンを同時に 2 秒押しすると下図の表示になる。

3. 現在リモコンが接続されている室内ユニットが登録しているロスナイの検索を行う。
登録検索結果

- 室内ユニットのアドレスと登録設定されたロスナイのアドレスを交互表示します。

室内ユニットアドレスと室内ユニット表示　　ロスナイアドレス表示とロスナイ表示

- ロスナイが登録設定されていない場合

4. ここで、何も設定する必要がなければ、[フィルター] と [ルーバー] ボタンを同時に 2 秒押しし、終了する。
新たにロスナイを登録する必要があれば、「(1) ロスナイを登録する場合」の項へ
ロスナイの検索をしたい場合は「(2) ロスナイアドレスを検索する場合」の項へ
現在の登録されているロスナイを抹消する場合は、「(3) ロスナイの登録を抹消する場合」の項へ

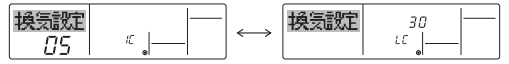
(1) ロスナイを登録する場合

手順

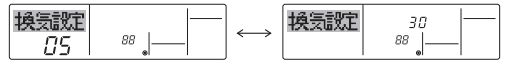
1. ロスナイと登録設定したいリモコンが接続されている室内ユニットのアドレスを設定温度 [▽]、[△] を操作し、設定する。(01 ～ 50)
2. 登録設定したいロスナイのアドレスを時刻設定 (または時間設定) [▽]、[△] ボタンを操作し設定する。(01 ～ 50)

室内ユニットアドレス　ロスナイアドレス

3. [試運転] ボタンを押し、設定した室内ユニットアドレスとロスナイアドレスの登録を行う。
登録の完了表示
室内ユニットのアドレスと「IC」、登録設定されたロスナイのアドレスと「LC」を交互表示します。



登録エラー表示
登録がうまく行かなかったとき室内ユニットのアドレスと登録設定されたロスナイのアドレスを交互表示



登録設定した室内ユニットまたはロスナイが存在しないので登録ができません。
登録設定した室内ユニットに別のロスナイが登録済みなので登録ができません。

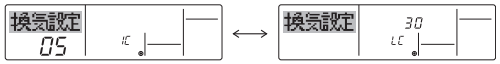
(2) ロスナイアドレスを検索する場合

手順

1. ロスナイの検索をしたいリモコンが接続されている室内ユニットのアドレスを設定温度 [▽]、[△] ボタンを操作し、設定する。(01 ～ 50 まで)

室内ユニットアドレス

2. [タイマーメニュー] ボタンを押し設定した室内ユニットアドレスに登録されたロスナイアドレスの検索を行う。
検索の完了表示（ロスナイ接続有りのとき）
室内ユニットのアドレスと「IC」登録設定されたロスナイのアドレスと「LC」を交互表示します。



検索の完了表示（ロスナイ接続なしのとき）

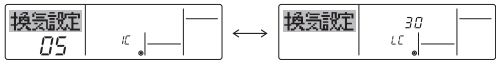
指定した室内ユニットのアドレスが存在しません。

(3) ロスナイの登録を抹消する場合

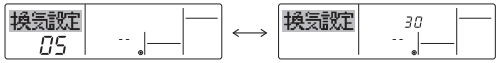
リモコンが接続されている室内ユニットとロスナイの登録設定を抹消する場合に使用します。

手順

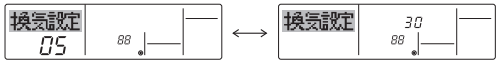
1. 抹消させたいロスナイの検索（「(2) ロスナイアドレスを検索する場合」の項参照）を行い、室内ユニットとロスナイの検索結果表示状態にする。



2. [タイマー入切] ボタンを２度押しし、設定した室内ユニットアドレスに登録されたロスナイアドレスの登録の削除を行う。
抹消の完了表示
室内ユニットのアドレスと「--」、登録設定されたロスナイのアドレスと「--」を交互表示します。



抹消エラー表示
抹消がうまく行かなかったとき



8. サービスメニュー

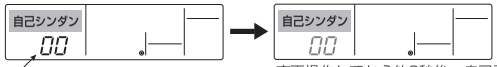
[1] 自己診断

リモコンにて各ユニットの異常履歴を検索します。

手順

1. 自己診断モードに移行する。
Ⓗ [点検] ボタンを３秒以内に２回押すと、下図の表示になります。

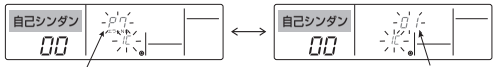
2. 自己診断したいアドレスまたは、冷媒アドレス No. に合わせる。
Ⓕ [▽] [△]（設定温度）ボタンを押すと 01 ～ 50 または、00 ～ 15 の間で前後するので自己診断したい自己診断対象アドレス No. または、冷媒アドレス No. に合わせます。



自己診断対象アドレスまたは、
自己診断対象冷媒アドレス

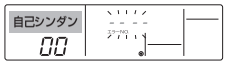
変更操作してから約3秒後、自己診断冷媒アドレスが点灯から点滅に変わり診断処理を開始します。

3. 自己診断結果表示を確認する。
〈異常履歴がある場合〉
（異常コードの内容は室内ユニットの据付工事説明書またはサービスハンドブックを参照してください）

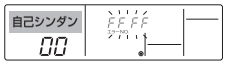


異常コード4ケタまたは、2ケタ　　アドレス3ケタまたは、号機2ケタ

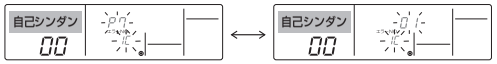
〈異常履歴がない場合〉



〈相手が存在しない場合〉

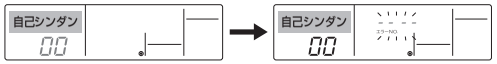


4. 異常履歴をリセットする。
3. の自己診断結果表示の画面にて異常履歴を表示させる。



Ⓓ [タイマー入切] ボタンを連続で３秒以内に２度押しする。
自己診断対象アドレスまたは、冷媒アドレスが点滅します。

異常履歴がリセットされた場合、下図の表示になります。
なお、異常履歴リセットに失敗した場合は異常内容が再度表示されます。



5. 自己診断を解除する。
自己診断の解除には次の２通りの方法があります。
Ⓗ [点検] ボタンを３秒以内に２度押す → 自己診断を解除し、自己診断前の状態になります。
① [運転／停止] ボタンを押す → 自己診断を解除し、室内ユニットが停止となります。
（操作禁止状態時、この操作は無効です。）

9. 試運転

お客様立ち会いで試運転を行なってください。

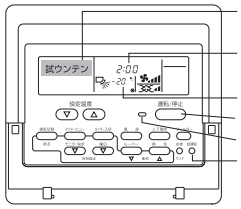
9-1. 試運転の準備

据付工事説明書に従って本機の据付工事が完了しているか、また、室内ユニット、室外ユニットの据付工事が完了しているか確認してください。

9-2. 試運転の方法

試運転の詳細は、室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

9-3. 試運転



運転モード表示部分
"試ウンテン" と "運転モード" を交互表示します。
試運転はタイマーにより2時間で停止します。

配管温度表示部
［運転／停止］ボタンの操作により試運転は停止します。
試運転中は運転ランプが点灯します。
［試運転］ボタン

[1] 運転する

［試運転］ボタンを 3 秒以内に 2 回押すと、試運転が行なえます。

[2] 停止する

［運転／停止］ボタンの操作により試運転は停止します。

[3] その他

試運転によって異常が発生した場合については室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目を参照してください。

10. 修理を依頼する前に

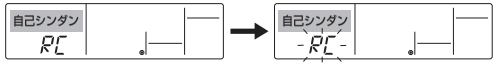
10-1. リモコン診断

リモコンからの操作がきかない場合、本機能により、リモコン診断を行なってください。

手順

1. まずは通電マークを確認する。
   リモコンに正常な電圧（DC12V）が印加されてない場合、通電マークは消灯しています。
   通電マークが消えている場合は、リモコン配線、室内ユニットを点検してください。

2. リモコン診断モードに移行する。
   Ⓗ［点検］ボタンを 5 秒以上押し続けると、下図の表示になります。
   Ⓐ［フィルター］ボタンを押すと、リモコンの診断を開始します。

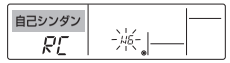


3. リモコン診断結果を確認する。

リモコン正常時

リモコンに問題はありませんので他の原因を調査してください。

リモコン不良時
（異常表示 1）「NG」が点滅→リモコン送受信回路不良

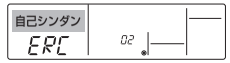


リモコンの交換が必要です。

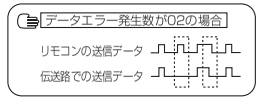
リモコン診断したリモコン以外に問題が考えられる場合
（異常表示 2）
「E3」「6833」「6832」が点滅→送信不可

伝送線にノイズがのっている、あるいは室内ユニット、他のリモコンの故障が考えられます。伝送路、他のリモコンを調査してください。

（異常表示 3）
「ERC」とデータエラー数を表示→データエラーの発生



データエラー発生数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送路に送信されたビット数の差を意味します。この場合、ノイズなどの影響で送信データが乱れています。伝送路を調査してください。



4. リモコン診断を解除する。
   Ⓗ［点検］ボタンを 5 秒以上押すと、リモコン診断を解除し、「PLEASE WAIT」、運転ランプが点滅し、約 30 秒後、リモコン診断前の状態に戻ります。

11. お客様への説明

- 別冊の取扱説明書に従って、お使いになる方に正しい使い方をご説明ください。
- お使いになる方が不在の場合は、オーナー様・ゼネコン関係者様や建物の管理人様にご説明ください。
- 「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- この据付工事説明書は、据付け後、同梱の取扱説明書・据付工事説明書（設定編）と共にお使いになる方にお渡しください。
- お使いになる方が代わる場合、この据付工事説明書を新しくお使いになる方にお渡しください。

45

12. 法令関連の表示

- 本製品を含む空調システムは長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全上、支障が生じたり、本来の性能が発揮できないおそれがあります。空調システムを良好な状態で長く安心してご利用していただくために、販売会社または認定技術者と保守契約することで、技術者がお客様に代わって定期的に点検いたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処置を行います。
- 標準的な使用環境と異なる環境で使用された場合や、経年劣化を進める事情が存在する場合には、設計使用期間よりも早期に安全上支障をきたすおそれがあります。

12-1. 日常の保守

12-1-1. カバーの清掃

中性洗剤を柔らかな布に含ませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭き取ります。ベンジン・シンナー・磨き粉の使用は避けてください。

※ 中性洗剤は、使用量の目安までうすめて使用してください。
原液のままで使用しないでください。

46

12-2. 点検時の交換部品と保有期間

＜参考＞　主要部品の交換周期

主要部品名	交換目安周期
リモコン	10 年

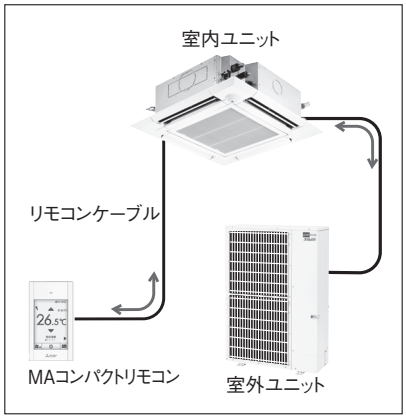
※ 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
※ 交換周期は保証期間とは異なります。
※ この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化）のためにお役立てください。

47

MA コンパクトリモコン

● PAC-SF01CR

使用目的 / 用途



● 本品は、タッチパネルを搭載したコンパクトな直感操作リモコンです。Bluetooth® 接続によりスマートフォンやタブレットのアプリからも操作可能です。
※本リモコンでは、１グループに２台のリモコンを使用する事はできません。

注　意

・本リモコンでは、１グループに２台のリモコンを使用することはできません。
・左右ルーバーユニット接続時、リモコン上に左右ルーバー設定の画面表示もでませんし、設定もできません。左右ルーバーユニット接続事は、ＭＡスマートリモコンをご使用ください。

対象ユニット

● A 制御機種

仕　様

形　　名	PAC-SF01CR
外形寸法	H120 × W65 × D14.1mm（突起部除く）
質　　量	0.25kg以下
電　　源	DC12V　室内ユニットより伝送線を介して受電
使用環境条件	温度：0 ～ 40℃、湿度 20 ～ 95% RH（結露なきこと）
材　　質	ABS
外 観 色	クリアホワイト（マンセル№ 1.0Y9.2/0.2）
据付方法	JIS C 8340 の 1 個用スイッチボックス（現地手配）へ取付け、または、壁に直付け。 MA リモコン線は、無極性 2 線。MA リモコン専用端子に 0.3mm² 2 芯ケーブルで接続。 別売品リモコンケーブル：PAC-YT81HC（10m）、PAC-YT82HC（20m）

機能表

〈操作 / 表示〉　　○：グループ別操作　×：対応不可　－：設定できません

項　　目	設定	表示	内　容
運転 / 停止	○	○	運転 / 停止の切換えができます。
運転モード切換	○	○	冷房 / ドライ / 送風 / 自動（デュアルオートモード含む）/ 暖房の切換えができます。 ※室内ユニットにより選択可能な運転モードは異なります。
室温設定	○	○	室温設定ができます。 ※室内ユニットの機種により温度範囲が異なります。なお、機能設定による制限や設定範囲制限機能等の設定値により温度設定範囲が制限される場合があります。（下記は標準機種の場合） 冷房・ドライ：19 ～ 30℃ / 暖房：17 ～ 28℃ / 自動：19 ～ 28℃ ※室内ユニット機種により 0.5℃単位で設定できます。
風速設定	○	○	風速の切換えができます。　※ユニットにより選択可能な風速は異なります。
風向設定	○	○	風向の切換えができます。　※ユニットにより選択可能な風向は異なります。
ルーバー設定	○	○	ルーバーの運転 / 停止切換えができます。
換気機器操作	○	○	マルチエアコン接続時 　マルチエアコン用ロスナイの連動設定及び連動運転設定ができます。 　換気連動機器の停止 / 弱 / 強の切換え可能 スリムエアコン接続時（A 制御） 　マイコンタイプロスナイの連動運転操作ができます。 　換気連動機器の弱 / 強の切換え可能
言語選択	○	○	サイン画面・メイン画面の言語表示を日本語、英語、中国語 (簡体字) から選択が可能です。
ハイパワー運転 ※ 1	○	○	最大 30 分間、能力を上げて冷房または暖房運転します。
自動昇降パネル設定 / 操作 ※ 1	○	○	自動昇降パネルの上昇／下降操作ができます。また、下降距離設定ができます。
自動清掃 設定 / 操作 ※ 1	○	○	自動清掃を行う時間帯を設定できます。また、手動による自動清掃が行えます。
ディスプレイ点灯	○	○	ディスプレイの点灯時間を設定できます。（点灯時間は画面により異なります）
リモコン名称	○	○	メイン画面にリモコン名称を表示できます。
メイン画面切換え機能	○	○	サイン画面・メイン画面表示を「詳細画面」、「簡易画面」から選択できます。
時刻設定 ※ 2	○	○	年月日、時間、分を設定できます。設定した時刻はサイン画面・メイン画面に表示されます（曜日も表示されます）。サイン画面・メイン画面に時刻を表示しない設定も可能です。
時計表示形式切換え機能	○	○	時計表示を 12 時間表示（時刻の前に AM/PM 表示、時刻の後に AM/PM 表示）、24 時間表示から選択できます。

MA コンパクトリモコン

● PAC-SF01CR

項　目	設定	表示	内　容
室温表示	−	○	運転時、温度を表示します。※室内ユニット機種により 0.5℃単位で表示します。
異常表示	−	○	現在発生している異常内容を、アドレス、発生日時とともに表示します。携帯電話点検コード検索サービスサイトの二次元コードも表示します。また異常発生時に、空調ユニットの形名や製造番号、連絡先の電話番号を表示させることが可能です（事前入力が必要）。 ※異常内容によりアドレスが表示されない場合もあります。
フィルター情報	−	○	フィルターの清掃またはダストボックスのごみ捨て時期になるとフィルターサインを表示します。（詳細画面のみ）
急速表示 ※ 1	×	○	急速運転している場合、急速を表示します。
Bluetooth 接続情報 , Bluetooth 設定 ※ 3	○	○	本機を Bluetooth® にて操作するための情報を確認・変更することが可能です。 Bluetooth® 有効時は、専用アプリをインストールしたスマートフォン・タブレットにて各種操作・設定・設定データのロゴ画像を本機に送信が可能です。
タッチパネル	−	−	操作、設定はタッチパネルにより行います。※タッチパネルの座標補正を行うことができます。

〈スケジュール・タイマー〉

項　目	設定	表示	内　容
タイマー運転	○	○	オン / オフタイマー：オン / オフをそれぞれ 1 回 / 日 行うタイマー ・5 分単位で時刻を設定 ・オン時刻、またはオフ時刻のみの設定も可能 消忘れタイマー：運転後に一定時間経過すると停止するタイマー ・運転時間を 30 分～ 240 分 /10 分単位で設定可能
週間スケジュール	○	○	曜日ごとに ON/OFF、温度設定を行うタイマー ・曜日ごとに 5 分単位で 8 回まで設定可能（2 パターン設定可能） ※オン / オフタイマーが有効中は動作しません。
室外サイレントモード ※ 1	○	○	静音性を優先して運転する時間帯を曜日ごと設定できます。 ・5 分単位で開始時刻と終了時刻 ・静音レベルを標準、中、静から設定します。
省エネ運転スケジュール ※ 1	○	○	曜日ごとに省エネ運転開始時刻と停止時刻、及び能力セーブ値を設定できます（90 ～ 50%、0%/10%単位）。（5 分単位で時刻を設定。1 日 4 パターンまで設定可能。）

〈制限設定〉

項　目	設定	表示	内　容
手元操作への禁止 / 許可	×	○	システムコントローラの設定により、運転 / 停止、運転モード、設定温度、風速、風向、タイマー、フィルターサインリセットの操作が禁止されます。※禁止中は対応するアイコンが点灯します。（詳細画面のみ）
操作ロック	○	○	運転 / 停止、運転モード、設定温度、風向切換操作、風速切換操作、ルーバー切換操作、メニュー操作をそれぞれ操作禁止することができます。
設定温度範囲 制限機能	○	○	運転モードごとに室温設定の温度範囲を制限することができます。
設定温度 自動復帰	○	×	設定時間後に、設定した温度に戻ります。（10 分単位で 30 ～ 120 分まで設定可能です。） ※設定温度範囲制限中は動作しません。
パスワード	○	×	管理用パスワード（スケジュール等の設定に必要）、サービス用パスワード（試運転、機能選択等の操作に必要）が設定できます。

〈その他〉

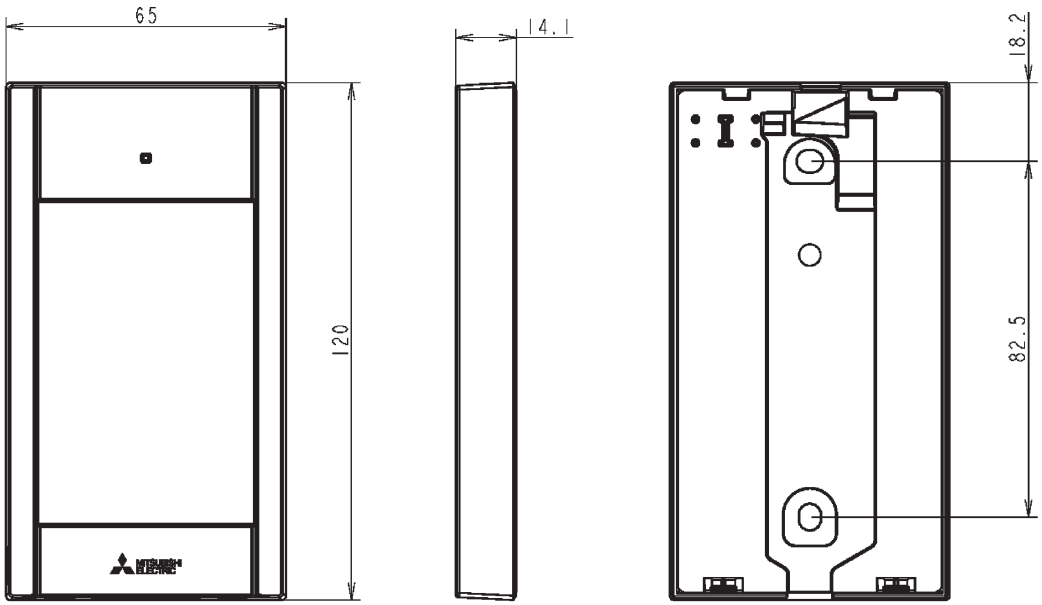
項　目	設定	表示	内　容
CO_2 排出量表示 ※ 1	○	○	停止操作時に当日の累積及び前日の CO_2 排出量を表示します。専用メニューにて当月含め 14 カ月分、当日含め 8 日分の CO_2 排出量を確認できます。また、省エネ度 (目標 CO_2 排出量に対する達成度) のグラフを表示できます。
輝度調整	○	○	輝度を調整できます。常灯モードを ON にすることで、ディスプレイの点灯時間経過後も微灯状態で液晶を表示し続けます。
風向固定設定 ※ 1	○	×	ベーンごとに風向の固定操作をします。 *1 箇所だけドラフトセーブモードの設定ができます。
冷風防止ベーン 設定 ※ 1	○	×	標準吹きよりも吹出口の角度を上向きに調節できます。
サービス機能 ※ 1	○	○	試運転、機能選択、スマートメンテナンス、要求コード送信、異常履歴などに対応。
リモコン設定初期化	○	×	リモコンを工場出荷状態に戻すことができます。
人感ムーブアイ設定 ※ 1	○	○	ムーブアイ設定ができます。
パワーシェア運転設定 ※ 1	○	○	パワーシェア運転設定ができます。
風速自動静音設定 ※ 1	○	×	風速自動選択時、室内機に対し従来通りの風速制御を行うか、“ 強風 ”（最大風量）を使用しない風速制御を行うかの設定ができます。
デザイン設定	○	○	リモコンの文字色、背景色の変更が可能です。

※ 1　機能に対応しているユニットに対してのみ可能です。
※ 2　時計の精度は月差± 45 秒（25℃時）です。時計のバックアップ時間は 3 日です。
※ 3　Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Inc. が所有する登録商標であり、三菱電機株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

MA コンパクトリモコン

● PAC-SF01CR

外形図 (単位：mm)



メイン画面(詳細)

サイン画面(詳細)

（本マニュアル用に変更・修正しています）

MITSUBISHI ELECTRIC

WT08598X06
871D629F10

三菱電機ビル空調管理システム
三菱電機スリムエアコン
[共通]
MA コンパクトリモコン

形名
PAC-SF01CR
PAC-SF01CR-P

据付工事説明書（据付編）

（販売店・工事店様用）

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。
- 「据付工事説明書」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では、据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

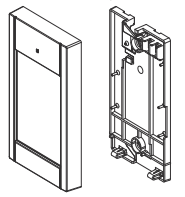
1. 使用部品

1-1. 同梱部品

箱の中には下記部品が入っています。

No.	品名	個数（個）	外観
D-1	リモコン（上ケース）	1	右図※1
D-2	リモコン（下ケース）	1	右図※2
D-3	十字穴付きナベねじ M4 × 30	2	
D-4	木ねじ 4.1 × 16 （壁に直接取付けるとき使用）	2	
D-5	据付工事説明書（据付編）（本書）	1	
D-6	据付工事説明書（設定編）	1	
D-7	取扱説明書	1	
D-8	取扱説明書（Bluetooth® 設定編）	1	

・リモコンケーブルは同梱していません。



1-2. 別売部品

No.	品名	形名	備考
P-1	リモコンケーブル （0.3mm² 2 心シース付ケーブル）	PAC-YT81HC(10m), PAC-YT82HC(20m) ※3	—

※3　シティマルチ S（PUSY-P80, 112 形）およびスリム K（PUZ-KP140, 160 形）の機種と接続する場合は使用できません。

1-3. 一般市販部品

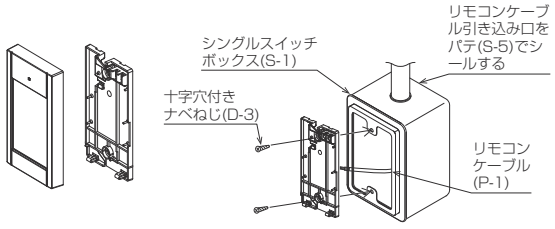
下記の部品は現地で手配してください。

No.	品名	所要量	備考
S-1	スイッチボックス：1 個用 (JIS C8340)	1	壁面に直接据付ける場合は不要です。
S-2	薄鋼電線管 (JIS C8305)	必要量	
S-3	ロックナット、ブッシング (JIS C8330)	必要量	
S-4	モール (JIS C8425)	必要量	リモコンケーブルを壁面にはわす場合に必要です。
S-5	パテ	適量	
S-6	モリーアンカー	必要量	
S-7	リモコンケーブル （0.3mm² 2 心シース付ケーブル）	必要量	シティマルチ S（PUSY-P80, 112 形）およびスリム K（PUZ-KP140, 160 形）と接続し、リモコン配線の総延長（※ 1）が 10m 以上で使用する場合はシールド線（MVVS:0.3mm² 2 心ケーブル）を使用してください。（※ 2）

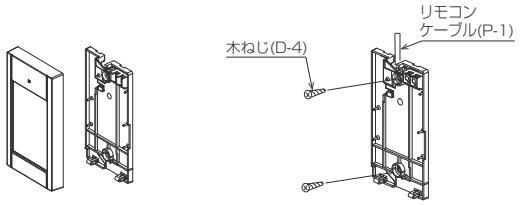
※1　室内ユニットの MA リモコン用端子台（TB15）間の渡り配線も含みます。
※2　シールド線のアースは室内ユニットの MA リモコン用 S 端子に接続してください。

2. 使用箇所（据付工事の概要）

[1] スイッチボックスを使用する場合



[2] 壁面に直接据付ける場合



3. 据付場所の選定

⚠警告

以下の場所にコントローラを設置しないこと。
- **可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所**
- 可燃性ガスがコントローラの周囲にたまると、火災・爆発のおそれあり。

禁止

コントローラは水のかかるところや高湿度で結露するところには据え付けないこと。
- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

ユニットを病院など医療機関に据付ける場合はノイズ対策を行うこと。
- ノイズが医療機器に悪影響を与え、医療行為を妨げるおそれあり。

指示を実行

コントローラの質量に耐えられるところに据え付けること。
- コントローラの落下によるけがのおそれあり。

指示を実行

お願い

- **コントローラを導電性があるところ(塗装をしていない金属面など)に据え付けないでください。**
  故障・誤動作のおそれがあります。
- **直射日光のあたる場所、または周囲温度が40℃以上・0℃以下になる場**

所にコントローラを据付けないでください。
変形・故障のおそれがあります。
- **コントローラ設置壁面の表面付近の温度と実際の室温との差が大きい場所に据付けないでください。**
  正確な室温を検知できず、正常な運転ができないおそれがあります。
- **コントローラを通信・放送設備がある所に据え付ける場合は、ノイズ対策をしてください。**
  ノイズにより映像放送の乱れ・雑音が生じるおそれがあります。
  インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響によるコントローラの故障・誤動作のおそれがあります。

3-1. 法規制・条例の遵守事項

法規制、地方条例などを遵守することを配慮して据付場所を選定してください。
- 各自治体で定められている騒音・振動等の設置環境に関する条例

3-2. 公害・環境汚染への配慮事項

公害や環境に対し配慮して据付場所を選定してください。

3-3. 製品の機能性能を発揮するための事項

本リモコンは壁面に据付ける仕様となっています。「スイッチボックスを使用する」または「壁面に直接据付ける」が選択できます。「壁面に直接据付ける」場合、配線取出し方法を「背面取出し」または「上部取出し」から選択できます。
リモコン（スイッチボックス）を、次の条件を満たす場所に据付けてください。

(1) リモコンが正確な室内温度を検知できる所

室内温度を検知する温度センサはリモコンと室内ユニットの両方に付いています。リモコンの温度センサを使用して室内温度を検知する場合は、下記事項を守ってください。
- リモコンは、熱源の影響を受けない場所に据付けてください。
  （直射日光やエアコンの吹き出し空気が直接あたる場合、リモコンが正確な室温を検知できません。）
- リモコンは、部屋の平均的な温度を検知できる場所に据付けてください。
- リモコンの温度センサ付近に他の配線が無い場所に据付けてください。
  （配線がある場合、リモコンが正確な室温を検知できません。）

お願い

- **室温と壁温の差が大きい場合、リモコン設置壁面の表面付近の温度を検知するため室温と差が出るおそれがあります。**
  以下のような設置条件の場合、室内ユニットの温度センサ使用を推奨します。
  - 室内の気流分布が悪く、リモコン周辺の温度と室温の差が大きい場合
  - 設置壁面の温度と室温の差が大きい場合
  - 設置壁面の背面が外気に接している場合

お知らせ

- 急激な温度変化がある場合、温度検知の追従性が悪くなります。

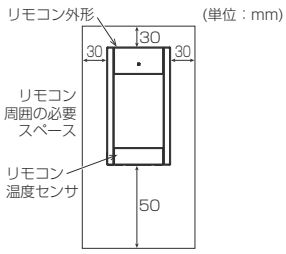
(2) 据付面が平らな所

(3) 室内ユニットが確認できる所

フィルタの自動昇降機能付室内ユニットと接続される場合、操作する室内ユニットの昇降動作がリモコンを操作しながら確認できる所（自動昇降の操作方法については室内ユニットの取扱説明書を参照してください。）

[1] 据付スペース

リモコンをスイッチボックス・壁面のどちらに据付ける場合でも右図に示すスペースを確保してください。スペースが不足すると、リモコンを外しにくくなります。
また、リモコン正面側には操作ができるスペースを確保してください。



3-4. 保守・点検に関する事項

工事をされた方は、顧客と保守契約を結び、本製品を含む空調システムが安全にかつ良好な状態で運転していることを定期的に確認してください。

4. 据付工事・電気工事

4-1. 建物工事の進行と施工内容

据付場所に据付けられる状態になりましたら、据付工事をしてください。

[1] スイッチボックスを使用する場合

壁面仕上げ材を取付ける前にスイッチボックスを取付け、電線管と接合しておき、事前にケーブルを通しておいてください。
その後壁面仕上げ材を取付けておいてください。

[2] 壁面に直接据付ける場合

壁面仕上げ材を取付ける前にリモコンを取付ける予定のところにケーブルを配設しておいてください。
その後壁面仕上げ材を取付けておいてください。

4-2. 諸官庁および関連部門への届出・報告事項

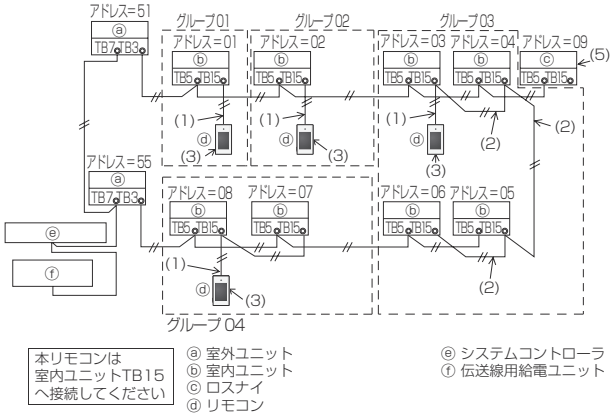
特にありません。

4-3. 従来工事方法との相違

リモコンの配線は、マルチエアコンに接続する場合とスリムエアコンに接続する場合では異なります。
さらにシステム構成によっても異なりますので、次ページ以降を確認してください。
空調機本体への配線および空調機本体の据付工事に関しては空調機本体の据付工事説明書を参照してください。

[1] マルチエアコンシステムとの接続

図中の（1）～（5）は、以下の説明文（1）～（5）と対応していますので確認してください。



(1) リモコン-室内ユニットの配線

- 室内ユニットのMA リモコン用端子台（TB15）へ接続してください。
- 端子台に極性はありません。リモコン下ケースにある端子台に接続してください。

(2) グループ運転する場合（グループ03 および04）

- グループ運転する室内ユニットのMA リモコン用端子台（TB15）同士を渡り配線し、いずれかのMA リモコン用端子台（TB15）にMA リモコンを接続してください。
- 上図のようにシステムコントローラと併用する場合、システムコントローラ側でグループ設定が必要です。

(3) 接続可能なリモコン台数

- グループ内に本リモコンを１台のみ接続できます。

(4) リモコンケーブルの総延長

- 接続される室内ユニットにより異なります。室内ユニットの据付工事説明書、カタログ、システム・設計工事マニュアルなどで確認してください。
- リモコン１台接続時の総延長は最大で70mです。使用するリモコンケーブルについては「1-2. 別売部品」のP-1 と「1-3. 一般市販部品」のS-7 を参照してください。

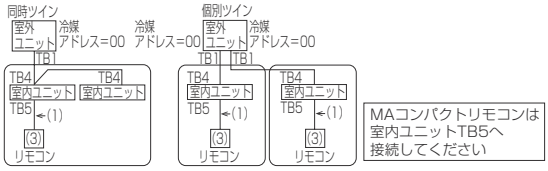
(5) ロスナイを連動させる場合

据付工事説明書（設定編）を参照し、リモコンで設定してください。

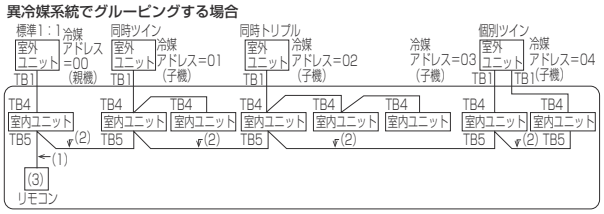
[2] スリムエアコンと接続する場合

リモコンの配線はシステム構成によって異なりますので、以下の例に従って接続してください。
図中の（1）～（4）は以下の説明文（1）～（4）と対応しています。

冷媒系統ごとにリモコンを接続する場合



異冷媒系統でグルーピングする場合



お知らせ

- 冷媒アドレスの設定は室外ユニットのディップスイッチで行ないます。（詳細は室外ユニットの据付工事説明書を参照してください。）
- ▭で囲まれた全室内ユニットを１グループとして制御します。

(1) リモコン-室内ユニットの配線

- 室内ユニットのリモコン用端子台（TB5）へ接続してください。（極性はありません。）
- 同時マルチタイプにおいて、異なる機種の室内ユニットが混在する場合、機能（風速、ベーン、ルーバーなど）の多い室内ユニットにリモコンを接続してください。

(2) 異冷媒系統でグルーピングする場合の配線

- リモコンケーブル接続によりグルーピングを行ないます。グルーピングする各冷媒系統の室内ユニット代表１台のリモコン用端子台（TB5）間を渡り配線してください。
- 同一グループ内に異なる機種の室内ユニットが混在する場合、機能（風速、ベーン、ルーバーなど）の多い室内ユニットが接続されている室外ユニットを親機（冷媒アドレス＝00）としてください。また親機が同時マルチタイプとなった場合には（1）の条件を満たしてください。
- ＭＡコンパクトリモコンでは最大16冷媒系統を１グループとして制御可能です。

(3) 接続可能なリモコン台数

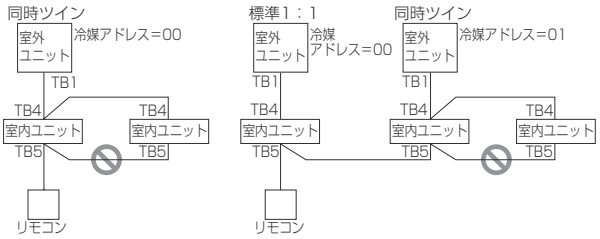
- グループ内に本リモコンを１台のみ接続できます。

(4) リモコンケーブルの総延長

- 接続される室内ユニットにより異なります。室内ユニットの据付工事説明書、技術マニュアルなどで確認してください。
- リモコン１台接続時の総延長は最大で150mです。使用するリモコンケーブルについては「1-2. 別売部品」のP-1 と「1-3. 一般市販部品」のS-7 を参照してください。

お願い

- **同一冷媒系統の室内ユニットのリモコン用端子台（TB5）間の渡り配線はしないでください。**
  渡り配線した場合、システムが正常に作動しないおそれがあります。
- **室内ユニットのリモコン用端子台（TB5）へ接続する場合、1つの端子台に同じサイズの配線を2本までとしてください。**
  不備がある場合、接触不良や配線外れのおそれがあります。



4-4. 据付と電気工事をする

⚠警告

配線引込口およびねじ穴をパテでシールすること。

- 露・水・虫が入ると、感電・故障・火災のおそれあり。
- 水の浸入、内部結露による基板の故障のおそれあり。

指示を実行

⚠注意

“パチッ”と音がするまではめ込むこと。

- はまっていない場合、製品が落下し、けが・損傷・故障のおそれあり。

指示を実行

端子台に配線の切くずが入らないようにすること。

- ショート・感電・故障のおそれあり。

指示を実行

4-4-1. 必要工具

- マイナスドライバー（刃幅3～5mm）
- ニッパー
- その他一般工具

4-4-2. 据付工事

[1] リモコンの据付け方

据付工事には「スイッチボックスを使用する場合」と「壁面に直接据付ける場合」があります。据付け方法に応じて工事をしてください。

お願い

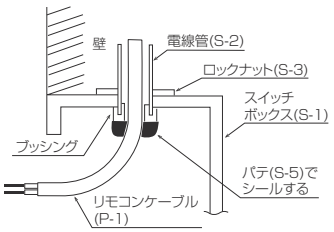
- 壁面に穴を開ける際、下ケースと壁の設置面積を確保できるよう、穴の大きさを調整してください。
  壁面の穴が大きすぎる場合、リモコンにがたつきが発生する場合があります。

(1) 壁面に据付用の穴を開ける

スイッチボックスを使用する場合

手順

1. 壁面に穴を開け、スイッチボックスを据付ける。
2. スイッチボックスと電線管を接合する。



壁面に直接据付ける場合

手順

1. 必要に応じて、リモコン中央上部から0.5～1cm程度下の位置の壁に穴を開ける。
2. リモコンケーブルをリモコン内部に通す。

(2) リモコンケーブル引込口をシールする

スイッチボックスを使用する場合

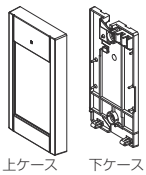
手順

1. スイッチボックスと電線管の結合部のリモコンケーブル引込口をパテでシールする。

(3) リモコンを準備する

手順

1. リモコン本体の下ケースを取出す。



(4) リモコンケーブルを下ケースの端子台に接続する

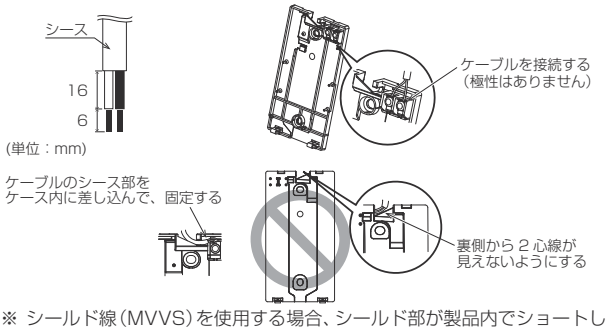
⚠注意

シールド線を使用する場合、シールド部の絶縁処理を行うこと。

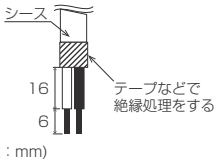
- ショート・感電・故障のおそれあり。

指示を実行

リモコンケーブルを下図のように加工し、端子台に適切に接続してください。リモコンケーブルのシースをむきとった部分がケース内に納まるよう、リモコンケーブルを固定してください。



※ シールド線（MVVS）を使用する場合、シールド部が製品内でショートしないようテープなどで絶縁処理を行ってください。



壁面に直接据付ける場合（リモコンケーブルを壁面から引き出す場合）

⚠注意

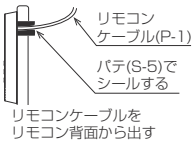
端子台に配線の切くずが入らないようにすること。

・ショート・感電・故障のおそれあり。

指示を実行

手順

1. リモコンケーブルを通した穴をパテでシールする。
   パテは壁面から盛り上がらないようにしてください。



お願い

- **配線を端子台に接続する際に圧着端子を使用しないでください。**
  - 基板と接触し故障するおそれがあります。
  - 上ケースと接触し、上ケースが損傷するおそれがあります。

(5) 下ケースを据付ける

スイッチボックスを使用する場合

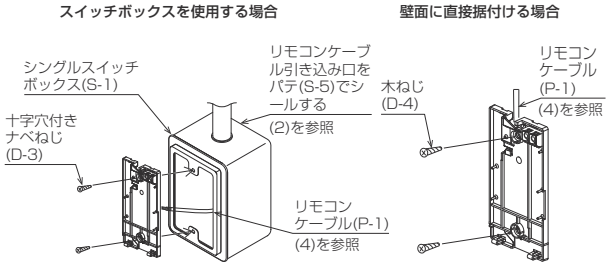
手順

1. 下ケースは2か所固定する。

壁面に直接据付ける場合

手順

1. ケーブルを溝に通す。
2. 下ケースは2か所固定する。
3. 配線により壁面からリモコンが浮くことを防止するため、2か所を固定する。（モリーアンカーなどを使用して固定してください。）



お願い

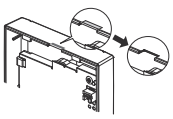
- **ねじを締めすぎないでください。**
  損傷するおそれがあります。
- **コントローラのケースに追加穴をあけないでください。**
  損傷するおそれがあります。

(6) 配線穴を加工する

壁面に直接据付ける場合（リモコンケーブルを壁面にはわす場合）

手順

1. 上ケースの内側薄肉部（右図の塗潰し部）をニッパーなどで切り取る。
   （下ケース背面の配線溝に通したリモコンケーブルをこの部分から取出します。）



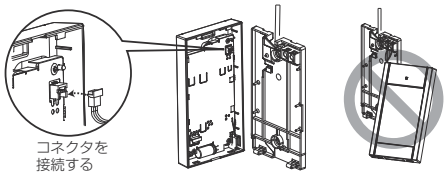
お願い

- **上ケースを下ケースから取外して加工してください。**
  取外さないで加工した場合、基板が破損するおそれがあります。

(7) 上ケースに配線する

手順

1. 上ケースのソケットに、下ケースのコネクタを接続する。



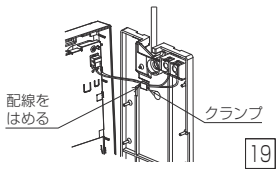
お願い

- **リモコンのケースから基板保護シート・基板は取り外さないでください。**
  故障のおそれがあります。
- **リモコンのコネクタ接続後、ケースをぶら下げないでください。**
  断線し、動作に支障をきたすおそれがあります。

(8) 配線をクランプにはめる

お願い

- **リモコンの配線はクランプにはめて固定してください。**
  固定していない場合、端子台に直接力が加わり断線のおそれがあります。

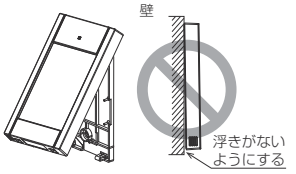


上ケースがはめ込めないおそれがあります。

(9) 上ケースをはめ込む

手順

1. 上ケースのツメ（上部2か所）を下ケースに引っ掛けて、“パチッ”と音がするまではめ込む。
2. ケースに浮きがないことを確認する。



お願い

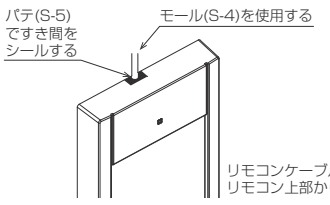
- **上ケース上部のツメを下ケースに引っ掛けていない状態で、上ケースを下ケースにはめ込まないでください。**
  破損するおそれがあります。

(10) リモコンケーブル引込口をパテでシールする

壁面に直接据付ける場合（リモコンケーブルを壁面に這わす場合）

手順

1. リモコンケーブルをリモコンの上部から出す。
2. 上ケースの切り取った部分をパテでシールする。
3. モール（配線カバー）を使用する。

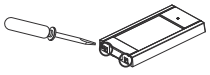


以上で据付工事は完了ですが、再度取外す場合は「4-4-2.[2]」の手順に従ってください。

[2] リモコン上ケースの外し方

(1) 上ケースのツメを外す

刃幅が3～5mmのマイナスドライバーを、リモコン下部のツメ部分に差し込み、マイナスドライバーでツメを押すようにして、引っかかっているツメを外します。



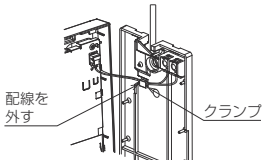
お願い

- **マイナスドライバーをリモコンのツメに強く差し込まないでください。**
  基板が損傷するおそれがあります。
- **マイナスドライバーをリモコンのツメにはめ込んだ状態で強く回転させないでください。**
  ケースが損傷するおそれがあります。

(2) 配線をクランプから外す

手順

1. 配線をクランプから外した後、コネクタの根元をおさえてコネクタを外す。



(3) 上ケースを取り外す

手順

1. 上ケースを手前上に引いて取り外す。

お願い

- **コネクタを取り外す前に上ケースを強く引かないでください。**
  コネクタの配線が切れるおそれがあります。

4-5. サービス

再度取外す場合は「4-4-2.[2]」の手順を参考にしてください。

5. 据付工事後の確認

据付工事が完了しましたら、「5-1. 据付工事のチェックリスト」に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません）

5-1. 据付工事のチェックリスト

確認項目		確認結果
設置環境	設置周りは必要な空間が守られていますか	
リモコン	リモコンケーブルの切屑などが端子台に入っていませんか	
	端子台のねじに緩みはありませんか	
	コネクタは正しく接続されていますか	
	リモコンケーブル引き込み口はパテ（S-5）などでシールしましたか	
	上ケースと下ケースに浮きがなくはめ込んでいますか	

5-2. リモコンの設定

リモコンの設定は、「リモコンの据付工事説明書（設定編）」を参照してください。

5-3. 温度センサの設定

温度センサの設定は、マルチエアコンシステムでは「室内ユニットの据付工事説明書」を、スリムエアコンでは「リモコンの据付工事説明書（設定編）機能選択の項」を参照してください。

5-4. 保護シートの取外し

工場出荷時、上ケースの操作面に保護シートを貼っています。
ご使用の前に、保護シートをはがしてください。

6. 試運転

6-1. 試運転の方法

- お客様立ち会いで、同梱の「据付工事説明書（設定編）」に従って、試運転を行ってください。
- 試運転の詳細は、室内ユニットの「据付工事説明書」を参照してください。

6-2. 試運転中の確認事項

- リモコンに接続している室内ユニットが運転することを確認してください。
- グループ運転する場合は、リモコンと同じグループに属する機器が運転することを確認してください。

7. お客様への説明

- 別冊の取扱説明書に従って、お使いになる方に正しい使い方をご説明ください。とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- お使いになる方が不在の場合は、オーナー様・ゼネコン関係者様や建物の管理人様にご説明ください。
- この据付工事説明書は、据付け後お客様にお渡しください。なお、同梱の取扱説明書・据付工事説明書（設定編）・取扱説明書（Bluetooth® 設定編）も必ずお客様にお渡しください。
- お使いになる方が代わる場合、この据付工事説明書と取扱説明書・据付工事説明書（設定編）・取扱説明書（Bluetooth® 設定編）を新しくお使いになる方にお渡しください。

8. 安全に長くお使いいただくために

標準的な使用環境と異なる環境で使用された場合や、経年劣化を進める事情が存在する場合には、設計使用期間よりも早期に安全上支障をきたすおそれがあります。

8-1. 日常の保守

8-1-1. 上ケースの清掃

中性洗剤を柔らかな布に含ませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭きとります。ベンジン･シンナー･磨き粉の使用は避けてください。

※ 中性洗剤は、使用量の目安までうすめて使用してください。原液のままで使用しないでください。

8-2. 点検時の交換部品と保有期間

＜参考＞　主要部品の交換周期

主要部品名	交換目安周期
リモコン	10年

※ 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

※ 交換周期は保証期間とは異なります。

※ この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化）のためにお役立てください。

8-3. 商標について

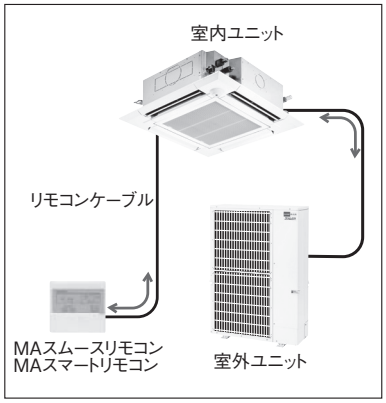
- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、三菱電機株式会社は、これら登録商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

Bluetooth®

リモコンケーブル

● PAC-YT81HC(10m)　● PAC-YT82HC(20m)

使用目的 / 用途



●“リモコンケーブル”は、室内ユニットとリモコン（MA スムースリモコン、MA スマートリモコン）を配線する 2 芯ケーブルです。

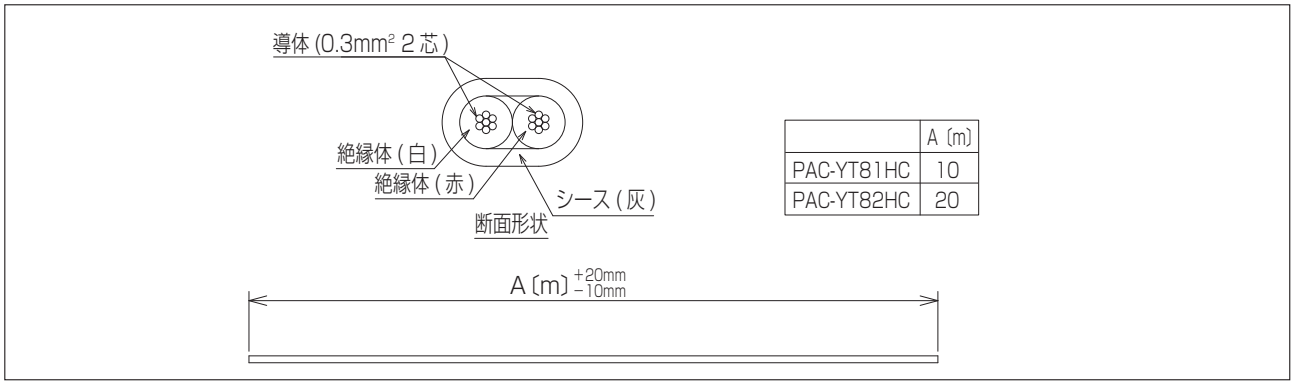
対象ユニット

● A/K 制御機種

仕　様

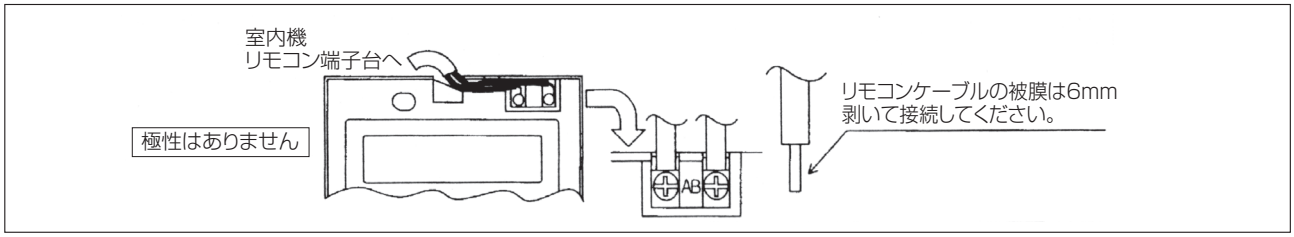
形　名	PAC-YT81HC	PAC-YT82HC
線　長	10 m	20 m
線　種	ビニルシースケーブル	

外形図

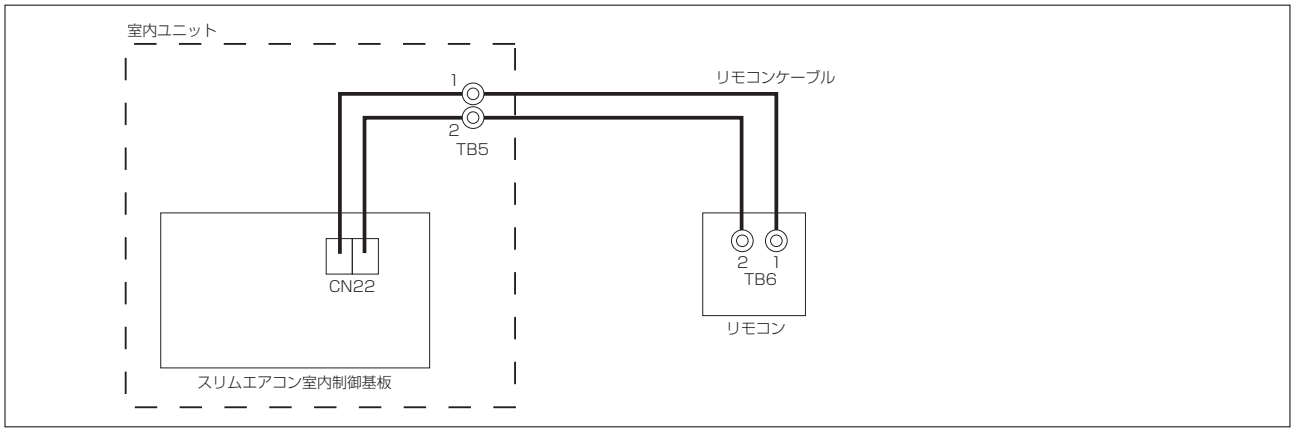


	A〔m〕
PAC-YT81HC	10
PAC-YT82HC	20

取付方法



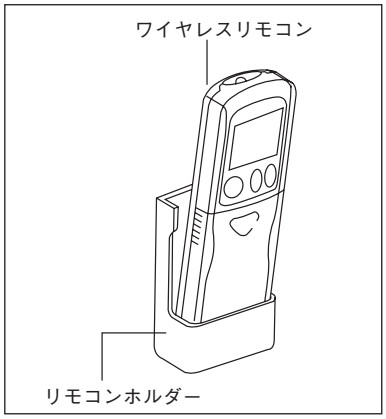
電気配線図



ワイヤレスリモコン（操作部）

● PAR-SC2SA

使用目的 / 用途



●“ワイヤレスリモコン”は、A/K 制御機種共通です。

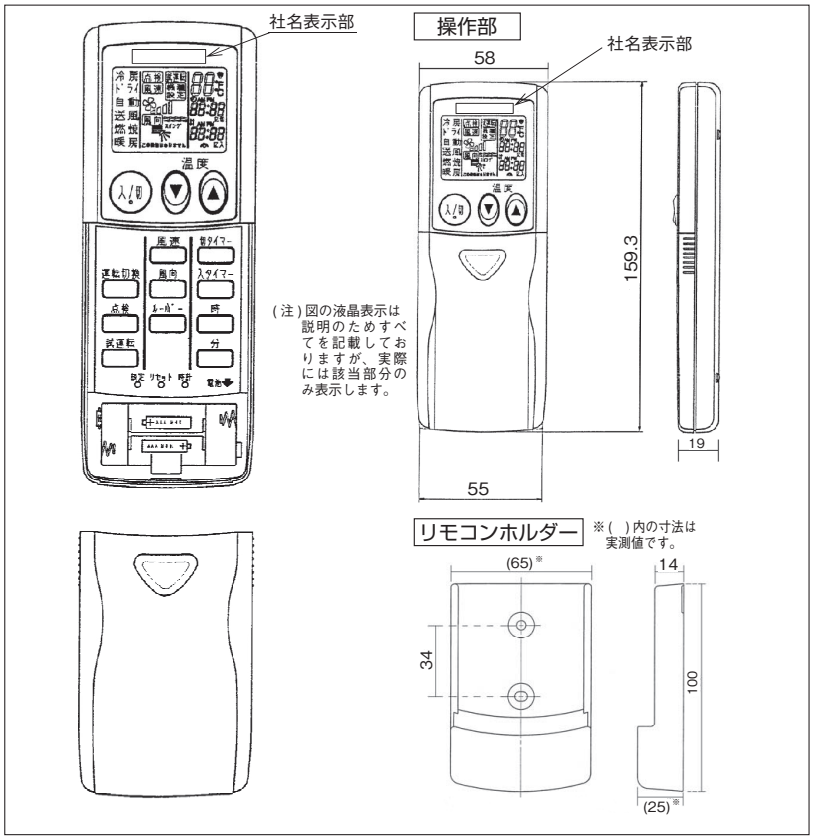
対象ユニット

● A/K 制御機種

仕　様

形　　名	PAR-SC2SA	タイマー機能	10 分単位で開始：終了時刻を各々設定：表示 /1 日
運転 / 停止	運転・運転内容を液晶表示	電　　源	DC3V（単 4 アルカリ電池　2 本使用（付属））
運転モード	冷房 / ドライ / 送風 / 自動 / 暖房　切換・表示	使用環境条件	温度：0 ～ 40℃、湿度：30 ～ 90% RH（結露なきこと）
室温調節	冷房 / ドライ　：19 ～ 30℃ /1℃単位で設定 / 表示 暖房　：17 ～ 28℃ /1℃単位で設定 / 表示 自動　：19 ～ 28℃ /1℃単位で設定 / 表示	外形寸法	159.3(H) × 58(W) × 19(D)
		外　　装	ホワイト（ABS 樹脂）
風速調節	静粛 / 弱 / 中 / 強　4 ノッチ切換・表示	据付方法	付属リモコンホルダーを壁面に直付け
風向調節	上下：ベーンの吹出角度固定 4 段階・スイング計 5 段階切換・表示 左右：“この機能はありません”表示	付　属　品	単 4 アルカリ乾電池 2 本、リモコンホルダー、取付用ネジ（4.1 × 16）2 本
時刻表示	時 / 分表示（現在時刻・開始時刻・終了時刻）		

外形図（単位：mm）



RG79V258H10

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機パッケージエアコン用

ワイヤレスリモコン

据付工事説明書

この説明書は三菱電機パッケージエアコン用ワイヤレスリモコンの据付工事について記載しております。よくお読みのうえ、正しく据え付けてください。

1 安全のために必ず守ること

・据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
・扱った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結び付く可能性があるもの。	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付くもの。

・お読みになったあとは、室内ユニットに添付された取扱説明書などとともに、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。お使いになる方は、取扱説明書などとともに、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の時は工事される方に、又お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で据付工事をされ不備があると、感電、火災等の原因になります。	お客様自身で移設はしない。 据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。
据付けは、重量に充分に耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。	据付け工事は、この据付工事説明書に従い確実に行う。 据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。
改造、修理は絶対しない。 改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。 修理はお買上げの販売店にご相談ください。	電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び本説明書に従い施工する。 電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。

⚠注意

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据え付けない。 万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。	浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには据え付けない。 壁が結露するような場所は避けてください。 感電、故障の原因になることがあります。
特殊環境には、使用しない。 油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。	酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用するところへ据え付けない。 感電、故障の原因になることがあります。
病院、通信事務所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを充分に行う。 インバーター機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤作動や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの障害の原因になることがあります。	
本機を水洗いしない。 感電、故障の原因になることがあります。	基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。 火災、故障の原因になることがあります。
本機を据え付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。 変形、故障の原因になることがあります。	濡れた手でボタンを操作しない。 感電、故障の原因になることがあります。
	ボタンを先のとがった物で押さない。 感電、故障の原因になることがあります。

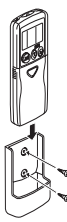
2 部品確認

箱の中には、次の部品が入っていますのでご確認ください。

ワイヤレスリモコン操作部	リモコンホルダー	単4 乾電池	タッピンネジ 4.1×16	取扱説明書	据付工事説明書（本紙）
1個	1個	2個	2個	1冊	1枚

3 据付方法

1. 上ブタを引き抜き、付属の単４乾電池２個を入れて上ブタを取り付けてください。
2. 付属のタッピンネジを使用してリモコンホルダーを壁面に固定した後に、ワイヤレスリモコンをリモコンホルダーにはめ込みます。
ワイヤレスリモコンは下記の場所に取付けてください。
- 直射日光の当たらない場所
- 近くに熱源のない場所
- ユニットからの冷風（または温風）が当たらない場所
- ワイヤレスリモコンの操作が容易で、表示部が よく見える場所
- 幼児の手が届かない場所



【お願い】
※室内に蛍光灯が取り付けられている場所には蛍光灯を点灯させ室内ユニットが信号を受信することを確認した位置へ取り付けてください。
室内ユニットが信号を受信すると“ピッ”と音がでます。
電子式点灯方式の蛍光灯（インバーター蛍光灯など）を付けた室内では、信号を受け付けない場合があります。
※受光距離は、直線で約7m程度です。受光範囲は左右約45°程度です。
※テレビ、ラジオより1m以上離れた場所に取り付けてください
（画像の乱れや、雑音が生じることがあります。）

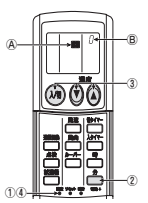
4 ペアナンバー設定方法

●ペアナンバー設定とは、ワイヤレスリモコンで操作するユニットを指定するための設定です。**特に指定を必要としない場合は、本設定は不要です。**
（工場出荷時は室内ユニット側（受光部側）及びワイヤレスリモコン側のペアナンバーは“0”となっています）
●指定が必要な場合は、室内ユニット側（受光部側）の設定とワイヤレスリモコン側の設定操作を行い、右表のように合わせます。

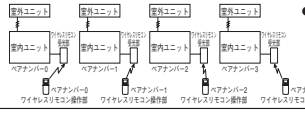
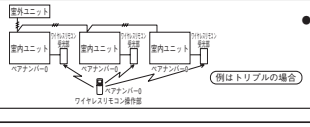
	室内ユニット側設定 ※1			
	・スリムエアコン ・マルチエアコン 室内制御基板のジャンパー線（J41,J42）がある場合	・マルチエアコン室内制御基板のSW22がある場合		・マルチエアコン 受光アダプター（MAタイプ）を使用時
ワイヤレスリモコン側ペアナンバー設定	ジャンパー線（J41,J42）設定	SW22設定		受光アダプター（MAタイプ）のペアナンバースイッチ設定※2
		SW22-3	SW22-4	
0	切断 ※	ON	ON	0
1	J41のみ切断	OFF	ON	1
2	J42のみ切断	ON	OFF	2
3				3
4				4
5				5
6	J41 &J42切断	OFF	OFF	6
7				7
8				8
9				9

※1 マルチエアコンの場合は、組合わせ受光アダプターにより設定方法が異なります。
※2 詳細は受光アダプターの据付説明書を参照してください。

【ペアナンバー】設定
（工場出荷時は“（無し）[No. 0]”）
① ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
Ⓐ 管理 が点滅します。
② 分 ボタンを２回連続で押してください。
Ⓑ ペアナンバーが点滅します。
③ ▽、Ⓐボタンを押して、ペアナンバーを設定してください。
※操作を間違えた場合は、入/切ボタンを押し、② の操作からやり直してください。
④ ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
Ⓑ ペアナンバーが３秒間点灯してから消えます。

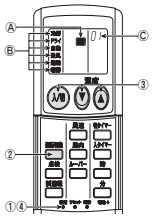


●設定例（スリムエアコンの場合）

単独	(1)同一設定 ●各ユニットは同一のワイヤレスリモコンで操作できます。 (2) 個別設定 ●各ユニットは各々固有のワイヤレスリモコン以外では操作できません。 	●室内制御基板とワイヤレスリモコンのペアナンバーは全て同一に設定します。 ●各ユニットはワイヤレスリモコンの受光範囲内に据え付けるか、あるいはワイヤレスリモコンの操作者が移動して、ワイヤレスリモコンを操作してください。 ●室内制御基板とワイヤレスリモコンはユニットごと異なるペアナンバーに設定します。
同時ツイン・トリプル・フォー	 例はトリプルの場合	●どの室内ユニットが受信しても運転します。

5 表示設定方法

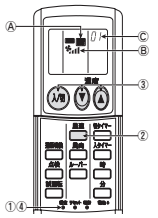
5 -1 操作対象となる室内ユニットの機能を取扱説明書や技術資料等で確認し、下記 1）～5）に従ってワイヤレスリモコンの表示設定を行ってください。



1）【運転モード表示】設定
（工場出荷時は“冷房 / ドライ / 自動 / 送風 / 暖房［Ⓒ設定番号 01］”）
① ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
Ⓐ 管理 が点滅します。
② 運転切換 ボタンを押してください。
Ⓐ 管理 と Ⓑが点滅します。
③ ▽、Ⓐボタンを押して、No. を設定してください。

運転モード表示	Ⓒ設定番号	運転モード表示	Ⓒ設定番号
冷房 / ドライ / 自動 / 送風 / 暖房	01	冷房 / / 送風 /	05
冷房 / ドライ / 送風 /	02	冷房 / 自動 / 送風 / 暖房	06
冷房 / ドライ / 自動 / 暖房	03	冷房 / / 送風 / 暖房	07
	04	冷房 / ドライ / 送風 / 暖房	08

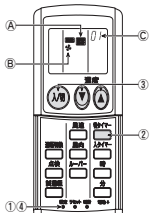
※操作を間違えた場合は、入/切ボタンを押し、② の操作からやり直してください。
④ ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
Ⓐ 管理 と Ⓑが３秒間点灯してから消えます。



2）【風速表示】設定（風速切り替え）
（工場出荷時は“4 速［Ⓒ設定番号 01］”）
① ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
Ⓐ 管理 が点滅します。
② 風速 ボタンを押してください。
Ⓐ 管理 と Ⓑ“ 風速 ”が点滅します。
③ ▽、Ⓐボタンを押して、No. を設定してください。

風速表示	Ⓒ設定番号
4 速	01
3 速	02
2 速	03
1速（風速切り替えなし）	04

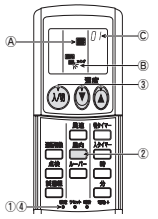
※操作を間違えた場合は、入/切ボタンを押し、② の操作からやり直してください。
④ ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
Ⓐ 管理 と Ⓑ“ 風速 ”が３秒間点灯してから消えます。



3）【風速表示】設定（風速自動モード）
（工場出荷時は“（なし）［Ⓒ設定番号 01］”）
① ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
Ⓐ 管理 が点滅します。
② タイマー ボタンを押してください。
Ⓐ 管理 と Ⓑ“ 風速 ”が点滅します。
③ ▽、Ⓐボタンを押して、No. を設定してください。

風速自動表示	Ⓒ設定番号
な し	01
風速自動モードあり(*)	02

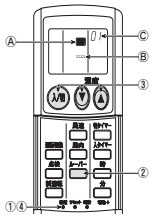
※操作を間違えた場合は、入/切ボタンを押し、② の操作からやり直してください。
④ ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
Ⓐ 管理 と Ⓑ“ 風速 ”が３秒間点灯してから消えます。
* 注：機種によっては“風速自動”設定がない場合があります。



4）【風向表示】設定
（工場出荷時は“（風向とスイング）［Ⓒ設定番号 01］”）
① ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
Ⓐ 管理 が点滅します。
② 風向 ボタンを押してください。
Ⓐ 管理 と Ⓑ“ 風向 ”が点滅します。
③ ▽、Ⓐボタンを押して、No. を設定してください。

風向表示	Ⓒ設定番号
風向とスイング	01
風向のみ	02
な し	03

※操作を間違えた場合は、入/切ボタンを押し、② の操作からやり直してください。
④ ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
Ⓐ 管理 と Ⓑ“ 風向 ”が３秒間点灯してから消えます。

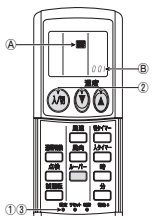


5）【ルーバー表示】設定
（工場出荷時は“（なし）［Ⓒ設定番号 01］”）
① ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
Ⓐ 管理 が点滅します。
② ルーバー ボタンを押してください。
Ⓐ 管理 と Ⓑ“ ”が点滅します。
③ ▽、Ⓐボタンを押して、No. を設定してください。

ルーバー表示	Ⓒ設定番号
な し	01
ルーバーあり	02

※操作を間違えた場合は、入/切ボタンを押し、② の操作からやり直してください。
④ ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
Ⓐ 管理 と Ⓑ“ ”が３秒間点灯してから消えます。

5 -2 操作対象となる室内ユニットの機能が確認できない場合は、下記または室内ユニットの取扱説明書に従ってワイヤレスリモコンの機種 No. の設定を行ってください。
上記 5-1 で表示設定を行っている場合、本機種 No. の設定は不要です。



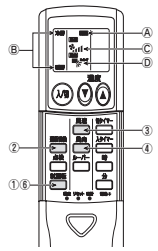
【機種No.】設定
（工場出荷時は機種 No. “001”）
① ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
Ⓐ 管理 が点滅し、Ⓑ機種設定 No. [ ] [ ] が点灯します。
② ▽、Ⓐボタンを押して、No. を設定してください。

室内ユニット形名［代表］		機種No.	
スリムエアコン（型式字の“M”付き機種にも使用可能）	マルチエアコン	冷暖 冷/ド/自/送/暖（冷/ド/送/暖）	冷房専用 冷/ド/送
PL-AA PL-BA PL-EA PL-JA PC-GA PC-KA PK-GA PK-FA PM-FA	PLFY-AM PLFY-JM PLFY-BM PLFY-EM PMFY-BM PMFY-FM PCFY-GM PCFY-KM PKFY-GM PLZ-BM PCZ-KM	001(225) 工場出荷時	033
PL-LA PK-KA （PKHK-AL には使用できません）	PLFY-LM（22～112） PKFY-HM PLFY-CM PLFY-DM	002(226)	034
	PLFY-LM(140) PKFY-AM PKFY-BM	009(233)	041
PL-PA PC-CA		011(235)	043
PM-EA	PMFY-EM	015(239)	047
PD-FA（40～80）	PDFY-M（22～80） PDZ-FM（56～80）	017(241)	049
PD-FA（112～160） PC-HA PC-BA PE-CA PF-BA	PDFY-M（90～140） PCFY-HM PEFY-AM PEFY-LEM PFFY-LRM PEFY-M（45～160） PLFY-CLMD PDZ-FM（90～140）	019(243)	051
PE-BA PF-BA	PEFY-M（224～280） PEFY-RM	020(244)	052
PS-KA（末尾7～）		022(246)	054
PS-GA PS-KA（末尾～6）	PSFY-GM	023(247)	055
	PFFY-DM 注4 PEFY-M-F PFFY-RM-F GE-M	180(212)	148
PE-DA PD-GA	PEFY-ML PEFY-SM	018(242)	050

※操作を間違えた場合は、入/切ボタンを押し、② の操作をやり直してください。
③ ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
Ⓐ 管理 と Ⓑ機種設定 No. が３秒間点灯してから消えます。

注1. 機能選択でリモコン操作に関わる設定を変更した場合は、5-1に従い、表示設定を行ってください。
（例: 上下ベーン有無設定（機能選択モード11）の変更、スイング有無設定（同モード23）の変更など）
注2. 室内ユニットタイプが同じでも、能力や年式により機能が異なる場合があります。その場合は、技術資料等にて室内ユニットが持つ機能を確認し、機種No.一覧表に従って機種No.を設定してください。
注3. 冷暖機種で運転モード“自動モード”機能がない場合は、表の（ ）の機種No.を設定してください。
注4. 本機種にはドライモードの機能がありません。
右記機種No.設定時の運転モードは下記となります。
冷暖：冷/自/送/暖（冷/送/暖）
冷房専用：冷/送

7 試運転方法



① 試運転 ボタンを２回連続で押してください。
　Ⓐ 試運転 および運転内容が点灯し、試運転が開始されます。
② 運転切換 ボタンを押してください。
　Ⓑ 運転モードが切り換わります　冷房⇔暖房。
　　冷房：冷風の吹出しを確認してください。
　　暖房：温風の吹出しを確認してください。
③ 風速 ボタンを押してください。
　Ⓒ 風速が切り換わります。
　風速が変化することを確認してください。
④ 風向 ボタンを押してください。
　Ⓓ 上下風向表示が切り換わります。
　上下ベーンの動作を確認してください。
⑤ 室外ユニットのファンの運転を確認してください。
　室外ユニットは、ファンの回転数をコントロールし能力制御をしています。
　そのため外気の状態によっては、ファンは低速で回り、能力不足にならない限り
　その回転数を保持します。従って、そのときの外風によりファンが停止又は
　逆回転となることがありますが、異常ではありません。
⑥ 試運転 ボタンを２回連続で押してください。
　Ⓐ 試運転 および運転内容が消灯し、試運転が終了します。

- 試運転は、2時間の 切 タイマーが作動し、2時間後に自動的に停止します。
- 同時ツイン･トリプル･フォーの場合は、全ての室内ユニットが確実に運転することを確認してください。誤配線等でも異常表示しない場合があります。

8 ユニットの機能選択

本設定は**スリムエアコンの場合**の設定方法です。マルチエアコンの場合は、室内及び室外制御基板上のディップスイッチで設定を行います。ディップスイッチの設定方法はマルチエアコンの技術資料等を参照してください。

リモコンより必要に応じて各機能を設定します。各ユニットの機能選択はリモコンからのみ設定可能です。
表１より機能選択が必要な項目を選択してください。
なお、ワイヤレスリモコン操作部からはワイヤレス機種が接続された冷媒系統のみ設定可能です。ワイヤレスリモコン操作部では冷媒アドレス指定はできません。

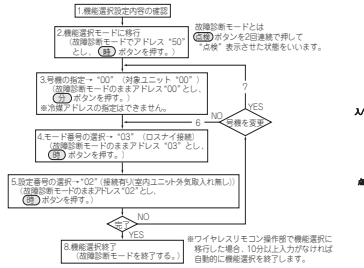
表1　機能選択内容（**各室内ユニットの出荷時設定内容、モードについての詳細は室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。**）
【ご注意】
下記は代表的な項目です。機種別に各モード内容が異なる場合がありますので、詳細は室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。

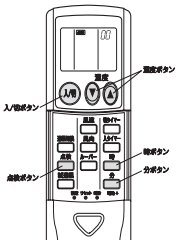
設定項目	設定内容	モード番号	設定番号	チェック欄	対象号機
停電自動復帰	無し	01	1		00号機を選択
	有り		2		
室温検知位置	同時運転室内ユニット平均	02	1		
	リモコン接続室内ユニット固定		2		
	リモコン内蔵センサー（※ワイヤードリモコン使用時のみ）		3		
ロスナイ接続	接続無し	03	1		
	接続有り（室内ユニット外気取入れ無し）		2		
	接続有り（室内ユニット外気取入れ有り）		3		
フィルターサイン	100時間 ｜ 300回または3000時間 ｜ 自動清掃	07	1		01～04号機又は07号機を選択（07号機は01～04号機一括で設定したい場合）
	2500時間 ｜ 1000回または10000時間 ｜ ユニット		2		
	フィルターサイン表示無し ｜ 1500回または15000時間 ｜ 取付時		3		
風　量	静音 ｜ 低天井 ｜ ワイドパワーカセット	08	1		
	標準 ｜ 標準 ｜ ファインパワーカセット		2		
	高天井 ｜ 高天井 ｜ の場合		3		
吹出し口数	4方向	09	1		
	3方向		2		
	2方向		3		
オプション組込み（高性能フィルター等）	無し	10	1		
	有り		2		
上下ベーン設定	ベーン無し ｜ 第3設定（標準より下吹き） ｜ （ワイド／ファイン）	11	1		
	ベーン有り 第1設定 ｜ 第1設定（標準） ｜ パワーカセット		2		
	ベーン有り 第2設定 ｜ 第2設定（標準より上吹き） ｜ の場合		3		
加湿器組込み	無し	13	1		
	有り		2		

お願い　工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全設定内容を表中のチェック欄に○印等で記入してください。

［機能選択の流れ］

まずは機能選択の流れをつかんでください。ここでは【表1】の“ロスナイ接続”を“接続有り（室内ユニット外気取入れ無し）”の設定を例に説明します。実際の操作については下記操作手順をご覧ください。

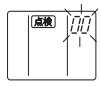




［操作手順］

1. 機能選択の設定内容を確認してください。
　機能選択にて設定内容を変更した場合、そのモードの設定内容が変わります。2～8に従い現在の設定内容を確認し、【表1】のチェック欄に記入の上、設定を変更してください。
2. 点検 ボタンを2回連続で押します。
　→ 点検 が点灯表示し“00”が点滅表示します。
　▼ ボタンを1回押して“50”に合わせます。
　ワイヤレスリモコン受光部に向けながら 時 ボタンを押します。

3. 室内ユニットの号機を合わせます。
　▼ ▲ ボタンを押して室内ユニットの号機に合わせます。
　ワイヤレスリモコン受光部に向けながら 分 ボタンを押します。
　分 ボタンにて号機を入力することにより、確定された室内ユニットが送風運転を開始します。機能選択する号機の室内ユニットがどこにあるのか知りたい場合はこれにより確認してください。なお、号機が“00”“07（室内ユニットの据付工事説明書のAL号機と同じ意味付けとなります）”の場合は同一冷媒内の全室内ユニットが送風運転します。
　※設定できない号機を入力した場合は、ブザー音“ピーピーピー（0.4秒+0.4秒+0.4秒）”が出力（ブザー音のみ出力）されます。この場合は、再度号機を入力し直してください。
　※正常に受信できなかった場合（ブザー音出力せず、ブザー音“ピピッ”出力）は、再度号機を入力し直してください。

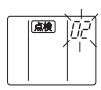


00号機

4. モード番号の選択
　▼ ▲ ボタンを押して設定したいモード番号に合わせます。
　ワイヤレスリモコン受光部に向けながら 時 ボタンを押します。
　→このとき、ブザー断続音と運転ランプ点滅により、選択したモード番号に対する現在設定値を出力します。
　　出力は現在設定値＝1→ピー（1秒）×1回
　　2→ピー（1秒）×2回
　　3→ピー（1秒）×3回
　※設定できないモードを入力した場合は、ブザー音“ピーピーピー（0.4秒+0.4秒+0.4秒）”が出力（ブザー音のみ出力）されます。この場合は、再度モード番号を入力し直してください。
　※正常に受信できなかった場合（ブザー音出力せず、またはブザー音“ピピッ”出力）は、再度モード番号を入力し直してください。

モード番号03　ロスナイ接続

5. 選択したモードの設定番号を入力します。
　▼ ▲ ボタンを押して設定番号を選択します。
　ワイヤレスリモコン受光部に向けながら 時 ボタンを押します。
　→このとき、ブザー断続音と運転ランプ点滅により、選択したモード番号に対する設定番号を出力します。
　　設定番号＝1→ピーピー（0.4秒+0.4秒）×1回
　　2→ピーピー（0.4秒+0.4秒）×2回
　　3→ピーピー（0.4秒+0.4秒）×3回
　※設定できない番号を入力した場合は、元々設定されていた番号に設定されます。
　※正常に受信できなかった場合（ブザー音出力せず、またはブザー音“ピピッ”出力）は、再度設定番号を入力し直してください。

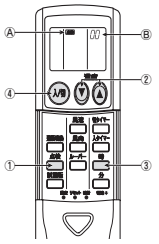


設定番号02　接続有り
（室内ユニット外気取入れ無し）

6. 室内ユニットの号機を変更せずに、更に他のモードを設定する場合は4.，5. を繰り返してください。
7. 室内ユニットの号機を変更して、機能選択を行う場合は3.～5. を繰り返してください。
8. 機能選択を終了します。
　入/切 ボタンを押します。
　機能選択終了後、30秒間はワイヤレスリモコンより操作しないでください。

【お願い】
工事完了後、機能選択により室内ユニット機能を変更した場合は、必ずすべての設定内容を表のチェック欄に○印等で記入してください。

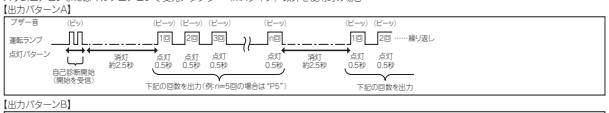
9 自己診断



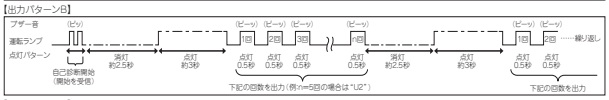
① 点検 ボタンを２回連続で押してください。
　Ⓐ 点検 が点灯し、Ⓑ 冷媒アドレス（M-NETアドレス）が点滅します。
　※アドレス表示は、スリムエアコンの場合は冷媒アドレス、
　マルチエアコンの場合はM-NETアドレスとなります。
② ▼ ▲ ボタンを押して、自己診断を行う室内ユニットの冷媒アドレス（M-NETアドレス）にⒷの表示を合わせてください。
　※冷媒アドレスの設定は室外ユニットのスイッチ（SW1）にて行います。
　詳細は室外ユニットの据付工事説明書をご覧ください。
③ 時 ボタンを押してください。
　異常がある場合、室内ユニットからブザーの断続音、運転ランプの点滅により、
　点検コードを出力します。
④ 入/切 ボタンを押してください。
　Ⓐ 点検 と Ⓑ 冷媒アドレス（M-NETアドレス）が消灯し、自己診断モードが終了します。

●点検コードの出力内容は下記をご覧ください。
スリムエアコンまたはマルチエアコンで受光アダプター（MAタイプ）以外を使用時の場合

【出力パターンA】



【出力パターンB】



【出力パターンC】

●スリムエアコンの出力内容

【出力パターンA】室内ユニットが検出する異常

ブザー音　回数 運転ランプ回数	点検コード	不具合内容	備　考
1回	P1	吸込センサー異常	
2回	P2, P9	配管（液管または二相管）センサー異常	
3回	E6, E7	室内ユニット－室内ユニット間の通信異常	
4回	P4	ドレンセンサー異常、ドレンフロートスイッチコネクター外れ	
5回	P5	ドレンオーバーフロー保護作動	
6回	P6	凍結保護作動（冷房時）／過昇保護作動（暖房時）	
7回	EE	組み合わせ異常（システム異常）	
8回	P8	配管温度異常	
9回	E4	ワイヤードリモコン－室内ユニット間の通信異常	
10回	－	－	
11回	Pb	室内ファンモータ異常	
12回	Fb	室内制御系異常（メモリー異常、その他）	
14回	PL	冷媒回路異常	

【出力パターンB】室内ユニット以外（室外ユニット、その他）が検出する異常

ブザー音　回数 運転ランプ回数	点検コード	不具合内容	備　考
1回	E9	室内ユニット－室外ユニット間の通信異常	詳細は室外基板のLED表示を確認ください。
2回	UP	過電流遮断	
3回	U3, U4	室外サーミスター系異常	
4回	UF	圧縮機過電流遮断（ロック）異常	
5回	U2	吐出温度異常/49C作動/冷媒不足異常	
6回	U1, Ud	高圧圧力異常（63H作動）／過昇保護（過負荷運転保護/送風機異常）	
7回	U5	放熱板温度異常	
8回	U8	室外ファン保護停止	
9回	U6	圧縮機過電流遮断（過負荷）／パワーモジュール異常	
10回	U7	低吐出スーパーヒート異常	
11回	U9, UH	電圧異常/電流センサー異常	
12回	－	－	
13回	－	－	
14回	その他	その他異常（室外基板LEDを確認ください）	

【出力パターンC】室内ユニットの別売部品関連の異常

ブザー音　回数 運転ランプ回数	点検コード	不具合内容	備　考
1回	PF	ダストボックス外れ検出 または フィルター位置異常（フィルター自動清掃パネル）	
2回	PH	オゾン出力回路異常（フィルター自動清掃パネル）	
3回	PJ	パルスクリーン異常（パルスクリーン）	
9回	EH	パネル通信異常（フィルター自動清掃パネル／自動昇降パネル）	

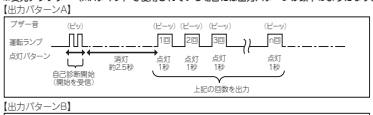
●マルチエアコンの出力内容

【出力パターンA】異常ユニット（属性）が室内ユニット/ロスナイ/外気処理ユニットの場合
【出力パターンB】異常ユニット（属性）が室内ユニット/ロスナイ/外気処理ユニット以外（室外ユニット、その他）の場合

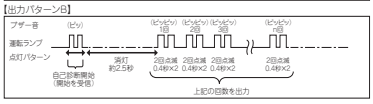
ブザー音　回数 運転ランプ回数	M-NET 点検コード	備　考
1回	1000～1999	ワイヤードリモコン、システムコントローラーを併用されていない場合、異常履歴の点検コード詳細は、室外基板のLED表示にて確認することができます。 室外ユニットの異常履歴確認方法は、室外ユニットのサービスハンドブックを参照ください。
2回	2000～2999	
3回	3000～3999	
4回	4000～4999	
5回	5000～5999	
6回	6000～6999	
7回	7000～7999	
8回	0～999	

※受光アダプター（MAタイプ）を使用されている場合には出力パターンが以下のようになります。

【出力パターンA】



【出力パターンB】



●その他

※1. 自己診断開始の受信出力のみで、以後ブザー音なし、運転ランプ消灯のままの場合は、異常履歴はありません。
　受光アダプター（MAタイプ）では、ブザー音／運転ランプ回数 9回が、異常履歴なしとなります。
※2. 自己診断開始の受信出力後、ブザー音のみが連続3回出力“ピーピーピー（0.4秒+0.4秒+0.4秒）”の場合は、冷媒アドレス（M-NETアドレス）の指定が間違っています。

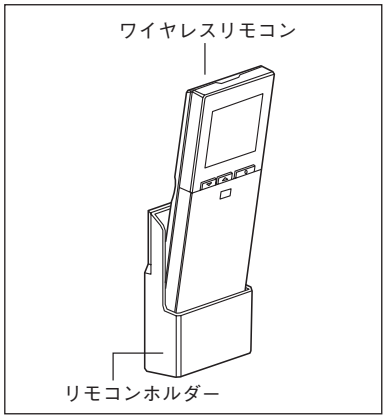
RG79V258H10

共通部品

ワイヤレスリモコン（操作部）

● PAR-SC4UA

使用目的 / 用途



- “ワイヤレスリモコン”は、A/K 制御機種共通です。
- 本品は受光部が必要です。ただし、PK-RP・LA3/KA19 形は受光部が室内ユニットに内蔵されています。
- 本品には、リモコンホルダーが付属しております。紛失等を防ぐ為にご使用ください。

注　意

・中温用パッケージエアコンには本品は使用できません。

対象ユニット

● PL-ZRP/ERP/HRP・EA6 以降、P*-RP*A15 以降

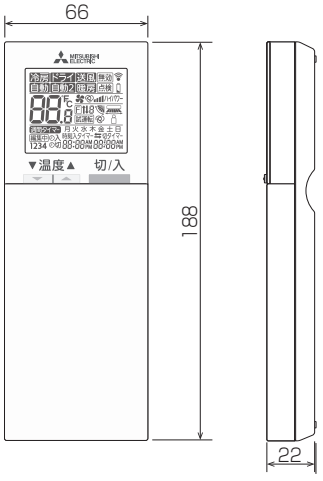
仕　様

形　　名	PAR-SC4UA	タイマー機能	10 分単位で開始・終了時刻を各々設定・表示 / 1 日
運転 / 停止	運転・運転内容を液晶表示	週間スケジュール機能	最大 4 パターンの開始・終了時刻、温度を各々設定・表示 / 曜日 ※2・※3
運転モード ※1	冷房 / ドライ / 送風 / 自動 / 暖房　設定・表示	電　　源	DC3V（単 3 アルカリ電池　2 本使用（付属））
室温調節	冷房 / ドライ：19 ～ 30℃ /0.5℃単位で設定・表示 暖房　：17 ～ 28℃ /0.5℃単位で設定・表示 自動　：19 ～ 28℃ /0.5℃単位で設定・表示	使用環境条件	温度：0 ～ 40℃、湿度：30 ～ 90% RH（結露なきこと）
		外形寸法	188(H) × 66(W) × 22(D)
風速調節 ※1	静粛 / 弱 / 中 / 強　4 ノッチ切換、自動設定・表示	外　　装	ホワイト（ABS 樹脂）
風向調節 ※1	上下：ベーンの吹出角度固定 5 段階・スイング、自動に設定可 左右：正面（停止時）、スイング、自動に設定可　※2	据付方法	付属リモコンホルダーを壁面に直付け
		付属品	単 3 アルカリ乾電池 2 本、リモコンホルダーと取付用ネジ（3.5 × 16）2 本
時刻表示	時 / 分表示（現在時刻・開始時刻・終了時刻）		

※ 1 機種によって機能がない場合や、設定できる内容が異なります。機種の機能にあわせてワイヤレスリモコンで設定項目の変更が可能です。詳細は据付工事説明書をご参照ください。
※ 2 グループ制御を行う場合には使用できません。　※ 3 機種によっては機能がない場合があります。

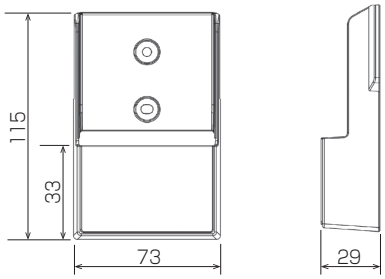
外形図（単位：mm）

操作部



(注)図の液晶表示は、説明のためすべてを記載しておりますが、実際には該当部分のみ表示します。

リモコンホルダー



BH79A670H01

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機パッケージエアコン用

ワイヤレスリモコン　PAR-SC4UA（操作部）
ワイヤレスリモコンキット　PAR-SK6TA（操作部+受光部キット）

ワイヤレスリモコン操作部　据付工事説明書

この説明書は三菱電機パッケージエアコン用ワイヤレスリモコンの据付工事について記載しております。よくお読みのうえ、正しく据え付けてください。

1 安全のために必ず守ること

●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷又は家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●お読みになったあとは、室内ユニットに添付された取扱説明書などと共に、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。お使いになる方は、取扱説明書などと共に、いつでも見られる所に保管してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠警告

改造は、絶対にしない。
●修理は、お買上げの販売店にご相談ください。
改造したり修理に不備があると水漏れや感電・火災などの原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。
●接続や固定が不完全な場合や、途中接続の場合は、発熱・火災などの原因になります。

据付けは、販売店又は専門業者に依頼する。
●お客様ご自身で据付工事をされ不備があると、感電・火災などの原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
●据付工事に不備があると、感電・火災などの原因になります。

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ据え付けない。
●万一ガスが漏れて本機の周囲にたまると発火・爆発の原因になります。

お客様ご自身で移設はしない。
●据付けに不備があると水漏れや感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店又は専門業者にご依頼ください。

電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び本据付工事説明書に従い施工する。
●電気回路容量不足や施工不備があると感電・火災などの原因になります。

据付けは、質量に十分に耐えるところに確実に行う。
●強度が不足している場合は、本機の落下などにより、事故の原因になります。

⚠注意

本機を水洗いしない。
●感電・故障の原因になります。

次の場所への据付けは、避ける。
・可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
・機械油を使用するところ
・車両・船舶など移動するものへの設置
・高周波を発生する機械を使用するところ
・化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
・海浜地区など塩分の多いところ
・積雪の多いところ
●性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする原因になります。

病院・通信事務所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを十分に行う。
●インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器の影響による本機の誤作動や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になります。

浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには据え付けない。
●壁が結露するような場所は避けてください。
感電・故障の原因になります。

酸性・アルカリ性の溶液、特殊なスプレーなど頻繁に使用するところへ据え付けない。
●感電・故障の原因になります。

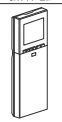
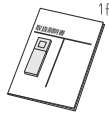
基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。
●火災・故障の原因になります。

濡れた手でボタンを操作しない。
●感電・故障の原因になります。

ボタンを先のとがった物で押さない。
●感電・故障の原因になります。

2 部品確認

箱の中には、次の部品が入っていますのでご確認ください。

ワイヤレスリモコン操作部	リモコンホルダー	単3 乾電池	タッピンネジ 3.5×16	取扱説明書	ワイヤレスリモコン操作部 据付工事説明書（本紙）
1個	1個	2個	2個	1冊	1枚
					

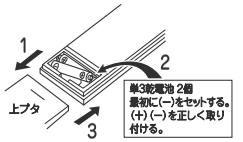
※上記に加えてワイヤレスリモコンキット PAR-SK6TAの場合は、以下の部品が入っていますのでご確認ください。

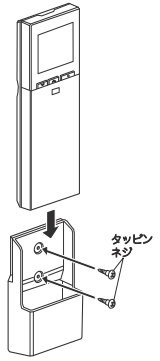
ワイヤレスリモコン受光部	ワイヤレスリモコン受光部 据付工事説明書（別紙）
1個	1枚

3 据付方法

1. 上ブタを引き抜き、付属の単3乾電池2個を入れて上ブタを取り付けてください。
2. 付属のタッピンネジを使用してリモコンホルダーを壁面に固定した後に、ワイヤレスリモコンをリモコンホルダーにはめ込みます。
ワイヤレスリモコンは下記の場所に取り付けてください。

●直射日光の当たらない場所
●近くに熱源のない場所
●室内ユニットからの冷風（又は温風）が当たらない場所
●ワイヤレスリモコンの操作が容易で、表示部がよく見える場所
●幼児の手が届かない場所





【お願い】

※室内に蛍光灯が取り付けられている場所では蛍光灯を点灯させ室内ユニットが信号を受信することを確認した位置へ取り付けてください。
室内ユニットが信号を受信すると“ピッ”と音がでます。

電子式点灯方式の蛍光灯（インバーター蛍光灯など）を付けた室内では、信号を受け付けない場合があります。

※受光距離は、直線で約7m程度です。受光範囲は左右約45°程度です。
※テレビ・ラジオより1m以上離れた場所に取り付けてください。
（画像の乱れや、雑音が生じることがあります。）
※本ワイヤレスリモコンは、受光アダプター（MAタイプ）に使用できません。

お　願　い

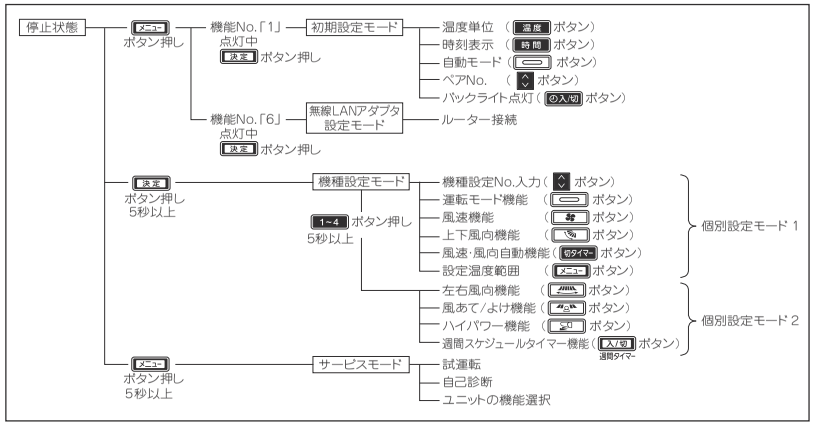
■付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、又は直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散する場所には据え付けないでください。

ワイヤレスリモコン：PAR-SC4UA

（本マニュアル用に変更・修正しています）

4 各種の設定項目

本機では下記の初期設定、操作機能の設定変更が可能です。



5 初期設定

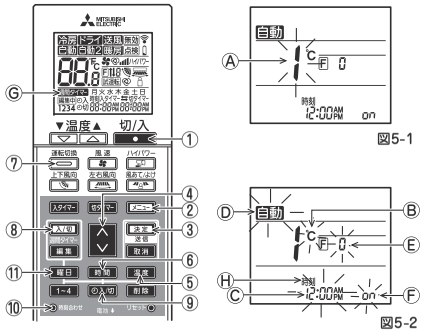


図5-1

図5-2

初期設定では以下の内容を設定できます。

温度単位	℃／°F
時刻表示	12時間表示／24時間表示
自動モード	自動／デュアルオートモード
ペア No.	0～3
バックライト点灯	する／しない

5-1 現在時刻を合わせる

1. 電池を入れると時刻設定画面となり、時刻Ⓗが点滅します。
2. ▲▼ ボタン④を押して現在時刻を合わせてください。
3. 曜日 ボタン⑪を押して現在の曜日を合わせてください。
4. 時刻合わせボタン⑩を押し、現在時刻設定を終了します。

※時刻設定を行わないと使用できない機能があります。必ず時刻設定してください。

5-2 初期設定モード（機能選択画面）への移行のしかた

1. ● ボタン①を押して停止にします。
   - ●週間スケジュールタイマーが有効になっている場合は 入/切 ボタン⑧を押して無効にしてください。（週間タイマー Ⓖが消灯します。）
2. メニュー ボタン②を押す。
   - ●機能選択画面になり機能No.Ⓐが点滅します。（図5-1）
3. 機能Ⓐが“1”になっていることを確認し 決定 ボタン③を押す。
   - ●画面表示設定画面になります。（図5-2）

5-3 温度単位の変えかたⒷ 工場出荷時：℃

温度 ボタン⑤を押す。

- ● 温度 ボタン⑤を押すごとに℃と°Fが切り換わります。

℃：温度を摂氏で表示します。
°F：温度を華氏で表示します。

5-4 時刻表示の変えかたⒸ 工場出荷時：12時間表示

時間 ボタン⑥を押す。

- ● 時間 ボタン⑥を押すごとに 12:00PM と 24:00 が切り換わります。

12:00PM：12時間で表示します。
24:00 ：24時間で表示します。

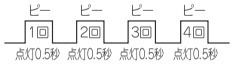
5-5 自動モードの変えかたⒹ 工場出荷時：自動

ボタン⑦を押す。

- ● ボタン⑦を押すごとに 自動 と 自動2 が切り換わります。

自動 ：自動モードを通常の自動として操作します。
自動2：自動モードをデュアルオートモードとして操作します。

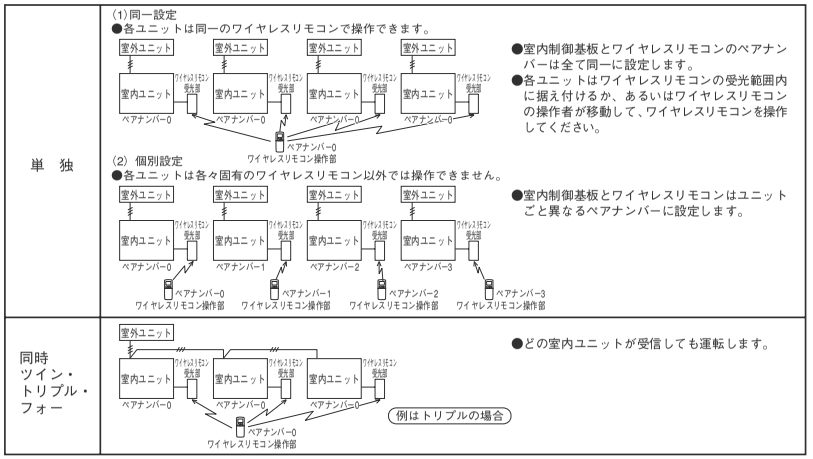
※室内ユニットのデュアルオートモードの機能有無は、カタログ又は室内ユニットの取扱説明書をご確認ください。
※自動モードの機能がワイヤレスリモコンと製品側（室内ユニット、室外ユニット）側で異なっている場合は、ワイヤレスリモコン操作時に以下のブザー音と受光部運転ランプでお知らせをします。
このときはワイヤレスリモコンの自動モードの設定を現在の設定からもう一方の設定に切り換えてください。



5-6 ペアナンバー設定Ⓔ 工場出荷時：0

▲▼ ボタン④を押す。

- ●ペアナンバー（Ⓔを“0”～“3”の間で設定します。
- ●設定例（スリムエアコンの場合）



ワイヤレスリモコン側設定と室内ユニット側設定の対応表

	室内ユニット側の設定		
	スリムエアコン	マルチエアコン	
ワイヤレスリモコン側ペアナンバー設定	室内制御基板のジャンパー線（J41, J42）設定	室内制御基板の SW22 設定	
		SW22-3	SW22-4
0	切断せず	ON	ON
1	J41 のみ切断	OFF	ON
2	J42 のみ切断	ON	OFF
3	J41,J42 ともに切断	OFF	OFF

5-7 バックライト点灯の変えかたⒻ 工場出荷時：ON（点灯）

入/切 ボタン⑨を押す。

- ● 入/切 ボタン⑨を押すごとに on と oFF が切り換わります。

on ：ボタン操作でバックライトが点灯します。
oFF：ボタン操作でバックライトが点灯しません。

5-8 設定の終了

決定 ボタン③を押す。

- ●機能No.Ⓐが点滅します。

メニュー ボタン②を押す。

- ●初期設定モードが終了します。（停止状態になります）

6 機種設定方法

出荷設定から変更をする場合は、操作対象となる室内ユニットの機能を取扱説明書や技術資料などで確認し機種設定を行ってください。

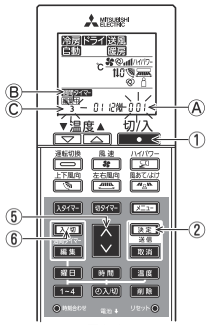


図6-1

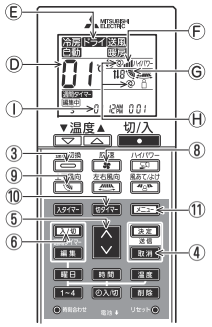


図6-2

6-1 機種設定モードへの移行 （図6-1）

1. ● ボタン①をして停止する。
   ●週間スケジュールタイマーが有効になっている場合は 入/切 ボタン⑥を押して無効にしてください。（週間タイマー Ⓑ が消灯します。）
2. 決定 ボタン②を5秒間長押しする。
   ●機種設定モードになります。（機種設定No.Ⓐが点滅表示）

6-2 機種設定No.入力

◇◇ ボタン⑤を押す。
●操作対象室内ユニットに対応した機種設定No.を入力します。（工場出荷時は「001」です）
機種設定No.は室内ユニットの取扱説明書をご確認ください。

代表的な機種の機種設定No.一覧

	冷暖切換タイプ	冷房専用タイプ
PL-ZRP・EA 形	001	161
PL-HRP・EA 形	001	161
PL-ERP・EA 形	001	161
PL-ZRP・HA 形	001	161
PL-HRP・HA 形	001	161
PL-ERP・HA 形	001	161
PL-RP・GA 形	001	161
PM-RP・FA 形	001	161
PM-HRP・FA 形	001	161
PC-RP・KA 形	001	161
PC-RP・KAL 形	001	161
PC-RP・HA 形	019	179
PK-RP・LA 形	001	161
PK-RP・KA 形	002	162
PS-RP・KA 形	022	182
PL-RP・LA 形	001	161
PD-RP・GA 形	018	178
PE-RP・DA 形	018	178
PC-RP・BA 形	019	179
PC-RP・CA 形	011	171

※機種設定No.により設定される機能は【風速】、【上下風向】、【運転モード】です。
本機能以外を変更する場合や、室内ユニットの取扱説明書に機種設定No.の記載がない場合は、以降の個別設定モードに従い設定を行ってください。

6-3 個別設定モード1

操作対象室内ユニットの機能に応じて、項目別に機種設定を行うこともできます。

1)【運転モード】機能設定（図6-2） （工場出荷時は［設定番号01］）

1. ▭ ボタン③を押す。
   ●運転モードⒺが点滅します。
2. ◇◇ ボタン⑤を押して、設定番号Ⓓを設定してください。

運転モード設定Ⓔ	設定番号Ⓓ	運転モード設定Ⓔ	設定番号Ⓓ
冷房 ドライ 送風 自動 暖房	01	冷房 送風 自動 暖房	05
冷房 ドライ 自動 暖房	02	冷房 ドライ 送風	06
冷房 ドライ 送風 暖房	03	冷房 送風	07
冷房 送風 暖房	04		

※間違えた場合は 取消 ボタン④を押して1の操作からやり直してください。

2)【風速】機能設定（図6-2） （工場出荷時は［設定番号01］）

1. ▭ ボタン⑧を押す。
   ●風速Ⓕが点滅します。
2. ◇◇ ボタン⑤を押して、設定番号Ⓓを設定してください。

風速設定Ⓕ	設定番号Ⓓ
（4速）	01
（3速）	02
（2速）	03
（1速、無）	04

※間違えた場合は 取消 ボタン④を押して1の操作からやり直してください。

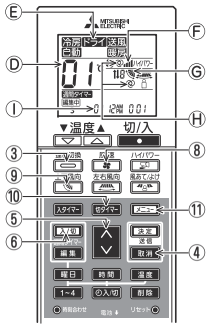


図6-2

3)【上下風向】機能設定（図6-2） （工場出荷時は［設定番号01］）

1. ▭ ボタン⑨を押す。
   ●上下風向Ⓖが点滅します。
2. ◇◇ ボタン⑤を押して、設定番号Ⓓを設定してください。

上下風向設定Ⓖ		設定番号Ⓓ
風向自動有の時	風向自動無の時	
（ベーン有/スイング有）	（ベーン有/スイング有）	01
（ベーン有/スイング無）	（ベーン有/スイング無）	02
表示無（ベーン無）	表示無（ベーン無）	03

※間違えた場合は 取消 ボタン④を押して1の操作からやり直してください。

4)【風速・風向自動】機能設定（図6-2） （工場出荷時は［設定番号02］）

1. 切タイマー ボタン⑩を押す。
   ●風速、風向の自動Ⓗが点滅します。（2箇所）
2. ◇◇ ボタン⑤を押して、設定番号Ⓓを設定してください。

風向・風速自動設定Ⓗ	設定番号Ⓓ
表示無（無）	01
（有）	02

※間違えた場合は 取消 ボタン④を押して1の操作からやり直してください。

5)【設定温度範囲】設定（図6-2） （工場出荷時は［設定番号01］）

1. メニュー ボタン⑪を押す。
   ●設定温度範囲設定No.①が点滅します。
2. ◇◇ ボタン⑤を押して、設定番号Ⓓを設定してください。

設定温度範囲設定①		設定番号Ⓓ
01 （標準）	冷房/ドライ：19～30℃（67～87°F） 暖房：17～28℃（63～83°F） 自動：19～28℃（67～83°F）	01
02	冷房/ドライ：19～30℃（67～87°F） 暖房：10～28℃（50～83°F） 自動：19～28℃（67～83°F）	02

※間違えた場合は 取消 ボタン④を押して1の操作からやり直してください。
※上記標準以外の設定温度範囲設定にした場合、その温度範囲に対応していない機種では設定できません。対応有無については、カタログ又は空調機本体の据付工事説明書・取扱説明書をご確認ください。

6-4 設定の終了

決定 ボタン②を5秒間長押しする。
●個別設定モード1が終了します。（停止状態になります）

図6-3

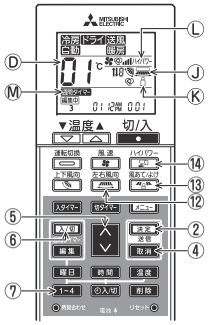


図6-4

6-5 個別設定モード2

1) 個別設定モードへ2への移行

6-1項（機種設定モードへの移行）を行った後、1~4 ボタン⑦を5秒間長押しする。
●パターンNo.Ⓒが点滅表示（図6-3）

2)【左右風向】機能設定（図6-4） （工場出荷時は［設定番号02］）

1. ボタン⑫を押す。
   ●左右風向設定Ⓙが点滅します。
2. ◇◇ ボタン⑤を押して、設定番号Ⓓを設定してください。

左右風向設定Ⓙ	設定番号Ⓓ
表示無（無）	01
（有）	02

※設定番号03は選択しないでください。
※間違えた場合は 取消 ボタン④を押してください。
機種設定モードに戻りますので、6-5-1）項の操作からやり直してください。
※床置（PS-RP, KA）機種など、ルーバー機能がある室内ユニットに使用する場合は、【左右風向】機能を無（設定番号01）にしてください。

3)【風あて/よけ】機能設定（図6-4） （工場出荷時は［設定番号02］）

1. ボタン⑬を押す。
   ●風あて/よけⓀが点滅します。
2. ◇◇ ボタン⑤を押して、設定番号Ⓓを設定してください。

風あて/よけ設定Ⓚ	設定番号Ⓓ
表示無（無）	01
（有）	02

※間違えた場合は 取消 ボタン④を押してください。
機種設定モードに戻りますので、6-5-1）項の操作からやり直してください。

4）【ハイパワー】機能設定（図6-4）　（工場出荷時は［設定番号02］）

1. 入/切 ボタン⑭を押す。
   ●ハイパワーⓁが点滅します。
2. ∧∨ ボタン⑤を押して、設定番号Ⓓを設定してください。

ハイパワー設定Ⓛ	設定番号Ⓓ
表示無（無）	01
ハイパワー（有）	02

※間違えた場合は 取消 ボタン④を押してください。
機種設定モードに戻りますので、6-5-1)項の操作からやり直してください。

5）【週間スケジュールタイマー】機能設定（図6-4）　（工場出荷時は［設定番号02］）

1. 入/切 ボタン⑥を押す。
   ●週間タイマーⓂが点滅します。
2. ∧∨ ボタン⑤を押して、設定番号Ⓓを設定してください。

週間スケジュールタイマー設定Ⓜ	設定番号Ⓓ
表示無　（無）	01
週間タイマー（有）	02

※間違えた場合は 取消 ボタン④を押してください。
機種設定モードに戻りますので、6-5-1)項の操作からやり直してください。

6-6　設定の終了

決定 ボタン②を5秒間長押しする。
●個別設定モード2が終了します。（停止状態になります）

7　サービスモード

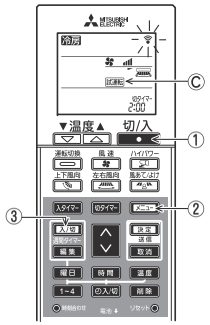


図7-1

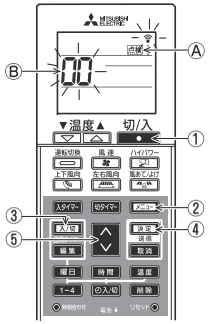


図7-2

7-1　試運転

1. ● ボタン①をして停止にします。
   ●週間スケジュールが有効になっている場合は 入/切 ボタン③を押して無効にしてください。（週間タイマー が消灯します。）
2. メニュー ボタン②を5秒間長押しする。
   ● 点検 Ⓐが点灯し自己診断モードになります。**（図7-2）**
3. 冷媒アドレスⒷが“00”になっていることを確認し、メニュー ボタン②を押す。
   ● 試運転 Ⓒが点灯し試運転モードになります。**（図7-1）**
4. 以下のボタン操作で試運転を開始
   ▭：運転モードを冷房⇔暖房を切り換えて試運転を開始
   ：風速を切り換えて試運転を開始
   ：上下風向を切り換えて試運転を開始
   ：左右風向を切り換えて試運転を開始
   決定：試運転を開始
5. 試運転の終了
   ・● ボタン①で終了します。
   ・2時間経過で停止信号を送信します。

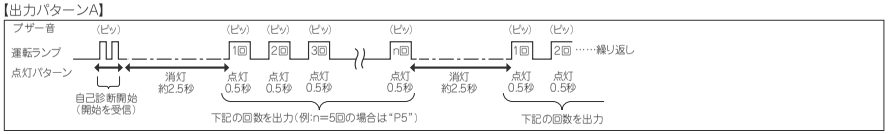
7-2　自己診断（図7-2）

1. ● ボタン①をして停止にします。
   ●週間スケジュールが有効になっている場合は 入/切 ボタン③を押して無効にしてください。（週間タイマー が消灯します。）
2. メニュー ボタン②を5秒間長押しする。
   ● 点検 Ⓐが点灯し自己診断モードになります。
3. ∧∨ ボタン⑤を押して自己診断を行う室内ユニットの冷媒アドレス（M-NETアドレス）にⒷを合わせる。
   ※アドレス表示は、スリムエアコンの場合は冷媒アドレス、マルチエアコンの場合はM-NETアドレスとなります。
4. 決定 ボタン④を押す。
   ●異常がある場合、室内ユニットからブザーの断続音・運転ランプの点滅により点検コードを出力します。（最新の異常が出力されます。）
5. ● ボタン①を押す。
   ● 点検 Ⓐと冷媒アドレス（M-NETアドレス）Ⓑが消灯し、自己診断モードが終了します。

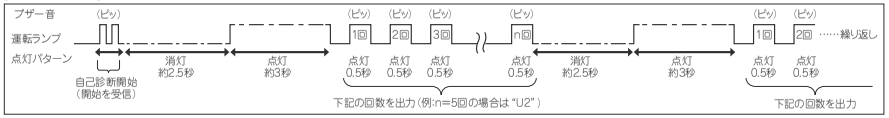
点検コードの出力内容は下記をご覧ください。

※ 自己診断開始の受信出力のみで、以後ブザー音なし、運転ランプ消灯のままの場合は、異常履歴はありません。
※ 自己診断開始の受信出力後、ブザー音のみが連続3回出力“ピーピーピー（0.4秒+0.4秒+0.4秒）”の場合は、冷媒アドレス（M-NETアドレス）の指定が間違っています。

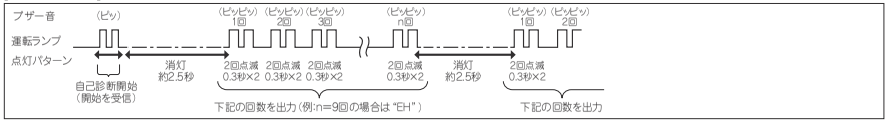
【出力パターンA】



【出力パターンB】



【出力パターンC】



【出力パターンA】室内ユニットが検出する異常

ブザー音 回数 運転ランプ 回数	点検コード	不 具 合 内 容	備　考
1回	P1	吸込センサー異常	
2回	P2, P9	配管（液管又は二相管）センサー異常	
3回	E6, E7	室内ユニット－室内ユニット間の通信異常	
4回	P4	ドレンセンサー異常、ドレンフロートスイッチコネクターはずれ	
5回	P5, PA	ドレンオーバーフロー保護作動/漏水異常	
6回	P6	凍結保護作動（冷房時）/過昇保護作動（暖房時）	
7回	EE	組合わせ異常（システム異常）	
8回	P8	配管温度異常	
9回	E4	ワイヤードリモコン－室内ユニット間の通信異常	
10回	—	—	
11回	Pb	室内ファンモーター異常	
12回	Fb	室内制御系異常（メモリー異常、その他）	
14回	PL	冷媒回路異常	

【出力パターンB】室内ユニット以外（室外ユニット、その他）が検出する異常

ブザー音 回数 運転ランプ 回数	点検コード	不 具 合 内 容	備　考
1回	E9	室内ユニット－室外ユニット間の通信異常	詳細は室外基板のLED表示を確認ください。
2回	UP	過電流遮断	
3回	U3, U4	室外サーミスター系異常	
4回	UF	圧縮機過電流遮断（ロック）異常	
5回	U2	吐出温度異常/49℃作動/冷媒不足異常	
6回	U1, Ud	高圧圧力異常（63H作動）/過昇保護（過負荷運転保護/送風機異常）	
7回	U5	放熱板温度異常	
8回	U8	室外ファン保護停止	
9回	U6	圧縮機過電流遮断（過負荷）/パワーモジュール異常	
10回	U7	低吐出スーパーヒート異常	
11回	U9, UH	電圧異常/電流センサー異常	
12回	—	—	
13回	—	—	
14回	その他	その他異常（室外基板LEDを確認ください）	

【出力パターンC】室内ユニットの別売部品関連の異常

ブザー音 回数 運転ランプ 回数	点検コード	不 具 合 内 容	備　考
1回	PF	ダストボックスはずれ検出 又は フィルター位置異常（フィルター自動清掃パネル）	
2回	PH	オゾン出力回路異常（フィルター自動清掃パネル）	
9回	EH	パネル通信異常（フィルター自動清掃パネル／自動昇降パネル）	

【出力パターンA】異常ユニット（属性）が室内ユニット/ロスナイ/外気処理ユニットの場合
【出力パターンB】異常ユニット（属性）が室外ユニット/ロスナイ/外気処理ユニット以外（室外ユニット、その他）の場合

ブザー音 回数 運転ランプ 回数	M-NET 点検コード	備　考
1回	1000～1999	ワイヤードリモコン、システムコントローラーを併用されていない場合、異常履歴の点検コード詳細は、室外基板のLED表示にて確認することができます。 室外ユニットの異常履歴確認方法は、室外ユニットのサービスハンドブックを参照ください。
2回	2000～2999	
3回	3000～3999	
4回	4000～4999	
5回	5000～5999	
6回	6000～6999	
7回	7000～7999	
8回	0～999	

自己診断中は、最新の異常を発生した室内ユニットのみファンを停止し、その他の室内ユニットは送風運転を開始します。その時、同一冷媒の室外ユニットのファンは、3秒ON、5秒OFFの間欠運転を3分間します。異常発生ユニットがどこにあるのか知りたい場合はこれにより確認してください。
なお、異常発生ユニットが室内ユニット以外（室外ユニット、MELANS上位コントローラー）などの場合は、同一冷媒内の全室内ユニットがファンを停止し、室外ユニットは間欠運転（3分間）をします。

7-3　ユニットの機能選択

本設定はスリムエアコンの場合の設定方法です。マルチエアコンの場合は、室内及び室外制御基板上のディップスイッチで設定を行います。ディップスイッチの設定方法はマルチエアコンの技術資料などを参照してください。

リモコンより必要に応じて各機能を設定します。
各ユニットの機能選択の対応項目（モード番号）については、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。
なお、ワイヤレスリモコン操作部からはワイヤレス機種が接続された冷媒系統のみ設定可能です。ワイヤレスリモコン操作部では冷媒アドレスの指定はできません。

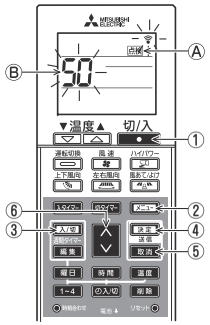


図7-3

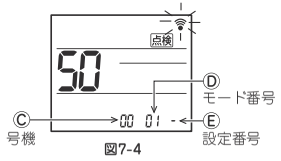


図7-4

＜機能選択の流れ＞

1. ■ ボタン①を押して停止にします。
●週間スケジュールが有効になっている場合は 入/切 ボタン③を押して無効にしてください。（ 週間タイマー が消灯します。）
2. メニュー ボタン②を5秒間長押しする。
● 点検 Ⓐが点灯し自己診断モードになります。
3. ◇◇ ボタン⑥を押してアドレスを設定し、ユニットの機能選択モードとする。**(図7-3)**
モード番号01～28の設定する場合は、アドレスⒷを「50」に合わせる。
モード番号31～66の設定する場合は、アドレスⒷを「52」に合わせる。
●ワイヤレスリモコン受光部に向けながら 決定 ボタン④を押します。（号機Ⓒが点滅します）
4. ◇◇ ボタン⑥を押して号機　を設定対象ユニットに合わせる。**(図7-4)**
●ワイヤレスリモコン受光部に向けながら 決定 ボタン④を押します。（モード番号Ⓓが点滅します）
※号機を受信したことで、確定された室内ユニットが送風運転を開始します。
機能選択する号機の室内ユニットがどこにあるのか知りたい場合は、これにより確認ください。
なお、号機が“00”“AL”の場合は、同一冷媒内の全室内ユニットが送風運転になります。
※選択できない号機を受信した場合は、ブザー音“ピーピーピー（0.4秒+0.4秒+0.4秒）”が出力されます。
正常に受信できなかった場合は、ブザー音がしない、もしくは“ピピッ”と出力されます。
この場合は、取消 ボタン⑤を押して、号機Ⓒが点滅表示している状態として。再度、号機を入力し直してください。
5. ◇◇ ボタン⑥を押してモード番号Ⓓを合わせる。**(図7-4)**
●ワイヤレスリモコン受光部に向けながら 決定 ボタン④を押します。（設定番号Ⓔが点滅します）
この時、ブザー音と運転ランプの点滅により、選択したモード番号に対する現在の設定番号を出力します。
現在の設定値＝1の時：ピー（1秒）×1回
＝2の時：ピー（1秒）×2回
＝3の時：ピー（1秒）×3回
※設定できないモードを入力した場合は、ブザー音“ピーピーピー（0.4秒+0.4秒+0.4秒）”が出力されます。
正常に受信できなかった場合は、ブザー音がしない、もしくは“ピピッ”と出力されます。
この場合は、取消 ボタン⑤を押して、モード番号Ⓓが点滅表示している状態として、再度、モード番号を入力し直してください。
6. ◇◇ ボタン⑥を押して設定番号Ⓔを選択する。**(図7-4)**
●ワイヤレスリモコン受光部に向けながら 決定 ボタン④を押します。（モード番号Ⓓが点滅します）
この時、ブザー音と運転ランプの点滅により、選択したモード番号に対する設定番号を出力します。
現在の設定値＝1の時：ピーピー（0.4秒+0.4秒）×1回
＝2の時：ピーピー（0.4秒+0.4秒）×2回
＝3の時：ピーピー（0.4秒+0.4秒）×3回
※設定できない番号を入力した場合は、元々設定されていた番号に設定されます。
※正常に受信できなかった場合は、ブザー音がしない、もしくは“ピピッ”と出力されます。
この場合は、取消 ボタン⑤を押して、号機Ⓒが点滅表示している状態として、再度、5項からやり直してください。

7. 室内ユニットの号機を変更せずに、更に他のモード番号の設定をする場合は5、6項を繰り返してください。
8. 室内ユニットの号機を変更して、機能選択を行う場合は 取消 ボタン⑤を押して、号機Ⓒが点滅表示している状態にし、4～6項を繰り返してください。
9. ■ ボタン①を押して機能選択を終了します。

8　無線LANアダプタ設定方法

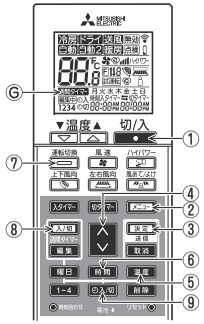


図8-1

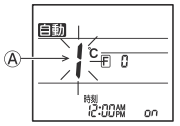


図8-2

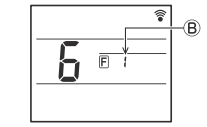


図8-3

1. ■ ボタン①を押して停止にします。
●週間スケジュールタイマーが有効になっている場合は 入/切 ボタン⑧を押して無効にしてください。（ 週間タイマー Ⓖが消灯します。）
2. メニュー ボタン②を押す。
●機能選択画面になり機能No.Ⓐが点滅します。**(図8-2)**
3. ◇◇ ボタン④を押して機能No.Ⓐで機能No.6を選択し、決定 ボタン③を押す。
●無線LANアダプタ設定画面になります。**(図8-3)**
4. ルーター接続
◇◇ ボタン④を押して設定No.Ⓑで操作内容を選択し、決定 ボタン③を押す。
5. 設定の終了
メニュー ボタン②を2回押す。
●無線LANアダプタ設定モードが終了します。

【操作内容一覧】

設定No.	操作内容	説　明
1	ルーター接続 （WPS）	WPS機能を使用してルーターと接続する場合に選択します。設定Noを選択し決定ボタンを押した後、2分以内にルーターのWPSボタンを押して設定を完了させてください。 設定中は室内ユニットの受光部運転ランプが以下のように点滅します。 （3秒点灯→2回点滅→2.5秒消灯の繰り返し） ※ 設定中は室内ユニットのブザー音は鳴りません。
2	ルーター接続 （AP）	無線LANアダプタをAPモードにして接続設定する場合に選択します。設定Noを選択し決定ボタンを押した後、10分以内にスマホアプリ（MELfio）を使用してネットワーク設定を完了させてください。 設定中は室内ユニットの受光部運転ランプが以下のように点滅します。 （3秒点灯→1回点滅→2.5秒消灯の繰り返し） ※ 設定中は室内ユニットのブザー音は鳴りません。
3	無線LANアダプタ 再起動	ルーター接続が正常にできない場合など、無線LANアダプタを再起動するときに選択します。再起動してから30秒以上たったあと、再度接続設定を行ってください。 無線LANアダプタ再起動操作時、以下の室内ユニットのブザー音と受光部運転ランプでお知らせします。 ピッ 1回 点灯0.1秒 / 消灯0.1秒 / ピッ 2回 点灯0.1秒
4	無線LANアダプタ 初期化	エアコンの移設、廃却や使用者を変更する場合など、無線LANアダプタを工場出荷状態にリセットするときに選択します。 無線LANアダプタ初期化操作時、以下の室内ユニットのブザー音と受光部運転ランプでお知らせします。 ピッ 1回 点灯0.1秒 / 消灯0.1秒 / ピッ 2回 点灯0.1秒 / 消灯0.1秒 / ピッ 3回 点灯0.1秒 / 消灯0.1秒 / ピッ 4回 点灯0.1秒

無線LANアダプタとルーターの接続が成功時／失敗時、以下のブザー音と受光部運転ランプでお知らせします。

成功時： ピー（1秒間） 消灯1秒 / 点灯5秒

失敗時： ピー 1回 消灯1秒 / 消灯0.5秒 / ピー 2回 点灯0.5秒 / 消灯0.5秒 / ピー 3回 点灯0.5秒 / 消灯0.5秒 / ピー 4回 点灯0.5秒 / 消灯0.5秒 / ピー 5回 点灯0.5秒

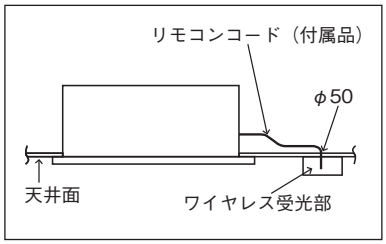
お　願　い

■機能選択終了後、約1分間はワイヤレスリモコンより操作しないでください。
■工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全ての設定内容を室内ユニット据付工事説明書の機能選択項目表のチェック欄に○印で記入してください。

ワイヤレス受光部（A制御用）

● PAR-SA9PA2

使用目的 / 用途



●“ワイヤレス受光部”は、外付けタイプのワイヤレスリモコン受光部です。
● ワイヤレスリモコン（操作部）：PAR-SC4UA が必要となります。
● 本品は壁面、天井面、スイッチボックス等に取付可能です。

注　意

・中温用パッケージエアコンには本品は使用できません。

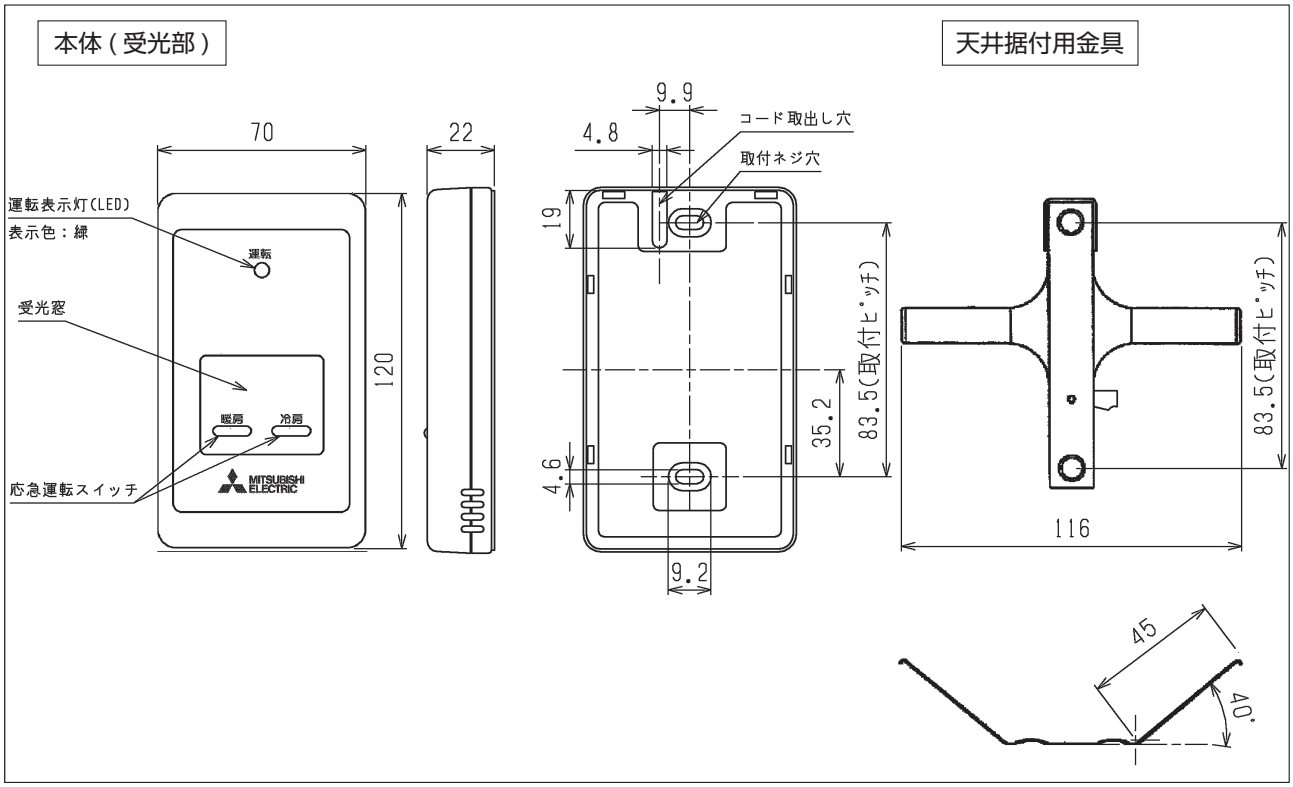
対象ユニット

● A 制御機種

仕　様

形　　名	PAR-SA9PA2
運転表示ランプ	運転時：LED（緑色）点灯表示、異常時：LED（緑色）点滅表示
応 急 運 転	冷房・暖房スイッチ（運転 / 停止）装備
外 形 寸 法	H120 × W70 × D22（天井据付用金具や突起物は除く）
ユニット制御台数	1 グループ最大 16 冷媒系統（ただし、1 冷媒系統毎に 1 台以上ワイヤレス受光部を設置してください）
アダプタ配線	コネクタ付 9 芯コード：5 m（付属）の範囲で室内ユニット本体制御基板上のコネクタ（CN90）に接続
受 光 範 囲	受光部正面より 45°の範囲で 7m 以内（条件により異なります）
使用環境条件	温度：0 ～ 40℃　　湿度：30 ～ 90%（結露なきこと）
外　　装	ピュアホワイト（マンセル№ 6.4Y8.9/0.4）
据 付 方 法	天井据付用金具による据付（据付穴φ50）　　1 個用スイッチボックス（JISC8340）に取付け、または直付け
付　属　品	コネクタ付コード 5m、天井据付用金具、取付用ネジ（M4 × 30）（4.1 × 16）各 2 本

外形図（単位：mm）



WT06528X02

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機パッケージエアコン用

ワイヤレスリモコン受光部
PAR－SA9PA1
PAR－SA9PA2

据付工事説明書

この説明書は三菱電機パッケージエアコン　ワイヤレスリモコン受光部の据付工事について記載しております。
よくお読みのうえ、正しく据付けてください。

1　安全のために必ず守ること

・据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行なってください。
・誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結び付く可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付くもの

・お読みになったあとは、室内ユニットに添付された取扱説明書などとともに、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
お使いになる方は、取扱説明書などとともに、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の時は工事される方に、又お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
お客様自身で据付工事をされ不備があると、感電、火災等の原因になります。

据付けは、重量に充分に耐える所に確実に行なう。
強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。

改造、修理は絶対しない。
改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。

お客様自身で移設はしない。
据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

据付工事は、この据付工事説明書に従い確実に行なう。
据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び本説明書に従い施工する。
電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。

配線は所定のリモコンコードを使用して確実に接続し、端子接続部にリモコンコードの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全の場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠注意

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。

特殊環境には、使用しない。
油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには据付けない。
壁が結露するような場所は避けてください。
感電、故障の原因になることがあります。

酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用するところへ据付けない。
感電、故障の原因になることがあります。

病院、通信事務所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤作動や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります。

配線は張力がかからないように配線工事を行なう。
断線したり、発熱、火災の原因になることがあります。

リモコンコード引き込み口を、パテで確実にシールする。
露、水、ゴキブリ、虫等の侵入のため、感電、故障の原因になることがあります。

本機を水洗いしない。
感電、故障の原因になることがあります。

本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。
変形、故障の原因になることがあります。

基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。
火災、故障の原因になることがあります。

濡れた手でボタンを操作しない。
感電、故障の原因になることがあります。

ボタンを先のとがった物で押さない。
感電、故障の原因になることがあります。

ＡＣ100ＶやＡＣ200Ｖは絶対に印加しない。
破壊、発火、火災の原因になることがあります。

1

2　部品確認

箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

1. ワイヤレスリモコン受光部 ……………… 1
2. リモコンコード 5m ……………… 1
3. 十字穴付きナベネジ　M4 × 30 ……………… 2
4. 木ネジ　4.1 × 16 ……………… 2

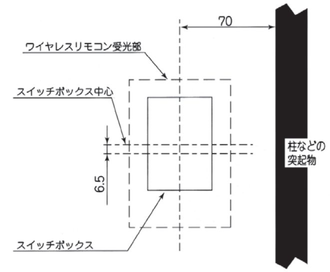
3　据付方法

1．ワイヤレスリモコン受光部

ワイヤレスリモコン受光部は据付ける位置によって据付方法が異なります。
天井に据付ける時は［天井に据付ける場合］を、スイッチボックスまたは壁に据付ける時は［スイッチボックスまたは壁に据付ける場合］をご覧ください。

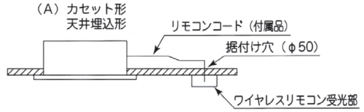
［天井に据付ける場合］，［スイッチボックスまたは壁に据付ける場合］共通事項

(1) 据付位置を決めてください。
但し下記の事項を必ず守ってください。
① ワイヤレスリモコン受光部は付属のリモコンコードで室内ユニットと接続しますが、リモコンコードが5mのため据付位置はリモコンコードが届く範囲で決めてください。
② 天井、スイッチボックス、壁のいずれに据付ける場合でも、右図で示すスペースを確保してください。
（周隣が十分でないと、柱などの突起物により据付けられない場合があります）
③ ワイヤレスリモコン受光部はスイッチボックスに据付けた時、右図のように下方に 6.5mmずれますのでご注意ください。
④ 下記の部品で必要な物は現地にて調達してください。
・１個用スイッチボックス　（ＪＩＳ　C8340）
・薄鋼電線管　25　（ＪＩＳ　C8305）
・ロックナット，ブッシング　（ＪＩＳ　C8330）
・モール　（ＪＩＳ　C8425）
⑤ 天井に据付ける場合の板厚の条件は 9mm以上で25mm以下の板に限ります。
⑥ 天井面または壁面でワイヤレスリモコン操作部の信号が受信可能な位置に据付けてください。
なお、ワイヤレスリモコン操作部の信号の届く範囲の目安はワイヤレスリモコン受光部の正面から45°の範囲で距離は約 7mです。



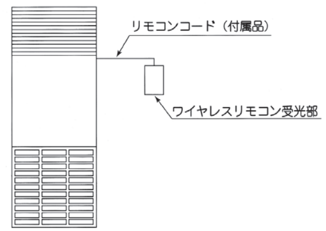
⑦ ワイヤレスリモコン受光部を室内ユニットの機種に応じて下記の位置に据付けてください。

（A）カセット形
天井埋込形



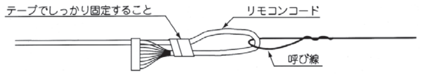
※天井据付けの場合、据付け穴φ50の穴加工が必要となります。

（B）床置形



お願い	・室内ユニットの機種に応じてリモコンコードを接続させる位置が異なります。 リモコンコードは延長することができませんので据付位置は十分に注意して決めてください。 ・蛍光灯（特にインバータタイプ）の近くにワイヤレスリモコン受光部を据付けますと、信号を受信できないことがありますので、ワイヤレスリモコン受光部据付け時、蛍光灯買換え時などには注意してください。

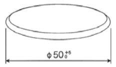
⑧ リモコンコードを電線管に通すときは下図のようにリモコンコードと呼び線をしっかりとつなげてください。



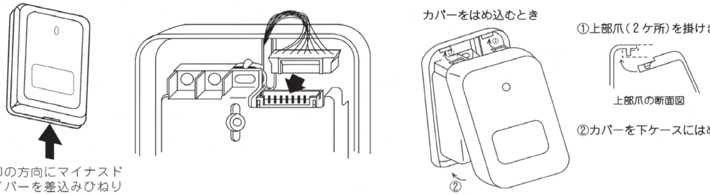
2

天井に据付ける場合

（2）天井にワイヤレスリモコン受光部を据付ける場合の据付け穴を開けます。



（3）リモコンコードをワイヤレスリモコン受光部のコネクタに接続させます。

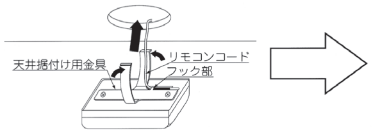


矢印の方向にマイナスドライバーを差込みひねりますとカバーは外れます。

⚠注意	"パチッ"と音がするまで確実にはめ込んでください。確実にはめ込んでいない場合、落下の恐れがあります。

（4）リモコンコードを室内ユニットへ引回し、室内ユニット制御基板上のコネクタ（CN90）に接続させます。
室内ユニット制御基板の詳細図は（4 ペアナンバースイッチ設定方法）をご覧ください。

（5）ワイヤレスリモコン受光部を天井に据付けます。



取り外す時はワイヤレスリモコン受光部を下へ引っぱって天井とワイヤレスリモコン受光部の間に指が入るようにスペースを確保してから天井据付け用金具をつかんで取り外してください。

・リモコンコードはフック部にしっかりと掛けてから天井に挿入してください。
・天井へ挿入する手順は天井据付け用金具のバネ部を天井に掛けてからワイヤレスリモコン受光部を下から押してください。

⚠注意	・天井据付け用金具のバネ部を持ったまま天井に挿入しない。手をはさんでケガをする場合があります。 ・リモコンコード接続後、ワイヤレスリモコン受光部を天井よりぶら下げた状態にしない。コード断線、故障の原因となります。

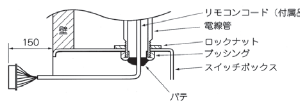
お願い　・ワイヤレスリモコン受光部を据付ける時、向きを確認してから据付けてください。

スイッチボックスまたは壁に据付ける場合

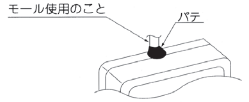
（2）リモコンコードを室内ユニットへ引回し、室内ユニット制御基板上のコネクタ（CN90）に接続させます。
室内ユニット制御基板の詳細図は（4 ペアナンバースイッチ設定方法）をご覧ください。

（3）露、水滴、ゴキブリ、虫等の侵入防止のためリモコンコード引込口をパテで確実にシールしてください。

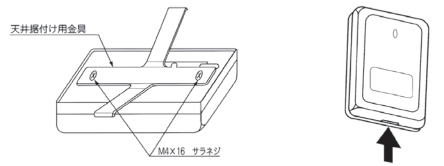
スイッチボックスを使用する場合
・スイッチボックスと電線管の結合部をパテでシールします。



壁に直接取付ける場合
・下ケースの切取った部分をパテでシールします。
・リモコンコードを壁面で引回す場合はモールを使用して下さい。



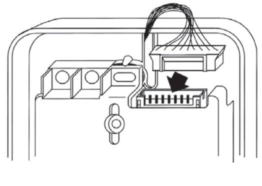
（4）天井据付け用金具を取り外します。
・天井据付け用金具を固定しているM4×16サラネジを取り外してください。
・M4×16サラネジは内側からナットで固定していますのでカバーを外しナットが回らない様に固定してから取り外してください。



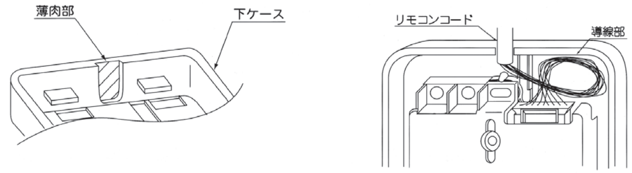
矢印の方向にマイナスドライバーを差込みひねりますとカバーは外れます。

3

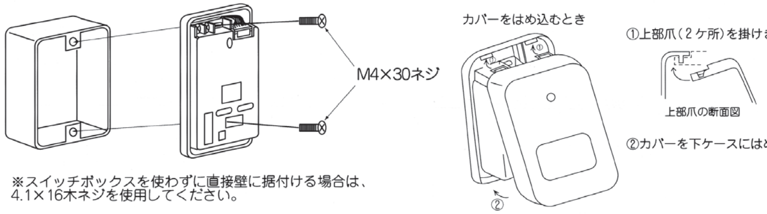
（5）リモコンコードをワイヤレスリモコン受光部のコネクタに接続させます。



（6）壁などに直接ワイヤレスリモコン受光部を据付ける場合の配線穴を確保する。
・下ケース内側の薄肉部（斜線部）をナイフ、ニッパーなどで切取ってください。
・接続したリモコンコードをこの部分より出します。
・下ケースの切り取った部分よりリモコンコードを通す時、導線部は下図の様にあいているスペースに収納してください。



（7）ワイヤレスリモコン受光部をスイッチボックスまたは壁に据付けます。
下ケースを先に据付けてからカバーをはめてください。



※スイッチボックスを使わずに直接壁に据付ける場合は、4.1×16木ネジを使用してください。

⚠注意	"パチッ"と音がするまで確実にはめ込んでください。確実にはめ込んでいない場合、落下の恐れがあります。

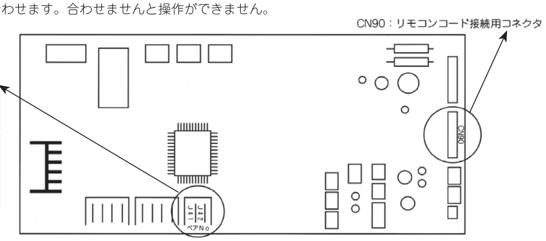
4 ペアナンバースイッチ設定方法

変更が必要な場合のみ設定してください。
ワイヤレスリモコン操作部と室内ユニットのペアナンバーを合わせます。合わせませんと操作ができません。

（1）室内ユニットの設定
室内ユニット制御基板のジャンパー線（J41, J42）を下表に従って切断することにより設定してください。

ペアナンバーの設定は、下表A～Dの4パターンが可能です。

ペアナンバー設定パターン	リモコン操作部側ペアナンバー	室内制御基板側ジャンパー線切断箇所
A	0	切断せず
B	1	J41切断
C	2	J42切断
D	3～9	J41,J42切断

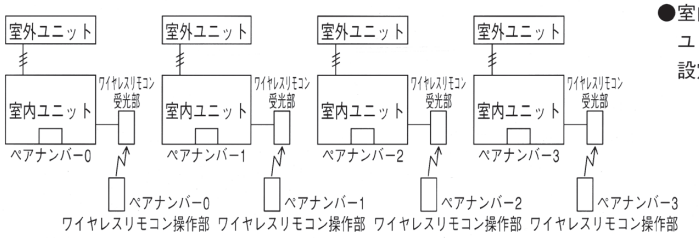
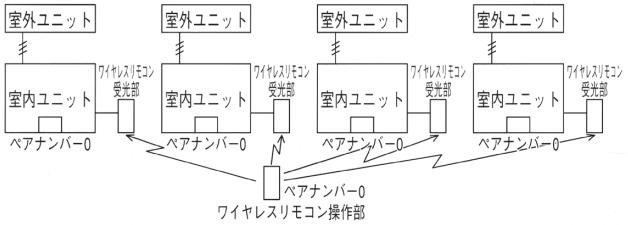
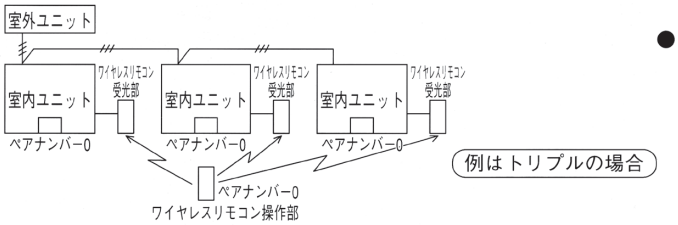
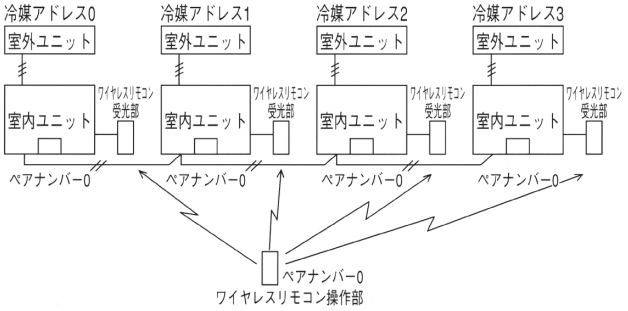


室内ユニット制御基板（例）

（2）ワイヤレスリモコンの設定
ワイヤレスリモコン操作部の据付工事説明書を参照してください。

4

●設定例

単　独	(1)個別設定 ●各ユニットは固有のワイヤレスリモコンのみ操作できます。  ●室内制御基板とワイヤレスリモコンはユニットごと異なるペアナンバーに設定します。 (2)同一設定 ●各ユニットは同一のワイヤレスリモコンで操作できます。  ●室内制御基板とワイヤレスリモコンのペアナンバーは全て同一に設定します。 ●各ユニットはワイヤレスリモコンの受光範囲内に据付けるか、あるいはワイヤレスリモコンの操作者が移動して、ワイヤレスリモコンを操作してください。
同時 ツイン・ トリプル・ フォー	 ●どの室内ユニットが受信しても運転します。
グループ 制御	 ●親機（冷媒アドレス0）、子機（冷媒アドレス1、2、3）のどれが受信しても運転します。

5 試運転方法 ワイヤレスリモコンの据付説明書を参照してください。

6 機能選択 ワイヤレスリモコンの据付説明書を参照してください。

7 自己診断 ワイヤレスリモコンの据付説明書を参照してください。

昇降パネルリモコン

● PAC-SJ49RC

使用目的 / 用途

- “昇降パネルリモコン”は、パネルの自動昇降操作をするワイヤレスリモコンです。
- パネルの自動昇降は、ワイヤードリモコンからもできますが、ワイヤードリモコンの位置からエアコンが見えない場合などに本品をご使用ください。

対象ユニット

- PL-(Z)(E)RP40 ～ 160HA2, PL-HRP80HA2
  - ・PLP-P160HJWF（ムーブアイセンサーパネルカンタン自動パネル）
  - ・PLP-P160HJWH（標準パネルカンタン自動パネル）
- PL-RP40LA19
  - ・CMP-P45ALWHG6（自動昇降パネル）
  - ・CMP-P45ALWEG6（自動昇降用ムーブアイパネル）
- PL-RP45 ～ 80LA19
  - ・CMP-P71ALWHG6（自動昇降パネル）
  - ・CMP-P71ALWEG6（自動昇降用ムーブアイパネル）
- PL-RP112 ～ 160LA19
  - ・CMP-P140ALWHG6（自動昇降パネル）
  - ・CMP-P140ALWEG6（自動昇降用ムーブアイパネル）
- PC-RP40 ～ 160KA(L)19（PC-RP40 ～ 160KA19 形はワイヤレス受光部が必要です。）自動昇降キット使用時

仕　様

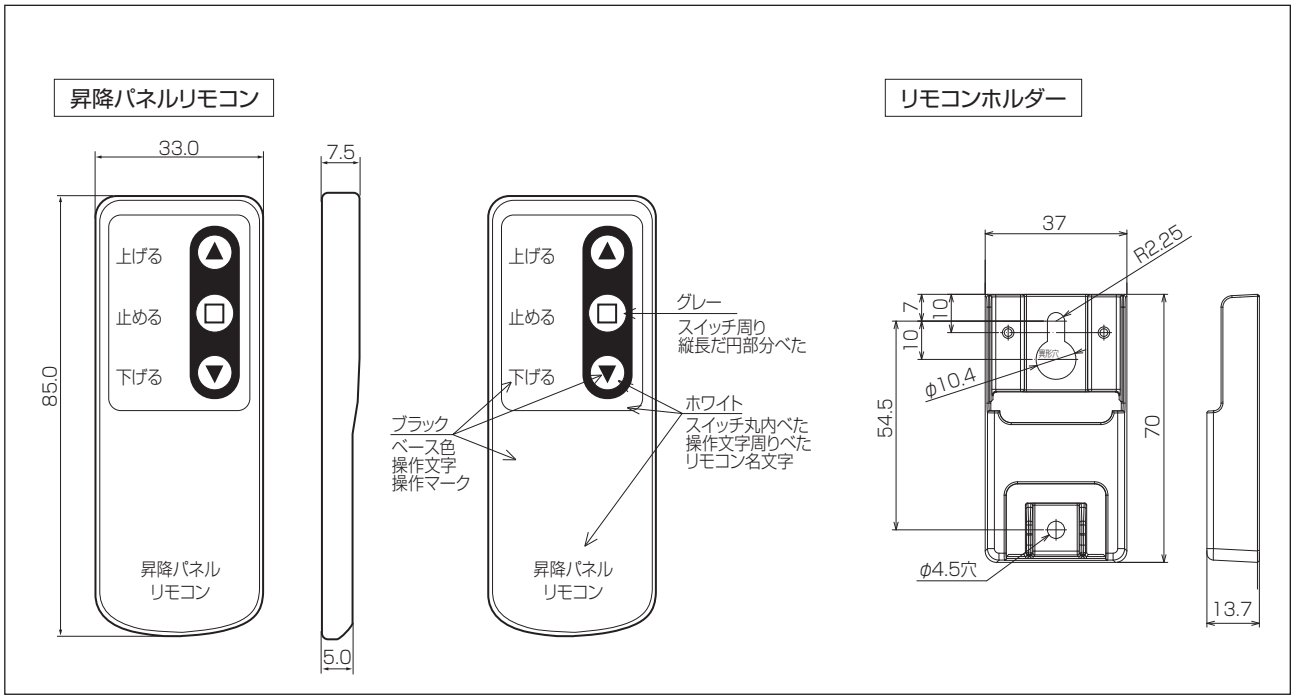
【昇降パネルリモコン】

形　　名	PAC-SJ49RC
電　　源	CR2025
使用環境条件	− 10˚～+ 60˚
外 形 寸 法	H85 × W33 × D5
外　　装	黒色（ABS 樹脂）
据 付 方 法	付属リモコンホルダーを壁面に取り付け
付 属 品	リモコンホルダー、ボタン電池付属 (CR2025 3V)、ネジ

【リモコンホルダー】

色	黒
材　　質	PS

外形図（単位：mm）



BT79C256H02

三菱電機パッケージエアコン別売部品 昇降リモコンキット据付工事説明書

形名:PAC-SJ49RC

安全のために必ず守ること

●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れの仕方等を説明してください。
また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
●頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
●据付工事に不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされ不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になります。

電源配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。
●漏電や発熱・火災の原因になります。

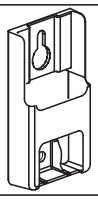
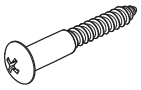
据付け(移設)・電気工事をする前に

⚠注意

冷媒配管の断熱は、結露しないように確実に行う。
●不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して、露たれ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
●接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

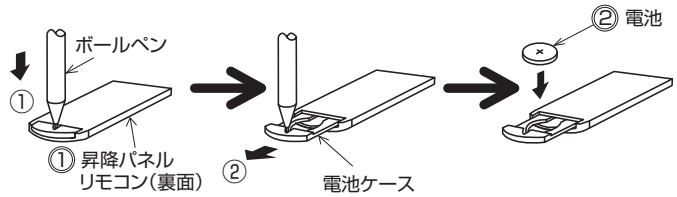
ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないよう断熱処理すること。
●配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

1. 部品の確認 (この箱の中には本説明書と下記部品が入っています)

品番 品名	① 昇降パネルリモコン	② 電池	③ リモコンホルダー	④ ネジ
個数	1	1	1	2
形状		 リチウム電池 CR2025 3V		

2. 電池の入れ方

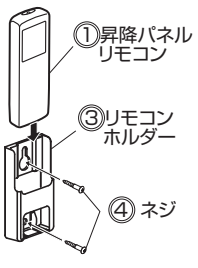
●ボールペン等の先端で矢印①のように下へ押しつけながら矢印②の方向にスライドし、電池ケースを取外します。
●電池②は、プラス表示面を上にして電池ケースに入れる。
※逆さには入りません。
●電池ケースを元のようにリモコンへセットする。



3. リモコンホルダー

●リモコンホルダーを付属しております。紛失などを防ぐためにご使用ください。
●昇降パネルリモコンは下記の場所に取付けてください。
- 直射日光の当たらない場所
- 近くに熱源のない場所
- ユニットからの冷風(または温風)が当たらない場所
- リモコンの操作が容易で、表示部がよく見える場所
- 幼児の手が届かない場所
- 油煙などが発生しない場所

●昇降パネルリモコンの取付けは、付属のネジを使用してリモコンホルダーを壁面に固定した後に、昇降パネルリモコンをリモコンホルダーにはめ込みます。



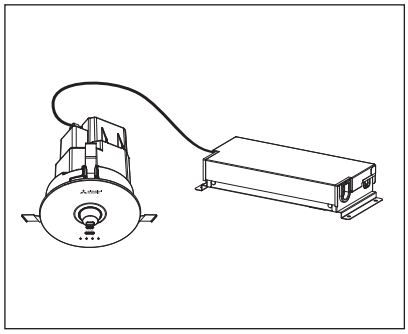
4. 確　認

●このリモコンにて、正常に作動するか確認します。
操作方法については化粧パネル、自動昇降キットの据付工事説明書もしくは取扱説明書に記載してあります。

別置ムーブアイコントロールユニット

● PAC-SK41BM

使用目的 / 用途



●“別置ムーブアイコントロールユニット”は、ムーブアイを搭載していない当社のエアコンや換気機器へ後付け接続が可能で、エアコンや換気機器の取替えや改修をすることなく設置できます。エリアごとの床温度や在室人数に合わせて、それぞれの製品を連携制御して効率よく空調・換気を行い、室内の快適性向上に貢献します。

対象ユニット

● A 制御機種（2004 年 10 月発売以降の製品に対応）

仕様表

項　目	内　容
外形寸法	ムーブアイ：φ 170 × 209mm 電気品：304(H) × 124(W) × 59(D)mm
製品質量	1.5kg
電　源	AC200V 50/60Hz
消費電力	5W
使用環境	周辺温度：10℃～ 32℃、周辺湿度：～ RH80%（結露なきこと）屋内設置専用
据付方法	据付ばね 3 個により天井開口穴（φ 150）に取付け
外装材質	ムーブアイ：ABS/PS、電気品：亜鉛メッキ鋼板
色（マンセル No.）	クリアホワイト（1.0Y 9.2/0.2）
最大接続可能台数	室内ユニット：4 台、ロスナイ・外気処理ユニット：2 台

※ロスナイと接続する場合には、PAC-SA88HA(ロスナイ CN16 端子が 5 極の場合)、または PAC-SE55RA(ロスナイ CN16 端子が 3 極の場合) が必要となります。
※室内ユニット PS-RP･KA 形と接続の場合には、リモコン端子盤キットが必要となります。
※詳細は、据付工事説明書を参照ください。
※本製品を監視用途で使用することはできません。
※スリムエアコン、ビル用マルチエアコン：2004 年発売以降、ロスナイ：2001 年発売以降のマイコンタイプ、外気処理ユニット：2011 年発売以降の機種に対応

機能表

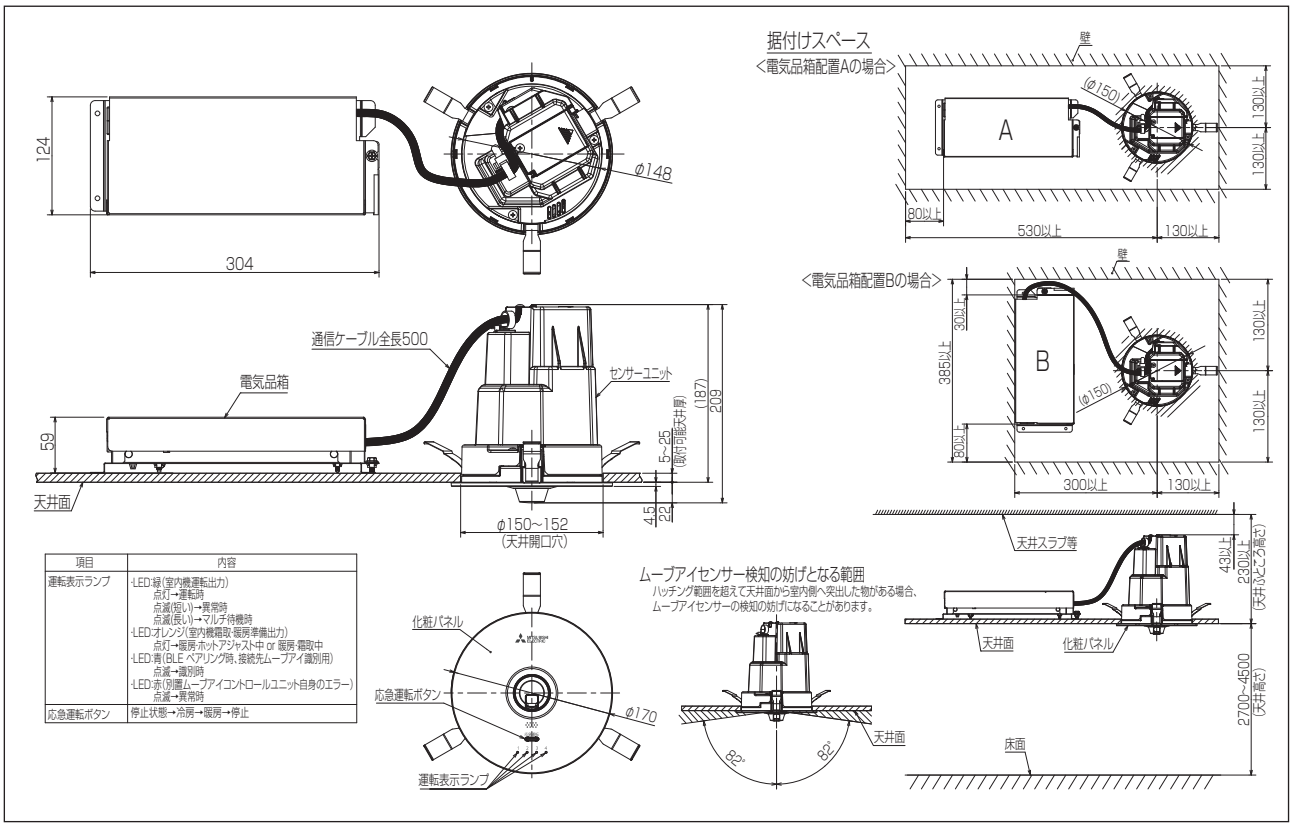
機　能	内　容
熱画像表示	検知範囲の熱画像を俯瞰図として表示します。
スマホ操作	アプリから Bluetooth® 接続することでエアコンをスマホで操作できます。
ロスナイ連携 ※1	各エリアの在室率、在 / 不在状況に応じて運転を制御します。
エリア空調 ※2	各エリアの在室率、在 / 不在状況や床温度ムラに応じて、省エネ運転や、ムラなし / 風よけ・風あて運転を行います。
お好み温度自動 ※3	在室者の設定温度の履歴から設定温度を自動で設定できます。
デマンド運転	電力量に応じて室内ユニットに対して省エネ制御を行い、デマンド値を抑えることができます。

※ご使用の際には専用アプリ「MELRemo+」のダウンロードが必要です。
※天井高さ 3.5m 以上となる場合は検知しにくくなる場合があります。
※周囲温度が高い場合は検知しにくくなることがあります。
※計器等により人体の半分以上隠れてしまう場合やディスプレイ等の発熱体と重なる場合には検知しにくくなる場合があります。
※ Bluetooth® のワードマークは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、三菱電機株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
※ 1 ロスナイの連携はマルチエアコンをロスナイ連動ケーブル、M-NET 接続でロスナイ連動設定した場合には使用できません。
※ 2 ムラなし、風よけ / 風あて機能はオートスイング機能のない室内ユニットには使用できません。
※ 3 スマートフォンの Bluetooth® 機能を ON にした状態で、アプリをバックグランドで動作させておく必要があります。

別置ムーブアイコントロールユニット

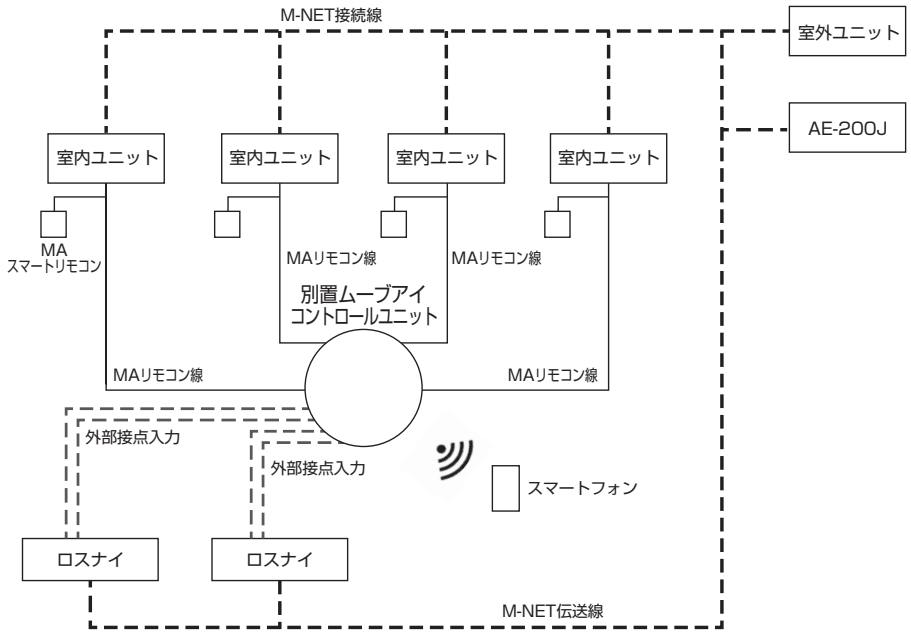
● PAC-SK41BM

外形図（単位：mm）



項目	内容
運転表示ランプ	・LED:緑(室内機運転出力) 点灯→運転時 点滅(短い)→異常時 点滅(長い)→マルチ待機時 ・LED:オレンジ(室内機暖取/暖房準備出力) 点灯→暖房・ホットアジャスト中 or 暖房・暖取中 ・LED:青(BLE ペアリング時、接続先ムーブアイ識別用) 点滅→識別時 ・LED:赤(別置ムーブアイコントロールユニット自身のエラー) 点滅→異常時
応急運転ボタン	停止状態→冷房→暖房→停止

システム配線例



※同一グループ内でMAリモコンを使用する場合は1台のみ接続できます。
※同一グループ内でMEリモコンとの併用はできません。
※ロスナイ連携はスリムエアコン又はマルチエアコンを、それぞれロスナイ連動ケーブル、M-NET接続でロスナイ連動設定した場合には使用できません。

BH79V342H03

（本マニュアル用に変更・修正しています）

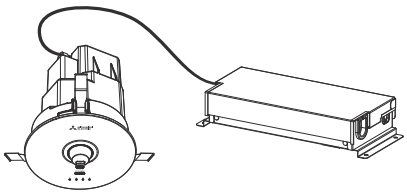
MITSUBISHI ELECTRIC

別置ムーブアイコントロールユニット
据付工事説明書

販売店・工事店様用

三菱電機パッケージエアコン別売部品

PAC-SK41BM



●この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
室内ユニットの据付けについては、本製品と接続する機器に付属の説明書と本説明書を併せてご確認ください。

もくじ

※安全のために必ず守ること ……2
※各部品の名称 ……4
1. 据付けの前に ……4
2. 据付場所の選定 ……4
3. 据付け前の準備 ……6
4. 電気配線工事 ……6
5. 電気配線工事＜接続システム制約＞ ……14
6. 据付工事 ……21
7. 据付工事後の確認・試運転 ……23
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法 ……25
9. 適用機種 ……91
10. 商標について ……91

1

安全のために必ず守ること

●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷又は家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方などを説明してください。
また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。
●接続や固定が不完全な場合や、途中接続の場合は、発熱・火災などの原因になります。

天井埋込み専用ですので天井以外の場所へは絶対に据え付けない。
●指定外の場所へ据付けにより火災・落下などの原因になります。

強い振動・衝撃がある場所、傾斜天井、補強のない天井には据え付けない。
●不安定な場所へ据付けにより火災・落下などの原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。
●電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災などの原因になります。

据付けは、販売店又は専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付けは、質量に十分に耐えるところに確実に行う。
●強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、事故の原因になります。

断熱施工天井には据え付けない。
●火災の原因になります。

改造は、絶対にしない。
●修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。改造したり修理に不備があると水漏れや感電・火災などの原因になります。

お客様自身で移動・再据付けはしない。
●据付けに不備があると水漏れや感電・火災などの原因になります。お買い上げの販売店又は専門業者にご依頼ください。

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは据え付けない。
●万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

製品の外郭を天井内の造営材・ダクトに触れさせない。
●火災・感電の原因になります。

製品据付けの際は、電線を挟まない。
●絶縁不良により感電・火災の原因になります。

配線工事の際、電線の絶縁体に傷をつけない。
●絶縁破壊により感電・火災の原因になります。

電源線を製品の外郭に直接触れさせない。
●過熱し、火災の原因になります。

2

据付けをする前に（環境）　⚠注意

精密機器・食品・動植物・美術品の保存など特殊用途には使用しない。
●保存物の品質低下などの原因になります。

次の場所への据付けは、避ける。
・可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
・機械油を使用するところ
・車両・船舶など移動するものへの設置
・高周波を発生する機械を使用するところ
・化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
・海浜地区など塩分の多いところ
・積雪の多いところ
●性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする原因になります。

製品を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には据え付けない。
●絶縁不良や錆により感電・落下の原因になります。

病院・通信事業所などに据え付けされる場合は、ノイズに対する備えを十分に行う。
●インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器の影響による空調機の誤動作や故障の原因になったり、空調機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になります。

ロックウール、珪酸カルシウム板など、柔らかい天井に据え付ける場合は、天井材損傷、化粧パネルと天井面の間にすき間ができることがあるので、天井上面と据付ばねの間に補強材を入れる。
●不備があると天井材の破損、落下の原因になります。

据付（移設）工事をする前に　⚠注意

据付台などが傷んだ状態で放置しない。
●傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガなどの原因になります。

製品の運搬は、十分注意して行う。
●素手で部品端面などに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

ユニットは必ず水平に据え付けること。
●据付けに不備があると露たれ、騒音の原因になります。

ユニット・電気品箱を水洗いしない。
●感電・発火の原因になります。

電気工事をする前に　⚠注意

電源には、必ず漏電遮断器を取り付ける。
●漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。

アース工事を行う。
●アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

元電源を切った後に電気工事をする。
●感電・故障や動作不良の原因になります。

電気配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。
●漏電や発熱・火災などの原因になります。

電気配線は、張力が掛からないように配線工事をする。
●断線したり、発熱・火災などの原因になります。

正しい容量のブレーカー〈地絡・過負荷・短絡保護兼用の漏電遮断器〉を使用する。
●大きな容量のブレーカーを使用すると故障や火災の原因になります。

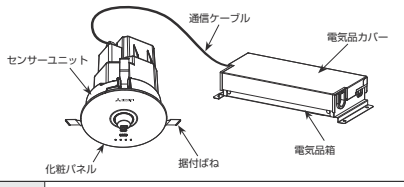
試運転をする前に　⚠注意

空調機のパネルなどをはずした状態で運転をしない。
●機器の回転物・高温部・高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

濡れた手でスイッチを操作しない。
●感電の原因になります。

3

各部品の名称



⚠警告　**器具の据付けは据付工事説明書に従い行う。**
・不確実な据付けは、器具落下・感電・火災の原因になります。

1. 据付けの前に

ユニット運搬・据付けなどのとき、ユニットに傷をつけないようにしてください。

お　願　い

■お客様自身で塗装はしないでください。
性能を著しく低下させたり、部品破損などの原因になります。塗装は、お買い上げの販売店にご相談ください。

2. 据付場所の選定

●侵入外気の影響のないところ
●調理器具が発する熱の影響を受けないところ
●据付け・サービス時の作業スペースが確保できるところ［図1］
●テレビ・ラジオより1m以上離れたところ（映像の乱れや雑音が生じることがあります。）
●真下に食品・食器を置かないところ
●フライヤーの真上のような油・粉・蒸気などが直接かかるころには設置しないでください。
●空調機の吹き出し空気が直接当たらないところ
●天井から室内側に突出した設置物の近傍には設置しないでください。（センサーの検知範囲が狭くなることがあります。）

・製品質量（約1.5kg）に十分耐えられるよう、据付部の強度を確保する。
・補強材を入れる場合、天井内で動かないよう固定する。
※据付場所の選定は、法規制・地方条例などをご確認の上、実施してください。

⚠警告　**可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは据え付けない。**
・万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

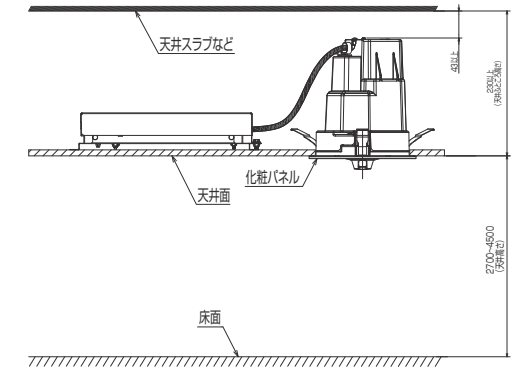
⚠警告　**据付けは、質量に十分に耐えるところに確実に行う。**
・強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、事故の原因になります。

⚠注意　**ロックウール、珪酸カルシウム板など、柔らかい天井に据え付ける場合は、天井材損傷、化粧パネルと天井面の間にすき間ができることがあるので、天井上面と据付ばねの間に補強材を入れる。**
・不備があると天井材の破損、落下の原因になります。

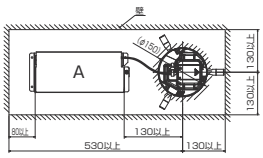
4

2.据付場所の選定（つづき）

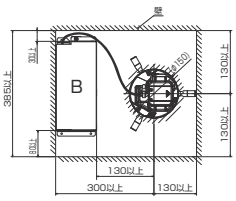
[図1]　（単位mm）



＜電気品箱配置Aの場合＞

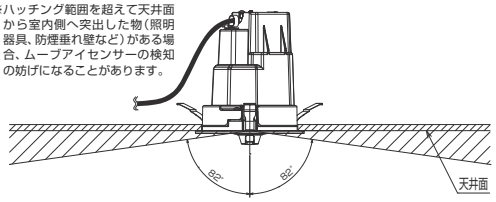


＜電気品箱配置Bの場合＞



[図2]

※ハッチング範囲を超えて天井面から室内側へ突出した物（照明器具、防煙垂れ壁など）がある場合、ムーブアイセンサーの検知の妨げになることがあります。



3. 据付け前の準備

◆天井開口穴位置の設定

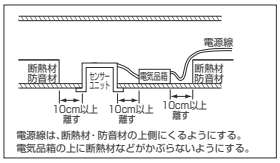
●天井開口穴位置を決定し、指定開口穴径φ150+2/0mmの穴あけを行ってください。

※開口穴をあける際は、専用工具を使用してください。

※開口穴の中心よりφ200mm以内に障害物がないことを確認してください。

⚠警告　断熱施工天井には据え付けない。
・火災の原因になります。

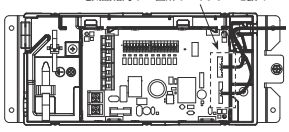
断熱材・防音材を使用する場合は、次の据付条件を守ってください。



電源線は、断熱材・防音材の上側にくるようにする。
電気品箱の上に断熱材などがかぶらないようにする。

※現場で電気品箱とセンサーユニットを個々で据付けたい場合は、電気品箱側のコネクターを抜いて分割してください。電気品箱据付け後、コネクターを再接続してください。

電気品箱内の２箇所のコネクターを抜く



4. 電気配線工事

※電気工事についてのご注意

⚠警告　電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。
・電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災などの原因になります。

⚠警告　電源用端子盤に単線とより線を併用しない。また、異なったサイズの単線又はより線を併用しない。
・端子盤のねじ緩みや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になります。

⚠警告　配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。
・接続や固定が不完全な場合や、途中接続の場合は、発熱・火災などの原因になります。

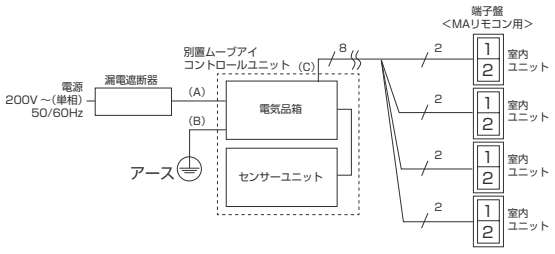
⚠注意　アース工事を行う。
・アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

■電源には、必ず漏電遮断器を取り付けてください。
■必ずD種接地工事を行ってください。
■極性がありますので、必ず端子番号どおりに接続してください。
■ユニットの外部では、空調通信線・ロスナイ線と電気配線が直接接触しないようにできるだけ離して施工してください。
■天井裏内の配線（電源線・空調通信線・ロスナイ線）はネズミなどにより、かじられ断線することもありますのでなるべく鉄管などの保護管内に通してください。
■電源線は途中接続しないでください。発煙・発火又は通信異常の原因になります。
■空調用端子盤には、200V電源を絶対に接続しないでください。（故障の原因になります。）
■配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。
■電源線のシース（保護外被覆）むき部が電気品箱の外に出ないよう、シースむき代を調整してください。

4. 電気配線工事（つづき）

◆電気配線/通信線の選定

電気配線は、事前に所轄の電力会社に相談のうえ、その指示にあった配線をしてください。
配線にあたっては、「電気設備に関する技術基準」及び「内線規程」に従ってください。



電源には必ず漏電遮断器を取り付けてください。漏電遮断器は、地絡・過負荷・短絡保護用のインバーター回路用遮断器（三菱電機製NV-Cシリーズ又は、その同等品）を選定してください。
室内ユニットへの配線に関しては5.電気配線工事＜接続システム制約＞と室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。

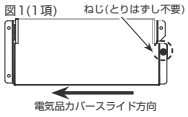
機種	漏電遮断器			電源線太さ	アース線太さ	空調通信線太さ
	定格電流	定格感度電流	動作時間	(mm) (A)	(mm) (B)	(C)
PAC-SK41BM	15A	30mA	0.1s以内	φ1.6(2.0mm²)	φ1.6(2.0mm²)	0.3mm²のケーブル

⚠注意　正しい容量のブレーカー〈地絡・過負荷・短絡保護兼用の漏電遮断器〉を使用する。
・大きな容量のブレーカーを使用すると、故障や火災の原因になります。

4.電気配線工事（つづき）

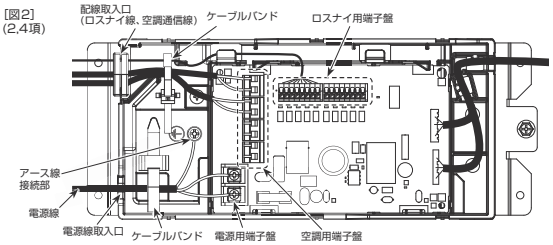
作業手順

図1(1項)　ねじ(とりはずし不要)

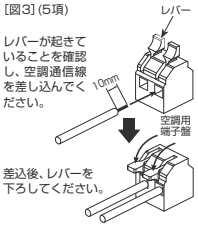


1. 電気品カバーを固定しているねじを緩め(ねじとりはずし不要)、電気品カバーをスライドさせてとりはずす。[図1]
2. 電源線を配線取入口より電気品箱に入れる。[図2]
3. 電源線を電源用端子盤に確実に接続する。
   電源線は使用する電線に応じて次項①又は②に準じた配線をしてください。
   ※電源線用端子盤のねじ締付トルク1.3±0.1N・m
   ※サービス時を考慮して、電気品箱を室内へ降ろすための余裕を各配線に持たせてください。
   ※電源線とその他の配線のシース（保護外被覆）むき部が触れないように施工してください。
4. 各配線を配線取入口より電気品箱に入れる。[図2]
5. 空調通信線を空調用端子盤に確実に接続する。[図3]
   ※一本ずつ確実に差し込み、レバーを下ろす。
   ※空調用端子盤(TBMA1～4)に室内ユニットを4台未満で接続する場合、TBMA1から数字が小さい順に接続してください。
   例）2台の場合：TBMA1、TBMA2（禁止：TBMA1、TBMA3）
6. ロスナイ線を接続する場合は、ロスナイ用端子盤に確実に接続する。[図4]
   ※ロスナイ線太さ：0.2mm²～0.52mm²
   ※レバーを押しながら一本ずつ確実に差し込む。
7. 電源線、空調通信線及びロスナイ線を電気品箱に取付けのケーブルバンドで締付固定後、ケーブルバンドの余りを必要に応じてカットする。[図5]
8. 電気品カバーを元のとおりに取り付ける。

[図2]
(2,4項)



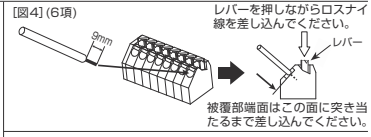
[図3] (5項)



レバーが起きていることを確認し、空調通信線を差し込んでください。

差込後、レバーを下ろしてください。

[図4] (6項)

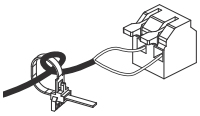


レバーを押しながらロスナイ線を差し込んでください。

被覆部端面はこの面に突き当たるまで差し込んでください。

[図5] (7項)

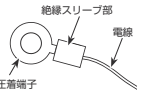
空調通信線が1本の場合はケーブルバンドを1ループさせ空調用端子盤に接続する。その後、ケーブルバンドにて空調通信線を固定してください。



4.電気配線工事（つづき）

① 電源線にVVF平形ケーブルを使用する場合は以下の作業手順に従い配線を行ってください。
①-1 ねじを十分に緩め電線を入れるスペースを確保します。
①-2 電線の先端を端子盤に差し込みます。
①-3 端子盤ねじ部を1.3±0.1N・mのトルクで締め付け、電線を固定します。

② 電源線にVCTなどキャブタイヤケーブルを使用する場合は、必ず絶縁スリーブ付きの絶縁処理をした丸型圧着端子を使用してください。
端子盤ねじ部は1.3±0.1N・mのトルクで締め付けてください。



◆ロスナイ接続（ロスナイ運転 ON/OFF TM2）

・別置ムーブアイコントロールユニットからロスナイ運転のON/OFFをする場合は、ロスナイ制御基板のTM2へ接続してください。
・TM2の仕様は接続されるロスナイのモデルごとに異なるため、下記接続パターンを参照の上、接続してください。
・ロスナイ運転のON/OFF出力は無電圧のa接点です。
・配線長は10m以内とし、シース付きビニルコード又は、ケーブル0.2mm²～0.52mm²で図に従って極性に注意して接続してください。

◆ロスナイ接続（風量切替出力 CN16）

・別置ムーブアイコントロールユニットからロスナイの風量を変更する場合は、ロスナイ制御基板に搭載されたCN16へ接続してください。
・CN16の仕様は接続されるロスナイのモデルごとに異なるため、下記接続パターンを参照の上、接続してください。
・ロスナイ風量切替出力は、無電圧のa接点です。
・配線長は10m以内とし、シース付きビニルコード又は、ケーブル0.2mm²～0.52mm²で図に従って極性に注意して接続してください。
※24時間換気運転中は、外部風量切替できません。
※パワー給排気運転中は、外部風量切替は有効です。
※1つのグループ内に複数台の外気処理ユニットが接続されている場合についても、それぞれ入力を行ってください。外部風量切替入力された外気処理ユニットのみ風量が切り替わります。

（1）業務用ロスナイ天井埋込形

対象形名	接続（ON/OFF）	接続（風量切替）	接続/使用可否
LGH-N**RXW,RXV(D)	パターン①	パターンA	全ての機能（アプリからの各種操作、在室率強風、在室率省エネ、不在省エネ、不在停止）を使用可能です。 ※ロスナイ基板上のコネクターCN16との接続に、別売部品遠方表示用アダプター（PAC-SA88HA）が必要です。
LGH-N**RX3(D)			
LGH-N**RX2(D)			
LGH-N**RX(D)	パターン②		
LGH-**RX5(D)			
LGH-**RX4(D)	パターン②	パターンB	アプリからの運転/停止操作及び風量切換（強/弱）操作、在室率強風、在室率省エネ、不在停止が使用可能です。 ※ロスナイ基板上のコネクターCN16との接続に、別売部品遠方発停用アダプター（PAC-SE55RA）が必要です。 ※アプリからの換気モード切換操作はできません。不在省エネは使用できません。
LGH-**RX3(D)	パターン③		

4.電気配線工事（つづき）

（2）業務用ロスナイ天井カセット形

対象形名	接続（ON/OFF）	接続（風量切替）	接続/使用可否
LGH-N**CX2(D)	パターン①	パターンA	全ての機能（アプリからの各種操作、在室率強風、在室率省エネ、不在省エネ、不在停止）を使用可能です。 ※ロスナイ基板上のコネクターCN16との接続に、別売部品遠方表示用アダプター（PAC-SA88HA）が必要です。
LGH-N**CX(D)	パターン②		
LGH-**CX6(D)			
LGH-**CX5(D)			
LGH-**CX4(D)	パターン②	パターンB	アプリからの運転/停止操作及び風量切換（強/弱）操作、在室率強風、在室率省エネ、不在停止が使用可能です。 ※ロスナイ基板上のコネクターCN16との接続に、別売部品遠方発停用アダプター（PAC-SE55RA）が必要です。 ※アプリからの換気モード切換操作はできません。不在省エネは使用できません。
LGH-**CX3(D)	パターン③		

（3）業務用ロスナイ天井埋込形加湿付

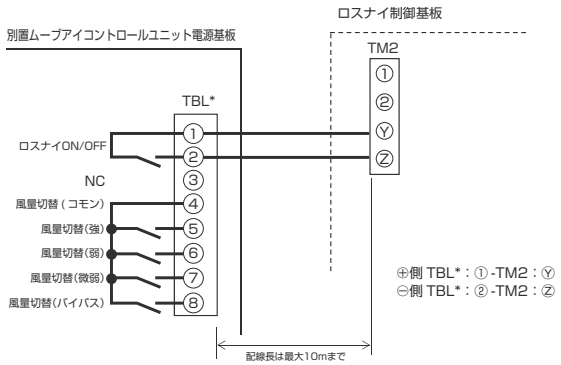
対象形名	接続（ON/OFF）	接続（風量切替）	接続/使用可否
LGH-N**RKX2(D)	パターン②	パターンA	全ての機能（アプリからの各種操作、在室率強風、在室率省エネ、不在省エネ、不在停止）を使用可能です。 ※ロスナイ基板上のコネクターCN16との接続に、別売部品遠方表示用アダプター（PAC-SA88HA）が必要です。 ※アプリからの加湿モード切換操作はできません。
LGH-N**RKX(D)			
LGH-**RKX5(D)	パターン④		
LGH-**RKX4(D)	パターン④	パターンB	アプリからの運転/停止操作及び風量切換（強/弱）操作、在室率強風、在室率省エネ、不在停止が使用可能です。 ※ロスナイ基板上のコネクターCN16との接続に、別売部品遠方発停用アダプター（PAC-SE55RA）が必要です。 ※アプリからの換気モード切換操作、加湿モードの切換操作はできません。 不在省エネは使用できません。
LGH-**RKX3(D)	パターン③		

（4）業務用外気処理ユニット

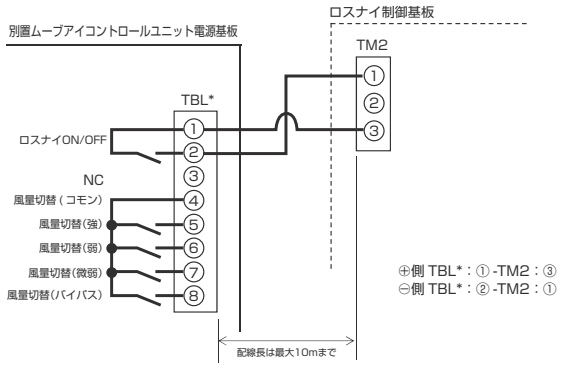
対象形名	接続（ON/OFF）	接続（風量切替）	接続/使用可否
LGH-N**RDF3(-DM)(-B)	接続不可	パターンA	アプリからの風量切替操作、在室率強風、在室率省エネ、不在省エネを使用可能です。 ※外気処理ユニット基板上コネクターCN16との接続に、別売部品遠方表示用アダプター（PAC-SA88HA）が必要です。 ※アプリからの運転モード切換操作はできません。 ※微弱風量となったときは熱交換器のサーモはOFFとなります。
LGH-N**RDF2(-DM)(-B)			
LGH-N**RDF			
LGH-**RDF6			

4.電気配線工事（つづき）

＜ロスナイ ON/OFF 接続図パターン①＞

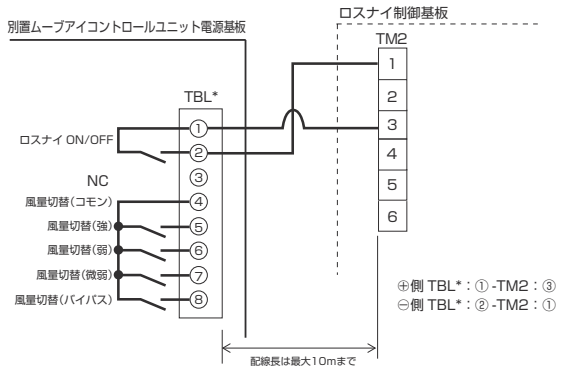


＜ロスナイ ON/OFF 接続図パターン②＞

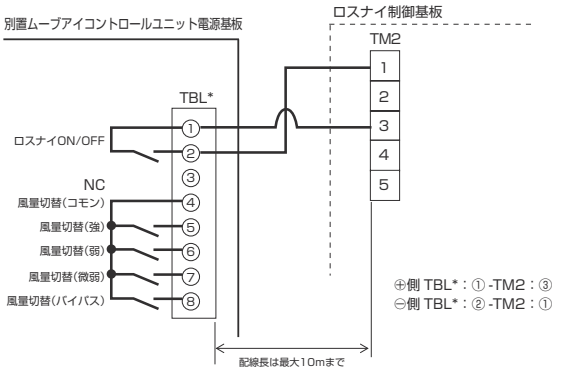


4.電気配線工事（つづき）

＜ロスナイ ON/OFF 接続図パターン③＞

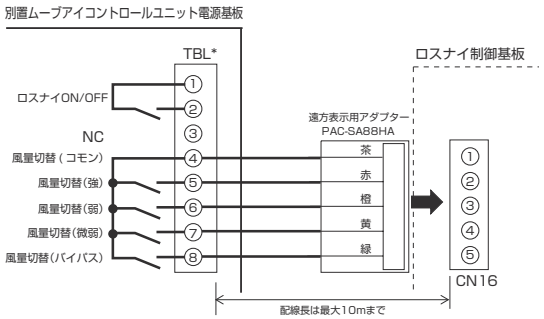


＜ロスナイ ON/OFF 接続図パターン④＞

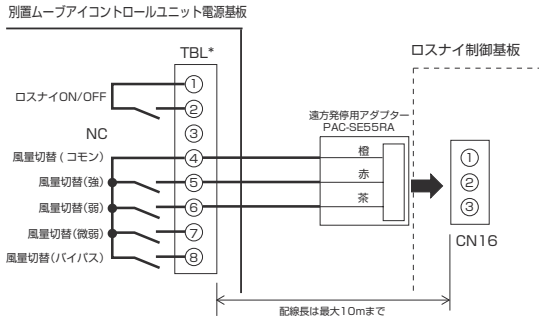


4.電気配線工事（つづき）

＜ロスナイ風量切替接続図パターン A ＞



＜ロスナイ風量切替接続図パターン B ＞



13

5.電気配線工事〈接続システム制約〉

◆ 従来工事方法との相違

別置ムーブアイコントロールユニットの配線は、マルチエアコンに接続する場合とスリムエアコンに接続する場合では異なります。
更にシステム構成によっても異なりますので、以降の記載事項に従って工事を行ってください。
空調機本体への配線及び空調機本体の据付工事に関しては空調機本体の据付工事説明書を参照してください。

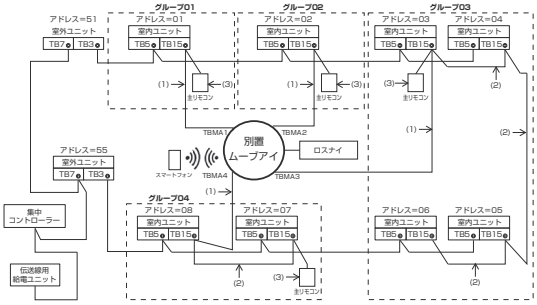
お知らせ

・室内ユニットPS-RP.KA形と接続の場合には、リモコン端子盤キットPAC-SH29TCが必要となります。
・室内ユニット(M)PKH-RP.KAL形と接続はできません。
・室内ユニットPK-RP40～50KA形又はPKFY-P.BM形と接続する場合には製品付属のリモコンケーブルと室内ユニット外にて現地にて配線接続してください。

1. マルチエアコンシステムとの接続

図中の（1）～（3）は、以下の説明文（1）～（3）と対応していますので確認してください。

〈電気配線例〉
別置ムーブアイコントロールユニットは室内ユニットTB15へ接続してください。



14

5.電気配線工事〈接続システム制約〉（つづき）

(1) 別置ムーブアイコントロールユニット・室内ユニットの配線
・室内ユニットのMAリモコン用端子盤（TB15）へ接続してください。
・端子盤に極性はありません。別置ムーブアイコントロールユニットにある端子盤に接続してください。

(2) グループ運転する場合（上図グループ03及び04）
・グループ運転する室内ユニットのMAリモコン用端子盤（TB15）同士を渡り配線し、いずれかのMAリモコン用端子盤（TB15）に別置ムーブアイコントロールユニットを接続してください。
・上図のようにシステムコントローラーと併用する場合、システムコントローラー（上図では集中コントローラー）側でグループ設定が必要です。

(3) 接続可能なリモコン台数
・MEリモコンは同一グループ内での併用はできません。
・1グループあたり接続可能なMAリモコンの台数は別置ムーブアイコントロールユニット含め最大2台です。（1台：別置ムーブアイコントロールユニット、1台：MAリモコンの合計2台）
・1グループに2台接続した場合、MAリモコンを主リモコン、別置ムーブアイコントロールユニットを従リモコンに設定してください。
・MAリモコンを接続する場合は全グループに接続してください。

●空調通信線の総延長
接続される室内ユニットにより異なります。室内ユニットの据付工事説明書、カタログ、システム設計・工事マニュアルなどで確認してください。
なお、別置ムーブアイコントロールユニット1台接続時の総延長は最大で200mです。別置ムーブアイコントロールユニット1台、MAリモコン1台を接続した場合の総延長は最大で100mとなります。使用する空調通信線については「4. 電気配線工事」の「◆電気配線/通信線の選定」を参照してください。

●ロスナイを連動させる場合
・8-4.機能設定（ロスナイ）を参照し、スマートフォンアプリから設定してください。
・別置ムーブアイコントロールユニットとロスナイを接続する場合はマルチエアコンとロスナイの連動設定は禁止です。マルチエアコンとロスナイが連動設定されている場合は、システムコントローラー又はMAスマートリモコンの取扱説明書を参照して連動設定を解除してください。

15

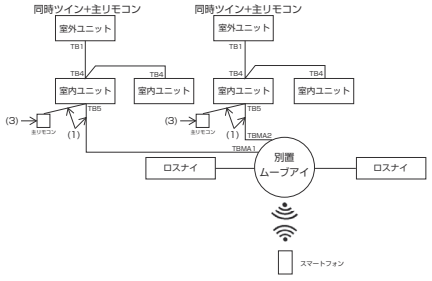
5.電気配線工事〈接続システム制約〉（つづき）

2. スリムエアコンと接続する場合

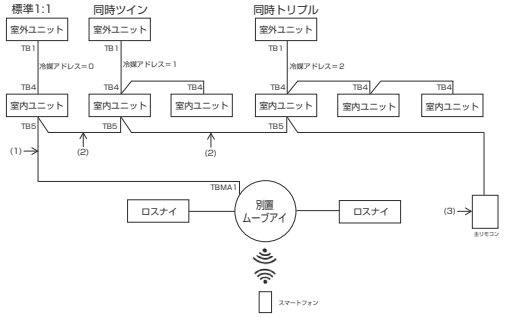
別置ムーブアイコントロールユニットの配線はシステム構成によって異なりますので、以下の例に従って接続してください。
図中の（1）～（3）は以下の説明文（1）～（3）と対応していますので確認してください。

〈電気配線例〉

●冷媒系統ごとにリモコンを接続する場合



●異冷媒系統でグルーピング　※下図はエリア1を例に示しています。



16

5.電気配線工事〈接続システム制約〉(つづき)

お知らせ

・冷媒アドレスの設定は室外ユニットのディップスイッチで行います。
（詳細は室外ユニットの据付工事説明書を参照してください。）

(1) 別置ムーブアイコントロールユニット・室内ユニットの配線
・室内ユニットのリモコン用端子盤(TB5)へ接続してください。(極性はありません。)
・同時マルチタイプにおいて、異なる機種の室内ユニットが混在する場合、機能(風速、ベーン、ルーバーなど)の多い室内ユニットに別置ムーブアイコントロールユニットを接続してください。

(2) 異冷媒系統でグルーピングする場合の配線
・空調通信線によりグルーピングを行います。グルーピングする各冷媒系統の室内ユニット代表1台のリモコン用端子盤(TB5)間を渡り配線してください。
・同一グループ内に異なる機種の室内ユニットが混在する場合、機能(風速、ベーン、ルーバーなど)の多い室内ユニットが接続されている室外ユニットを親機(冷媒アドレス＝00)としてください。また親機が同時マルチタイプとなった場合には上記(1)の条件を満たしてください。
・別置ムーブアイコントロールユニットでは最大16冷媒系統を1グループとして制御可能です。

(3) 接続可能なリモコン台数
・1グループあたり接続可能なリモコン台数は別置ムーブアイコントロールユニット含め最大2台です。(1台：別置ムーブアイコントロールユニット、1台：MAリモコンの合計2台)
・1グループにリモコンを2台接続した場合、MAリモコンを主リモコン、別置ムーブアイコントロールユニットを従リモコンに設定してください。
・MAリモコンを接続する場合は全グループに接続してください。

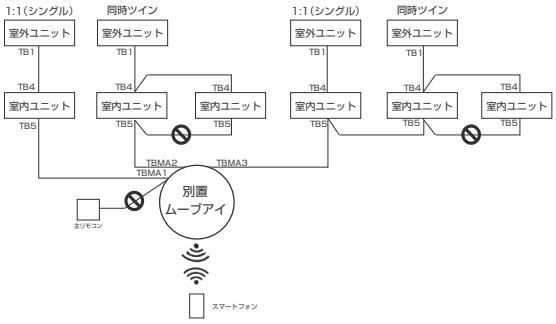
●空調通信線の総延長
接続される室内ユニットにより異なります。室内ユニットの据付工事説明書、カタログ、システム設計・工事マニュアルなどで確認してください。
なお、別置ムーブアイコントロールユニット1台接続時の総延長は最大で500mです。別置ムーブアイコントロールユニット1台、MAリモコン1台を接続した場合の総延長は最大で200mとなります。使用する空調通信線については「4. 電気配線工事」の「◆電気配線/通信線の選定」を参照してください。

●ロスナイを連動させる場合
・8-4. 機能設定(ロスナイ)を参照し、スマートフォンアプリから設定してください。
・別置ムーブアイコントロールユニットとロスナイを接続する場合はスリムエアコンとロスナイの連動設定は禁止です。ロスナイ連動ケーブルを室内ユニットとロスナイからとりはずしてください。

5.電気配線工事〈接続システム制約〉(つづき)

お願い

・同一冷媒系統の室内ユニットのリモコン用端子盤(TB5)間の渡り配線はしないでください。
渡り配線した場合、システムが正常に作動しないおそれがあります。
・室内ユニットのリモコン用端子盤(TB5)へ接続する場合、1つの端子盤に同じサイズの配線を2本までとしてください。
不備がある場合、接触不良や配線はずれのおそれがあります。
・別置ムーブアイコントロールユニットとMAリモコンの渡り配線はしないでください。
別置ムーブアイコントロールユニットの端子盤には、配線は1本しか接続できません。

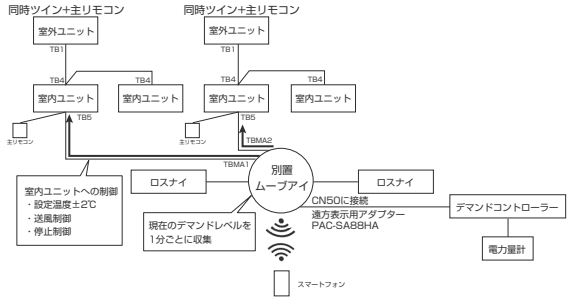


5.電気配線工事〈接続システム制約〉(つづき)

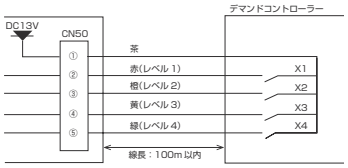
3. デマンド制御をする場合

デマンドコントローラーからのデマンドレベル信号を、別置ムーブアイコントロールユニットに直接入力することで省エネ制御をすることができます。

(1) 接続図



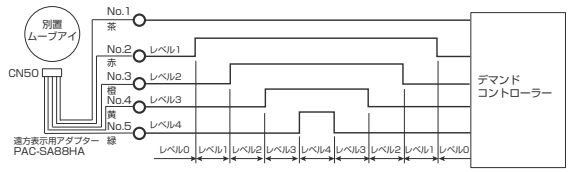
(2) デマンドコントローラーとの接続



●別置ムーブアイコントロールユニット側の接続は遠方表示用アダプターPAC-SA88HAをご使用ください。
●デマンドコントローラーとの接続にPAC-SA88HAだけで足りない場合は100m以内で延長してください。
●無電圧a接点をデマンドレベル信号として入力できます。

5.電気配線工事〈接続システム制約〉(つづき)

デマンドレベル信号による制御は以下のようになります。



お知らせ

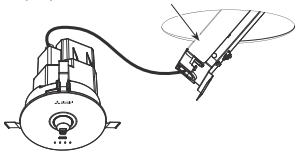
・それぞれのデマンドレベル信号は、重ねて入力してください。
（レベル1からレベル2に切り替える場合、レベル1の信号はONのままにしてください。）
・デマンドレベル信号による制御の切り替えは1分間に1回のため、デマンドコントローラーがレベルを変更しても制御はすぐに変化しません。デマンドコントローラーの制御レベル判定値を低めに設定するなど、運用上の考慮をお願いします。
・別置ムーブアイコントロールユニットの故障や停電時にはデマンドレベル信号による制御が動作しません。

6.据付工事

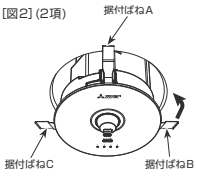
作業手順

1. 天井開口穴に電気品箱を挿入する。[図1]
   ※電気品箱は天井裏の平らなところに反転、横転しないよう設置する。
   また、センサーユニットに接触しないようにする。
   ※電気品箱はねじ（現地手配）で固定することができます。
2. 据付ばねA,B 2本を縮ませ、天井開口穴に挿入する。[図2]
3. 残りの据付ばねCを縮ませ、天井開口穴に挿入し、化粧パネルを押し上げる。[図3]
4. 化粧パネルが天井に密着するまで化粧パネルを押し上げる。[図4]

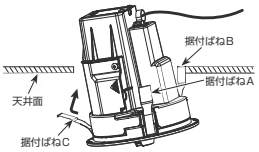
[図1](1項)



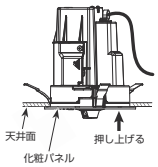
[図2](2項)



[図3](3項)



[図4](4項)



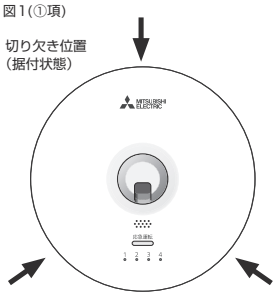
6.据付工事（つづき）

◆別置ムーブアイコントロールユニットの向きを調整する場合

向きを調整する場合、化粧パネルのロゴマークの向きと各接続空調機の配置が関連していますので、調整時は設定を再確認願います。設定確認は8-5-2.エリア設定を参照してください。

① 化粧パネル側面の切欠き部をゆっくりと引き下げる。(図1)
② 据付ばね3本を縮ませた状態でセンサーユニットの向きを調整してください。(図2)
※天井開口を傷つけないよう注意して作業してください。

図1(①項)



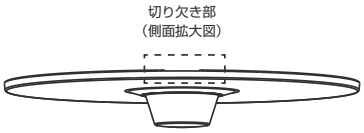
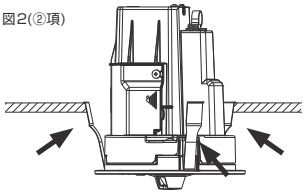


図2(②項)



7.据付工事後の確認・試運転

7-1. 据付工事後の確認

据付工事完了後、下記確認項目に従ってもう一度点検を行い、チェック欄に○印などで記入してください。
不具合がありましたら必ず直してください。

分類	内容	チェック欄	不備の場合に懸念される不具合
ユニット据付	据付場所の強度は製品の質量に耐えられますか		ユニット落下、振動・騒音の発生
	ねじの緩みはありませんか		ユニット落下、振動・騒音の発生
	水平に設置されていますか		振動・騒音の発生、センサー検知性能の低下
	設置の向きは空調機に対してエリア分けしやすい向きになっていますか※1		センサー検知性能の低下
電気工事	配線ケーブルの太さは規定どおりですか		火災、運転不能
	誤配線はありませんか		火災、運転不能
	電源電圧は製品銘板の表示と同じですか		火災、運転不能
	アース接続されていますか		感電
	電気品カバーは確実に取り付けられていますか		火災、感電
その他	「安全のために必ず守ること」を確認しましたか		—

※1 接続する空調機・ロスナイと別置ムーブアイコントロールユニットとの位置関係を設定する必要があります。
設定の方法については8-5-2項を参照してください。
別置ムーブアイコントロールユニットの据付けの向きを調整する場合は6章を参照してください。

■据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方などを説明してください。
■この据付工事説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。
■お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

7.据付工事後の確認・試運転（つづき）

7-2. 試運転

◆試運転の前に

・必ず空調機の据付工事説明書の試運転の内容をご確認ください。
・必ず2ページ目の「安全のために必ず守ること」をお読みください。

◆試運転方法

1. 電源を入れる。
   電源投入直後にLED表示器が4つとも緑色に2秒周期で5回点滅します。

2. スマートフォンアプリから「試運転」を実施する。
   室内ユニット、室外ユニットのシステム立ち上げ完了後にスマートフォンアプリを接続してください。
   スマートフォンアプリの使い方に関しては8章を参照してください。
   試運転の操作方法は8-6項を参照してください。
   試運転の実施内容については室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

3. 「試運転」を終了する。
   スマートフォンアプリから試運転を終了させます。
   試運転画面の [⏻] をタップすると終了しますが、操作をしなくても2時間後に自動的に終了します。
   スマホ画面に異常が表示された場合は取扱説明書を参照してください。

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法

・別置ムーブアイコントロールユニットはスマートフォンアプリによる設定が必要な製品です。
右記設定に関しては確実にご確認いただき、必要に応じて設定してください。
その他の設定は取扱説明書を参照して必要に応じて設定してください。
スマートフォンアプリの使い方に関しては8-1項以降を参照してください。

必須設定項目

設定項目	参照先
サービス設定	8-3-1項
ムーブアイ接続設定	8-5-1項
エリア設定	8-5-2項
デマンド設定	8-5-3項
主従設定	8-5-4項
時刻同期	8-5-4項
管理者パスワード設定	8-5-4項
形名・製造No.登録	8-6-3項
サービスパスワード設定	8-6-4項

・右記項目に関しては別置ムーブアイコントロールユニットに接続していない状態でスマートフォンアプリの事前設定をして、接続したときに一度に設定を反映させることができます。
詳細は8-8項を参照してください。

事前設定可能項目

設定項目	参照先
お好み設定	8-8-1-1項
省エネ設定	8-8-1-2項
タイマー設定	8-8-1-3項
サービス設定	8-8-1-4項
機能設定（ロスナイ）	8-8-2項
ムーブアイ接続設定	8-8-3-1項
エリア名称設定	8-8-3-2項
デマンド設定	8-8-3-3項
機能選択	8-8-4項

8-1. スマートフォンアプリの使い方

・MELRemo +（以下「アプリ」といいます。）は、Bluetooth®通信で、三菱電機株式会社の業務用エアコンの専用別売部品である別置ムーブアイコントロールユニットの設定をスマートフォンで行うためのアプリケーションソフトです。
・アプリのダウンロード、アップデート、その他のご使用にともない発生する通信料金は、ご利用者様のご負担となります。（アプリのアップデートの際やアプリが正常に動作しないことによる再設定などで、追加して発生する通信料金も含みます。）

＜対応OS及びダウンロード方法＞

対応OS
・iOS11.0～14.5
・Android™ OS 7.0～11.0
※最新バージョンでは、正しい表示や動作ができない場合があります。
※Android の動作確認機種はGoogle Pixel 4です。
動作確認機種の最新情報はダウンロードサイトで確認してください。

ダウンロードサイト
スマートフォンアプリでは、以下の配信サービスから
アプリケーション名「MELRemo +」で検索してダウンロードできます。
·iOS: App Store
·Android : Google Play

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

お知らせ

・アプリは無料ですが、ダウンロード時には通信料が発生します。
・最新のアップデートはダウンロードサイトで確認してください。
・iPadをお使いの方で、アプリが検索できない場合は、検索結果の画面で「iPadのみ」となっている項目をタップして「iPhoneのみ」を選択し、再検索してください。
・すべてのスマートフォン機種又は iOS/Android バージョンでの動作を保証するものではありません。事前に動作確認の上、ご利用頂くことを推奨します。

注意点

・空調機の見えない位置から操作するときは、空調機やその周辺、室内にいる人の状態などを事前に確認してから操作してください。
・子ども、高齢者、病気の方、身体の不自由な方が室内にいる場合は、室内にいる方を保護できる人がいる状態で使用してください。
・空調機のある室内に人がいることがわかっている場合は、空調機の見えない位置から操作することを事前に知らせておいてください。
・小さな子どもが誤って操作しないように、保護者の管理のもとで使用してください。
・本製品は2.4GHz帯の無線を使用しており、障害物や電子レンジ、Wi-Fiなどの電波干渉により、通信状態が悪い場合は操作内容が反映されないことがあります。操作内容が反映されたことを確認してください。
・電波の届く距離は見通し約10mです。障害物で電波がさえぎられた場合は電波の届く距離が短くなりますので、障害物を取り除くかスマートフォンを本製品に近づけて使用してください。
・スマートフォンによる誤操作防止のため、操作ロック機能の使用を推奨します。
・Bluetooth機器が本製品やスマートフォンの周辺に複数ある場合、スマートフォンと本製品との通信が正しくできないことがあります。
・本アプリは屋内での利用を想定しています。屋内で使用してください。
・アプリの画面操作は、iOS及びAndroidで共通です。本マニュアルでは、代表例としてiOSの画面で説明を行います。
・アプリの画面は、OSのバージョン、スマートフォンの画面サイズなどにより若干異なることがあります。
・表示中はBluetooth通信中のため操作を行わないでください。エラーの原因となる場合があります。の表示は数分間表示され続けることがあります。
・本製品の機能によって空調機・ロスナイが制御される場合、スマートフォンアプリの操作画面の表示と手元リモコン・システムコントローラの表示が異なることがあります。

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-2. 設定機能

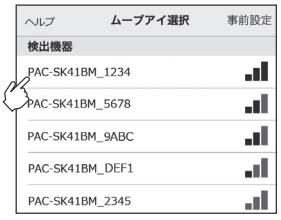
・アプリから別置ムーブアイコントロールユニットに接続し、空調機制御機能及び、別置ムーブアイコントロールユニット本体の設定を行うことができます。
・設定したデータは保存しておくことができます。
アプリから別置ムーブアイコントロールユニットに接続せずに、上記設定を事前に編集し、保存しておくことができます。（詳細は8-8.事前設定参照）
・別置ムーブアイコントロールユニットの設定を初期化する方法については取扱説明書を参照してください。

お知らせ

・「手順」で示す画面イメージは一例であり、リモコン設定やお使いのスマートフォンの機種によっては画面イメージと異なる場合があります。
・最新バージョンのアプリ画面とは異なる場合があります。

手順

1. アプリを起動すると、ムーブアイ選択画面が表示されます。
設定する機器をタップで選択します。
※お気に入りエリア登録を設定していると、手順3. に進みます。
（お気に入りエリア登録については取扱説明書を参照してください。）



お知らせ

・スマートフォンのBluetooth を有効にしてください。
・ムーブアイ選択画面に接続する機器が表示されない場合は、アプリを一度停止させてから再起動してください。

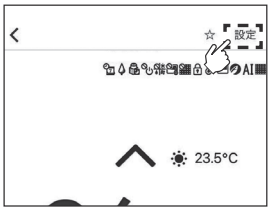
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-2. 設定機能（つづき）

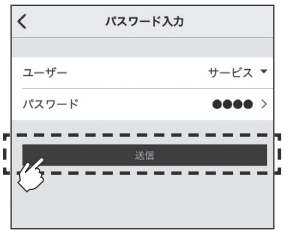
手順

2. エリア選択画面が表示されます。
設定するエリアをタップで選択します。
※[設定] をタップすると手順4.に進みます。

3. 操作画面が表示されます。
操作画面で[設定]をタップします。



4. パスワード入力画面が表示されます。
ユーザー欄で「管理者」、又は「サービス」を選択後、パスワードを入力し、[送信] をタップします。
※管理者用パスワードの初期値は[0000]、サービス用のパスワードの初期値は[9999]です。
※パスワードを忘れてしまった場合は、応急運転ボタンを12秒以上長押しするとパスワードを初期化できます。



8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-2. 設定機能（つづき）

手順

5. 設定メニュー画面で設定する項目をタップします。
※各設定メニュー画面が表示されるので詳細は以下を参照してください。
【機能設定（空調機）】について
「8-3.機能設定（空調機）」へ
【機能設定（ロスナイ）】について
「8-4.機能設定（ロスナイ）」へ
【共通設定】について
「8-5.共通設定」へ
【サービス操作】について
「8-6.サービス操作」へ
【機能選択】について
「8-7.機能選択」へ
その他の項目については取扱説明書をご覧ください。

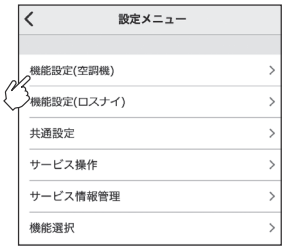
29

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-3. 機能設定（空調機）

手順

1. 設定メニュー画面で【機能設定（空調機）】を　タップします。
機能設定（空調機）画面が表示されます。



2. 機能設定(空調機)画面で設定する項目をタップします。
※各設定メニュー画面が表示されるので詳細は以下を参照してください。
【サービス設定】について
「8-3-1.サービス設定」へ
その他の項目については取扱説明書をご覧ください。

3. 機能設定(空調機)画面にて【保存】をタップするとアラート(設定保存)画面が表示されます。
【キャンセル】をタップすると、設定データを保持し機能設定(空調機)画面が表示されます。
名称を入力し【OK】をタップすると設定データを保存データに保存し設定メニュー画面が表示されます。

お知らせ

・保存されるデータは、取扱説明書 3-3.対応機能一覧【操作内容】表の事前設定欄に○の記載がある機能のみとなります。
その他データについては、その都度モニタ／設定を行ってください。

30

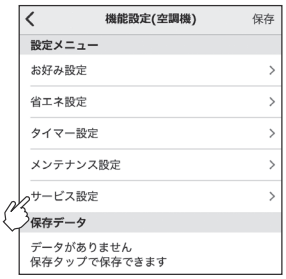
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-3-1. サービス設定

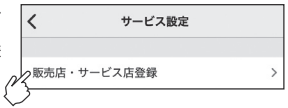
・販売店とサービス店の情報を登録できます。

手順

1. 機能設定(空調機)画面で【サービス設定】をタップします。
サービス設定画面が表示されます。



2. サービス設定画面で【販売店・サービス店登録】をタップします。
販売店・サービス店登録画面が表示されます。



3. 販売店・サービス店登録画面で設定したい情報をタップします。
各項目を入力した後、【送信】をタップします。
※店名は10文字まで、TELは13文字まで入力できます。

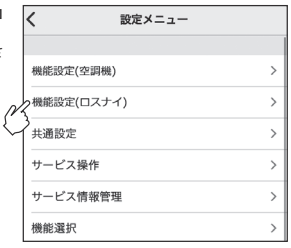
31

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

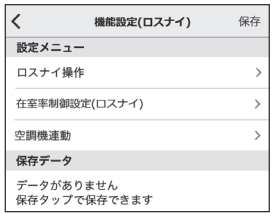
8-4. 機能設定（ロスナイ）

手順

1. 設定メニュー画面で【機能設定（ロスナイ）】をタップします。
機能設定（ロスナイ）画面が表示されます。



2. 機能設定（ロスナイ）画面で、設定する項目をタップします。
※各設定メニュー画面が表示されるので詳細は以下を参照してください。
【ロスナイ操作】について
「8-4-1.ロスナイ操作」へ
【在室率制御設定（ロスナイ）】について
「8-4-2.在室率制御設定（ロスナイ）」へ
【空調機連動】について
「8-4-3.空調機連動」へ



3. 機能設定(ロスナイ)画面にて【保存】をタップするとアラート(設定保存)画面が表示されます。
【キャンセル】をタップすると、設定データを保持し機能設定(ロスナイ)画面が表示されます。
名称を入力し【OK】をタップすると設定データを保存データに保存し設定メニュー画面が表示されます。

お知らせ

・保存されるデータは、取扱説明書 3-3.対応機能一覧【操作内容】表の事前設定欄に○の記載がある機能のみとなります。
その他データについては、その都度モニタ／設定を行ってください。

32

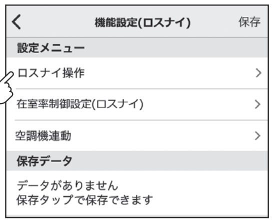
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-4-1. ロスナイ操作

ロスナイの運転/停止、風速変更、バイパス運転への切り替えをすることができます。

手順

1. 機能設定（ロスナイ）画面で、[ロスナイ操作] をタップします。
   ロスナイ操作画面が表示されます。



2. 設定機器、設定内容を入力し、[送信] をタップします。
   ※ロスナイ運転の信号線が接続されていない場合は、本操作は無効です。

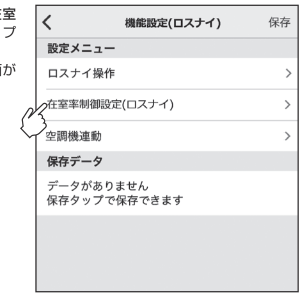
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-4-2. 在室率制御設定（ロスナイ）

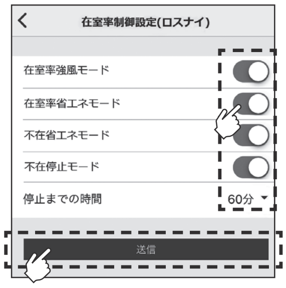
在室率に応じたロスナイ動作を設定します。
【在室率強風モード】：
在室率が33%以上の場合、風速を強にします。
【在室率省エネモード】：
在室率が33%より低い場合、風速を弱にします。
【不在省エネモード】：
エリアに人がいない状態が連続で60分以上続いた場合、風速を微弱にします。
【不在停止モード】：
設定時間連続で人を検知しなかった場合、自動的に運転を停止します。設定時間は60分～180分の間を10分刻みで設定できます。

手順

1. 機能設定（ロスナイ）画面で [在室率制御設定（ロスナイ）] をタップします。
   在室率制御設定（ロスナイ）画面が表示されます。



2. 箇所をタップします。
   [ ] 有効/[ ] 無効を切り替えることができます。
   各項目を設定した後、[送信] をタップします。
   ※ロスナイ運転の信号線が接続されていない場合は、本設定は実行しません。



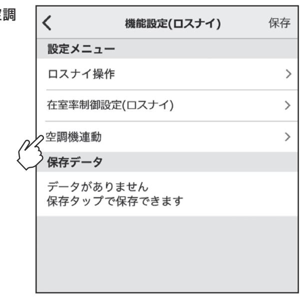
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-4-3. 空調機連動

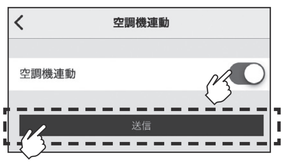
空調機の運転/停止に合わせてロスナイも運転/停止します。接続空調機が1台以上運転している場合は運転、全数停止している場合は停止します。

手順

1. 機能設定（ロスナイ）画面で [空調機連動] をタップします。
   空調機連動画面が表示されます。



2. 箇所をタップします。
   [ ] 有効/[ ] 無効を切り替えることができます。
   設定した後、[送信] をタップします。
   ※ロスナイ運転の信号線が接続されていない場合は、本操作は実行しません。

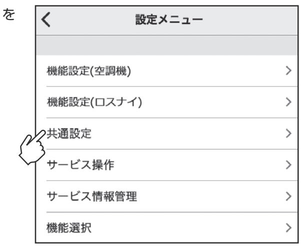


8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

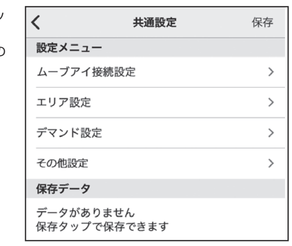
8-5. 共通設定

手順

1. 設定メニュー画面で [共通設定] をタップします。
   共通設定画面が表示されます。



2. 共通設定画面で設定する項目をタップします。
   ※各設定メニュー画面が表示されるので詳細は以下を参照してください。
   [ムーブアイ接続設定] について
   「8-5-1.ムーブアイ接続設定」へ
   [エリア設定] について
   「8-5-2.エリア設定」へ
   [デマンド設定] について
   「8-5-3.デマンド設定」へ
   [その他設定] について
   「8-5-4.その他設定」へ



3. 共通設定画面にて [保存] をタップするとアラート（設定保存）画面が表示されます。
   [キャンセル] をタップすると、設定データを保持し共通設定画面が表示されます。
   名称を入力し [OK] をタップすると設定データを保存データに保存し設定メニュー画面が表示されます。

お知らせ

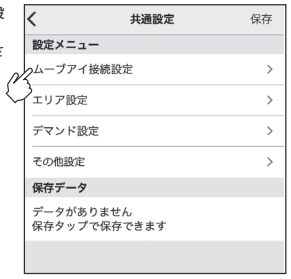
・保存されるデータは、取扱説明書 3-3.対応機能一覧【操作内容】表の事前設定欄に○の記載がある機能のみとなります。
その他データについては、その都度モニタ／設定を行ってください。

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

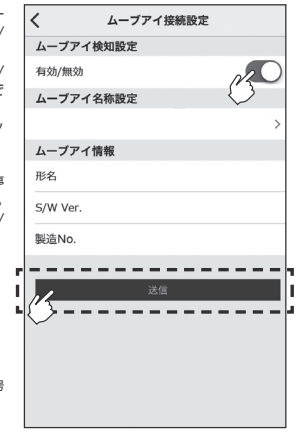
8-5-1. ムーブアイ接続設定

手順

1. 共通設定画面で［ムーブアイ接続設定］をタップします。
ムーブアイ接続設定画面が表示されます。



2. ［ムーブアイ検知設定］では、ムーブアイ検知に基づく機能を有効/無効で切り替えできます。
箇所をタップし、[ ] 有効/[ ] 無効を切り替えることができます。
各項目を設定した後、［送信］をタップします。



無効の場合、ムーブアイの駆動が停止し、下記の機能が無効になります。
・ムーブアイ設定（風ヨケ/風アテ/ムラ無）
・お好み温度自動
・体感温度補正
・在室率省エネモード
・不在省エネモード
・不在停止モード
・在室率強風モード

※ムーブアイ名称設定は英数字及び記号も含めて11文字まで入力できます。

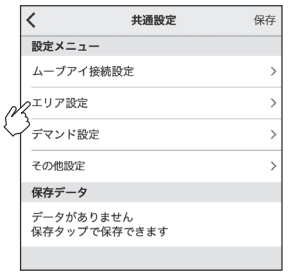
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-5-2. エリア設定

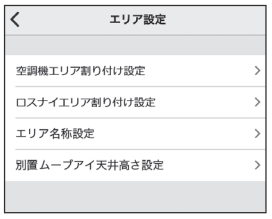
別置ムーブアイコントロールユニットでは、室内ユニットの配置に合わせて、エリアを複数のエリアに分割し、空調制御を行います（空調機：最大4エリア、ロスナイ：最大2エリア）。
各エリアは、別置ムーブアイコントロールユニットの向きを基準にして、以下の手順に従って設定します。
エリア設定されていない場合、下記の機能が無効になります。
・ムーブアイ設定（風ヨケ/風アテ/ムラ無）
・お好み温度自動
・体感温度補正
・在室率省エネモード
・不在省エネモード
・不在停止モード
・在室率強風モード

手順

1. 共通設定画面で［エリア設定］をタップします。
エリア設定画面が表示されます。



2. エリア設定画面で、設定する項目をタップします。
※各設定メニュー画面が表示されるので詳細は以下を参照してください。
［空調機エリア割り付け設定］について
「8-5-2-1.空調機エリア割り付け設定」へ
［ロスナイエリア割り付け設定］について
「8-5-2-2.ロスナイエリア割り付け設定」へ
［エリア名称設定］について
「8-5-2-3.エリア名称設定」へ
［別置ムーブアイ天井高さ設定］について
「8-5-2-4.別置ムーブアイ天井高さ設定」へ



8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-5-2-1. 空調機エリア割り付け設定

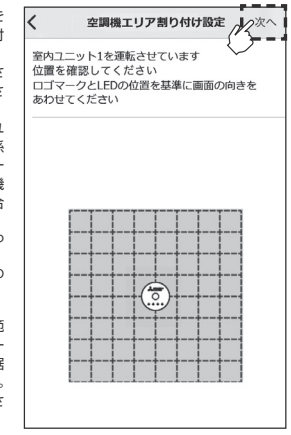
お知らせ

エリア設定をする場合は、下記設定を解除してください。
・操作ロック（運転/停止、運転モード操作ロック）
・集中管理中（運転/停止、運転モード操作禁止）

エリア設定の図は、別置ムーブアイコントロールユニット（天）から見た図になります。

手順

1. ［空調機エリア割り付け設定］をタップすると、空調機エリア割り付け画面が表示されます。
このとき、室内ユニット1を運転させ、その他の室内ユニットを停止させています。
別置ムーブアイコントロールユニットと室内ユニットの位置関係を設定しますので、実機のロゴマークとLEDの位置を基準にして実機とアプリ画面のマークの向きを合わせて［次へ］をタップします。
※室内ユニット台数が4台の場合について記載します。
室内ユニット台数によって手順3.の繰り返し回数が変わります。



ムーブアイの向きと空調エリア範囲があっていない場合は、別置ムーブアイコントロールユニットの据付けの向きを調整してください。
調整方法は６章を参照してください。

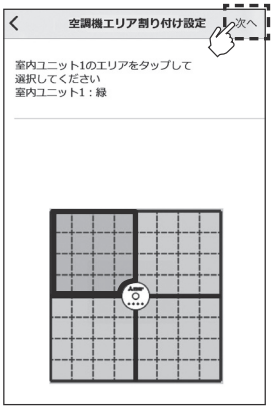
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-5-2-1. 空調機エリア割り付け設定（つづき）

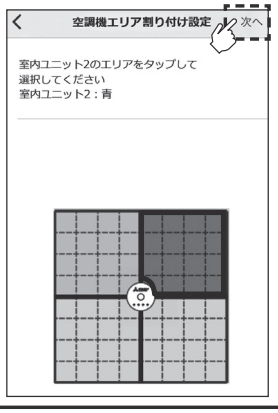
手順

2. 室内ユニット1の空調範囲と別置ムーブアイコントロールユニットの位置関係を確認して、室内ユニット1のエリア（例えば黒枠線で囲まれたエリア）をタップします。
室内ユニット1のエリアの区切り線をスライドすることで、室内ユニット1のエリア範囲を変更することができます。
また、外の枠線を移動させることでムーブアイが検知する必要のない領域を設定することができます。
エリア範囲の設定後、［次へ］をタップします。

※1マスの1辺を1.8mを目安として設定してください。



3. 室内ユニット1の設定と同様に、室内ユニット2～4の設定を行います。
設定後、［次へ］をタップします。

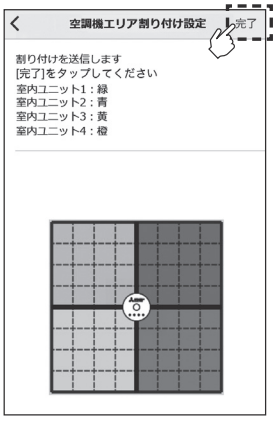


8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-5-2-1. 空調機エリア割り付け設定（つづき）

手順

4. 室内ユニットのエリア割り付けが完了したら、[完了]をタップします。



41

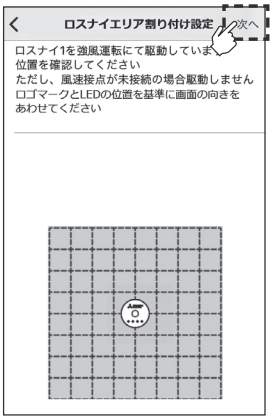
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-5-2-2. ロスナイエリア割り付け設定

手順

1. [ロスナイエリア割り付け設定]をタップすると、接続ロスナイ数選択画面が表示されます。
接続されているロスナイ数を選択してください。
※ロスナイ台数が2台の場合について記載します。

2. ロスナイ数を選択すると、ロスナイエリア割り付け画面が表示されます。
このとき、ロスナイ1を強風運転します。
別置ムーブアイコントロールユニットとロスナイの位置関係を設定しますので、実機のロゴマークとLEDの位置を基準にして実機とアプリ画面のマークの向きを合わせて[次へ]をタップします。



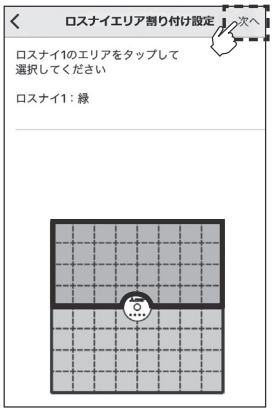
42

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-5-2-2. ロスナイエリア割り付け設定（つづき）

手順

3. ロスナイ1の空調範囲と別置ムーブアイコントロールユニットの位置関係を確認して、ロスナイ1のエリア（例えば黒枠線で囲まれたエリア）をタップします。
ロスナイ1のエリアの区切り線をスライドすることで、ロスナイ1のエリア範囲を変更することができます。
また、外の枠線を移動させることでムーブアイが検知する必要のない領域を設定することができます。
設定後、[次へ]をタップします。
※ロスナイ数が1台の場合は、区切り線は表示されません。
※1マスの1辺を1.8mを目安として設定してください。
※区切り線を縦向きと横向きで変更する場合は、区切り線をタップしてください。



4. ロスナイ1の設定と同様に、ロスナイ2も選択します。
設定後、[次へ]をタップします。

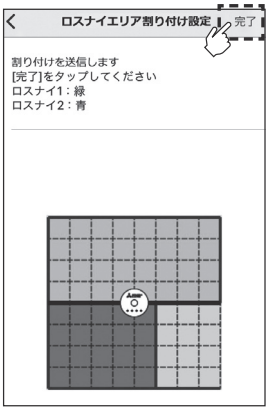
43

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-5-2-2. ロスナイエリア割り付け設定（つづき）

手順

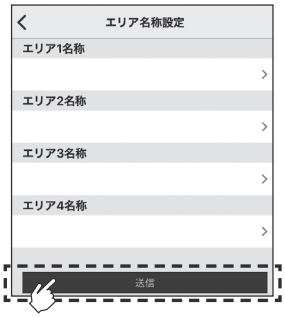
5. ロスナイのエリア割り付けが完了したら、[完了]をタップします。



8-5-2-3. エリア名称設定

手順

1. [エリア名称設定]をタップすると、エリア名称設定画面が表示されます。
変更したいエリアの場所をタップし、名称を入力します。
入力が完了したら[送信]をタップします。



44

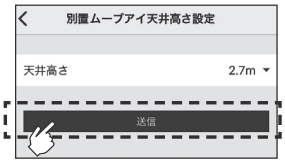
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-5-2-4. 別置ムーブアイ天井高さ設定

本製品が設置されている天井の高さに最も近い高さを[2.7m]、[3.5m]、[4.5m]から選択してください。

手順

1. **[別置ムーブアイ天井高さ設定]** をタップすると、別置ムーブアイ天井高さ設定画面が表示されます。
   天井高さを選択し、**[送信]** をタップします。



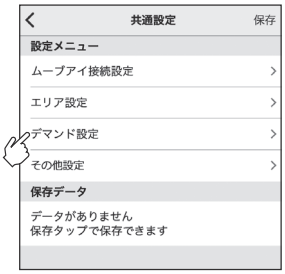
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-5-3. デマンド設定

外部入力端子に入力されたデマンドレベルに応じた室内ユニットの動作内容を設定することができます。
※契約電力超過を管理する目的での使用はしないでください。

手順

1. 共通設定画面で**[デマンド設定]** をタップします。
   デマンド設定画面が表示されます。



2. デマンド設定画面で、設定する項目をタップします。
   デマンドレベル、設定内容を入力し、**[送信]** をタップします。

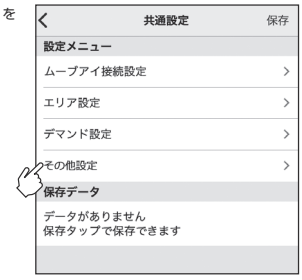
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-5-4. その他設定

[主従設定]、[時刻同期]、[管理者パスワード設定]ができます。
【主従設定】:
リモコンの主従設定を変更できます。同グループ内にMAリモコンを接続する場合は、本製品を[従]設定にしてください。
【時刻同期】:
本製品の時刻をスマートフォンの時刻と同期させます。熱画像表示をするために必要な設定です。
【管理者パスワード設定】: 管理者パスワードを変更できます。

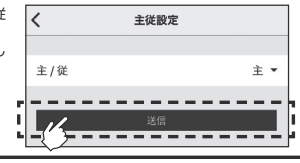
手順

1. 共通設定画面で**[その他設定]** をタップします。
   その他設定画面が表示されます。



2. その他設定画面で、設定する項目をタップします。
   ※各項目が表示されるので詳細は以下を参照してください。
   [主従設定]について
   手順3へ
   [時刻同期]について
   手順4へ
   [管理者用パスワード設定]について
   手順5へ

3. **[主従設定]** をタップすると、主従設定画面が表示されます。
   主/従を設定し、**[送信]** をタップします。



8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-5-4. その他設定（つづき）

手順

4. **[時刻同期]** をタップすると、時刻同期画面が表示されます。
   [スマートフォンと時刻を同期] をタップします。
   （スマートフォンの時刻が別置ムーブアイコントロールユニットに反映されます。）

5. **[管理者パスワード設定]** をタップすると、管理者パスワード設定画面が表示されます。
   各パスワード情報を入力し**[送信]** をタップします。
   ※初期値は[0000]です。
   管理者パスワードを忘れてしまった場合には、応急運転ボタンを12秒以上長押しすることで初期値にリセットできます。
   パスワードは4桁の数字で登録してください。4桁以外のパスワードが設定されている場合、送信ボタンの操作はできません。また数字以外が入力されている場合、不正を知らせるメッセージが表示されます。

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-6. サービス操作

手順

1. 設定メニュー画面で[サービス操作]をタップします。
サービス操作画面が表示されます。

2. サービス操作画面で設定する項目をタップします。
※各設定メニュー画面が表示されるので詳細は以下を参照してください。
[試運転操作]について
「8-6-1.試運転操作」へ
[形名・製造No.収集]について
「8-6-2.形名・製造No.収集」へ
[形名・製造No.登録]について
「8-6-3.形名・製造No.登録」へ
[サービスパスワード設定]について
「8-6-4.サービスパスワード設定」へ
その他の項目については取扱説明書をご覧ください。

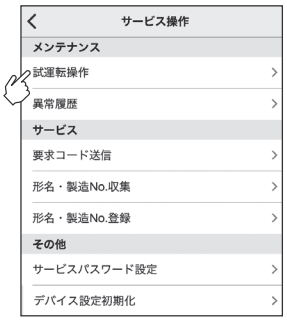
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-6-1. 試運転操作

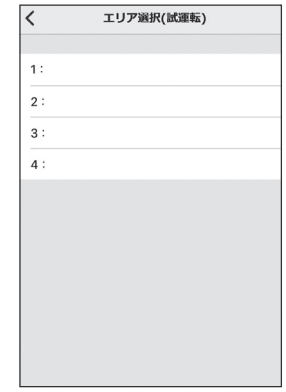
試運転については室内ユニットの据付工事説明書「試運転」項目を併せて参照してください。

手順

1. サービス操作画面で[試運転操作]をタップします。
エリア選択(試運転)画面が表示されます。



2. 試運転操作を設定する「エリア」を選択します。



8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-6-1. 試運転操作(つづき)

手順

1. 試運転画面が表示されます。
[⏻]をタップすると空調機が試運転又は停止します。
[<]タップでエリア選択(試運転)画面に戻ります。

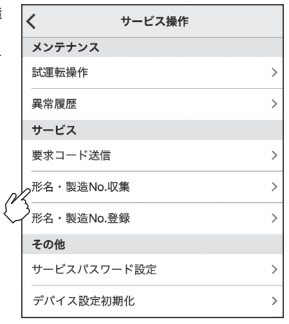
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-6-2. 形名・製造No.収集

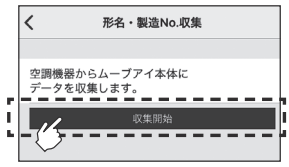
室外、室内ユニットの形名と製造番号を別置ムーブアイコントロールユニットに取り込むことができます。
取り込んだデータは「形名・製造No.登録」にて確認可能です。

手順

1. サービス操作画面で[形名・製造No.収集]をタップします。
形名・製造No.収集画面が表示されます。



2. 形名・製造No.収集画面で、「収集開始」をタップします。



3. 収集した形名・製造No.を確認する場合はサービス操作画面で[形名・製造No.登録]をタップします。

お知らせ

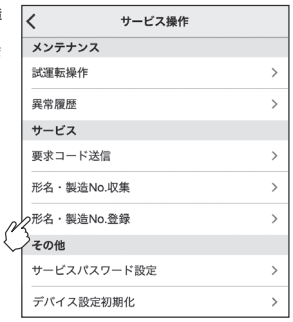
・電源投入直後は、形名・製造Noの収集ができません。約10分経過してから操作してください。
・機能選択を行った場合や、異常発生時は10分以上かかる場合があります。
・別置ムーブアイコントロールユニットでの収集操作には、約1分かかる場合があります。
・室内ユニットによっては、本機能を使用できない場合があります。詳細は室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

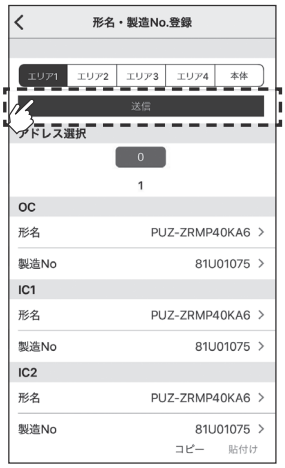
8-6-3. 形名・製造No.登録

手順

1. サービス操作画面で[形名・製造No.登録]をタップします。各ユニットの形名・製造No.が表示されます。



2. 形名・製造No.登録画面で、入力するアドレスを[アドレス選択]にて選択します。
・スリムエアコンの場合の「冷媒アドレス」の設定…「0」～「15」
・マルチエアコンの場合の「M-NETアドレス」の設定…「1」～「255」
OC、ICの形名・製造No.を入力します。
・スリムエアコンの場合、「形名」は半角英数25文字、「製造番号」は半角英数15文字
・マルチエアコンの場合、「形名」は半角英数30文字、「製造番号」は半角英数15文字
・形名・製造No.を入力したアドレスは、オレンジ色でハイライト表示されます。
設定の入力が完了したら[送信]をタップします。



お知らせ

・[コピー]をタップすると選択しているアドレスの情報をコピーすることができます。
・[貼付け]をタップすると[コピー]でコピーした情報を他のアドレスへ貼り付けることができます。

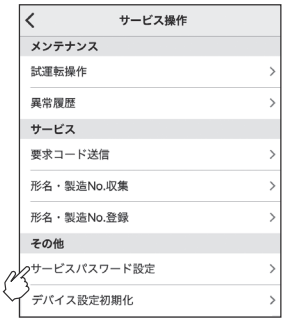
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-6-4. サービスパスワード設定

サービスパスワードを設定できます。

手順

1. サービス操作画面で[サービスパスワード設定]をタップします。サービスパスワード登録画面が表示されます。



2. サービスパスワード登録画面で[現在のパスワード]「新しいパスワード」「新しいパスワード(確認)」を入力し、[送信]をタップします。
※初期値は[9999]です。
サービスパスワードを忘れてしまった場合には、応急運転ボタンを12秒以上長押しすることで初期値にリセットできます。
パスワードは4桁の数字で登録してください。4桁以外のパスワードが設定されている場合、送信ボタンの操作はできません。また数字以外が入力されている場合、不正を知らせるメッセージが表示されます。

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-7. 機能選択

別置ムーブアイコントロールユニットから必要に応じて各室内ユニットの機能を設定します。
・現在の各室内ユニット設定内容の変更と、設定内容の保存ができます。
・本機能は室内ユニットがスリムの場合のみ設定可能です。
・ 表示中はBluetooth通信中のため操作を行わないでください。エラーの原因となる場合があります。
の表示は数分間表示され続けることがあります。

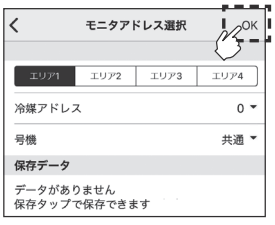
手順

1. 設定メニュー画面で[機能選択]をタップします。モニタエリア及びアドレスを選択する画面が表示されます。

お知らせ

室内ユニットの運転中は設定できません。全エリアの室内ユニットを停止させてから設定してください。

2. モニタアドレス選択画面で「エリア」「冷媒アドレス」「号機」を選択します。モニタアドレス選択画面で[OK]をタップすると、機能選択画面が表示されます。



8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-7. 機能選択（つづき）

手順

3. 設定したいモード番号の設定番号を選択します。
各モード番号を設定して[ ]をタップします。

お知らせ

・モード番号は号機選択で指定した共通/個別により異なります。
・設定を変更したモードは青色表示に変わります。
・機能選択の詳細は、室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

共通部品

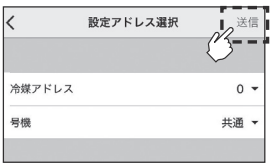
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-7. 機能選択（つづき）

手順

4. [機器に送信]をタップ
   手順5へ
   [保存]をタップ
   手順6へ
   [キャンセル]をタップすると、
   機器選択画面に遷移します。

5. アドレスと号機を選択し[送信]を
   タップすると、機能選択設定データ
   を機器に送信します。



8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-7. 機能選択（つづき）

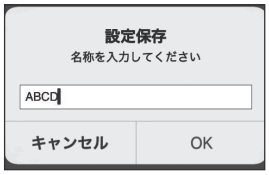
手順

6. 機能選択保存画面で、保存するモー
   ドを選択します。選択後、[完了]を
   タップします。

お知らせ

・選択できるモード数は最大5つです。
・変更したモード(青色表示)を選択す
ると緑色表示に変わります。

7. 保存名称を入力し[OK]をタップ
   すると、機能選択設定データを保存
   データに保存します。



8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

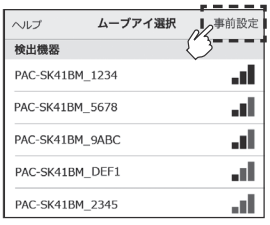
8-8. 事前設定

別置ムーブアイコントロールユニットの設定を接続せず事前に作成できます。
設定方法の手順のみ記載しています。機能の詳細については取扱説明書を参照してください。

手順

下記は一例です。
他の機能の事前設定情報を残す場合は複数回繰り返してください。

1. アプリを起動します。ムーブアイ
   選択画面が表示され、[事前設定]
   をタップします。

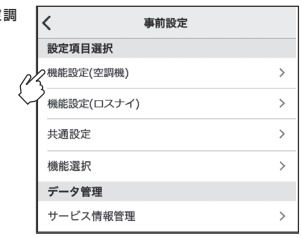


8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

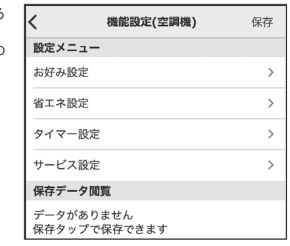
8-8-1. 機能設定(空調機)

手順

1. 事前設定画面の[機能設定(空調
   機)]をタップします。



2. 機能設定(空調機)画面で設定する
   項目をタップします。
   ※各設定メニュー画面が表示されるの
   で詳細は以下を参照してください。
   [お好み設定]について
   「8-8-1-1.お好み設定」へ
   [省エネ設定]について
   「8-8-1-2.省エネ設定」へ
   [タイマー設定]について
   「8-8-1-3.タイマー設定」へ
   [サービス設定]について
   「8-8-1-4.サービス設定」へ

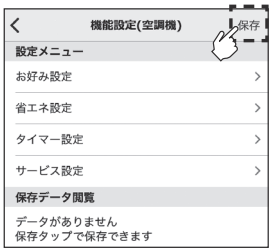


8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-1. 機能設定(空調機)(つづき)

手順

3. 機能設定(空調機)の設定完了後、画面の[保存]をタップします。



4. 保存名称を入力し[OK]をタップすると、設定データが保存されます。

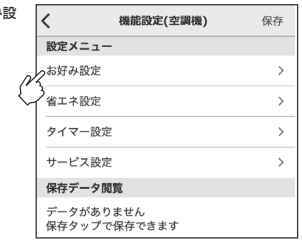
61

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-1-1. お好み設定

手順

1. 機能設定(空調機)画面の[お好み設定]をタップします。



2. お好み設定画面で設定する項目をタップします。
※各設定メニュー画面が表示されるので詳細は以下を参照してください。
[体感温度補正]について
「8-8-1-1-1.体感温度補正」へ
[お好み温度自動]について
「8-8-1-1-2.お好み温度自動」へ

62

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-1-1-1. 体感温度補正

手順

1. ぴ箇所をタップします。
[ ] 有効/[ ] 無効を切り替えることができます。

2. 設定後[<]をタップして機能設定(空調機)画面まで戻ります。

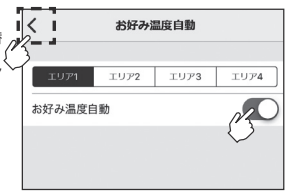
63

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-1-1-2. お好み温度自動

手順

1. ぴ箇所をタップします。
[ ] 有効/[ ] 無効を切り替えることができます。
他のエリアに設定する場合はエリアを切り替えて設定を繰り返します。



2. 設定後[<]をタップして機能設定(空調機)画面まで戻ります。

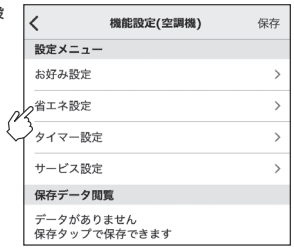
64

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

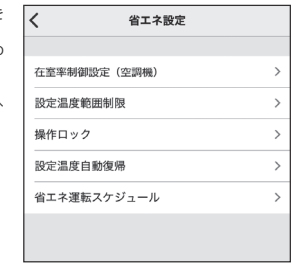
8-8-1-2. 省エネ設定

手順

1. 機能設定(空調機)画面の[省エネ設定]をタップします。



2. 省エネ設定画面で設定する項目をタップします。
※各設定メニュー画面が表示されるので詳細は以下を参照してください。
[在室率制御設定(空調機)]について
「8-8-1-2-1.在室率制御設定(空調機)」へ
[設定温度範囲制限]について
「8-8-1-2-2.設定温度範囲制限」へ
[操作ロック]について
「8-8-1-2-3.操作ロック」へ
[設定温度自動復帰]について
「8-8-1-2-4.設定温度自動復帰」へ
[省エネ運転スケジュール]について
「8-8-1-2-5.省エネ運転スケジュール」へ



65

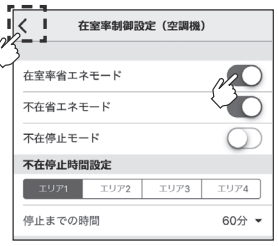
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-1-2-1. 在室率制御設定(空調機)

手順

1. ☝箇所をタップします。
[ ] 有効/[ ] 無効を切り替えることができます。

※不在停止モードを有効に設定すると不在停止詳細設定が設定できます。



2. 設定後[＜]をタップして機能設定(空調機)画面まで戻ります。

66

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-1-2-2. 設定温度範囲制限

手順

1. ☝箇所をタップします。
[ ] 有効/[ ] 無効を切り替えることができます。
設定温度範囲を設定します。
他のエリアに設定する場合はエリアを切り替えて設定を繰り返します。

2. 設定後[＜]をタップして機能設定(空調機)画面まで戻ります。

お知らせ

・[コピー]をタップすると選択しているエリアの設定をコピーすることができます。
・[貼付け]をタップすると[コピー]でコピーした設定を他のエリアへ貼り付けることができます。
・実際に設定する機種の設定温度範囲内で設定してください。また上限温度と下限温度が逆転しないようにしてください。これらが守られていない場合、本機能は正常に動作しません。

67

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-1-2-3. 操作ロック

手順

1. ☝箇所をタップします。
[ ] 有効/[ ] 無効を切り替えることができます。
他のエリアに設定する場合はエリアを切り替えて設定を繰り返します。

2. 設定後[＜]をタップして機能設定(空調機)画面まで戻ります。

お知らせ

・[コピー]をタップすると選択しているエリアの設定をコピーすることができます。
・[貼付け]をタップすると[コピー]でコピーした設定を他のエリアへ貼り付けることができます。

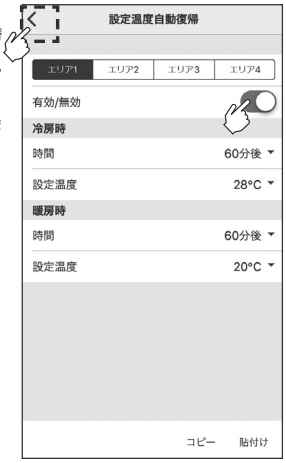
68

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-1-2-4. 設定温度自動復帰

手順

1. ぴ箇所をタップします。
[ ] 有効/[ ] 無効を切り替えることができます。
自動復帰の時間、設定温度を設定します。
他のエリアに設定する場合はエリアを切り替えて設定を繰り返します。



2. 設定後[<]をタップして機能設定(空調機)画面まで戻ります。

お知らせ

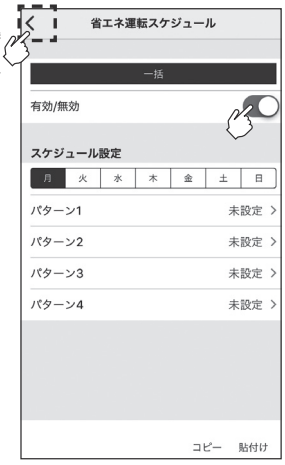
・[コピー]をタップすると選択しているエリアの設定をコピーすることができます。
・[貼付け]をタップすると[コピー]でコピーした設定を他のエリアへ貼り付けることができます。
・実際に設定する機種の設定温度範囲内で設定してください。設定温度範囲から外れている場合、本機能は正常に動作しません。

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-1-2-5. 省エネ運転スケジュール

手順

1. ぴ箇所をタップします。
[ ] 有効/[ ] 無効を切り替えることができます。
スケジュール設定の曜日・パターンを設定します。



2. 設定後[<]をタップして機能設定(空調機)画面まで戻ります。

お知らせ

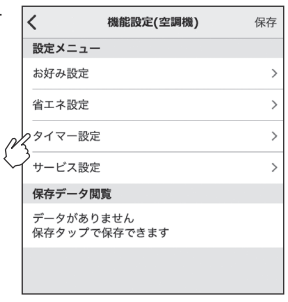
・[コピー]をタップすると選択しているエリアの設定をコピーすることができます。
・[貼付け]をタップすると[コピー]でコピーした設定を他のエリアへ貼り付けることができます。

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-1-3. タイマー設定

手順

1. 機能設定(空調機)画面の[タイマー設定]をタップします。



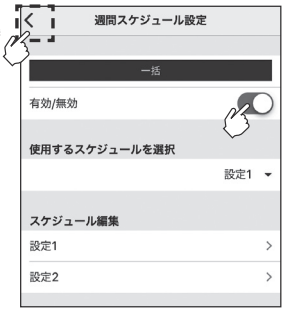
2. タイマー設定画面で設定する項目をタップします。
※各設定メニュー画面が表示されるので詳細は以下を参照してください。
[週間スケジュール設定]について
「8-8-1-3-1. 週間スケジュール設定」へ
[室外サイレントモード]について
「8-8-1-3-2. 室外サイレントモード」へ

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-1-3-1. 週間スケジュール設定

手順

1. ぴ箇所をタップします。
[ ] 有効/[ ] 無効を切り替えることができます。
スケジュールを選択・編集します。



2. 設定後[<]をタップして機能設定(空調機)画面まで戻ります。

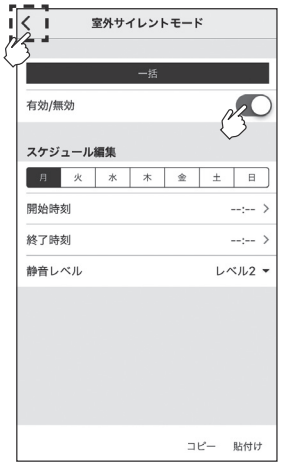
共通部品

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-1-3-2. 室外サイレントモード

手順

1. ☝箇所をタップします。
[ ] 有効/[ ] 無効を切り替えることができます。
スケジュールを編集します。



2. 設定後[＜]をタップして機能設定(空調機)画面まで戻ります。

お知らせ

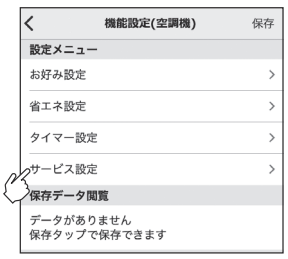
・[コピー]をタップすると選択している曜日の情報をコピーすることができます。
・[貼付け]をタップすると[コピー]でコピーした情報を他の曜日へ貼り付けることができます。

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

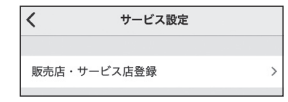
8-8-1-4. サービス設定

手順

1. 機能設定(空調機)画面の[サービス設定]をタップします。



2. サービス設定画面の[販売店・サービス店登録]をタップします。



3. 入力したい項目を選択し、設定します。

4. 設定後[＜]をタップして機能設定(空調機)画面まで戻ります。

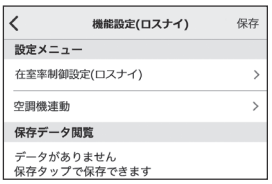
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-2. 機能設定(ロスナイ)

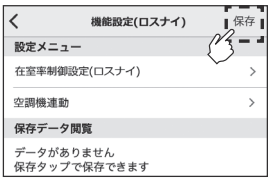
手順

1. 事前設定画面で[機能設定(ロスナイ)]をタップします。

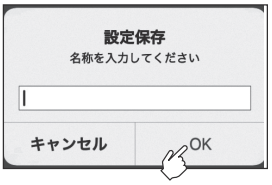
2. 機能設定(ロスナイ)画面で設定する項目をタップします。
※下記参照
[在室率制御設定(ロスナイ)]について
「8-8-2-1. 在室率制御設定(ロスナイ)」へ
[空調機連動]について
「8-8-2-2. 空調機連動」へ



3. 機能設定(ロスナイ)の設定完了後、画面の[保存]をタップします。



4. 保存名称を入力し[OK]をタップすると、設定データが保存されます。

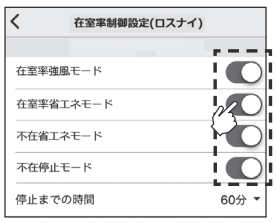


8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-2-1. 在室率制御設定(ロスナイ)

手順

1. ☝箇所をタップします。
[ ] 有効/[ ] 無効を切り替えることができます。



2. 設定後[＜]をタップして機能設定(ロスナイ)画面まで戻ります。

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-2-2. 空調機連動

手順

1. ☝箇所をタップします。
[ ] 有効/[ ] 無効を切り替えることができます。

2. 設定後[＜]をタップして機能設定（ロスナイ）画面まで戻ります。

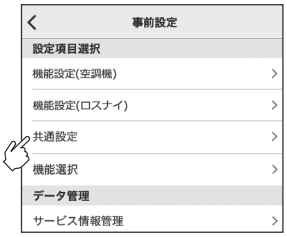
77

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

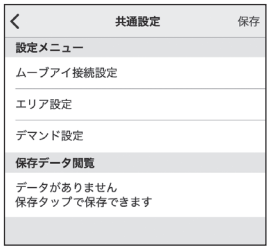
8-8-3. 共通設定

手順

1. 事前設定画面の【共通設定】をタップします。



2. 共通設定画面で設定する項目をタップします。
※各設定メニュー画面が表示されるので詳細は以下を参照してください。
【ムーブアイ接続設定】について
「8-8-3-1.ムーブアイ接続設定」へ
【エリア設定】について
「8-8-3-2.エリア設定」へ
【デマンド設定】について
「8-8-3-3.デマンド設定」へ



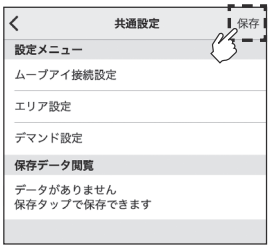
78

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

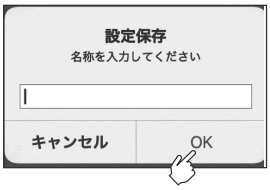
8-8-3. 共通設定（つづき）

手順

3. 共通設定の設定完了後、共通設定画面の【保存】をタップします。



4. 保存名称を入力し【OK】をタップすると、設定データが保存されます。



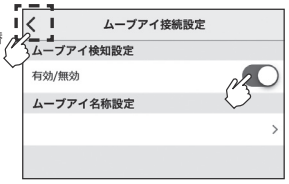
79

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-3-1. ムーブアイ接続設定

手順

1. ☝箇所をタップします。
[ ] 有効/[ ] 無効を切り替えることができます。



2. 設定後[＜]をタップして共通設定画面まで戻ります。

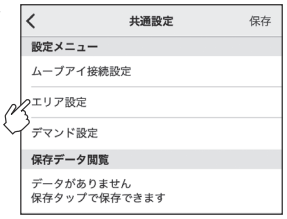
80

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-3-2. エリア設定

手順

1. 共通設定画面の[エリア設定]をタップします。



2. エリア設定画面で[エリア名称設定]をタップします。

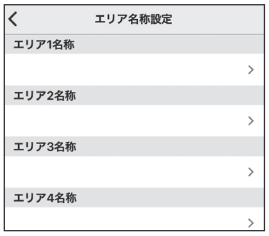
81

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-3-2-1. エリア名称設定

手順

1. 名称変更するエリアをタップし、エリア名称を入力します。



2. 設定後[<]をタップして共通設定画面まで戻ります。

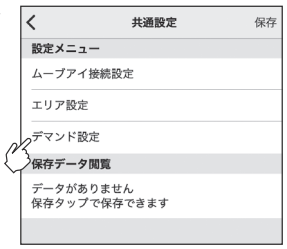
82

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

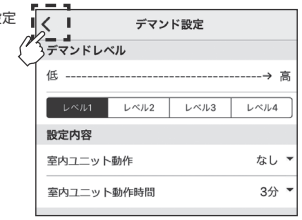
8-8-3-3. デマンド設定

手順

1. 共通設定画面の[デマンド設定]をタップします。



2. 設定後[<]をタップして共通設定画面まで戻ります。



83

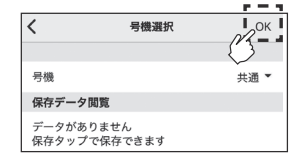
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-4. 機能選択

手順

1. 事前設定画面の[機能選択]をタップします。

2. 号機を選択し[OK]をタップします。



84

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-4. 機能選択（つづき）

手順

3. 設定したいモード番号の設定番号を選択します。
   各モード番号を設定して［保存］をタップすると、機能選択保存画面が表示されます。

お知らせ

・モード番号は号機選択で指定した共通/個別により異なります。
・設定を変更したモードは青色表示に変わります。
・機能選択の詳細は、室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-4. 機能選択（つづき）

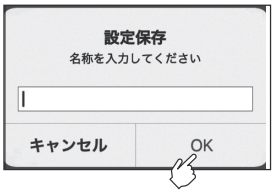
手順

4. 機能選択保存画面で、保存するモードを選択します。
   選択後、［完了］をタップします。

お知らせ

・選択できるモード数は最大5つです。
・変更したモード（青色表示）を選択すると緑色表示に変わります。

5. 保存名称を入力し［OK］をタップすると機能選択設定データを保存データ閲覧に保存します。



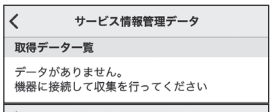
8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-8-5. サービス情報管理

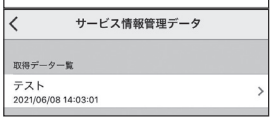
手順

1. 事前設定画面の［サービス情報管理］をタップします。

2. 保存データがない場合、右記画面が表示されます。



   保存データがある場合は、取得データ一覧に、取得したデータが表示されます。



3. ［メールで送信］をタップすると、保存データをメールで送信できます。
   ［データ確認］をタップすると、データ確認画面に遷移します。
   ［名称変更］をタップすると、保存データの名称を変更できます。
   ［データ削除］をタップすると、作成したデータを削除します。
   ［キャンセル］をタップすると、サービス情報管理データ画面に遷移します。

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-9. 事前設定（削除）

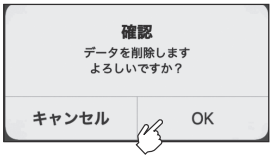
・設定したデータを削除する方法は下記のとおりです。

手順

1. 機能設定（空調機）画面で削除する設定データをタップし、メニューを表示します。

2. メニューのリストから［データ削除］をタップします。

3. 確認画面で［OK］をタップします。
   設定データが削除されます。



8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-10. 事前設定（送信）

別置ムーブアイコントロールユニットに接続後、事前設定のデータをアプリから別置ムーブアイコントロールユニットに反映します。

手順

1. ［機能設定（空調機）］をタップします。

2. 送信する保存データをタップします。

8. 別置ムーブアイコントロールユニットの設定方法（つづき）

8-10. 事前設定（送信）（つづき）

手順

3. ［機器に送信］をタップすると、保存データを送信することができます。

9. 適用機種

(1) A制御スリム室内ユニット ※(M)PKH-RP.KAL形を除く	2004年10月発売以降のモデル
(2) フリープラン室内ユニット	2004年10月発売以降のモデル
(3) 業務用ロスナイ天井埋込形　マイコンタイプ	2000年4月発売以降のモデル
(4) 業務用ロスナイ天井カセット形　マイコンタイプ	2001年4月発売以降のモデル
(5) 業務用ロスナイ天井埋込形加湿付　マイコンタイプ	2001年4月発売以降のモデル
(6) 業務用外気処理ユニット	2011年2月発売以降のモデル

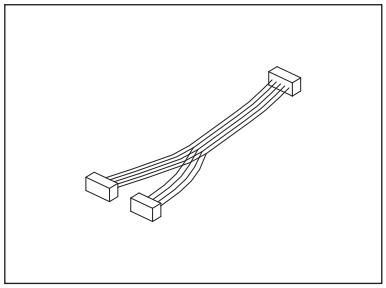
10. 商標について

・「MELRemo ＋」は三菱電機株式会社の商標です。
・iPhone、iPad、iPod touchは米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
・iOSは、Apple Inc.のOS名称です。IOSは、Cisco Systems,Inc.又はその関連会社の米国及びその他の国における登録商標又は商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
・App Storeは Apple Inc. が運営するiPhone、iPad、iPod touch向けアプリケーションソフトウェアのダウンロードサービスを行えるサービスの名称です。
・Android、Google Play は、Google LLCの商標です。
・Google Pixelは、Google LCCの商標又は登録商標です。
・Bluetooth®ワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する商標であり、三菱電機株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマーク及び番号は、各所有権者が所有する財産です。

HA 端子接続用ケーブル

● PAC-SK31HN

使用目的 / 用途



● 本品は、市場で HA 端子を使用するために、室内機基板上の CN51 コネクタを CN51 + CN41(HA 端子) に変換する配線部品です。

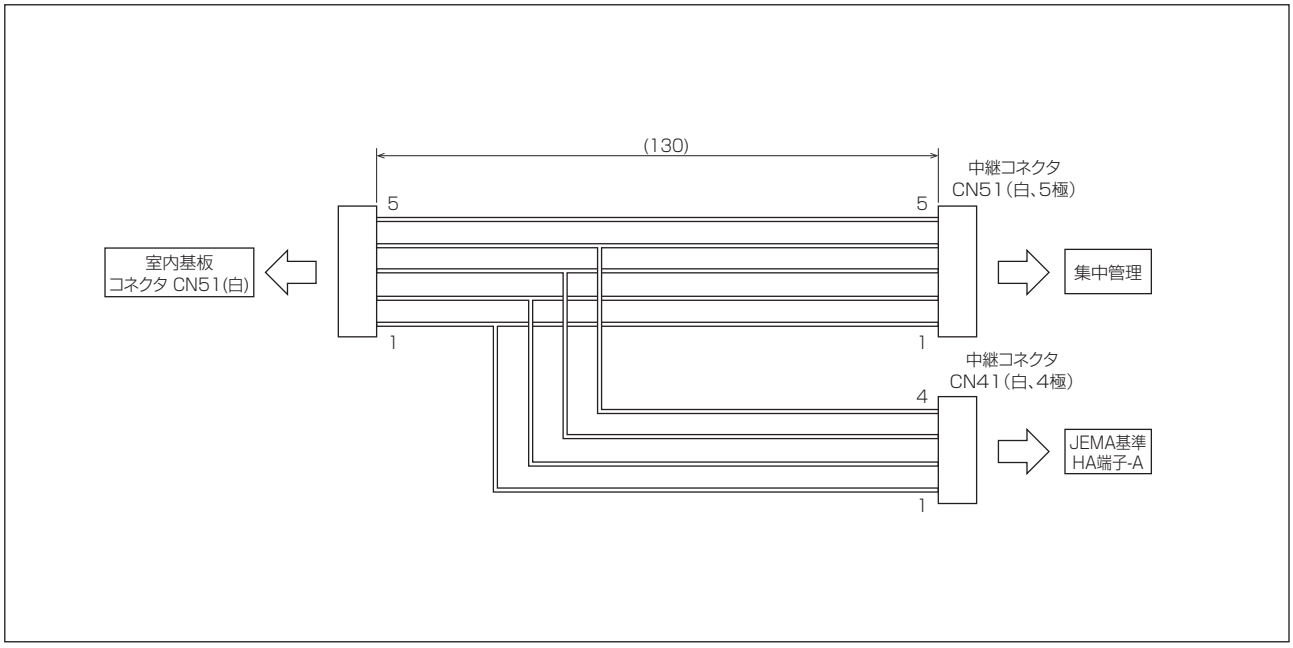
注　意

・対象ユニット以前の過年度品の場合や基板上の CN41 が使用できる状態の場合は、本品は必要ありません。

対象ユニット

● PL-ZRP/ERP/HRP・HA シリーズ
● PL-ZRP/ERP/HRP・EA9 以降
● PL-RP・GA3 以降
● PM-RP・FA17 以降
● PC-RP・KA(L)19 以降
● PC-RP・HA19/BA19/CA19 以降
● PK-RP・LA3/KA19 以降
● PS-RP・KA19 以降

外形図



BT79L883H04

三菱電機パッケージエアコン別売部品
HA端子接続用ケーブル据付工事説明書

形名:PAC-SK31HN

適応機種①:PL-ZRP/ERP/HRP・HAシリーズ
PL-ZRP/ERP/HRP・EA9以降
PL-RP・GA3以降　PM-RP・FA17以降
PC-RP・KA(L)19以降　PC-RP・HA19以降
PS-RP・KA19以降　PK-RP・LA3以降
PK-RP・KA19以降　PLZG-P・MEA2以降
適応機種②:PLFY-(E)P.HMシリーズ　PLFY-(E)P.EMシリーズ
PLZ-KP.EMシリーズ　PLFY-P.GMシリーズ
PLFY-P.PMシリーズ

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷又は家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
  この据付工事説明書は、お客様で保管していただくように依頼してください。
  また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。
- 接続や固定が不完全な場合や、途中接続の場合は、発熱・火災などの原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。
- 電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災などの原因になります。

据付けは、販売店又は専門業者に依頼する。
- お客様ご自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

アース線は確実に取り付ける。
- 感電の原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

⚠注意

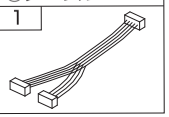
電気配線は、電流容量に合った規格品の電源を使用すること。
- 漏電や発熱・火災などの原因になります。

電気配線は、張力が掛からないように配線工事をする。
- 断線したり、発熱・火災などの原因になります。

元電源を切った後に電気工事をする。
- 感電・故障や動作不良の原因になります。

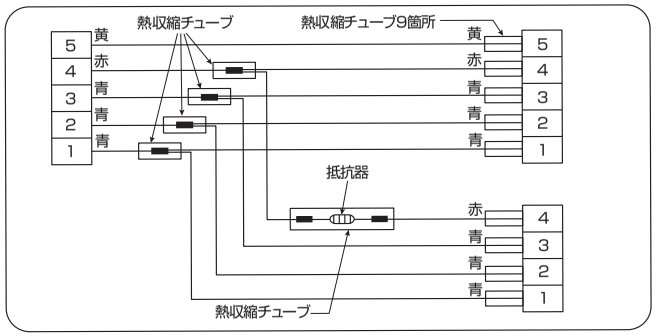
1. 部品の確認

この箱の中には本据付工事説明書の他に下記部品が同梱されています。

品名	①ケーブル
個数	1
形状	

2. 概　要

この部品は、適応機種①②においてJEMA標準HA端子−A接続する際に使用します。
また、適応機種①に対して、A制御運転表示キット(PAC-SF40RM)を接続する際にも使用します。
取付けには、室内ユニット及び別売部品の据付工事説明書も併せてご覧ください。

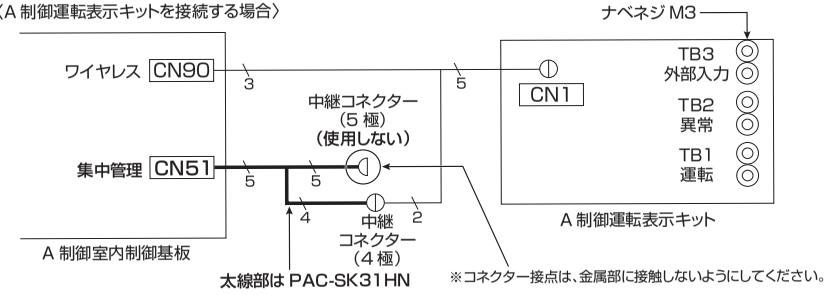


3. 取付方法

※電気品ボックスのカバーなどのとりはずし方法は、室内ユニット据付工事説明書の電気配線工事の項目を参照してください。

(1)電気品ボックスのカバーをとりはずします。
(2)室内制御基板のコネクターCN51にケーブル①を取り付けます。
(3)中継コネクター(4極)に別売部品又は現地配線を接続します。
※適応機種①に対して　A制御運転表示キットを接続する場合は下図のように接続してください。
(4)ケーブル①をボードボックスのツメにて固定します。
ケーブル①は電気品ボックス内に収納してください。
(5)とりはずした部品を元のとおりに取り付けてください。

〈A制御運転表示キットを接続する場合〉



4. 試運転

室内ユニットの据付工事説明書に従って、試運転を行ってください。

1

取付説明書
HA端子接続用ケーブル：PAC-SK31HN
(本マニュアル用に変更・修正してあります)

技術資料

無線 LAN アダプタ（受注対応品）

● PAC-SK43ML

使用目的 / 用途

●“無線 LAN アダプタ（受注対応品）”を用いて、空調機をインターネットにつなげることで、機器管理者様、施工・メンテナンス業者様がスマートフォンやパソコンで遠隔地から機器の稼働状況や異常情報を確認できるため機器管理や保守メンテナンス業務を効率化出来る安心・便利なサービスを提供します。

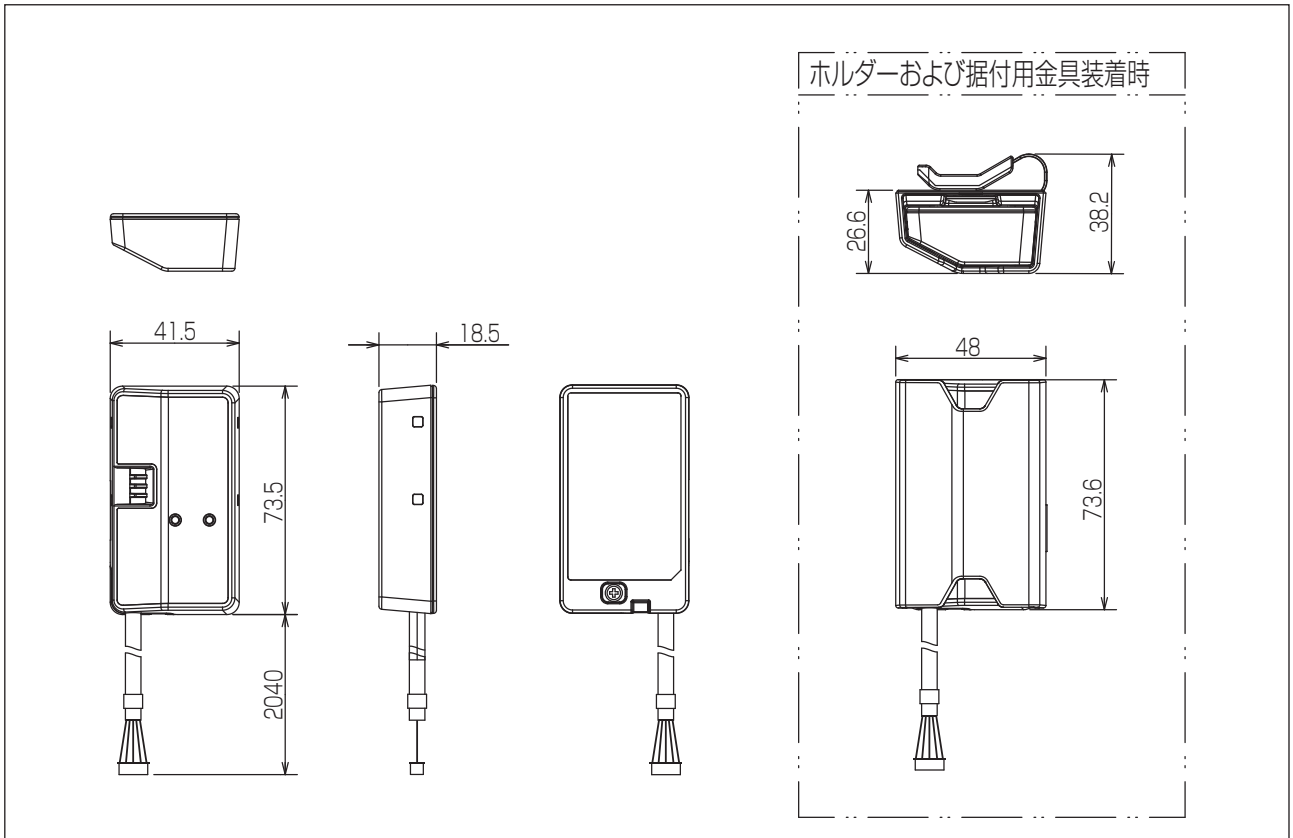
対象ユニット

● PL-ZRP/ERP/HRP･HA、EA9 以降、PL-RP･GA3 以降、P □ -(H)RP･ □ A(18) 以降
（2021 年 5 月発売以降の製品に対応）

仕　様

形　　名	PAC-SK43ML
電　　源	DC 12.7V（室内ユニットからの供給）
使用環境条件	屋内専用（周囲温度　0 ～ 40℃　結露ないこと）
室内ユニット接続線	5 芯専用ケーブル
製品質量	0.13kg（室内ユニット接続線／ホルダー／据付用金具含む）

外形図（単位：mm）



RH79A096H02

MITSUBISHI ELECTRIC

無線LANアダプタ

据付工事説明書

販売店・工事店様用

PAC-SK43ML

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事前にこの据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

●ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告（誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの）

■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くには設置しない。
誤動作による事故の原因になります。

■心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を装着している方の近くで使用しない。
医療機器の誤動作の原因になります。

■お客様ご自身で分解・改造・修理をしない。
感電・火災・ケガの原因になります。

■以下の場所にアダプタを設置しないこと。
・可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所
可燃性ガスがアダプタの周囲にたまると、火災・爆発の原因になります。

■以下の特殊な環境にアダプタを据え付けないこと。
・油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ
・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
電気部品腐食による感電・性能低下・故障・発煙・火災の原因になります。

■据付けは、お買上げの販売店又は専門業者に依頼する。
据付けには専門の知識と技術が必要です。
お客様ご自身で据付工事をされ不備があると、感電・火災・アダプタの落下によるケガの原因になります。

■据付けは、据付工事説明書に従って確実に行う。
据付けに不備があると、感電・火災・アダプタの落下によるケガの原因になります。

■異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止してブレーカーを切ること。
お買い上げの販売店・お客様相談窓口に連絡すること。
異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災の原因になります。

■アダプタを病院など医療機関に据え付ける場合はノイズ対策を行うこと。
ノイズが医療機器に悪影響を与え、医療行為を妨げる原因になります。

●据付工事終了後、❹「据付工事後の確認」を必ず確認し、この据付工事説明書をお客様にお渡しください。
お客様に、取扱説明書・保証書とともに大切に保管していただくように依頼してください。

■"図記号"の意味は次のとおりです。

禁止	指示を守る	水ぬれ禁止

■梱包材は破棄すること。
窒息事故の原因になります。

■据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。
ケガの原因になります。

■据付工事部品は、必ず当社付属部品を使用する。
当社指定部品を使用しないと、感電・火災・アダプタの落下によるケガの原因になります。

■取付けは、質量に十分耐えるところに確実に行う。
強度の不十分な所に取付けると、アダプタ本体が落下し、ケガの原因になります。

■配線や端子接続部に外力や応力が伝わらないように固定する。
接続や固定に不備があると、断線・発熱・発煙・火災の原因になります。

■アダプタの接続作業時はブレーカーを切る。
感電の原因になります。

■お客様ご自身で移動・再据付けはしない。
据付けに不備があると感電・火災などの原因になります。
お買い上げの販売店又は専門業者にご依頼ください。

■アダプタの据付けは、販売店又は専門業者が据付工事説明書に従って行うこと。
感電・火災の原因になります。

■アダプタを水・液体で洗わないこと。
ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。

■アダプタは水のかかるところや高湿度で結露するところには据え付けないこと。
ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。

■濡れた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。
感電・故障・発煙・火災の原因になります。

⚠注意（誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの）

■直射日光のあたる場所、又は周囲温度が 40℃以上・0℃以下になる場所にアダプタ本体を取付けない。
直射日光や高温・低温環境はアダプタ本体の変形・故障の原因になります。

■特殊環境には使用しない。
油（機械油を含む）・蒸気・硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

■他の無線機器、電子レンジ、コードレスフォン、ファクシミリなどの近くで使用しない。
誤動作の原因になります。

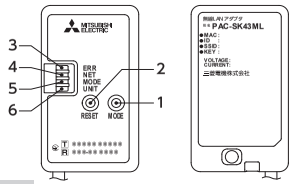
■幼児の手の届く場所には取付けない。
ケガの原因になることがあります。

■静電気による破壊を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属に手を触れて、身体の静電気を取り除く。
人体などからの静電気は、アダプタ本体を破壊するおそれがあります。

■取付工事・配線工事をする場合、接続機器の電源を切ってから行う。
接続機器の電源を切らなかった場合、アダプタ本体・接続機器の誤動作・故障の原因になります。

1 各部の名称

No.	名　称	説　明
1	「MODE」ボタン	設定モードを選択します。
2	「RESET」ボタン	再起動、又は初期化します。
3	「ERR」ランプ（オレンジ）	異常時に点滅します。
4	「NET」ランプ（緑）	無線LAN通信時に点滅します。
5	「MODE」ランプ（オレンジ）	設定モード時に点滅します。
6	「UNIT」ランプ（緑）	室内ユニット本体との通信時に点滅します。



■「RESET」ボタン
・約2秒間押すと、無線LANアダプタを再起動します。
・約15秒間押すと、工場出荷状態に初期化されます。

初期化されるとすべての設定情報が失われます。この操作をする際は、十分に注意してください。

2 付属部品（取付け前に付属部品を確認してください）

①	無線LANアダプタ		1	④	接続ケーブル固定用結束バンド		1	⑦	据付用金具		1
②	固定用ケーブルクランプ		1	⑤	ホルダー		1	⑧	設定情報シール※		1
③	②の固定用ネジ 4×16		1	⑥	⑤の固定用ネジ 3.5×16		2				

※初期（ネットワーク）設定する際に必要な情報です。据付後にお客様に必ずお渡し下さい。

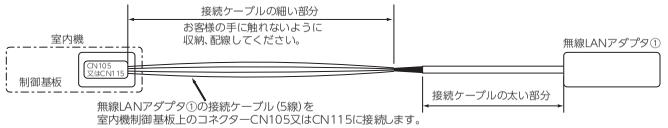
3 無線LANアダプタの設置

室内ユニットへの接続、機器内部でのケーブル引き回しなどについては
室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

必ずブレーカーを切る
感電の原因になります。

(1)室内機制御基板との接続

●室内機制御基板のCN105又はCN115に無線LANアダプタ①の接続ケーブル（5線）を接続します。
接続位置については、室内ユニットの電気配線図を参照してください。



お願い
- ●無線LANアダプタ①の接続ケーブル（5線）は延長又は切断しますと、動作不良になります。また接続ケーブル（5線）を電源線やアース線とまとめたりしないで、できるだけ離してください。
- ●静電気による基板破損防止のため、必ず静電気除去を行って作業してください。

※ツイン、トリプル、フォーの空調機システムに接続の場合は、いずれかの一台に無線LANアダプタ①を接続してください。
MAリモコンが取付けられている室内ユニットがある場合は、その室内ユニットに無線LANアダプタ①を接続してください。

●アダプタ及び接続ケーブルは、室内ユニット本体周辺に固定してください。

(2)無線LANアダプタの据付

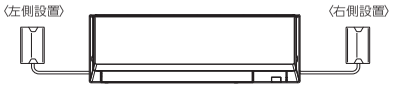
●無線LANアダプタ①を室内ユニット周辺に固定してください。

お願い
- ●無線LANアダプタ①の設置場所は、無線LANアダプタ①の接続ケーブル（5線）が、室内機へ届く範囲としてください。
- ●接続ケーブル（5線）の現地での延長は、正常に動作しなくなりますので、絶対に行わないでください。
- ●ホルダー⑤の取付けは、柱・壁などに2本の固定用ネジ⑥を使って確実に固定してください。

(3)据付例

(a) 壁掛形

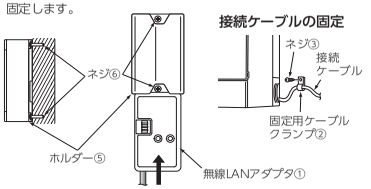
壁に設置する場合



壁掛形の場合、接続ケーブルは室内ユニット背面の配管スペースを通してください。

1）ホルダー⑤を下図の向きでネジ⑥を使って固定します。

2）ホルダー⑤に無線 LANアダプタ①を、下図の向きで"カチッ"と手ごたえがある位置まではめ込みます。

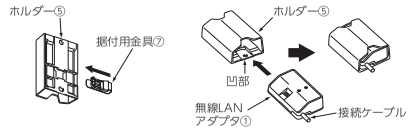


接続ケーブルの固定

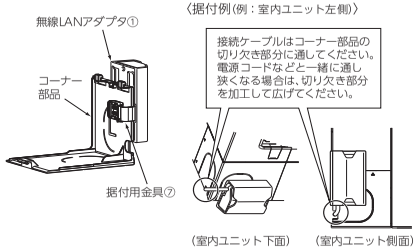
壁に設置しない場合

1）ホルダー⑤に据付用金具⑦をつきあたるまではめ込みます。

2）無線 LANアダプタ①の接続ケーブルを、ホルダー⑤の凹部に合う向きで"カチッ"と手ごたえがある位置まではめ込みます。



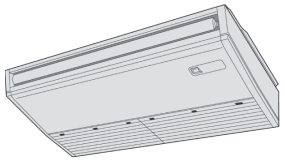
3）据付用金具⑦をコーナー部品にはさみ込み、ホルダー⑤に取付けた無線LANアダプタ①を固定します。



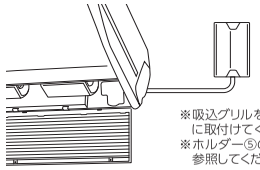
3

3 無線LANアダプタの設置（つづき）

(b) 天吊形



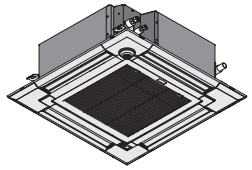
壁面に直接据付ける場合



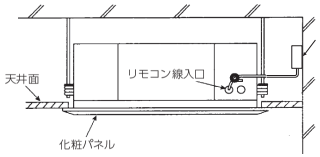
※吸込グリルを開いた時に干渉しない位置に取付けてください。
※ホルダー⑤の固定方法は、(a) 壁掛形を参照してください。

お願い
無線LANアダプタ①を取付ける場合には、サービスできるように点検口を設けて柱・壁などにホルダー⑤を使って固定してください。

(c) カセット形



天井内へ据付ける場合

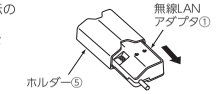


●落下しない場所に固定してください。
※天井面に直接置いた場合、振動などにより音が発生することがありますので防振対策を行ってください。

お願い
無線LANアダプタ①を取付ける場合には、サービスできるように点検口を設けて柱・壁などにホルダー⑤を使って固定してください。

(4)ランプの確認やボタンを操作する場合

●無線LANアダプタ設置後にランプ表示の確認やボタンを操作する時は、右図のように、無線LANアダプタ①をホルダー⑤からとりはずした状態で確認してください。



4 据付工事後の確認

確認日　　確認者名

□の中に✓印をいれて確認してください。確認後、この据付工事説明書をお客様にお渡しください。

□無線LANアダプタが落下しないように固定されていますか？
□工事終了後、ブレーカーを入れましたか？
□無線LANアダプタの「UNIT」ランプが5秒に1回点滅していますか？
（「ERR」ランプ、「NET」ランプ、「MODE」ランプは消灯しています）

□お客様への説明
同梱している取扱説明書に従って、「安全のために必ずお守りください」をご確認の上、設定を行うようにお客様に説明してください。

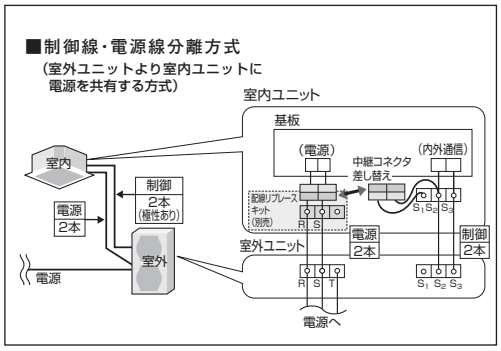
設定情報シール⑧は、お客様が初期（ネットワーク）設定する際に必要な情報です。据付後にお客様に必ずお渡しください。

4

配線リプレースキット

● PAC-SJ58HR

使用目的 / 用途



- “配線リプレースキット”は、室外・室内間を制御線・電源線分離方式（室外ユニットより室内ユニットに電源を供給する方式）や制御線単独方式（内外別受電方式）の配線にも対応する部品です。
- 本品は、室内ユニットに電源（AC200V）を給電する際に使用します。
- 空調機のリニューアルをする際、既設の配線方式を有効に再利用できます。※線径・線種により制約を受ける場合があります。

注　意
・室外ユニット制御基板のディップスイッチの設定変更が必要です。

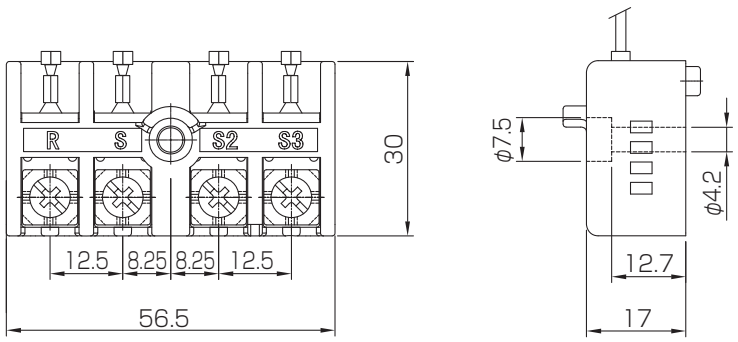
対象ユニット

● PM-(H)RP40 ～ 80FA19

仕　様

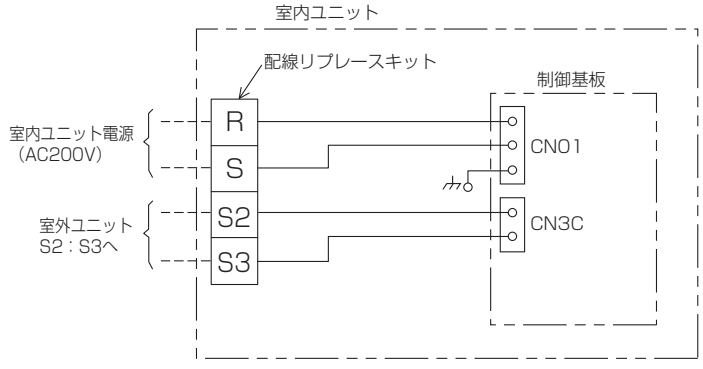
形　　名	PAC-SJ58HR
端子盤定格	20A・300V
端子盤材質	不飽和ポリエステル
構 成 部 品	端子盤（リード線結線済み）× 1、ネジ× 1 ファスナー（リード線結束用）× 1

外形図（単位：mm）



電気配線図

配線リプレースキット接続後の配線図（内外別受電方式等とする場合）



・室内ユニットに取り付いている端子台および制御基板のコネクタCN01とCN3Cに接続されている配線を取り外し、配線リプレースキットを同梱のネジで取り付けたうえで制御基板のコネクタCN01およびCN3Cと接続してください。

BT79C195H04

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機パッケージエアコン別売部品 配線リプレースキット据付工事説明書

形名:PAC-SJ58HR
適応機種:PL-ZRP/ERP·EAシリーズ用
PM-(H)RP·FAシリーズ用

安全のために必ず守ること

●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋·家財などの損害に結びつくもの。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法·お手入れの仕方等を説明してください。また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電·火災等の原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
据付けに不備があると、水漏れや感電·火災等の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」およびこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧、ブレーカーを使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると、感電·火災等の原因になります。

⚠注意

電気配線は、電流容量に合った規格品の電源を使用すること。
漏電や発熱·火災等の原因になります。

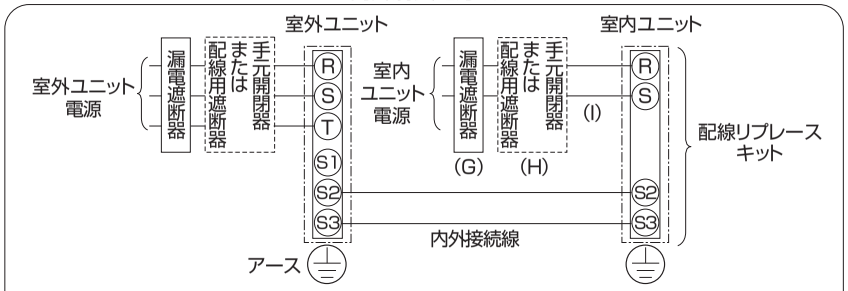
元電源を切った後に電気工事をする。
感電·故障や動作不良の原因になります。

電気配線は、張力が掛からないように配線工事をする。
断線したり、発熱·火災等の原因になります。

1. 概　要

この部品は、配線リプレース対応機種において、下記配線パターンのように室内ユニットに電源（AC200V）を給電する際に使用します。
取付けには、室内ユニットの据付工事説明書も併せてご覧ください。

－内外別受電方式－

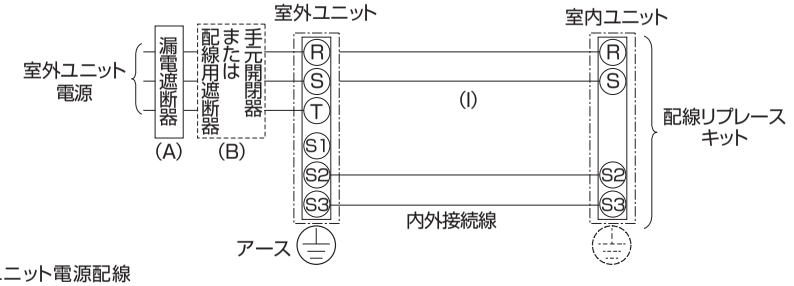


室内ユニット電源配線

記号	(G)	(H)			(I)
室内ユニットの合計台数	漏電遮断器定格電流	手元開閉器		配線用遮断器定格電流	電源線太さ
		開閉器容量	B種ヒューズ		
4台以下	15A	15A	15A	15A	2.0㎟

●室内ユニットの説明書類に同封されたラベルBを、室内ユニットおよび室外ユニットそれぞれの配線図の近傍に貼り付けてください。

－室外ユニットより、室内ユニットに電源を供給する方式－



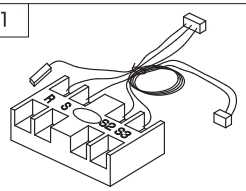
ユニット電源配線

記号	(A)	(B)	(I)
室内ユニットの合計台数	漏電遮断器定格電流	配線用遮断器定格電流	電源線太さ
4台以下	15A～40A	15A～40A	2.0㎟
	50A	50A	3.5㎟

●室内ユニットの説明書類に同封されたラベルCを、室内ユニットおよび室外ユニットそれぞれの配線図の近傍に貼り付けてください。
●内線規程「1305－1不平衡負荷の制限」より、不平衡率30%以内に入らない場合は、本配線パターンとすることはできません。

2. 同梱部品

この箱の中には、本据付工事説明書の他に下記部品が同梱されていますので、ご確認願います。

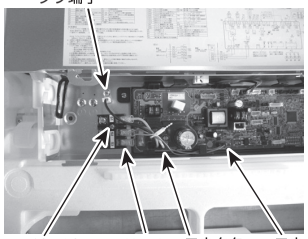
品名	①端子盤 (リード線結線済み)	②ネジ (M4×20)
個数	1	1
形状		

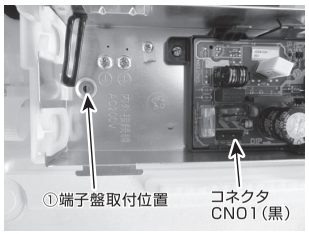
3. 取付方法

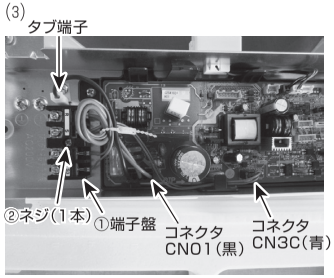
※電気品カバーなどの取外し方法は、室内ユニット据付工事説明書の電気配線工事の項目を参照願います。

(1) 電気品ボックスのカバーを取外します。
(2) ネジ(1本)とコネクタCN01(黒)·CN3C(青)とタブ端子を外し、端子盤を取外します。
(3) 端子盤取付位置に①端子盤を②ネジ(1本)にて図の向きに取付け、コネクタCN01(黒)·CN3C(青)とタブ端子を取付けます。

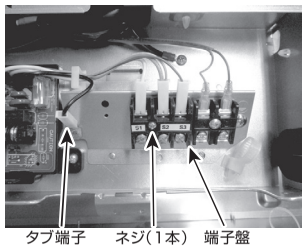
PL-ZRP/ERP·EAシリーズの場合

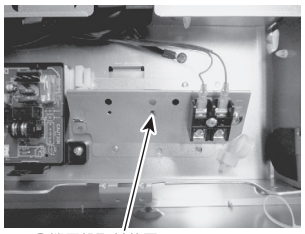
(1)


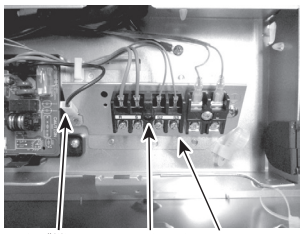
(2)


(3)


PM-(H)RP·FAシリーズの場合

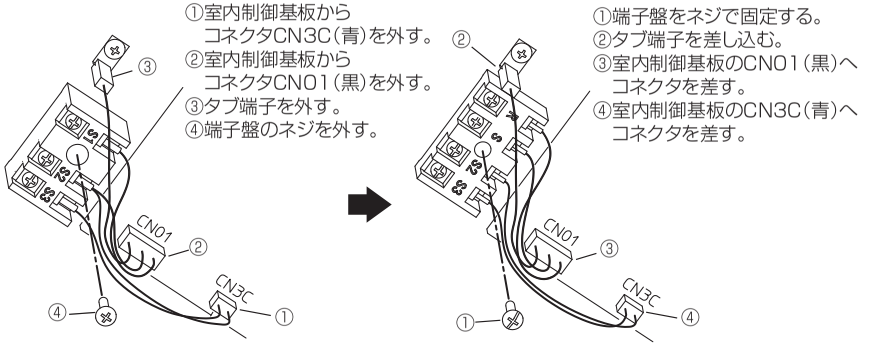
(1)


(2)


(3)


〈取付方法詳細図〉

図示はPL-ZRP/ERP/EAシリーズの場合を示す。



4. 電気配線

必ず室内ユニット据付工事説明書に従って、電気配線工事を施工してください。

5. 室内ユニットの説明書類に同封されているラベルを、室内ユニットおよび室外ユニットそれぞれの電気配線図近傍に貼付けてください。

貼付けラベルは3種類(ラベルA～ラベルC)付属しています。配線パターンに合わせたラベルを貼付けてください。
内外別受電方式……ラベルB　　室外ユニットより、室内ユニットの電源を供給する方式……ラベルC

6. 室外制御基板のディップスイッチの設定変更

室外ユニット制御基板上のディップスイッチの設定変更が必要です。

室外制御基板(40～63形の場合はスイッチ基板) ディップスイッチ(SW8-3)の設定 ※室外ユニットの据付説明書を確認してください。	ON / OFF 1 2 3 〈SW8〉 SW8-3をONに設定する

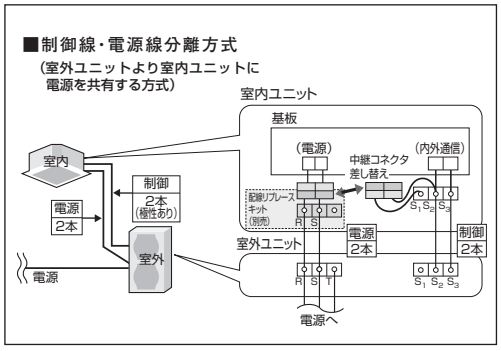
7. 試運転

室内ユニットの据付工事説明書に従って、試運転を行ってください。

配線リプレースキット

● PAC-SG96HR

使用目的 / 用途



- “配線リプレースキット”は、室外・室内間を制御線・電源線分離方式（室外ユニットより室内ユニットに電源を供給する方式）や制御線単独方式（内外別受電方式）の配線にも対応する部品です。
- 本品は、室内ユニットに電源（AC200V）を給電する際に使用します。
- 空調機のリニューアルをする際、既設の配線方式を有効に再利用できます。※線径・線種により制約を受ける場合があります。

注　意
・室外ユニット制御基板のディップスイッチの設定変更が必要です。

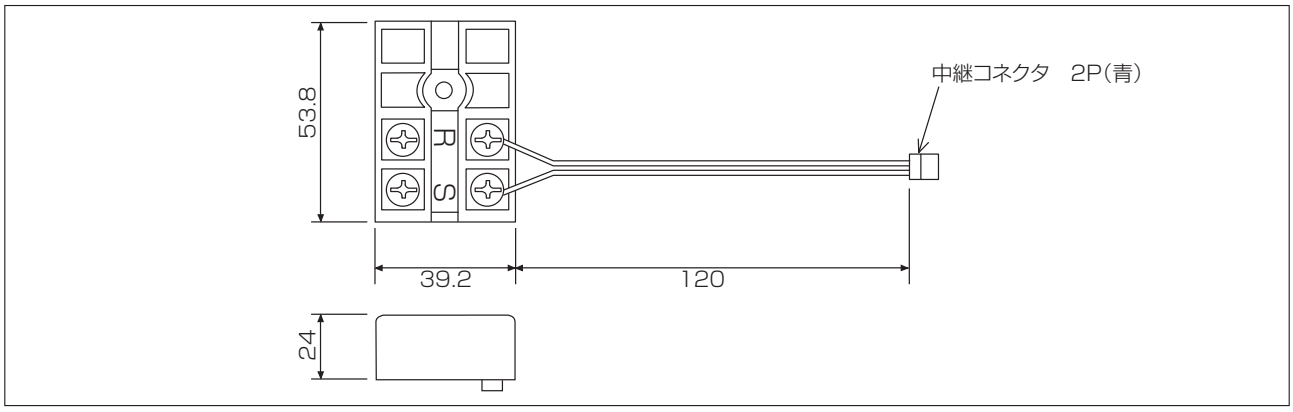
対象ユニット

- PC-RP40 ～ 160KA(L)19
- PC-RP224・280BA19/CA19
- PF-RP224・280EA3

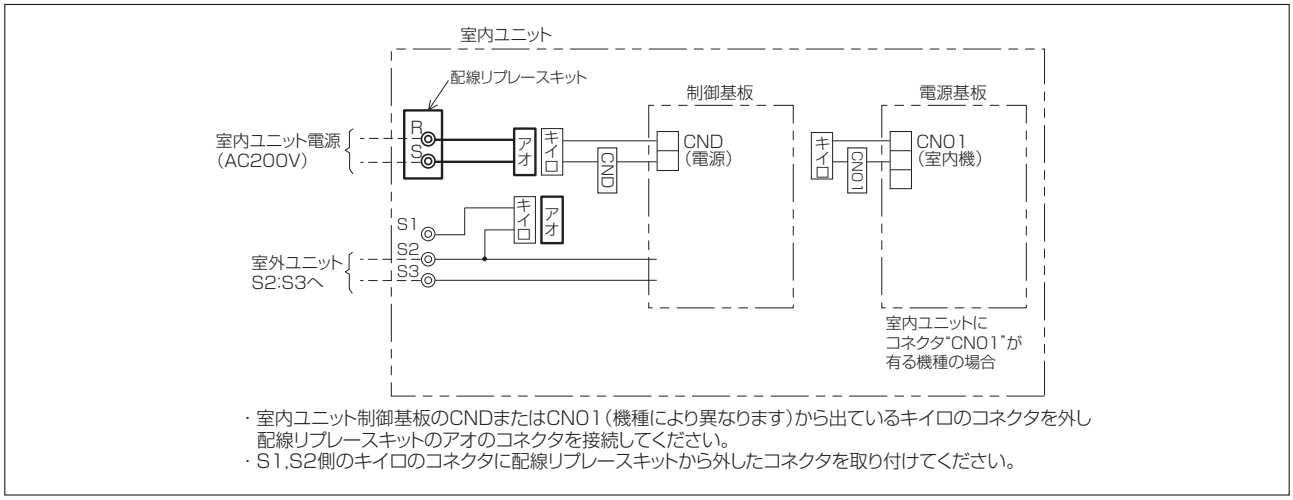
仕　様

形　名	PAC-SG96HR
端子盤定格	30A・330V
端子盤材質	変性メラミン
構成部品	端子盤（リード線結束済）× 1、ネジ× 1 ファスナー（リード線結束用）× 1

外形図（単位：mm）



配線図（配線リプレースキット接続後・内外別受電方式等とする場合）

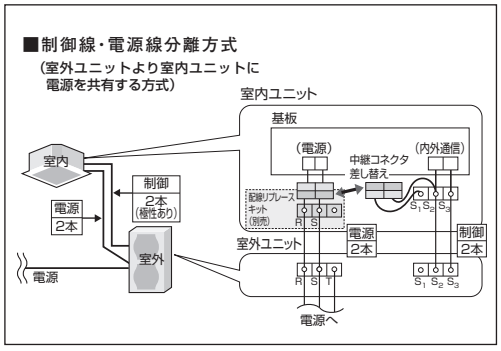


・室内ユニット制御基板のCNDまたはCN01（機種により異なります）から出ているキイロのコネクタを外し配線リプレースキットのアオのコネクタを接続してください。
・S1,S2側のキイロのコネクタに配線リプレースキットから外したコネクタを取り付けてください。

配線リプレースキット

● PAC-SG97HR

使用目的 / 用途



- “配線リプレースキット”は、室外・室内間を制御線・電源線分離方式（室外ユニットより室内ユニットに電源を供給する方式）や制御線単独方式（内外別受電方式）の配線にも対応する部品です。
- 本品は、室内ユニットに電源（AC200V）を給電する際に使用します。
- 空調機のリニューアルをする際、既設の配線方式を有効に再利用できます。※線径・線種により制約を受ける場合があります。

注　意
・室外ユニット制御基板のディップスイッチの設定変更が必要です。

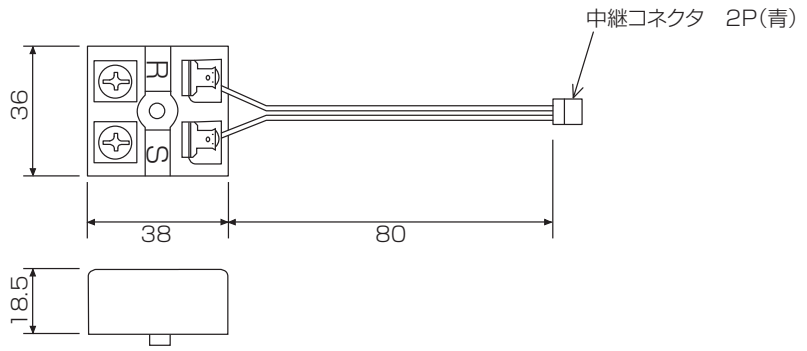
対象ユニット

- PL-RP40 ～ 160LA19
- PD-RP40 ～ 160GA19
- PE-RP50 ～ 160DA19
- PC-RP80・140HA19
- PE-RP224・280EA3

仕　様

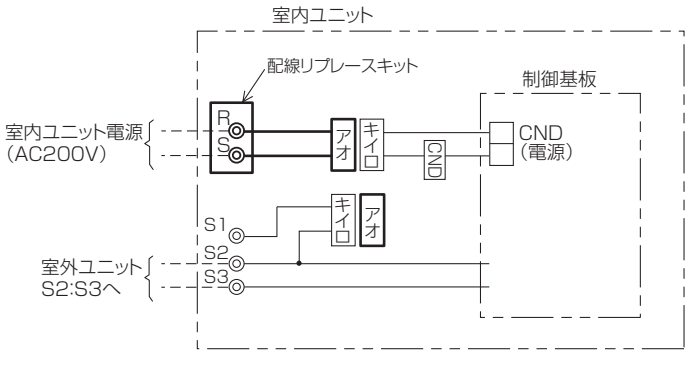
形　名	PAC-SG97HR
端子盤定格	15A・264V
端子盤材質	変性メラミン
構成部品	端子盤（リード線結束済）× 1、ネジ× 1 ファスナー（リード線結束用）× 1

外形図 (単位：mm)



配線図（配線リプレースキット接続後・内外別受電方式等とする場合）

配線リプレースキット接続後の配線図(内外別受電方式等とする場合)



・室内ユニット制御基板のCNDから出ているキイロのコネクタを外し、配線リプレースキットのアオのコネクタを接続してください。

配線リプレースキット
:PAC-SG96HR, SG97HR

RG79V897H08　　（本マニュアル用に変更・修正しています）

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機パッケージエアコン別売部品　配線リプレースキット据付工事説明書

形名　PAC-SG96HR / (M)P*(Z)-RP・*A(L)シリーズ用
　　PAC-SG97HR / (M)P*-RP・*Aシリーズ用

安全のために必ず守ること

●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
●据付工事に不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。

電気工事は電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。
●電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災等の原因になります。

充電部に触れる前に、必ず室内ユニット・室外ユニット全ての電源を切ってください。
●感電・火災の原因になります。

⚠注意

電気配線工事がある場合は、電流容量に合った規格品の電源を使用すること。
●漏電や発熱・火災の原因になります。

各配線は、張力が掛からないように配線工事をする。
●断線したり、発熱・火災等の原因になります。

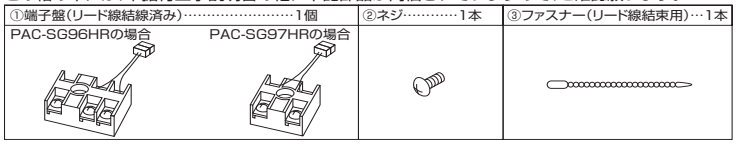
1. 概　要

この部品は、配線リプレース対応の室内ユニット（ヒータレス）において、下記配線パターンのように室内ユニットに電源（AC200V）を給電する際に使用します。
取付けには、室内ユニットの据付工事説明書も併せてご覧ください。

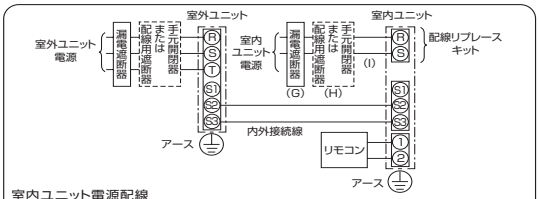
2. 同梱部品

この箱の中には、本据付工事説明書の他に下記部品が同梱されていますので、ご確認願います。

①端子盤（リード線結線済み）……1個	②ネジ……1本	③ファスナー（リード線結束用）…1本
PAC-SG96HRの場合　PAC-SG97HRの場合		



ー内外別受電方式ー

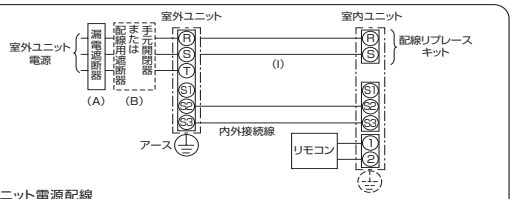


室内ユニット電源配線

記号	(G)	(H)			(I)
室内ユニットの合計台数	漏電遮断器定格電流	手元開閉器		配線用遮断器定格電流	電源線太さ
		開閉器容量	B種ヒューズ		
4台以下	15A	15A	15A	15A	2.0㎟

● 説明書類に同封されたラベルBを、室内ユニットおよび室外ユニットそれぞれの配線図の近傍に貼り付けてください。

ー室外ユニットより、室内ユニットに電源を供給する方式ー



ユニット電源配線

記号	(A)	(B)	(I)
室内ユニットの合計台数	漏電遮断器定格電流	配線用遮断器定格電流	電源線太さ
4台以下	15A～40A	15A～40A	2.0㎟
	50A	50A	3.5㎟

● 説明書類に同封されたラベルCを、室内ユニットおよび室外ユニットそれぞれの配線図の近傍に貼り付けてください。
● 内線規程「1305−1不平衡負荷の制限」より、不平衡率30%以内に入らない場合は、本配線パターンとすることはできません。

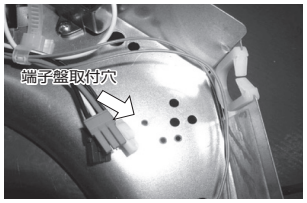
3. 取付方法

※電気品カバー等の取外し方法は、各々の室内ユニット据付工事説明書の電気配線工事の項目を参照願います。

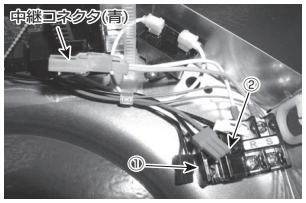
■PAC-SG96HR

(1)4方向カセット形　(M)PL(Z)-JAタイプの場合

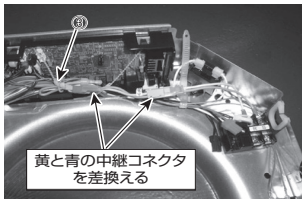
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

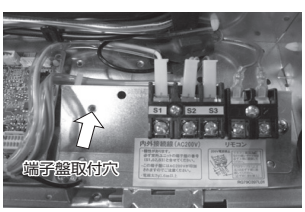


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。

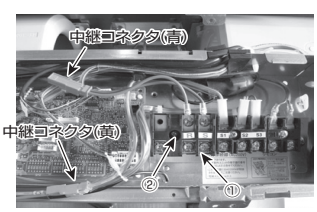


(2)天吊形　(M)PC-KAタイプの場合

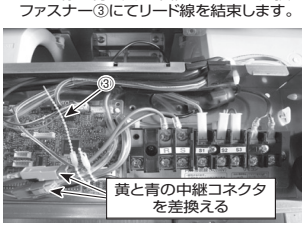
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



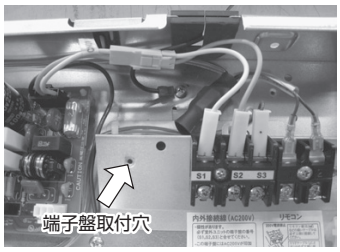
3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。



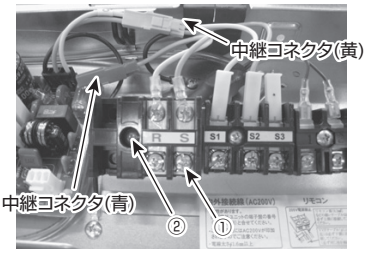
■ PAC-SG96HR

(3)1方向カセット形　(M)PM-FAタイプの場合

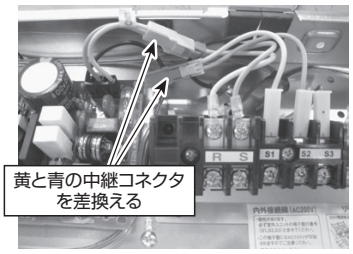
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

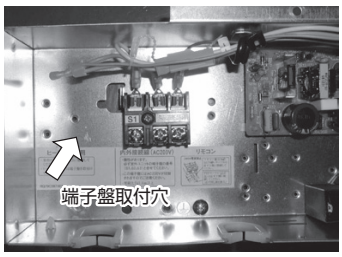


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。

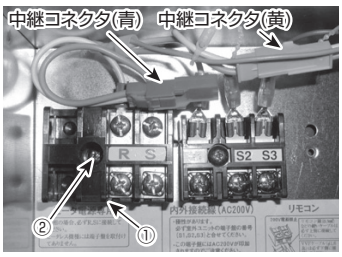


(4)床置形　(M)PS-GAタイプの場合

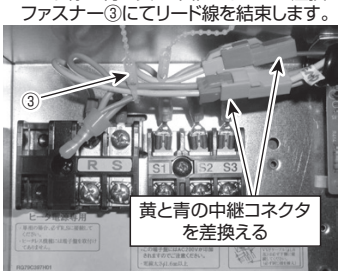
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

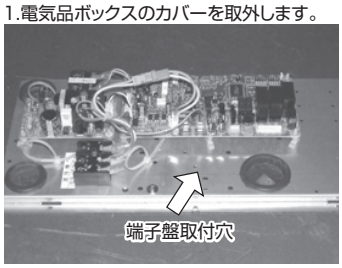


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、
ファスナー③にてリード線を結束します。

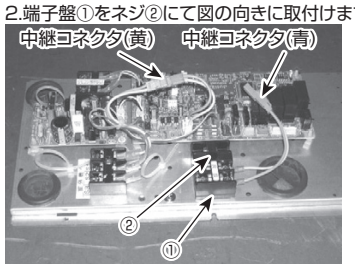


(5)天吊形　(M)PC-BA/CAタイプおよび床置形(M)PF-BAタイプの場合

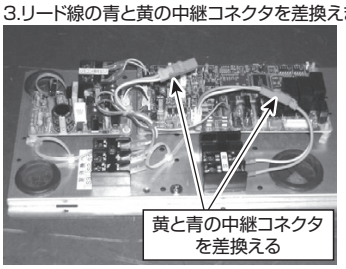
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

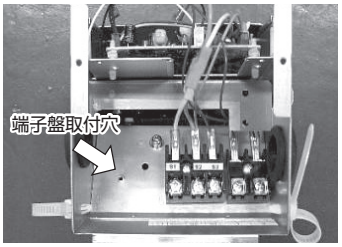


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。

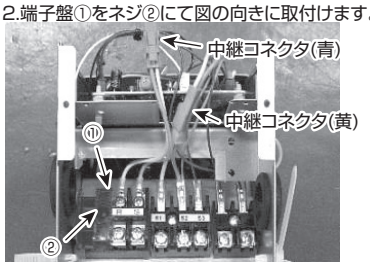


(6)天井ビルトイン形　(M)PD-FAタイプの場合

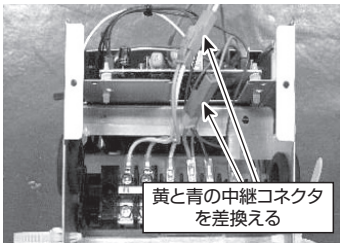
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

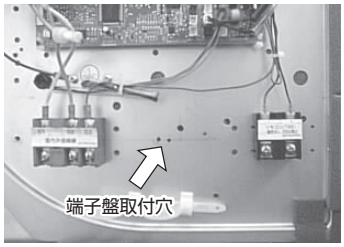


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。

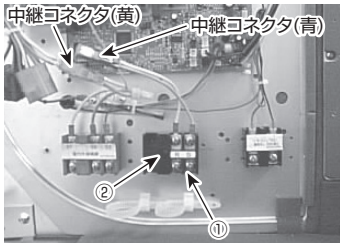


(7)天井埋込形　(M)PE-CAタイプの場合

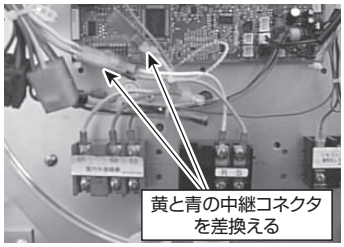
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。

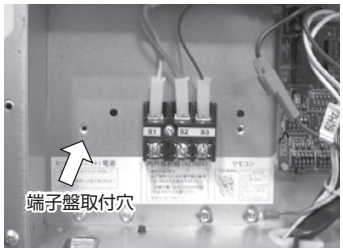


注:MPD-FAタイプ、MPE-CAタイプ、MPC-BA/CAタイプ、MPF-BAタイプで、補助電気ヒータと併用する場合は、
配線リプレースキットの端子盤から配線を取外し補助電気ヒータ端子盤の「R」と「S」に取外した配線を接続してください。

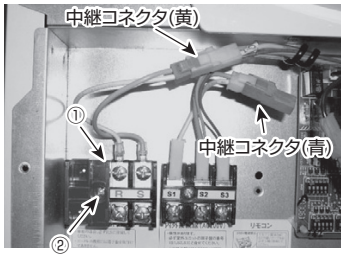
■ PAC-SG96HR

(8)床置形　(M)PS-50～80KAタイプの場合　(KA7以降は除く)

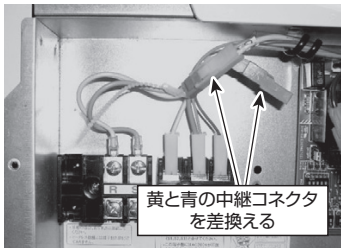
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

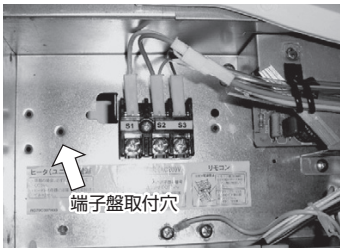


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。

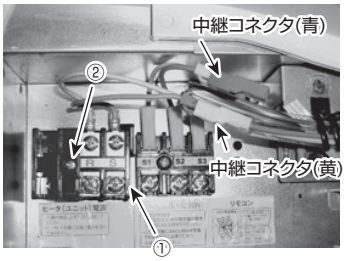


(9)床置形　(M)PS-112～160KAタイプの場合　(KA7以降は除く)

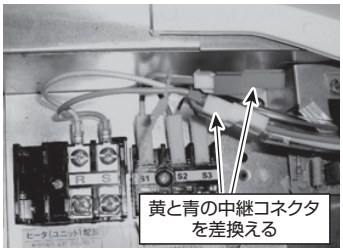
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



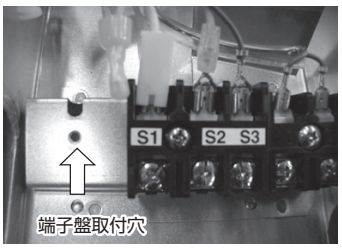
3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。



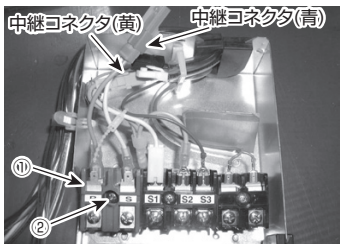
■ PAC-SG97HR

(1)厨房用天吊形の場合

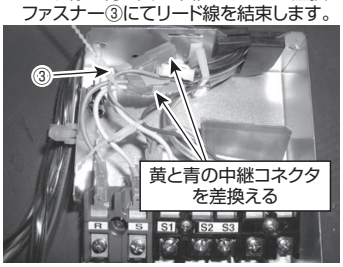
1.端子盤ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

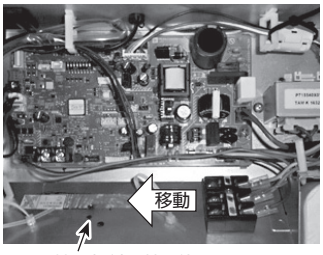


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、
ファスナー③にてリード線を結束します。

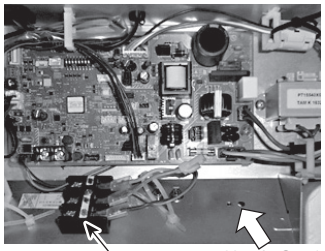


(2)2方向カセット形　PL-RP･LA13タイプ以降の場合

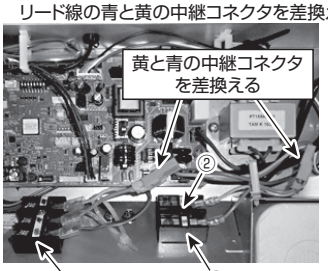
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤を図の向きに移動させます。

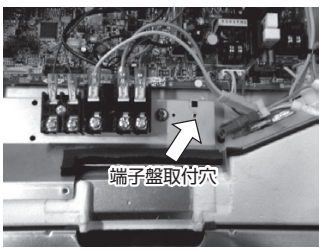


3.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付け、
リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。

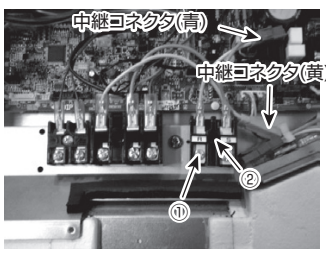


(3)2方向カセット形　PL-RP･LA8タイプ以降、PL-RP･LA12タイプ以前の場合(PL-RP112～160LA8タイプを除く)

1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

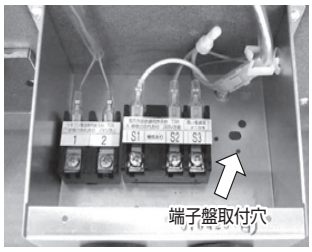


3.リード線の青と黄の中継コネクタを
差換えます。

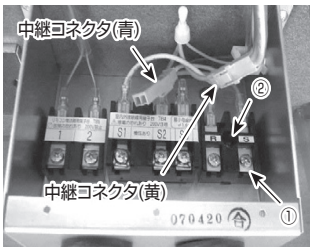
■ PAC-SG97HR

(4)2方向カセット形　(M)PL-RP･LAタイプの場合 (LA8タイプ以前､PL-RP40～80LA8タイプは除く)

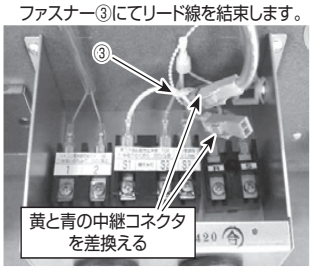
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

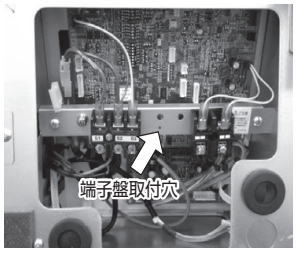


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。

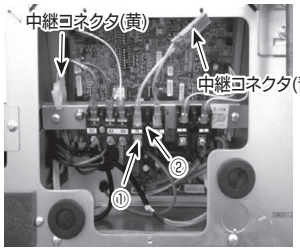


(5)天井ビルトイン形　PD-RP･GAタイプおよび天井埋込形　PE-RP･DAタイプの場合

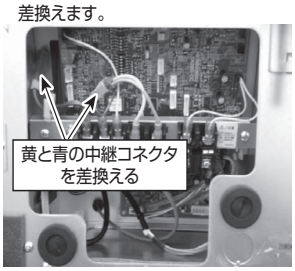
1.電気品ボックスのカバーを取外します。

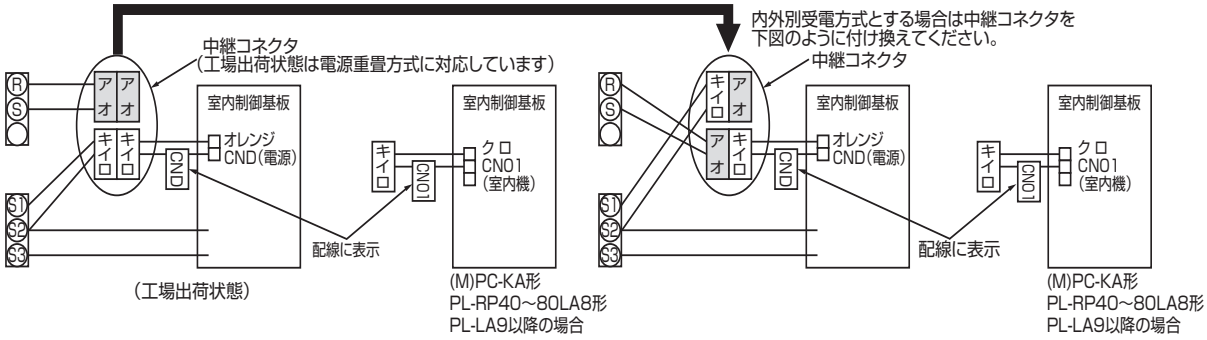


2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。





4. 電気配線

必ず各々の室内ユニット据付工事説明書に従って､電気配線工事を施工してください。

5. 室内ユニットの説明書類に同封されているラベルを､室内ユニットおよび室外ユニットそれぞれの電気配線図近傍に貼り付けてください。

貼り付けラベルは3種類(ラベルA～ラベルC)付属しています｡配線パターンに合わせたラベルを貼り付けてください。

内外別受電方式　……ラベルB　　室外ユニットより､室内ユニットに電源を供給する方式　……ラベルC

6. 室外制御基板のディップスイッチの設定変更

室外ユニット制御基板上のディップスイッチの
設定変更が必要です。

室外制御基板　ディップスイッチの設定 ※室外ユニットの据付工事説明書を確認してください。		
SW8-3をONに設定する	ON	3
	〈SW8〉 OFF	1 2

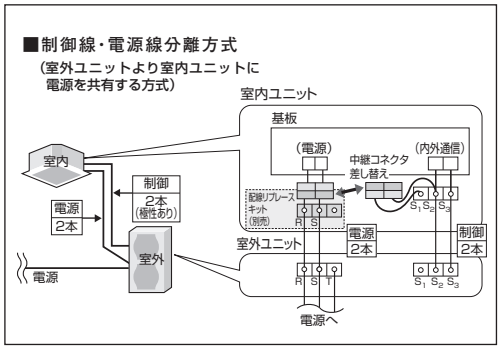
7. 試運転

室内ユニットの据付工事説明書に従って､試運転を行ってください。

配線リプレースキット

● PAC-SJ20HR

使用目的 / 用途



- “配線リプレースキット”は、室外・室内間を制御線・電源線分離方式（室外ユニットより室内ユニットに電源を供給する方式）や制御線単独方式（内外別受電方式）の配線にも対応する部品です。
- 本品は、室内ユニットに電源（AC200V）を給電する際に使用します。
- 空調機のリニューアルをする際、既設の配線方式を有効に再利用できます。※線径・線種により制約を受ける場合があります。

注　意
・室外ユニット制御基板のディップスイッチの設定変更が必要です。

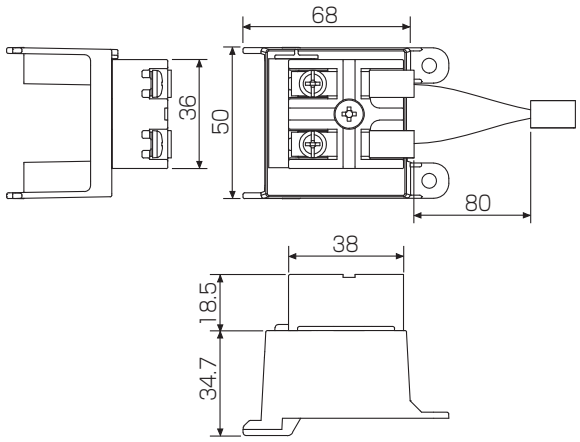
対象ユニット

● PS-RP50 ～ 160KA19

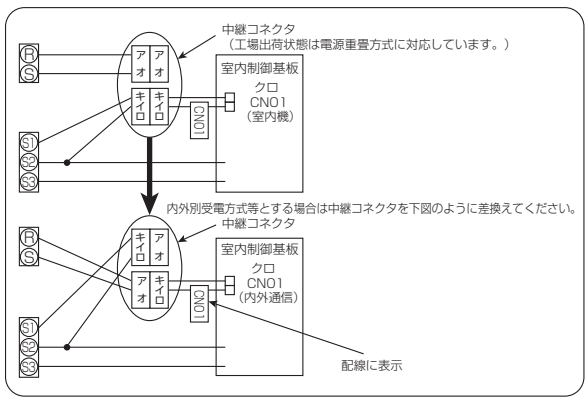
仕　様

形　名	PAC-SJ20HR
端子盤定格	15A・264V
端子盤材質	変性メラミン
構成部品	端子盤（リード線結束済）× 1、ネジ× 1 ファスナー（リード線結束用）× 1

外形図（単位：mm）



配線図（配線リプレースキット接続後・内外別受電方式等とする場合）



■内外別受電方式にする場合

室外機制御基板上のディップスイッチの設定変更が必要です。

室外制御基板 ディップスイッチの設定 ※室外ユニットの据付説明書を確認してください。
SW8-3をONに設定する ON 3 OFF 1 2 〈SW8〉

・S1,S2側のキイロコネクタに配線リプレースキットから外したコネクタを取り付けてください。

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機パッケージエアコン別売部品　配線リプレースキット据付工事説明書　形名:PAC-SJ20HR / PS-RP･KAシリーズ用

安全のために必ず守ること

●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋･家財などの損害に結びつくもの。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電･火災等の原因になります。

充電部に触れる前に、必ず室内ユニット･室外ユニット全ての電源を切ってください。
●感電･火災の原因になります。

電気工事は電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧･ブレーカーを使用する。
●電源回路容量不足や施工不備があると感電･火災等の原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
●据付けに不備があると、水漏れや感電･火災の原因になります。

⚠注意

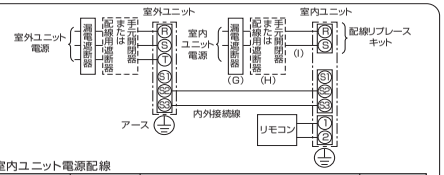
電気配線工事がある場合は、電流容量に合った規格品の電源を使用すること。
●漏電や発熱･火災の原因になります。

各配線は、張力が掛からないように配線工事をする。
●断線したり、発熱･火災等の原因になります。

1. 概　要

この部品は、配線リプレース対応の室内ユニットにおいて、下記配線パターンのように室内ユニットに電源（AC200V）を給電する際に使用します。
取付けには、室内ユニットの据付工事説明書も併せてご覧ください。

－内外別受電方式－

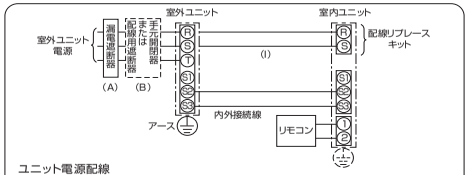


室内ユニット電源配線

記号	(G)	(H)			(I)
室内ユニットの合計台数	漏電遮断器	手元開閉器		配線用遮断器	電源線太さ
	定格電流	開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	
4台以下	15A	15A	15A	15A	2.0㎟

● 説明書類に同封されたラベルBを、室内ユニットおよび室外ユニットそれぞれの配線図の近傍に貼り付けてください。

－室外ユニットより、室内ユニットに電源を供給する方式－



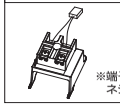
ユニット電源配線

記号	(A)	(B)	(I)
室内ユニットの合計台数	漏電遮断器定格電流	配線用遮断器定格電流	電源線太さ
4台以下	15A～40A	15A～40A	2.0㎟
	50A	50A	3.5㎟

● 説明書類に同封されたラベルCを、室内ユニットおよび室外ユニットそれぞれの配線図の近傍に貼り付けてください。
● 内線規程「1305－1不平衡負荷の制限」より、不平衡率30%以内に入らない場合は、本配線パターンとすることはできません。

2. 同梱部品

この箱の中には、本据付工事説明書の他に右記部品が同梱されていますので、ご確認願います。

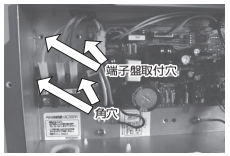
①端子盤（台座部品取付済み）……1個	②ネジ……2本
 ※端子盤は、台座部品にネジ(4×12)で固定済みです。	4×10

3. 取付方法

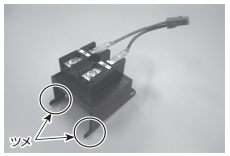
※電気品カバー等の取外し方法は、室内ユニット据付工事説明書の電気配線工事の項目を参照願います。

●PS-RP50～80KAタイプの場合

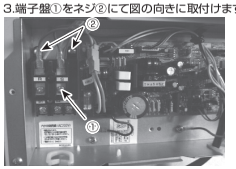
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



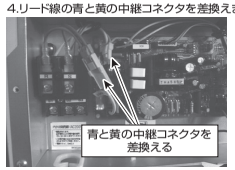
2.端子盤①の台座部品下部のツメを電気品ボックスの角穴に引っ掛けます。



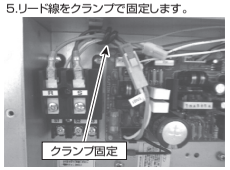
3.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



4.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。



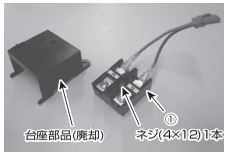
5.リード線をクランプで固定します。



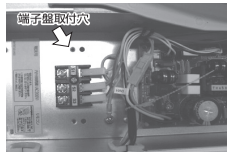
●PS-RP112～160KAタイプの場合

1.端子盤①にネジ(4×12)1本で固定されている台座部品を取外します。

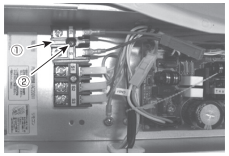
※ネジ(4×12)1本は、端子盤①を電気品ボックスに固定するために、再度使用しますので廃却しないよう注意してください。
※台座部品は取外し後、不要となりますので廃却してください。



2.電気品ボックスのカバーを取外します。

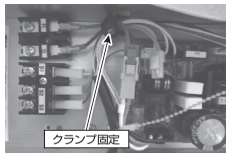


3.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

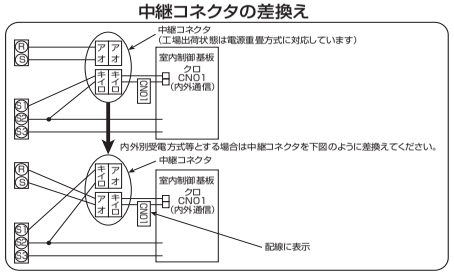


4.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。

5.リード線をクランプで固定します。



中継コネクタの差換え



4. 電気配線

必ず室内ユニット据付工事説明書に従って、電気配線工事を施工してください。

5. ラベルの貼り付け

室内ユニットの説明書類に同封されているラベルを、室内ユニットおよび室外ユニットそれぞれの電気配線図近傍に貼り付けてください。
貼り付けラベルは3種類(ラベルA～ラベルC)付属しています。配線パターンに合わせたラベルを貼り付けてください。

- ･内外別受電方式 …… ラベルB
- ･室外ユニットより、室内ユニットに電源を供給する方式 …… ラベルC

6. 室外制御基板のディップスイッチの設定変更

室外ユニット制御基板上のディップスイッチの設定変更が必要です。

室外制御基板　ディップスイッチの設定 ※室外ユニットの据付工事説明書を確認してください。				
SW8-3をONに設定する	ON			3
	OFF	1	2	
				〈SW8〉

7. 試運転

室内ユニットの据付工事説明書に従って、試運転を行ってください。

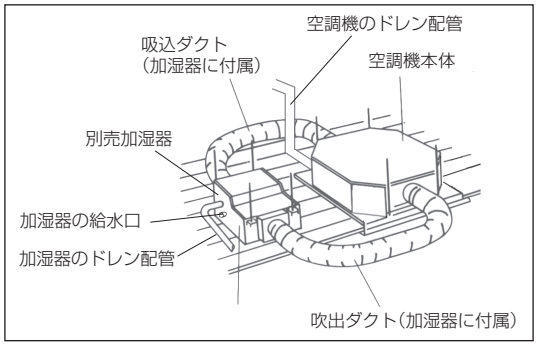
BH79T156H03

技術解説

加湿器（別吊方式）

● PAC-SF10HU

使用目的 / 用途



- “加湿器”は、冬期に室内の湿度を高め乾燥を防ぐための部品で、別吊タイプです。
- 暖房運転に連動して作動します。
- 必ず加湿器用の自然排水式ドレン管を設けてください。
- 加湿量は空気条件によって変わります。

注　意

・別吊式ですので、天井を貼る前に取り付けてください。

対象ユニット

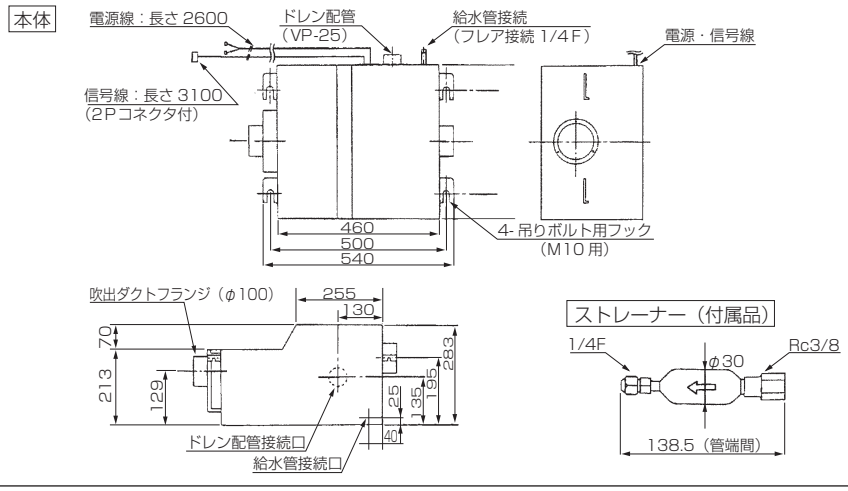
● PL-RP28 ～ 80GA5　　● PM-(H)RP40 ～ 80FA19

仕　様

形　　名	PAC-SF10HU	供給水条件	市水・上水または同等以上のもの　温度 5 ～ 40℃ 給水は公共の水道管に直接接続することはできません。 公共の水道管から給水しなければならない場合は、 必ずシスターンタンクをご使用ください。 ※供給水が下記水質を満足しない場合は加湿エレメントの劣化が早まり、加湿能力の低下、変色、白粉の発生などがあらわれることがあります。 ・硬　　度　70mg/L 以下 ・酸 消 費 量　50mg/L 以下 ・イオン状シリカ　30mg/L 以下
定格加湿量	1.0ℓ /h		
定 格 電 源	AC200V　50/60Hz		
定格消費電力	32/32W		
運 転 電 流	0.18/0.17A		
運 転 力 率	89/94%		
送風機風量	1.9/2.2㎥ /min		
質　　量	12.0kg		
加湿エレメント材質	親水性プラスチック多孔質焼結体	ドレン配管径	PVC 管　VP25[現地手配]
給水配管径	銅管φ6.35またはφ6.0(本体･ストレーナ間)[現地手配]	付 属 品	断熱材×４個，ダクトフランジφ 100 × 2 個，フレキシブルダクトφ 100 × 1.5m × 2 本 ダクト用バンド×４個，ストレーナ（1/4F･Rc3/8）× 1 個
給 水 圧 力	0.1MPa[減圧弁現地手配]		

注 . 定格加湿量は暖房条件 (室内：20℃ DB/50% RH, 外気：7℃ DB/6℃ WB) でサーモ ON 時の値です。
　　実際の加湿量は運転条件により変化します。

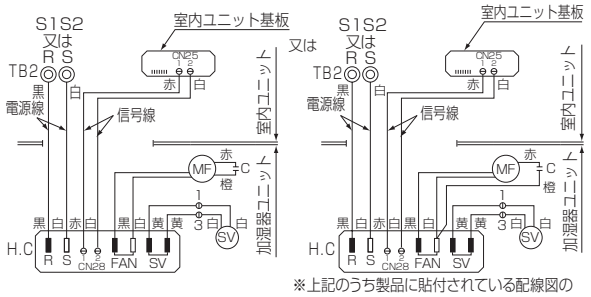
外形図（単位：mm）



電気配線図

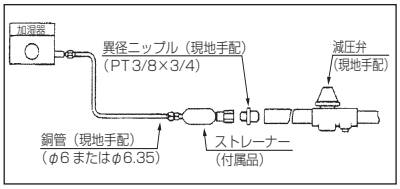
	記号	名　　称
本体	TB2	端子盤〈電源〉
	CN25	コネクタ〈加湿器〉
加湿器	H.C	加湿コントローラボード
	CN28	コネクタ
	SV	電磁弁〈給水〉
	MF	送風機用電動機
	C	コンデンサ〈送風機用電動機〉

※端子盤への接続
A制御機種は内外接続用端子盤の「S1」「S2」端子へ接続してください。
その他の機種は電源端子盤「R」「S」端子へ接続してください。



※上記のうち製品に貼付されている配線図の仕様となります。送風機用電動結線違い）

給水配管図



MITSUBISHI ELECTRIC

形名：PAC－SF10HU

適用機種	
	カセット4方向吹出しGタイプ
	カセット4方向吹出しJタイプ
	カセット1方向吹出しFタイプ

三菱電機パッケージエアコン別売部品
加湿器（別吊方式）据付工事説明書

安全のために必ず守ること

●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷又は家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
この据付工事説明書は、お客様で保管していただくように依頼してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

据付けは、販売店又は専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書にしたがって確実に行う。
●据付工事に不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
●頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

据付け（移設）・電気工事をする前に ⚠注意

冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
●不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどが発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
●接続部の断熱施工は気密試験後に行ってください。

電源配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。
●漏電や発熱・火災などの原因になります。

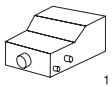
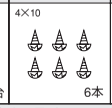
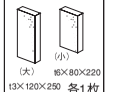
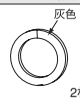
加湿器の保守はお買い上げの販売店もしくは専門の業者に依頼する。
●お客様自身で行い、不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。

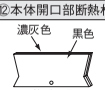
ドレン配管は、据付工事説明書にしたがって確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう断熱処理すること。
●配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財などを濡らす原因になります。

製品の運搬・据付けは十分注意して行う。
●20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。
PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。
素手で部品端面やフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

1 部品の確認

この箱の中には、本据付工事説明書と下記部品が同梱されています。

①加湿器本体	②タッピングネス	③配管用断熱材	④バンド	⑤ストレーナー	⑥ダクトフランジ	⑦ダクトフランジ用断熱材
						
1台	6本	t3×120×250 各1枚 t6×80×220	2本	1ヶ	2ヶ	2枚

⑧フレックスダクト	⑨ダクト用バンド	⑩ダクト用断熱材	⑪ダクトフラン用断熱材	⑫本体開口部断熱材	⑬本体開口部断熱材	⑭ストレーナー用断熱材
						
2ヶ	4ヶ	t20×460×160 2枚	t3×350×78 2枚	2枚重ね品 6枚	2枚	t8×240×120 1枚

2 取付スペース

図1-1 カセット4方向吹出しGタイプ配置図（天面側より見る）

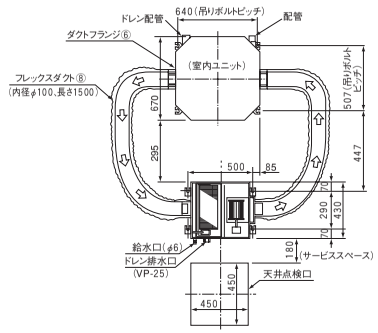


図1-2 カセット4方向吹出しJタイプ配置図（天面側より見る）

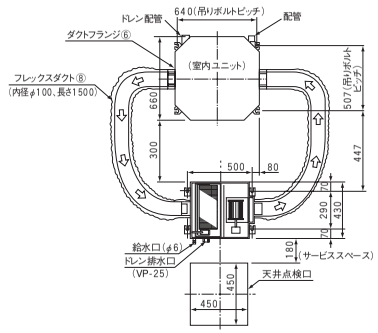


図1-3 カセット1方向吹出しFタイプ配置図（天面側より見る）

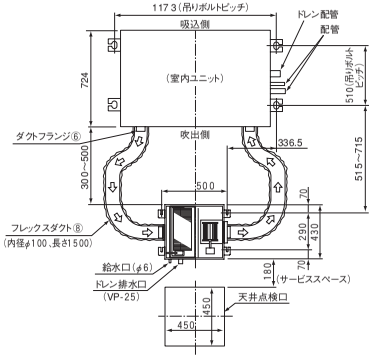
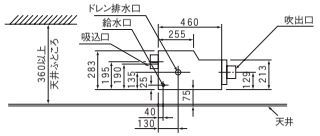


図2



加湿器（別吊方式）：PAC-SF10HU

（本マニュアル用に変更・修正しています）

3 据付前の準備

◆ 現地手配部品

(1) 止水用バルブ…シーズンオフ、又は緊急時等のために加湿器の配管上流側に止水用バルブを必ず設けてください。
(2) シスターンタンク…給水は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、必ずご使用ください。
(3) 減圧弁…電磁弁の入口圧力が0.1MPaになる様に減圧弁を必ず設けてください。

◆ 留意事項

据付スペース

(1) 加湿器の組込みは、天井材を貼る前に必ず行ってください。
(2) 加湿器の組込みに際し、天井構造の事前検討をお願いします。(天井施工業者様ともご相談ください。)
(3) 天井点検口を必ず設置してください。

加湿器の取付け

本体吊り下げ時は必ず水準器にて水平となるように調整してください。
(両端の高低差が10mm以上の場合、ドレンパンよりオーバーフローします。)

給・排水管工事

(1) 供給水質…市水、上水又はこれと同等以上の水を使用してください。
※供給水が下記水質を満足しない場合は、加湿エレメントの寿命が短くなることがあります。
・硬度　70mg/L以下
・酸消費量　50mg/L以下
・イオン状シリカ　30mg/L以下
(2) 供給水温度…5℃～40℃
(3) 供給水圧力…電磁弁の入口圧力が0.1MPaになる様に減圧弁を必ず設けてください。(現地手配)
(4) 止水用バルブ(現地手配)及びストレーナーを必ず取付けてください。(8 給水配管工事 参照)
(5) 加湿器のドレン配管と、室内ユニット本体のドレン配管は必ず別配管としてください。

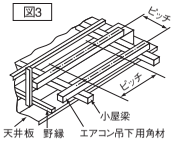
4 吊りボルトの設置

●吊りボルトの位置は2項取付スペースを参照します。
●天井の処理……建物の構造により異なりますので、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

木造の場合

●小屋梁〈平屋建〉又は二階梁〈二階建〉を強度メンバーとします。
●エアコン吊下用角材は梁間が90cm以下の時は6cm角以上180cm以下の時は9cm角以上のじょうぶな角材を用います。

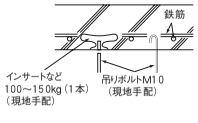
図3



鉄筋の場合

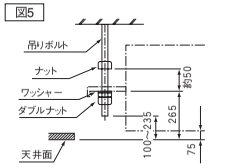
●右図の方法で吊りボルトを固定するか、又はアングル・角材などを利用して吊りボルトを取付けます。

図4



●吊りボルトの長さ及びナット位置は、下図のようにします。

図5

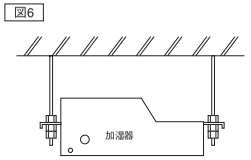


〈 現地手配部品〉
●吊りボルト (M10)……4本
●ナット (M10)……12個
●ワッシャー (M10)……4個

5 加湿器取付

●ダブルナットの上のワッシャーに加湿器を乗せて上側のナットで締付けます。

図6



※水準器などで加湿器が水平に付いているかを確認します。
(両端で10mm以上の高低差があるとドレンがオーバーフローします。)

6 ダクト取付

●室内ユニット本体の取付用の穴をあけます。

カセット4方向吹出しGタイプ／Jタイプの場合

a) 室内ユニット本体の両側面にφ100のスリットがついていますので、ニッパーなどでスリットを切り落とします。
b) φ100の穴に合わせてスチロールをカッターなどで切り落としφ100の穴をあけます。
(切り粉は十分取り除いてください。ドレンポンプのつまりの原因となります。また、断熱材がはがれやすくなります。)

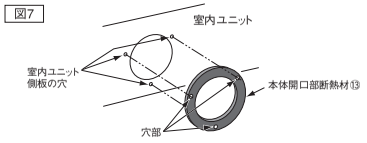
カセット1方向吹出しFタイプの場合

a) 室内ユニット本体前面部の断熱材に2箇所φ140のミシン目がありますのでφ140の部分を両方はがします。
(図1-3 参照よりカットアウト穴位置を確認します。)
b) はがした部分にφ100のスリットがついていますので、ニッパーなどでスリットを切り落とします。
c) φ100の穴に合わせてスチロールをカッターなどで切り落としφ100の穴をあけます。
(切り粉は十分取り除いてください。ドレンポンプのつまりの原因となります。また、断熱材がはがれやすくなります。)

●室内ユニット本体の取付用の穴に本体開口部断熱材⑫を貼付けます。
注:カセット4方向吹出しGタイプ／Jタイプの場合は、初めに本体開口部断熱材⑬の穴部を室内ユニット側板の穴に合わせて貼付けます。(図7 を参照)

カセット4方向吹出しGタイプ／Jタイプの場合

図7



●本体開口部断熱材⑫をカセット1方向吹出しFタイプの場合、φ140の断熱材をはがした端面と室内ユニット側板の穴に合わせ、カセット4方向吹出しGタイプ／Jタイプの場合、本体開口部断熱材⑬の端面と穴部に合わせ、室内ユニット側板と発泡スチロールを巻き込むように貼付けます。同様に、2枚目、3枚目も穴に合わせて断熱材が重なるように貼付けてください。
(貼付け順序は 図8-1 ～ 図8-4 を参照)
※断熱材は、はがれないよう、よく押し付けてスキマがないように貼付けてください。(断面図A-A を参照)

図8-1

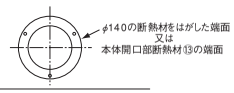


図8-2

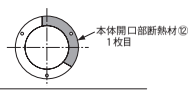


図8-3

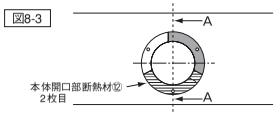
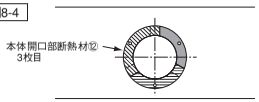
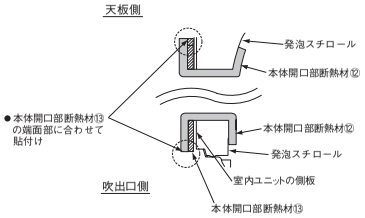


図8-4

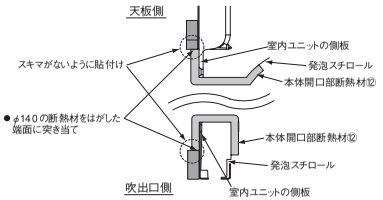


断面図A-A

※カセット4方向吹出しGタイプ／Jタイプの場合

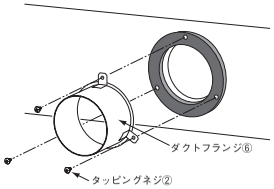


※カセット1方向吹出しFタイプ



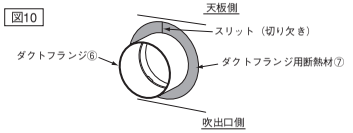
6 ダクト取付 つづき

図9



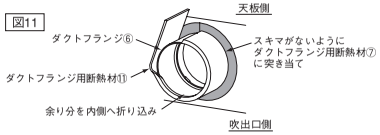
●ダクトフランジ⑥を本体開口部断熱材⑫の穴にタッピングネジ②を使って固定します。（ 図9 を参照）
●ダクトフランジ⑥を固定したタッピングネジ②の上からダクトフランジ用断熱材 ⑦を天板側にスリット（切り欠き）がくるように貼付けます。（スキマがないように貼付けてください。 図10 を参照）

図10



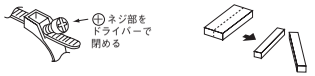
● ダクトフランジ用断熱材⑪を、天板側に張り合わせ部がくるようにして、ダクトフランジ用断熱材⑦に突き当てながらフランジ部に巻き付け、断熱材の端部の余り分はダクトフランジ内側に折り込むように貼付けます。（スキマがないように貼付けてください。 図11 を参照）

図11



●フレックスダクト⑧を加湿器のダクトフランジと室内ユニット本体に取付けたダクトフランジ⑥につなぎ、ダクト用バンド⑨にて締付けます。（ 図12 を参照）
●ダクト用バンド⑨（4箇所）にダクト用断熱材⑩を巻き付けるように貼付けます。

図12 ダクト用バンド⑨の締付け方法　ダクト用断熱材⑩の切断方法

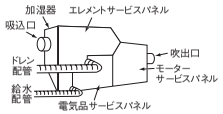


注:フレックスダクト⑧はゆるやかなカーブを持たせ、また垂れ下がらないように上から吊るなどの処置を施してください。

7 配管方向

●加湿器の給水配管・ドレン配管はサービス・メンテナンスを容易にするために 図13 のように加湿器を見て左方向に出します。

図13



8 給水配管工事

●配管材は現地手配になりますので銅管外径φ6 又はφ6.35を用意します。
●加湿器への接続は1/4Fフレアー接続です。
●加湿器と給水管の接続はダブルスパナで、14～18N･mにて締付けます。
●付属の配管用断熱材③とバンド④を使って配管接続部の断熱を行います。（ 図14 を参照）
現地配管部については現地手配にて露たれ、冬期の凍結破損などないよう十分な断熱を行います。
●付属のストレーナー⑤を加湿器と減圧弁（現地手配）との間に必ず設置します。（ 図15 を参照）
●ストレーナー⑤は出口側のみ1/4Fフレア接続となっています。
●ストレーナー出口側と給水管の接続はダブルスパナで、14～18N･mにて締付けます。
●入口側の接続には現地配管に合った異径ニップルを現地手配にて用意します。
●ストレーナー入口側と異径ニップルの接続はダブルスパナで、10～15N･mにて締付けます。
●ストレーナーはサービスできる所へ設置します。
●ストレーナー及び現地の配管部分には、十分な断熱を行います。（発泡ポリエチレン比重0.03 肉厚9mm以上）
不十分な場合は、露たれ、冬期の凍結破損の要因になります。（ 図15 を参照）
●止水バルブ（現地手配）を給水管に取付け給水停止できるようにします。

図14

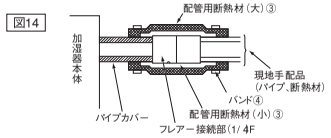
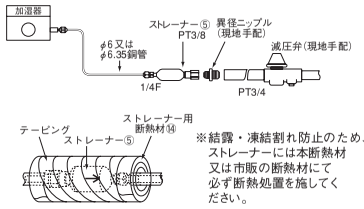


図15



※結露・凍結割れ防止のため、ストレーナーには本断熱材又は市販の断熱材にて必ず断熱処置を施してください。

9 ドレン配管工事

●ドレン配管サイズはVP-25です。
●ドレン配管は下り勾配（1/100以 上）になるようにします。
●ドレン配管はイオウ系ガスの発生する下水溝に直接入れないでください。
●配管後、排水が確実に行われていることと、接続部からの水漏れのないことを確認します。
●屋内を通るドレン配管は、必ず市販の断熱材（発泡ポリエチレン比重0.03厚さ9mm以上）を巻きます。
●室内ユニット本体のドレン配管とは別配管とします。
●ドレン配管を上から吊って固定などする場合は、本体より1m以上離れた位置で固定します。
（エレメントサービス時にドレンパンを15mm程、下にさげるための余裕を持たせます。）

10 室内ユニット本体への配線接続準備

●加湿器に接続されている電源線と信号線を室内ユニット本体に取り入れます。

1. カセット4方向吹出しGタイプの場合 図16

（1）現地配線用サービスパネルを固定しているネジ2本をゆるめ、現地配線用サービスパネルを回転させます。 図17
（2）電気品カバー、端子盤カバーを固定しているネジ4本をゆるめ（ネジ取外し不要）、スライドして取外します。（仮掛け可能）
（3）各配線を配線取入口から室内ユニット内に入れます。 図18 図19
（4）配線を室内ユニット取付けのクランプで固定します。 図18

図17

図16

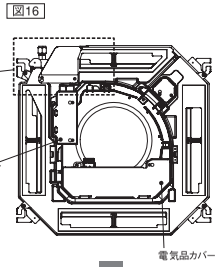
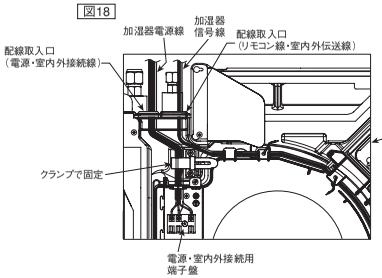


図18



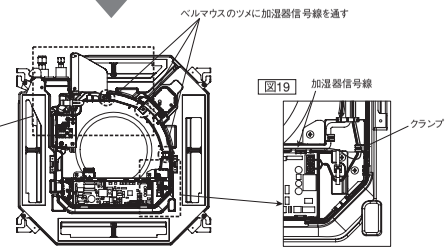
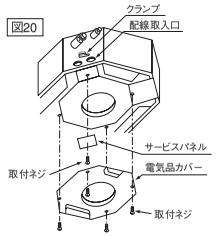


図19

2. カセット4方向吹出しJタイプの場合 図20

(1)電気品カバーとサービスパネルを取外します。
(2)各配線を配線取入口から室内ユニット内に入れます。
※サービス時を考慮して、電気品箱を室内ユニットの下に降ろすための余裕を配線に持たせてください。
(3)各配線を室内ユニット側面の現地配線用クランプで固定します。

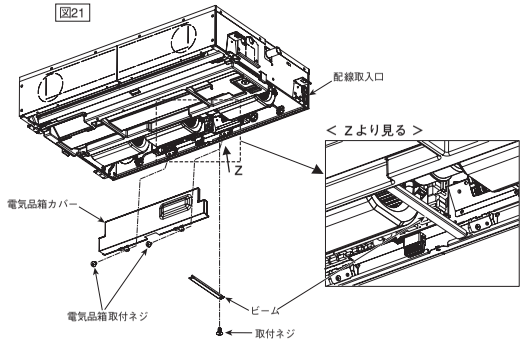
図20



3. カセット1方向吹出しFタイプの場合 図21

(1)ビームを取外します。(ネジ1本)
(2)電気品カバーを取外します。(ネジ2本)
(3)各配線を配線取入口から室内ユニット内に入れます。
(4)各配線を電気品箱右横及び、電気品箱内のケーブルストラップで固定します。

図21



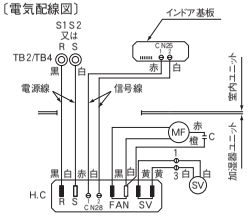
11 室内ユニット本体への配線接続

●電気配線図に基づいて配線接続をします。〔室内ユニット側のみ〕 図22

	記号	名称
本体	TB2/TB4	端子盤(ヒーター(ユニット)電源/内外接続線)
加湿器	CN25	コネクター〈加湿器〉
	H.C	加湿コントローラーボード
	CN28	コネクター
	SV	電磁弁〈給水〉
	MF	送風機用電動機
	C	コンデンサー〈送風機用電動機〉

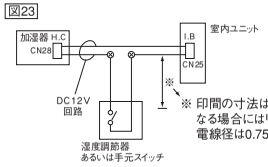
※端子盤への接続
(1)A制御機種は内外接続用端子盤の「S1」「S2」端子へ接続してください。
※電源が室内ユニット・室外ユニットで別受電などの場合は、電源端子盤「R」「S」へ接続してください。
(2)その他の機種は電源端子盤「R」「S」端子へ接続してください。

図22〔電気配線図〕



●湿度調節器あるいは手元スイッチを使用する場合の配線変更(現地手配)
図23においてコネクターCN25とCN28に接続している線間に直列に入れます。

図23



※ 印間の寸法は5m以内にします。5m以上になる場合にはリレーを介して設置します。
電線径は0.75mm以上を使用してください。

12 再組立

●作業終了後元の通り組立てます。

13 試運転

●室内ユニットの据付工事説明書にしたがって試運転(暖房)を行い、水漏れなどのないことを確認します。

14 保守・点検

1. 保守点検方法

⚠注意

加湿器の保守はお買い上げの販売店もしくは専門の業者に依頼する。

●お客様自身で行い、不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。

長い間ご使用いただくために、一年ごとの以下の部品の保守点検を行ってください。
また、加湿エレメントは交換が必要な消耗部品です。

点検部品	点検項目	
	点検項目	処置内容
加湿エレメント	蒸発残留物、ゴミ・ホコリの点検	エレメントが蒸発残留物、ホコリ・ゴミなどで汚れていないか確認してください。ホコリ・ゴミのみの場合は清掃してください。交換の目安は3シーズンです。
ストレーナー	ゴミによる目詰まりの点検	ストレーナーの洗浄を行ってください。
電磁弁	水漏れの点検	水漏れがある場合は、部品交換を行ってください。
加湿器ドレンパン	ドレンパン内の汚れの点検	汚れている場合はドレンパンの清掃を行ってください。

※長時間使用しますとエレメントは劣化し、加湿能力の低下、変色、白粉の発生の要因となることがあります。
使用環境によっても異なりますが、3年を目安に交換してください。

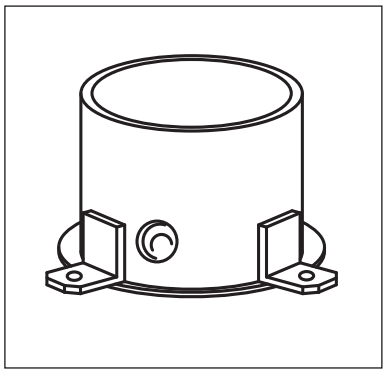
2. 加湿エレメントの乾燥についてのお願い

暖房シーズン終了後、加湿エレメントを濡らしたままで放置しますと、場所によってはカビが発生しやすくなりますので、強制乾燥を行ってください。強制乾燥は、給水バルブを閉じ、暖房運転を行ってください。

外気取入ダクトフランジ

● PAC-SH65OF

使用目的 / 用途



●“外気取入ダクトフランジ”は、外気取入用のφ100 ダクトを接続する部品です。
● 新鮮な外気取入れを行うことにより、室内環境のフレッシュアップを実現します。
● 室内ユニット本体に取り付ける場合と、多機能ケースメントに取り付ける場合があります。

注　意
・多機能ケースメントに取り付ける場合は、外気取入ダクトフランジの凹面を必ずパネル取付面側に向けて取り付けてください。

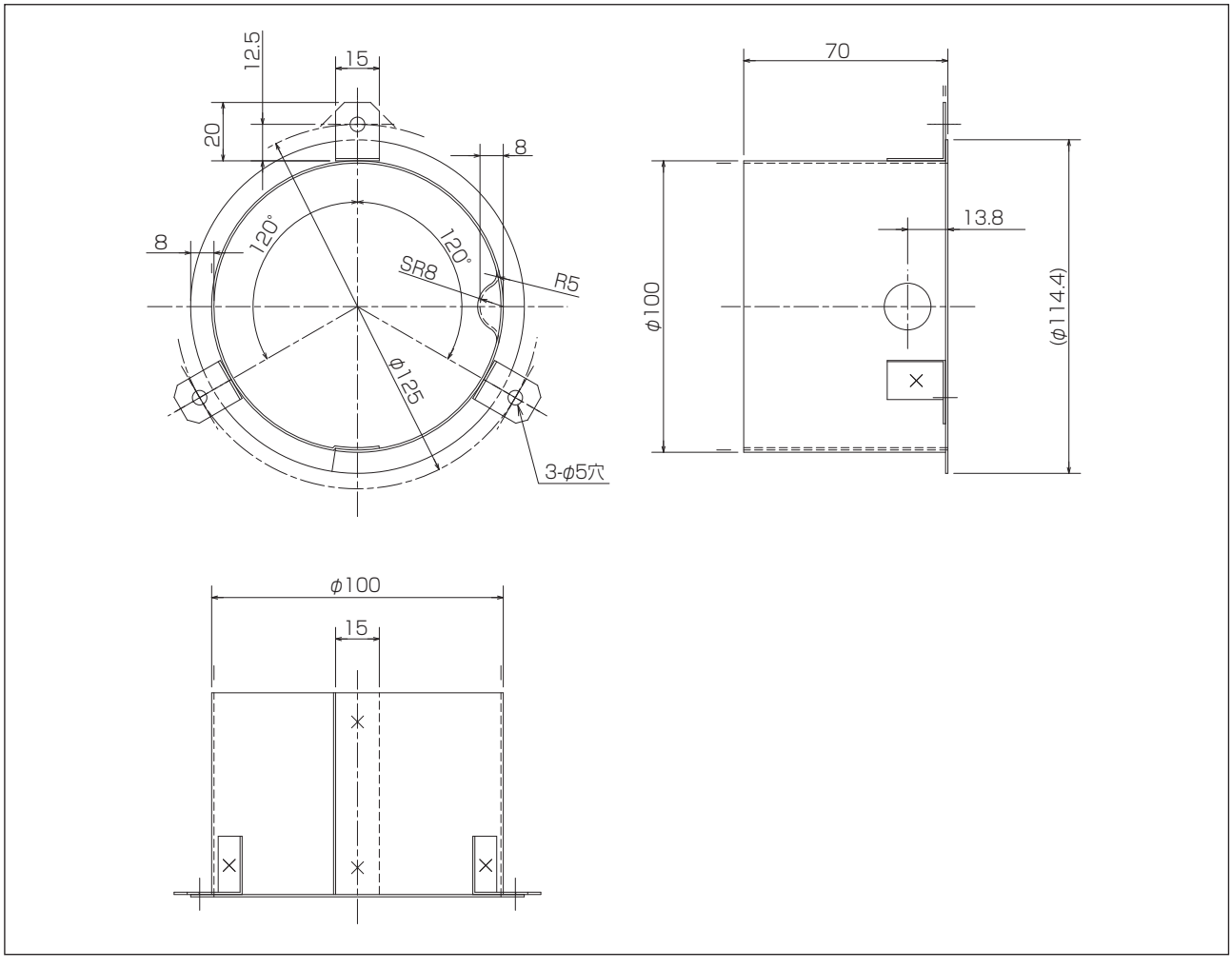
対象ユニット

● PL-ZRP40 ～ 160HA2
● PL-ERP40 ～ 160HA2
● PL-HRP80HA2
● PC-RP40 ～ 160KA(L)19

仕　様

形　　名	PAC-SH65OF
接続ダクト径	φ 100
材　　質	溶融亜鉛メッキ鋼板　t0.8
構成部品	ダクトフランジ、断熱材、ネジ

外形図（取付図）（単位：mm）



※取付説明書は〈1〉４方向天井カセット形《i-スクエアタイプ》の《分ダクトフランジ /PAC-SH66BF》を参照してください。

MEMO